

浙江省社科规划课题研究成果

# 衢州历史文献集成

方志专辑

【第四册】

《衢州历史文献集成》编纂委员会主任 郑樟林 主编 程相



中华书局

衢州历史文献集成 方志专辑

第四册  
衢县志

民国 郑永禧纂辑

王志邦 史卫乐标点

ISBN 978-7-101-06522-0



9 787101 065220 >

定价：1800.00元（全十五册）

《衢州历史文献集成》编纂委员会主任 郑樟林 主编 程相

# 衢州历史文献集成

## 方志专辑〔第四册〕

衢县志

民国 郑永禧纂辑 王志邦 史为乐标点



中华书局

浙江省哲学社会科学重大委托课题（编号：08WTWX001ZD）

# 民国《衢县志》目录<sup>①</sup>

校刊《衢县志》弁言	余绍宋(1)
故湖北恩施县知事郑公墓志铭	余绍宋(2)
衢县新志序	余绍宋(5)
《衢县志》序	桂铸西(8)
自序	郑永禧(10)
康熙《西安县志》原序	陈鹏年(12)
嘉庆《西安县志》原序	姚宝煃(14)
《衢县志》总目	(17)

## 卷 首

衢志源流考	(20)
释衢	(23)
古西安同名异地考	(25)
修志肤言	(27)
凡例	(30)
图 <sup>②</sup>	(34)

① 本目录系标点者编。

② 图,底本《衢县志》总目有此目名,正文缺。

- 图考说 ..... (34)

## 卷 一

象纬志	(65)
星纪	(66)
经度	(70)
气候	(70)
占验谈	(71)
五行	(73)

## 卷 二

方舆志	(84)
沿革	(85)
疆里	(90)
水路道里	(94)
陆路道里	(99)
山脉	(107)
南支仙霞系	(109)
东南支接前仙霞系	(117)
西南支怀玉系	(120)
西北支怀玉系连黄黝系	(122)
北支黄黝系	(130)
河流	(137)
大港	(138)
西北支流	(139)
东南支流	(142)

山源细流	(143)
大港上下经过之区	(144)
沿城水埠	(145)
潭、湖名迹	(146)
坊巷	(150)
街巷	(153)
乡庄	(160)
雍正十年改编字号	(164)
各庄村名	(170)

### 卷 三

建置志上	(195)
城池	(196)
环城内外水闸	(201)
公廨	(202)
学校	(208)
法团	(230)
善举	(234)
邮电	(242)

### 卷 四

建置志下	(248)
坛庙	(249)
寺观	(280)
附：教堂	(313)
会馆	(316)

## 卷 五

食货志上	(318)
户口	(319)
粮赋	(323)
元代粮赋	(324)
明代粮赋	(325)
明屯田粮	(332)
清代粮赋	(332)
民国粮赋	(347)
贡榷	(352)
仓储	(359)
蠲赈	(363)
盐法	(368)
宋代盐法	(368)
明代盐法	(369)
清代盐法	(371)
民国盐法	(373)
钱币	(374)

## 卷 六

食货志下	(379)
农田	(380)
水利	(386)
南乡诸堰	(386)
出周公源各堰	(387)

出罗张源各堰,分东西支	(393)
东乡诸堰	(394)
北乡诸堰	(396)
西乡诸堰	(400)
坝、堤、坪、闸	(402)
湖、塘、泉、井	(404)
桥梁、津渡	(412)
林场	(430)
矿区	(435)
商市	(437)
城乡市面	(438)
天产品	(442)
植物门	(442)
动物门	(472)
矿物门	(488)
制造品	(490)
用 品	(490)
食 品	(494)

## 卷 七

古迹志	(497)
故城	(498)
旧署	(500)
坊表	(506)
塔	(520)
宅第、园亭附楼台、池馆	(523)
冢墓	(554)

## 卷 八

风俗志	.....	(565)
礼仪	.....	(566)
习尚	.....	(579)
节序	.....	(583)
方言	.....	(592)
名词	.....	(592)
动词	.....	(599)
代名词	.....	(601)
助词	.....	(602)
语词	.....	(603)
形容词	.....	(604)

## 卷 九

防卫志	.....	(606)
军备	.....	(607)
屯卫	.....	(616)
巡警	.....	(620)
民团	.....	(624)
历代兵事记	.....	(627)

## 卷 十

官师志	.....	(657)
治官表	.....	(658)

汉至隋令长 .....	(658)
唐、宋县令 .....	(660)
元代县官 .....	(673)
明代县官 .....	(676)
清代县官 .....	(695)
民国行政司法官 .....	(716)
附：驻衡同城长官 .....	(721)
学师表 .....	(806)
武官表 .....	(829)

## 卷十一

族望志 .....	(851)
族望表 .....	(857)

## 卷十二

爵秩志 .....	(912)
封荫表 .....	(913)
境内之封 .....	(914)
境外之封 .....	(918)
圣裔袭封 .....	(920)
秩外荣典 .....	(923)
仕进表 .....	(929)

## 卷十三

选举志 .....	(1010)
-----------	--------

文科表 <sup>①</sup>	.....	(1011)
唐文科	.....	(1011)
宋文科	.....	(1012)
元文科	.....	(1026)
明文科	.....	(1028)
清文科	.....	(1050)
钦赐寿榜	.....	(1059)
武科表	.....	(1061)
宋武科	.....	(1061)
明武科	.....	(1062)
清武科	.....	(1063)
明经表	.....	(1071)
明经贡生	.....	(1071)
荐辟表 <sup>②</sup>	.....	(1109)
国学表 <sup>③</sup>	.....	(1113)
捐贡附	.....	(1119)
吏材仍旧志附	.....	(1122)
乡选表 <sup>④</sup>	.....	(1123)
游学毕业表 <sup>⑤</sup>	.....	(1127)
 艺文志上	.....	(1135)

## 卷十四

① 文科表及下面武科表、明经表,底本《衢县志》总目及卷十三目录有目名,正文缺该目标题。  
 ② 荐辟表,底本《衢县志》总目及卷十三目录为荐辟表,正文缺表字。  
 ③ 国学表,底本《衢县志》总目及卷十三目录为国学表,正文缺表字。  
 ④ 乡选表,底本《衢县志》总目及卷十三目录为乡选表,正文缺表字。  
 ⑤ 游学毕业表,《衢县志》总目及卷十三目录为游学毕业表,正文作学校毕业。

经部 .....	(1136)
史部 .....	(1164)

## 卷十五

艺文志下 .....	(1195)
子部 .....	(1196)
集部 .....	(1229)
附录 .....	(1269)

## 卷十六<sup>①</sup>

碑碣志一 .....	(1279)
城署儒学类 .....	(1280)
城池 .....	(1280)
官署 .....	(1292)
学宫 .....	(1314)
家庙 .....	(1358)
书院 .....	(1377)

## 卷十七

碑碣志二 .....	(1385)
名胜公益类 .....	(1386)
名山 .....	(1386)

<sup>①</sup> 卷十六至卷十九碑碣志，底本《衡县志》总目目录至类止，正文目录有目名而无类名，正文则有类一级标题；正文无目一级标题，而在辑录本目碑文后用小字以上某某形式注明。

---

古迹	.....	(1409)
水利	.....	(1423)
善堂	.....	(1442)

## 卷十八

碑碣志三	.....	(1449)
神庙生祠类	.....	(1450)
庙	.....	(1450)
祠	.....	(1482)

## 卷十九

碑碣志四	.....	(1516)
寺墓类	.....	(1517)
寺	.....	(1517)
墓	.....	(1547)

## 卷二十

名宦志	.....	(1614)
汉	.....	(1616)
隋	.....	(1617)
唐	.....	(1617)
五代吴越	.....	(1618)
宋	.....	(1618)
元	.....	(1620)
明	.....	(1621)

清	.....	(1630)
附：宦迹举要	.....	(1643)

## 卷二十一

人物志一	.....	(1661)
三国	.....	(1663)
晋	.....	(1664)
南北朝	.....	(1664)
唐	.....	(1665)
五代	.....	(1666)
宋	.....	(1666)

## 卷二十二

人物志二	.....	(1708)
元	.....	(1710)
明	.....	(1716)

## 卷二十三

人物志三	.....	(1751)
清	.....	(1754)

## 卷二十四

人物志四	.....	(1831)
流寓	.....	(1833)

晋	.....	(1833)
唐	.....	(1834)
五代	.....	(1834)
宋	.....	(1835)
元	.....	(1845)
明	.....	(1847)
清	.....	(1848)
方技	.....	(1861)
宋	.....	(1861)
元	.....	(1866)
明	.....	(1866)
清	.....	(1867)
仙释	.....	(1871)
晋	.....	(1871)
唐	.....	(1871)
五代	.....	(1874)
宋	.....	(1875)
元	.....	(1880)
明	.....	(1881)
清	.....	(1882)

## 卷二十五

列女志	.....	(1886)
戚畹	.....	(1887)
宋	.....	(1887)
明	.....	(1888)
寿母	.....	(1889)

明	.....	(1889)
清	.....	(1889)
贤媛	.....	(1893)
元	.....	(1893)
明	.....	(1895)
清	.....	(1895)
贞烈	.....	(1900)
宋	.....	(1900)
元	.....	(1900)
明	.....	(1901)
清	.....	(1902)
贞孝	.....	(1907)
明	.....	(1907)
清	.....	(1907)
节孝	.....	(1911)
元	.....	(1911)
明	.....	(1911)
清	.....	(1919)

## 卷二十六

杂志	.....	(1976)
----	-------	--------

## 卷二十七

诗文内编上	.....	(2027)
文	.....	(2031)

## 卷二十八

- 诗文内编下 ..... (2099)  
诗 ..... (2109)

## 卷二十九

- 诗文外编上 ..... (2179)  
文 ..... (2181)

## 卷三十

- 诗文外编下 ..... (2220)  
诗 ..... (2227)  
诗余 ..... (2260)  
  
《衢县志》跋 ..... (2274)

《衡县志》卷八

# 风俗志

四目

礼仪

习尚

节序

方言

《衢县志》卷八

县人郑永禧纂

## 风俗志

### 礼仪

社会进化，日趋于新。国变以后，心醉欧风。姻事以自由缔合，而婚制破矣。亲丧可任意夺情，而服制破矣。冠冕毁而翦发，拜跪易而鞠躬，文明皮毛也。皮之不存，毛将焉附。幸我民俗尚敦庞，犹有古道存焉。鲁之不亡，由秉《周礼》。果克葆此几希，亦维持社会道德之一端也。兹取冠、婚、丧、祭诸礼之大者，著于篇。

(康熙《县志》)冠，不行三加礼，惟择日命冠。冠已，祀其先而已。

按：此盖古俗，姚《志》因之，然今不见行。大约等于女子之笄。女子当嫁时，加笄，谓之上头，邀亲戚，设宴告别。是夕，女家有坐筵之仪，一如男家新妇入门三朝宴。

(又)本朝谓清代。无冠礼，故并不择日命冠。童子，自五六岁已顶。今制凉、暖帽，如成人，长即因之。至童子试分已、未冠命题，亦止约计其年限，为之区别云。

按：此表揭有清考试之制，姑存其名焉耳。

(康熙《府志》)凡品官婚娶，或为子聘妇，先遣媒氏通书。谓求庚帖。次遣使及媒行六礼。妇至婿家，主人飨燕送者。今俗以新妇之弟送嫁。明日，谒见祖祢，次见舅姑，行盥馈之礼。古用三朝庙见。今于次日行之，名拜二朝。舅姑飨妇，如家人仪。

(康熙《县志》)男家之礼繁于未娶之前，女家之礼繁于既嫁以后。始议婚，先置酒邀媒，必遍迎宗族亲朋之有望者，聚而觞焉。饮讫，而造于妇家以求。又数四往，而后留茶。其始实为问名，其帖曰通名帖。名与茗同音，因借称之。或谓种茶不子，不可移植，故采用之。说见《七修类稿》。继又有下聘之礼，有保亲之礼，有谢媒之礼，名曰花红。有料节之礼。将娶，则又有送日子之礼，有上头茶之礼。亦曰上头担。上头，即加笄。又有随轿巾帼之礼。迎娶送袍，有门堂厨包及喜烛轿后猪等折色，多从丰。若开面包，则些微而已。主人前一夕置酒讌，曰暖轿。暖今作餚。其亲朋之狎者，夕欢饮于其寝，曰暖房。

(又)纳采、请期，悉如常制，惟不行亲迎礼。然婿家当娶妇之夕，先集亲友订于某处相迎，谓之接亲；妇家亦集亲友订于某处相送，谓之送亲，相互曰交亲。两姓各叙揖而别。若在乡及外邑，则婿家于中途置酒筵，亦托亲友至途接亲；妇家亲友，亦送至途，两姓交拜，而后即席，饮讫而别。此礼，惟路远者行之。今多废止。抑亦亲迎遗意也。有投帖者，肩披红彩，持新婿名帖先行。至其订亲，亦颇重门第，媒妁、亲戚有力者为之。

(嘉庆《县志》)婚期，不行亲迎礼。始至，设香烛，令师巫诵祝，即古傧相，后以吉利生为之。大家世族间有用者，今已罕见。撤青庐，即彩舆。鼓乐，婿出堂，行交拜礼，左右女使俗称利市婆。例须双全而多子者为之，非杭、绍惰民妇比，不可以女使目之也。捧宝瓶，扶新妇，跨马鞍背过，谓之平安。抱狸奴，手摸之，曰受笼络。童子秉双烛前导，其

数必以双，谓之四相灯。以红毡或布袋贴地，引新妇入房，互相换易，谓之传代。袋、代，同音借用。却扇后，以小女子二人添妆，曰遮羞。亲朋以是夕各酌酒贺新郎，曰餽房。此为贺房，相贺不已，曰闹房。

按：此俗流行，大半出桃花女小说，传来自越。撮举数事，缀以小诗，亦所以醒迷也。

**双喜筛**桃花女用千只眼，避日游神，持筛先行。俗乃有母猪入笪之说，为其一胎能育多子也。

千眼玲珑拥彩舆，日游神煞远驱除。红笺对角书双喜，浪说追豚赶母猪。

**喜花**桃花女以花冠装作天帝，避金神七杀。今俗翦纸花簇冠顶，令人抢夺之，云可增媚。

巍巍顶上拥花冠，装作浑如天帝般。见说喜花能掩丑，故将红绿满头攒。

**盖头红**俗名方巾。桃花女以帕兜头，避太岁凶神。今以为防熟面相冲也。

绯绯一片盖头红，顶上因防太岁凶。不是娇羞藏不得，初来熟面怕相冲。

**下马平安**桃花女用马鞍制星日马。俗于新妇入门时，持宝瓶，跨鞍而过，谓之落马保平安。

会当日马犯星官，制胜先须压马鞍。手捧宝瓶如守口，喜闻两字报平安。

**传代**桃花女以席贴地倒卷，避黑道杀。俗以米袋杂红毡罥，传换而行，谓之传代。用席者称传袭。

黑道翻成黄道日，定然多子可宜家。洞房贴地新装式，灿出金莲步步花。

**定心镜**桃花女以镜遮面，避鬼昂两星。俗于新人怀中置镜，并置于舆前及床中。

灿灿胸悬一镜明，避他鬼昂二星精。却教三面来相照，不让姮娥载月行。

**撒帐**桃花女命撒碎草米谷，染五色钱，解鬼金羊昂日鸡之厄，即撒帐钱之缘起。俗于方斗置米，并有编钱结帐额者。惟撒帐则用五色果。

撒帐曾闻故事传，鸡羊争食亦骚然。偏将果子纷纷散，反怪空中不雨钱。

**添妆**桃花女防白虎星，呼小姑作伴，谓之伴姑。今日添妆，以指擦粉，点于新人腮边，或谓之画白虎。

白虎当头坐可危，小姑作伴入房来。胭脂恐使雌威发，只许添妆粉抹腮。

(康熙《县志》)娶三日，遍迎妯娌媼姬闺阁，以宴新妇。新妇立，竟席不得坐。此古礼也。入席后亦可坐。进汤必拜，曰画汤。今称换汤。本唐人诗“三日入厨下，洗手作羹汤”之意，故是日宴曰羹筵。羹汤，必用辣辣者辛味，取新之义，犹元旦之辛盘也。统而名之曰待茶饭。待或作代，亦称坐茶饭、坐代桌。每进一羹，新妇必遍揖。客终席后，则谢饭。

按：羹筵之夕，新妇居上坐，左右两行女子必择未嫁者。以次列坐。逊而入席，不似向之竟席不得坐矣，故曰坐筵。设尊不饮，退而后食。更番交代，故亦曰代桌。代作款待之待，其义亦通。坐筵之女，曰代姑，犹伴姑也。新妇出，则代姑入；代姑入，则新妇复出。每进一羹，必更代一次，曰换汤。新妇出，必更新衣；代姑出，必鱼贯成行，交梭入坐，盛饰簪珥，环珮珊珊，以炫其美。观者如堵。此亦乡俗之即于奢侈者。近复夸多斗靡，聚至十余人，或二十余人，数必以偶进。士夫虽欲制止之，无如相沿已久，积重难返也。

或谓此风自瓯传来。惟客入门，酌酒饮在坐者，则在所不许，固较胜于瓯俗。因摘录随园《坐筵》诗二首以证之：

坐中珠翠两行排，扶出新人冉冉来。好似百花齐吐艳，护他一朵牡丹

开。笙歌迢递出云端，洞启重门到夜阑。不是月宫无界限，嫦娥原许万人看。

(又)其女家则有三朝之礼，有满月之礼，有岁时生日之礼。妇有娠，则有催生之礼，必有枣、粽，谓早生也。有外孙三朝满月之礼。女归宁，则有回门之礼。婿上谒翁家，则有待婿之礼。其亲朋曾受聘礼之果饵者，各以簪珥环钿之属报之，则有赠嫁之礼。又以牢醴之仪属贺焉，所以志别名曰待饭，必施之于至亲家。则有点茶之礼。此或糕点之类。主人疲于婿之饔飧，各置酒以分其重负焉，则又有转肩之礼。此皆明盛时，好以仪文相尚，所踵加者也。此俗行之于今，未见有大变更。

按：陈《志》：原以民间嫁女丰于妆奁，故俗多溺女，谆谆戒之。其所列诸节，实有厌其烦重之意也。

(嘉庆《县志》)丧礼：始卒，以六轮经辨生肖所忘，曰批书。今日斗书。亲族致赙如古礼，男免女髽，敛用绵及帛。敛毕，设铭旌，朝夕哭奠。烧早、晚香。每七日，作佛事，客吊，酬以布。过五七，谢孝，衰绖拜其门。

(康熙《县志》)富家始用小殓，停柩中堂，置楮于门，门外设告讣牌，上书“某年月日生，某年月日终”。以七日受吊，累至五七而止。亦有至七七者。其受吊，酌礼之轻重，酬答布帛必稍逾来数，吊者散白布巾。每七日，必作佛事，有至三昼夜者。丧主而下，皆疏食。即宾至，不为具肉。三年不行吉礼。有不得已者，乘凶毕之。

按：《秋雨庵随笔》言：乘凶纳妇，名曰忽亲，又曰拜材头。宋时，民庶之家，祖父母、父母老疾，无人侍奉，子孙居丧，听尊长自陈，验实，方许婚娶。此即所谓不得已之故也。然冒丧婚娶，士夫不忍为也。

(又)凡丧，主例不报丧，仅闻之至戚。昔时，非有身分者不能分

讣。其亲友有抵丧主家者，曰吊面。当作吊唁。吊哭死者，唁慰生者也。有送被之礼。即赙也。或布或帛，以贫富为差。首七，则亲疏皆吊。其仪则香烛、纸陌钱而已，间亦有蔬果馈饷者。惟婿家特具饽面以大杆，杆叉同孟，大盘也。累之曰大斛。

按：大斛用馒首。张师德容曰：“僧家判餚，盖出于《诗》，在泮献馘。馘者，蛮人首也。考：馒首，即蛮首。相传，诸葛亮祭泸水时，取面代之，后人沿以为例。僧家不知其义，浑名之曰泮馘，献于亡灵之前。又误馘为斛，更不可解。”

(又)其葬之前一日，俗曰丧夜。丧家受吊，曰开堂。亲疏毕至，如首七礼。近则较首七尤盛。其鼓乐，亦婿家具之，曰丧鼓，随扛盘大斛，送至丧家。孝女哀絰哭于途。兼以蜂蜡为大烛二，名曰黄烛。以银一函置杆上，即大斛。以馈僧家之主斛事者。事竟，主人以红布或帛覆其上而复之。将葬之前，有分布之例，有做祭之例。此二事不必在葬时，即始七亦有行之者。分布者，酌宗族亲友之亲疏远近，各馈以布，或四或二，布必其精密者。前辈徐之卿先生曾著议，力诋其非。做祭者张筵设席于丧侧，遍邀亲友诸宾，痛饮极欢乃罢，席必盛肴良酝。有不举者，众共讪之，故至今相仍不改。

按：衢俗丧事，自始卒至毕葬，无不用鼓乐者。考：宋庄季裕《鸡肋编》：衢州丧家率用乐，开化县为昭慈太后举哀亦然。今邻郡人皆以为当然，不复禁之。可见此种习俗，在宋已然，不自今始矣。

(又)中人之家，大数半月或月余即行安厝。富家巨族，必需善地，至有权厝数十年，或竟至不葬者。惟生时预卜者，乃择日而葬。葬之日，富家结彩为亭，盛饰仪卫金鼓，遍历街市，谓之迎丧。必有七僧八道导其前。姻戚装饰祭台，极其华丽，谓之路祭。既葬，婿家设酌于墓所，宴送丧者之宾，谓之饮雪酒。皆不知何所取义。

(又)葬礼，皆取裁于弇舆。即堪舆相地者。其时日亦必弇舆。主之一家男女，皆以年命取合。其说拘而多忌。其葬则以砖为椁。姚《志》云：用石椁。今殊不多见。椁中纳地契以砖，硃书之。其言鄙俚不经，大率仿古志铭遗意。古有斩草文书之铁券，或梓木为之。其文硃书，顺一行，倒一行，须令满板，不可空缺，用单不用双。似即此类，非是志铭遗意。其乞有志铭，则反刻而植之。墓外与墓表神道无别。又有油缸置灯椁中，亦仿骊山鲵鱼膏意也。《史记》：以人鱼膏为烛。《正义》引《广志》：鲵鱼，声如小儿啼，四足，今谓之娃娃鱼。姚作鲵鱼。衢虽有此鱼，然未见燃灯者。富家煮秫米为粥，和土以封，有至数石者。其制，有分经，有破土，有喝山，有封山，皆弇舆掌其事。丧家酬弇舆，有至数十金者。

按：丧葬之礼，富家于铭旌墓志以及题主，皆乞名人为之，以为显亲之道，意非不佳也。然皆空托人情，未闻酬有如堪舆之重者。

(嘉庆《县志》)葬后三日，展祭新阡，谓之覆墓。今俗称了墓，又曰燎墓。未了墓前，必以火绳圈其墓，谓之送火种。既了始毕。

按：既葬而反，三日卒哭，古之义也。至此，而亲丧毕矣。陈《志》云：既至墓所，即用吉礼。虽孝子，亦青衣，亦惟此时为然。

(康熙《县志》)岁时恒祭，皆于中堂，即吉礼。宴会庆祝，皆奠而后食。至于追远，惟于各时节举奠，祖先忌辰讳日，子孙不茹荤；诞日则否。间有建祠者，仲春、仲秋，各以羊豕致祀。俗于冬至尤重，有祠者必举祀。

(嘉庆《县志》)祭礼，士大夫岁春秋聚族合祭于宗祠，细民从寝室设龛。凡庆贺燕会、祈祷，皆奠而后食。生辰讳日，各因其祭田之厚薄颁胙焉。元旦、清明、重阳，则有墓祭。端午、中元、中秋、冬至、除夕，则有家祭。今惟中元、冬至、除夕悬祖宗画像，他节则否。疑与昔时不同矣。

按：世俗之祭凡三：一为祀典之祭，如丁祭、戊祭及乡贤、名宦之祭，均有一定之仪节。一为丧葬之祭，开吊有祭，发引有祭，或家祭，或路祭，名为文公礼，实三献而已，甚简单也。间亦有设堂祭者，然不若皖俗之繁，祭必用塔及锦帛牲牢具羊豕不可缺也。又一为族内祖先之祭，春秋飨祀，尚有祭意。若岁时伏腊，不过于家堂荐其时食，略展孝思。惟中元有斋荐，或延僧道，设焰口道场。值生忌辰，亦然。此皆民风之厚者。葬之以礼，祭之以礼，慎终追远，民德归厚，圣贤之训，不可不知也。

今新学家，有举行追悼礼者，是亦祭之遗意。惟在善为文者，表其人之行谊耳。

(康熙《县志》)又有吉礼之大者三，皆举行庆贺。一曰寿，二曰成名，三曰生子。贺寿礼，以猪蹄、猪首、鸡面，曰担盘；举猪全体中分之，以盒并担，及酒二罇，曰猪担。今盒担，惟糕、桃、寿面等物。主人率受其半。亦有罗列锦绣、尊罍、珍玩之属者，主人不受，为观美而已。更有制锦屏、锦幛之礼，或懿亲送之，或主人醵资自为之。一屏费至数十金，幛亦不下五六金。主人受而酬之。其子弟甥婿寿不自祝，必幼小辈署名。于诞前一日，置酒邀客，曰暖寿。亦作餚。诞日觞客，曰治面，原作煮面，后改称治。亦曰生日酒。文其词曰桃觞。子婿孙婿之富者，以银翦寿字，缀以花桃，分饷贺客，曰插花、分桃，亦有并饷豚肉者。贺成名礼，举乡会明经闻报，有贺锦，旋有贺竖旗，则醵资属之主家置酒，曰暖旗。必演戏达夜，多者每逾旬日。入泮，旧无演戏例。然覆试有贺，榜发有贺，迎送有贺。贺有具多仪者，有代以镪者，亦有仅投一刺者。主人即不受礼，亦必置酒宴客。清制，入泮者必蓝衫鹊顶，例由岳家制送，以为得婿之荣。今虽废止，不可不存其说也。贺生子，则三朝、满月皆有馈。又以食品馈坐蓐者，曰送羹。或作送浆，音之转也。周岁，则亲知各醵钱，以人多为

贵，制牌锁诸物，为小儿佩饰，以为众共子之则易于抚育，曰百家牌、百家锁。

此外，尚有移居之礼，曰贺乔迁；新建之礼，曰贺落成，皆糅米粉和以黄白作金元宝及烛、爆等物馈之。若婿家分爨，则厨灶间应用之刀、砧、碗、箸等物，悉出之岳家，亦可怪已。

（嘉庆《县志》）西安旧俗最重阴寿，宾朋往来繁费无等，甚至有演戏娱乐者。顾亦念春秋霜露，怆然于怀，彼独何心乃以亲之歿年为生年易哀为庆宴然受贺耶？且阴寿二字，甚为不典，俗礼相沿，可慨也夫！

按：《秋雨庵随笔》亦言杭俗阴寿之盛，颇以为非。可见彼时之风尚矣。

#### 附录：先哲遗言

徐日久《分布议》 余送柩还自京师，及张秋，而季弟迎至，从容与商丧纪调度。盖深不然夫世俗不情之施、无益之费而曰分布，非礼也。其议省之。弟归而谋诸父兄，则皆不我欲以为是。由来孝子之所以送亲割荣也，省之非是。余曰：“送死，大事也。然非附于身者，为往而不返之物。为人子者，亦有慊然自尽者乎？布于亲，何有分而旋收其值？于有丧之义，又何居乃名是以送终之具耶？”则曰：“凡亲朋奠献，咸以是覩主人意。不则，难乎为进止矣。”应曰：“此正余所以欲省之之意也。《记》曰：知生者吊知死者，伤夫！岂生者趋之使吊，而死者能动之使伤哉？亦因心之所为而已。因心之感，根于畴昔，而生为人事，于是乎有来有往、有施有报，不烦布置而经纬存焉。虽愚贱不敢废，虽圣贤不必强也。今不深维夫宾主先后之节，蓬蓬治具，先务勤施。假使人本有不容已之心而用布以饰之，抑或其虽已之不为薄而将布以招之，则是死生知识之本怀尽为外物遮掩，而不获一伸。如琉璃屏，虽复相见，终有间隔其外貌。所为跪奠陈辞，绸缪往复者，则莫不明知其出于伪为而相率作焉。姑以塞主人之布，伤仁人垂唁之本心，而沿凡俗浮靡之陋习，非不思之甚哉！”则曰：“此家惜费而

又为之辞也。”呜乎！费有于用为滥、于礼为宜者，不足惜。若偏滥偏不宜焉，不惜乎！费有或专于事人，或专于事神。幽明之故，取衷于世风，而明白以送亲为要宿者，不足惜。若神人共疑，止于沿袭而无当者，不惜乎！费有顺理成文，称家调度，古人重之，约以三年之仂者，不足惜。若倒行逆施，不量度而徒揜世人之耳目焉，不惜乎！虽有旧例，余终以此义为据。

徐国珩《婚嫁议》 夫婚姻开万世之始，和鸣卜家，道之昌布。裳瓮汲弥，是修德守约之风；壶酒羔羊，亦征农夫田妇之礼。故崔卢缔好、王谢世姻，本其门素，既尔颉颃，稽厥风猷，复无亏替。又其子弟俊美，弓裘克绍，施衿命往，结褵言归，夫妇瑟琴，甥舅冰玉，斯天作之纯休、相攸之绝畅，其最上矣。次若合迹虽微，先鬼则大，宗支云弱，祖德犹存。乌衣之燕已飞，琅玕之甃无恙。又或族小而豹姿特变，地微而辟角挺生。鸞雀而称快婿，早识英雄；缧绁而托门楣，但求蕡吉。自可俪皮而聘，椎髻而前。既预卜其乘龙，又何需乎种玉？惟夫闔閭、里门、輿台猥质，才同驵侩，行比优伶，不义而拥多金，非偶而依华胄，忘薰莸之同器，冀王满以连姻。于是，彊附搢绅，分光閨阁。酿肥啖其门客，货贿诱其私亲，重賂潜通，誉言日至，遂有灭祖辱亲之辈，敢为渎伦伤化之尤，象齿是营，凤毛靡惜。于是，纳币则翠壁金珠，充街塞路；装送亦明珮白镪，溢篚盈筐。酬媒谢保，百緒千缗。吉席喜筵，连宵屡夕。曾无诗礼，但较芭苴。甚至青蚨暗袖，鸾帙不过虚行；阿堵亲贵，凤占即从口订。偶二姓之菀枯忽变，虽百年之伉俪为仇，怅覆水之难收，悔噬脐而已。晚则世风恶薄，而雅道沦亡矣。吾衡夙号淳庞，素尊门第。盈门有烂，或出韩姞之贻；合巹为欢，不竞金张之侈。乃途日人惟嗜利，俗渐浇漓。爱子不择师而择姻，娶妇不重德而重货。以故此行彼效，日靡月奢。纨绮被于櫈厨，纂组施于床第；嫁者之贍财垂罄，婿家之溪壑未填。或堂前冷面，吹毛索瘢；或稿砧讪讥，执长较短。慨彼于归之妇，顿为饮恨之人。为之父母者，欲倾家而废箸聊慰女心，然露肘于捉襟，遂无生计。明知斗室之盖藏有限，转叹当年之鞠育贻殃。于是，宁就初生，忍心淹溺，听其立死。塞耳号呼，肠已同铁石之坚顽，事实类虎狼之惨毒！智愚甘蔽，人鬼同悲。所冀力振颓风，洞详祸始。念蜎蠕莫不贪

生，况骨肉尤为一体，惟是黜奢崇俭，无徒为崔家笑人，庶几夫唱妇随，克效乎孟光齐案？

**徐之凯《议优》** 古所谓优，非戏也。史传所载，若优孟、优旃、优施之属，多以意托为诙谐滑稽，引悟人主，犹间有谲谏遗意，未尽为荒唐也。至元时，有百种剧，及荆、刘、拜、杀诸剧，而戏始有本。然不知其登场唱演，始于何时？及观《觚不觚录》，乃云今乡里宴会，用优人为剧，士大夫亦有俨然坐而观之者。是戏实始于嘉靖时。然亦尚以为非士大夫所宜预也。呜呼！优之流为戏，亦世道升降之一端矣。然余历观古剧，皆征引古今忠孝节烈事实，少加粉饰而成，犹足使人兴感。乃自明季及今，则镂空炫异、征怪晦淫，无所不至。而士大夫、搢绅里党亦竟不知有昔人所云，而相与共习之。诸凡宴会宾嘉，必以戏为盛礼。都会之区，笙竽钲鼓，殆无虚日矣。然亦未有如吾乡神会之甚者，每岁自春及夏，各以神事相征召，较量丰啬，以为多寡。通衢设供帐，白昼喧闹，充巷溢路。原其始直，由人民繁富之日，邻里族党相与酬酒为欢，以答神贶。而近今物力匮乏，固有迫于成例，无可如何而应之者。夫一剧之费，率三四金，而宾朋牢醴之需、华灯绣幕之具，所耗固不赀，然犹曰楚人失弓、楚人得之也。若夫妇女之会观，童稚之炫惑，士类之嬉游，藏获之不逞，恶少游手狂醉恣睢怒目、攘臂叫呶时闻。盗贼匪类，因之攘窃。是其苦于靡费者小，而伤于风俗者大也。呜乎！此而不节，谁当节者！

**《议服》** 史称谢安性好音律，虽期功之丧，不废丝竹。此似谓太傅贤者，不宜有此；亦似谓太傅固知丝竹之宜废也，而不能自禁，特仅事耳。由此观之，则当时之服期功者，自太傅而外，皆其废丝竹而不御者矣。夫自西晋以来，士大夫皆以放疏任达相尚，然犹兢兢守礼制若此。况今典制修明之日耶？吾乡之废期功不行也久矣。其始服时，稍一变易衣履，继则惟褚上署名有期功一字耳。虽然，此犹其在期功也。三年之丧，余每见乡曲间，亲死从俗，治七以五为度。虽不免杂用佛事，犹有礼意存焉。过此则无不肆然而为之者，是古之所谓三年，今特三十有五日耳。夫非第其哭泣灌奠礼意之尽亡也，凡里党吉凶、宾嘉，变服献酬，惟恐不逮。平居，则饮

食燕笑不异寻常，了无怍色。往时持服书刺，犹必以制字冠之，虽尊严不敢废也。近薄俗，又改以从吉易制字。呜乎！父母之丧，讵可舍之以从人之吉耶？朝而从吉，暮而返凶，持丧者顾可如是之忽去而忽来乎？计其与无服稍异者，惟不御音乐、袭文采而已。礼制之坏，一至于此。古者丧三年不祭，谓其一于悲戚，并祖称之祫祀而置之，而顾乃修繁文缛节，以从事疏逖之人。此何礼耶？人有从释氏教，不茹葷饮酒至终身者，而于父母，曾不能以终月，此又何说耶？虽然，难矣！习俗移人，世风不古，与其严为之绳而愈不可复，不若宽为之制而使其易遵。夫所谓宽为之制者，非变古而徇时也，亦度时之所能为者，导之而使渐近于古也。如宴会不与，仪文不举，游观不事，一也。别其居处，节其笑言，杀其饮酒食肉，一也。若今世之三十有五日者，充之以时以月，则勉强而驯致焉。此皆人之所能为者也。至于期功之丧，不必与之泥古，而但令踵西晋之遗，毋以谢太傅为口实。本此而以类推之，亦庶乎其可矣。此随时从俗，所谓因人情而为之节文者也。

《议寿》 呼诞日为寿，而群祝之，余不知此制昉于何时？尝试考之，古之有祝词，自华封始；其曰介寿，自幽人始。秦汉间，卿大夫饮酒奉觴为寿，亦不过致其敬礼而已，皆不于诞日也。唐时，惟人主生日，特名为节，开元以来尤盛；而士大夫无闻焉。迄今阅唐宋诗词，无以寿诗传者。至元，虞伯生乃有《擘挛生杨老八十双寿》一序。意寿序、寿诗，皆起此时，则以诞日为寿，亦自此时始矣。及览明盛时，名公集中概多寿序，此固其滥觞也。而沿至今日，踵事增华，遂铺张繁缛，而不可纪。余几时，见亲党为人称寿，彘肩壶榼而已；及主人置酒，亦不过一再日而毕，其简易如是。今则陈必重器，馈必多仪，宾从如云，更番旅进，而主人亦厚自矜诩。凡其子弟亲姻里党，相与益侈。其事小而锦帐大，而锦屏绚烂金碧，光彩陆离，博采四方之词章，署列名公巨卿之名字。张筵度曲，动辄经旬。猗欤盛哉！然究之敝财劳神，纤毫无所裨益；只使里巷细民，相夸为观美耳。夫一帐之费，少不下五六金；屏则约略五倍其数。此皆富民有力者为之，自不虞其耗敝。乃合吾郡一岁计之，凡所费汉嘉之金，鹅溪之绢，齐三王之组绣，

不知凡几，奢已极矣！吾即不为其人虑，而不得不为天下之物力惜也！夫财岂必不用，亦贵用之有用之地而已。如以五六金五倍之数，使齐民得而有之，可以充朝廷之赋税，可以周数岁之衣食，可以毕终身之婚嫁。此汉孝文所为重百金之费而辍露台。凡以为天下留有余也，而徒甘心焉。以无益之事而耗之，不亦重可惜哉！

《议释》 吾乡不知有丧礼。其始殡，悉听命于巫祝。入七后，纯以佛事为之。虽学士大夫相仍不改。此荒唐愚陋之至者也。《礼经》一书，大半皆言丧事。其衣服、容貌、辨踊、灌奠、哭泣之节，辨之至详。今一切弃之不问。而有事之日，设坛治具，跪拜进止，悉听诸浮屠指挥，以为此所以治丧也。呜乎！何其谬也。余素不习释氏教，然仿佛其意，大率原本戒定，以虚寂湛其灵明，而空诸所有。即参禅说法，亦止一二微言，使人自觉耳。无所谓超拔、救度之说也。如其有之，而必待人之修佛事以祈求，则佛之于人亦市道矣，乌能度人？且吾乡诸浮屠所为佛事，不特与儒悖也，即其于释氏，亦大相刺谬！鸣铙击鼓，杂沓往来，若歌若号，赞诵纷纶。自命其事曰功德，自侈其所为曰超度。又以米谷画地为诸佛相，而群践踏之，曰波灯。又以饼面盛盂拌荐之以几，曰判斛。鸡鸣而起，夜分而罢。或三日，或五七日，以多日为胜。此皆不知其所从来？而声杂鄙俚，群相习而莫之怪。其与向所言原本戒定、以虚寂湛其灵明、而空诸所有者，不知相去几许，是固释氏之稂莠耳。乃世之人不能辨其有无真伪，而相与惑于其说，是礼经可废，释氏亦可废；而惟释氏之稂莠，反不可废也。何贸贸也！乃亦间有有识者起而非之，然而弗能改也，亦第曰：“吾固欲已之，特恐不免讥刺耳。”呜乎！为人子者，亲亡不能事之以礼，已为先圣之罪人，而反狃于庸俗之讥刺，抑又何也？余曩在桂阳，为先宜人治丧，一举佛事，其地搢绅父老踵门力止之，理直而词正，余甚愧焉。及后改仕秦、蜀，皆无以佛事治丧者。盖此风惟江左浙闽仍之，而吾郡为最。同志者幸相与革除其弊。余且著为治命，以俟将来请自隗始。

按：此文见先生所著《乡校复礼》十议。曰《议文》、《议寿》、《议宴》、《议婚》、《议阴寿》、《议释》、《议优》、《议巫》、《议服》、《议祀》。其议贺阴

寿及诋斥佛事、优人，尤切中时弊。邑人周召为之序，士林耆宿徐从祺梓而寿诸世。兹从姚《志》采录四篇，皆有关于人心世道者也。

先生，国珩子。

周召《丧礼节要》三则 一、丧礼。初终疾病，迁居正寝。既绝乃哭，乃立丧主。相礼司书司货，易服治棺，讣告于亲戚僚友，设帷堂尸床。迁尸，沐浴徙，设奠饭舍。主人以下为位而哭，孝子夜寝尸旁，席藁枕块，男女异室。亲友相厚之人，至是入哭。小敛，举棺置堂中。大敛，凭哭尽哀。毕，妇人退入幕中。盖棺成服，朝夕哭奠上食。主人以下，各归丧次，置灵座，立铭旌，不作佛事。 一、丧葬。三月而葬，不能至六月。六月不能至九月。不用葬师之言。既得地，乃告启期。发引前一日，朝于祖日，晡设俎，厥明迁柩。及行，主人以下，男女步哭从，乃寢乃藏，志石题主。反，哭至家，哭奉神主于灵座。 一、丧虞。虞祭，遇柔日再虞，遇刚日三虞。三虞之后，卒哭。是日，以吉祭易丧祭，渐用吉礼，卒哭。明日而祔期，而小祥，再期而大祥，奉主于祠堂。大祥后，中月而禫。

## 习 尚

应劭作《风俗通》，周处有《风土记》，此皆言风俗书之最古者也。然而习俗移，人无数百年而不变者。视今日之世，何一非古人蝉蜕而来。循流溯源，可以识其迁嬗之所由矣。诚如一变至鲁，一变至道，进而益上，大启地方文化之基。岂不甚善！有心人宜如何发扬而蹈厉之。不然，风会所趋，舍本即末，积新成故，积非成是，反滋为人心世道之忧。兹采取风土合乎人情，类而列之，以为后来者鉴。《记》曰：一道德，同风俗。苟以道德树之型，而风俗焉有不醇者乎？

(唐李华《衡州刺史厅壁记》)吴、越地卑，而此方独高厚。居者无疾，人斯永年。名山大川，既丽且清。俗尚文学，有古遗风。

(宋毛开《超览堂记》)其君子，多亢言而厉行，易知而难狎，犹有古之遗风也。陈、姚两《志》虽引此语，而于原记中已删去。

(《大明一统志》)其名当作民。轻死易发。《汉·志》。其俗悍以果，其君子耿耿好气，敏于事。程俱《保安院记》。有古遗风。《超览堂记》。民淳事简，风俗敦厚。《信安志》。

(《大清一统志》)风土朴野，民俗醇厚。语本赵《志》。士力学操觚，安贫砥行，无越礼犯分、告讦狡狯之事。尤多师范，经师人师后先辈出，故后进人品学问皆有原本，极重试事，以低昂为荣辱，各树坛坫，争自濯磨。顾惜朋俦矜尚意气，农能茹苦食贫，不轻改业。节采陈《志》。

(《浙江通志》)士修礼义，俗尚敦朴。自汉以来，浃洽政化。宋南渡后，士风益竞，名臣迭出。四字，据赵《志》原本增。至今敦行古道，雅尚礼文。君子重廉耻，惜名节。小民畏刑宪，寡词讼。居市者，文而浮。处野者，质而鄙。陈《志》引赵。

(嘉庆《县志》)西安产殖无多，他邑行商者绝少。近时生齿殷繁，食税衣租，颇形拮据。于是，人争驰骛奔走，竞习为商，商日益众。土产纸、木两项大宗，次之水果、粮食、油蜡、柴炭而已。又云人俭质不习工。巧匠作器皿，多取给他处人手。工作，惟江西帮居多。

咸淳《临安志》、《太平寰宇记》并谓衢俗信鬼神，好淫祀。良以人多迷信阴阳。灾异之迭见，故鬼神之说得以中之于人心也。自昔已然，有历久未改者，姑就迷信之端而推演之。

**有星命之迷信** 人一降生，父母即为推算八字。如犯关杀等事，急延道士度关，为幼童解杀。男女婚姻，亦必须八字配合而后定。女造有不佳者，或窜易时日以与媒氏，亦拘忌之过也。他如居家谋事，或不遂意，皆云命运使然。

**有选择之迷信** 无论婚姻、喜庆及出行、开市、起造、丧葬等

事，必须选择吉日良时，并有忌避生肖之说。

**有巫祝之迷信** 端午有符，清醮有符，此普通习惯也。而于疾病时，信之尤甚。轻者，延道士拜斗，送草船，悬竹竿，挂衣其上，深夜叫魂。重者，请蛮师，置阴童，抢生魂，起五枪，翻九桌，种种蛮习。大都乡野之家重祷不重医，率多出此。

**有豫言之迷信** 如求签、问卜、扶乩之类皆是。古时，又有木杓课，占之于除夕，祷于灶神，注水满铛，拨杓使旋，随柄所指，抱镜出门，密听人言第一句，即是卜者之兆，谓之镜卜，又谓灶卜。

**有鬼魅之迷信** 人患病，久不能愈，有疑狐鬼作祟者，由是迁避入寺庙，或求活菩萨，问灵姑，赴阴司，游花园等，皆以人假神为之。

**有解禳之迷信** 年时或书“童言无忌”及“姜太公在此，诸邪回避”等字贴之。小儿夜啼，则书“天皇皇，地皇皇”等字贴之。此不过小小之解禳耳。

**有镇压之迷信** 有石刻“泰山石敢当”五字于巷陌者，有书“一善”二字于门墙，或置吼狮瓦将军于屋脊者。下灶脚，须用福字大钱。营造新房启工时，必书“甲马将军”字样贴于墙址。新房落成，又必延道士镇土而后入。皆所谓镇压也。别有工匠压胜之术，诡怪不经，动成凶宅。

**有祈请之迷信** 如火灾送荧、旱灾祷雨等皆是。凡地方有不顺事，往往禁屠宰、设大醮，申请赦免，以保清吉。近年于四月佛日，合城作祈祷会，藉佛事以补救人心，亦贤达者之所许也。

**有香忏之迷信** 近若九华、明果，远而三清、方岩。每岁秋间，城乡多有集旗进香者。又有临时大忏、遇闻大忏，假某寺院为道场，礼忏拜塔，而诸香头遍处分疏以敛钱者。

**有风水之迷信** 阳基阴宅，均有忌避，必经堪舆师相定，而阴宅尤甚。家有祸福，皆以为风水之所致。是以亲死停柩至数十年

不葬，葬而争地涉讼，以致家破人亡，时恒有之。

**有梦兆之迷信** 此细事也，非若杭俗于忠肃庙、崔相公双吊坟之祈梦，郑重其事。然遇有凶梦，必求所解之。又眼跳耳鸣，亦同此例。

**有物兆之迷信** 凡有大樟树，必构一庙，以为神之所栖。如有伤残，神即示谴。至于闻鹊噪，则为喜兆；闻鸦鸣，则为凶兆，或唾沫以解之。又如狗来富，猪来穷，皆若有占验者。他物有变常度，亦必疑虑百出，莫非迷信之所致也。

此外，如小儿洗澡，母必以手拊其前后，曰：“搭搭心，勿著惊。搭搭背，千千岁。”又小儿呵欠，其母必曰：“千岁。”再则曰：“万岁。”又小儿啼，其母必以最凶恶可怖之人吓之，如王镇恶之类，云可止啼。又人耳热，必曰背后被人谈论；呵欠，必曰远道有人致念。征之古籍，亦有所本。要皆迷信之端也。

**改革后旧式服装** 剪发易服，在晚清时代，风气已开。然惟少数组青年学子留学海外者为之，士夫无有也。入民国后，始大加革改。但城镇为能得风气之先，乡间农夫十余年来尚多未落辫者。婚姻喜庆事，尚有用清制冠服者，抑可怪已。

**天足会纪事** 衢属妇女缠足之风不亚于宁、温各属，而以搢绅之家为尤甚。龙南山中有畲客，畲，音蛇，字亦作畲，多以种山为业。其妇女恒终岁赤足，与男子杂作度食，不与汉族通姻，汉族人亦鄙不与齿。相传为苗民之一种，盘瓠氏后，由闽粤播迁处之深山丛中，渐渐阑入衢境，为苦力作工。衢人以是相戒，目不缠足者为畲客婆，故缠足恶习益牢不可破。光绪季年，曾奉旨严禁，而奉行者甚少。旋经余绍宋、詹麟来等倡设天足会，稟请当道宣示，广为劝导。又集同志多人，四处演说，遂知缠足之害与天足之利，迥然攸别。已缠者每多解放，未缠者率本天然。观感而兴起者日益众。阅明

年，而有女子小学之设，即由此会数同人发起而成立，风气为之一开。

## 节 序

积习相沿，不无所自。查陈《志》所载岁时节序，概循其旧，今或不异于古所云然。人情多厌故喜新，在彼时已觉有合有不合，以物力较之，昔腊一，今腊九，况数百年来变本加厉。姚《志》出嘉庆中叶，渐由俭而入奢，今日尚可问乎？故刺取两《志》，仍从旧历，存其节目，亦留以覩社会潮流之所届也，幸而考镜有资矣。

(康熙《县志》)元旦，先期洁舍宇，设果饵。昧爽，具衣冠，燃香烛，礼拜天地、神祇及祖先，贺尊长，然后谒拜宗族，以长幼为序。及过里党亲旧，交相谒贺，三日乃已。择日上墓，具酒果，挂楮钱。名曰挂纸。(嘉庆《县志》)元旦鸡鸣，先于庭前爆竹，以除恶邪。此出《荆楚岁时记》。或书神荼郁垒贴于门。烧柏叶香，焚利市楮红、黄二色纸。于堂中，整衣冠，礼拜天地、祖宗及门、灶神。原作门户神。今改。长幼以次谒贺，诣里党亲族之门投刺，曰贺岁。忌洒扫，以通草花插粪帚上，呼曰如愿。如愿，事出《搜神记》。不茹荤，食素丝面，曰长寿面。妇女煮莲实汤饮之，曰宜子。客至，以枣汁代茶，曰嘴头甜。

(嘉庆《县志》)立春前一日，官率僚属迎春于东郊，郡守以下皆至，有藉田数亩。出土牛行鞭春礼。按：《鸡肋编》载衢俗鞭春事，谓土牛么麽若狗，不知何时改用纸糊之。小儿各以豆七粒或六粒。击牛角，以禳痘灾。富家作春饼，设夜筵，男女欢讌，谓之享春福。

按：旧俗，迎春东郊外，有以丐儿乔装春官者。曾见《姑苏竹

枝词》一绝云：青旗历历插东郊，打碎春牛球散抛。莫道乞儿贫薄相，暂时纱帽暂时袍。其陋相，正与衢同，足征此风之传来远矣。今礼虽废，其说犹存。

又是日，民间犹有鼓吹送《春牛图》于家者。并于春至之时，具香烛、春菜接春，大书迎春接福或宜春字，即古时春帖也。

(康熙《县志》)元宵，正月十三日起，至十七日止。今俗以十五夜止。惟灯棚点至十八。街市张灯鼓乐，巧者装点故事，制为鳌山，植竹木为棚，悬灯当道。名曰灯棚。俗传新妇穿灯棚，可以得子。又谓之踏灯头。更以纸剪走马诸灯及为龙灯。有布龙，有绸龙。布龙大头，绸龙细甲。爪牙鳞甲，炫燿蜿蜒，周行巷陌。近又增习唱秧歌、采茶诸戏，皆北方谐謔声伎也。虽益侈升平粉饰，然亦近于俚矣。采茶灯及车马灯皆然，大抵以牧牛儿裝作之。 (嘉庆《县志》)富家结彩于门，屋内燃灯烛，照如白昼，演影戏、滚龙舞狮诸杂伎，鸣钲喧聒，合沓堂阶，诙诡万状。既事，各酬以钱，名曰放灯。新婚之家，以彩缯披龙角，名曰挂红。事毕，则送子其家。

清詹嗣曾《龙灯歌》：春霆未鸣春雪封，人间不合腾蛰龙。伊谁作意为雕饰，六街飞舞喧儿童。崭然头角矗尺木，横缠十丈红锦红。双睛已倩子高点，修髯千缕苍于松。金为之而玉为爪，腹藏火齐仍空空。昂首蜿蜒忽掉尾，九霄云彩相追从。领珠在手大如斗，乍起乍落生寒风。蟠膏照灼晃心目，间以鼉鼓声逢逢。香车深夜轂相击，买灯岂计金钱穷。嗟哉元黄久流野，志士高卧南阳中。崑崙关前快张宴，将军果否能奏功。连宵光景动天地，惊愕疑是江东烽。鳌山万仞且休造，作霖但祝年年丰。

(嘉庆《县志》)正月二十日，以菰叶今多用箬。裹粘米为角黍，食之可以已疮。俗以角黍馈年。

(又)二月二日，农家以芝麻、米、豆杂聚，同炒。食之，谓之杀虫。俗谓炒糖豆，杀虫豸。

(康熙《县志》)祈年于里社。是月也，阳气始发。农家以秫米捣为糍，酿酒市肉，祭田祖，先啬俊，余共享，祝是年有秋。此春社也。秋社尤盛。

(嘉庆《县志》)花朝，或云二月二日，或云十二，又云十五。妇女停针线，斗百草为戏。此风已罕见。惟翦幡护花而已。

(又)上巳，采荠菜花，俗呼蚂蚁草。分置床帷、枕簟间，可以辟蚊。

按：东坡《物类相感志》：一云僧贊宁著。三月三日，收荠菜花置灯檠上，则飞蛾、飞虫不投。吴曼云《江乡风物词小序》：杭俗，上巳日，置荠菜花于灶上，可驱虫蚁。田汝成《西湖游览志》：三月三日，男女皆戴荠菜花。谚云：三春戴荠花，桃李羞繁华。知此风行来久矣。

(又)寒食，士女出游郊陌，俗谓之踏青节。今踏青亦并于清明节行之。

(又)清明，食博饂，俗谓清明馃。有抟米粉作五色丸者，形似麻雀子。姚《志》误载立夏节下。折柳枝插门，陈《志》谓榆柳。取火之意，顺阳气也。按：《东京梦华录》谓为介推事。或簪之。有作圈者，唐宫遗制也。《景龙文馆记》：唐上巳被禊，赐侍臣细柳圈，云带上免虿毒瘟疫。食青豆，令人眼明。亦云食青螺眼明，谓之挑青。男女携肴榼上冢，会族人饮饁余，插竹挂陌钱于颠，谓之标青。此惟荆楚间见之，衡不闻是名。祀城隍神，俗谓神出可以禳灾。按：即上巳被禊之意。旗幡剑戟，络绎于道，装饰童子为立竿、即高趨。旧有云梯会。光绪初年禁止。马导诸戏。陈《志》：装演台阁、马导诸戏。可见台阁康熙时已有之。炫服靓妆，备极侈丽。至夜张灯火，翦彩镂花，奇巧相炫。设船灯数座，每座以十人舁之，燃绛蜡百枝，缀如璎珞。内坐舟人，女年十三四，丽容华琚，唱《满江红》，细乐嗷嘈，喧闹彻曙，游人骈肩错趾，潮涌雷轰。

薪炬之赀，动以千计。

(康熙《县志》)陈公有《衢州清明行一首并序》。

府城隍祠踞龟峰上，俗以清明日诸庙神皆来朝谒，竞饰金鼓旗帜，马上歌舞。故事抬搁，更作高屐长人，分队而出，遍游街巷，男女杂沓。旁午，随城隍神出北关外，主郡厉坛祭祀。衢人酬愿忏罪者，皆垢面枷杻囚服，执香拜祷，岁糜费以千百计。予莫之禁云。

灵龟负山作人语，左挟苍龙右金虎。玲珑碧殿排玉衡，鸣钟击鼓山都舞。星冠剑佩罗紫庭，共乘天驷谒府主。千行宝骑悬霓旌，金错凤凰银麒麟。瑟瑟明珰簇羽盖，霞旗画戟森纷纶。电闪虹流走突兀，狞齿拳毛炫朱发。鎗甲将军丈六长，屐踏空空战难歇。移春槛上童儿群，绛袍绿幘芙蓉裙。拍板霓裳万乐奏，各逐诸神朝使君。使君奉命祭城北，野旷坛阴昼夜黑。鬼雄咤咤鸣向人，毅魄嚙嚙泣成血。衢人三月桃花红，囚人桎梏行街中。博山薰天步泥首，自言忏罪邀神功。村巫醉饱跣足跳，纸钱窸窣灵衣导。春云沉沉雨欲来，角声吹裂酸风啸。

按：此会延长至十日。原有六门九行宫，今增为十行宫，钞库前添设中央行宫。分迎城隍神。每行宫一日，袍服各炫，灯彩争妍，动辄通宵。观者喧阗，有万人空巷之象。相传闰年尤盛。因思宋高祖知衢州，俗尚巫鬼，民毛氏、柴氏二十余家蓄蛊。值闰岁，害人尤多。赋悉擒治伏，辜蛊患遂绝。或当时遇闰岁，蛊出惑人，故假神道以驱除之。后人踵事增华，因成习俗。今鲜有知其源者，姑志所疑于此。

(嘉庆《县志》)立夏，早晨，饱食鸡蛋，噉笋尖，名脚骨笋。谓之撑夏眠。俗不作立夏饼，惟食烧饼，又食青梅、樱桃。大小男女悬秤称之，各记其轻重，谓之免灾晦。原记在端午节，今改正。

按：钱思元《吴门补乘》：立夏日，家家以大秤权人轻重。蔡云《吴歛》云：风开绣阁飚罗衣，认是秋千戏却非。为挂量才上官秤，评量燕瘦与环肥。即谓此也。

(康熙《县志》)四月八日，造青精饭相遗，谓之送乌饭。或糲，或糕。大都母家馈给其女。(嘉庆《县志》)俗以是日为牛忌日，牧童各采花簇牛角，嬉游田野间，薄暮始归，谓之放牛假。此惟行于乡间。

按：是日亦为周宣灵王神诞，沿街演戏，直至五月方已，谓之周王戏。郑桂东有《竹枝词》云：送余乌饭乐宽阔，演戏迎神遍布市闉。妙舞清歌人不解，乡风贪看乱弹班。盖纪实也。

(嘉庆《县志》)四月多雨，禾苗易烂。田家女子剪纸缀人形，挂檐头，谓之扫晴娘。钱思元《吴门补乘》有此名，今已罕见。

(又)端午，悬蒲艾于门，妇女作茧虎戴之，造九子粽。即角黍。然角黍形尖，九子粽则有果馅，颇各别。泛雄黄昌歇酒。小儿以彩丝系臂项，曰百岁索。《荆楚岁时记》谓之长命缕，缀以小香囊，如鸡心。按：《清嘉录》载有健人骑虎、雄黄、荷包、囊绒、铜钱、老虎头、老虎肚兜、独囊网蒜及五色长寿线，皆为小儿女所需。衡俗，昔时多有之。佩赤灵符，以辟恶延年。《清嘉录》有天师符、五毒符。衡俗，例由各庙分送，悬贴门窗间，无佩之者。

按：衡俗，于五日家悬钟馗画像。考：钟馗，相传出于唐逸史，明皇梦见，命工画之。《五代史》：吴越钱倧立，岁除，画工献《钟馗击鬼图》。《杨升庵外集》又有《除夕嫁妹图》，并见《梦华录》，皆以为除夕事。今民间腊日犹有丐儿纱帽持剑作跳钟馗者。不知何时移于午节？古人见咏于诗者多矣。

李福《钟馗图》诗：面目狰狞胆气粗，榴红蒲碧座悬图。仗君扫荡么麼伎，免使人间鬼画符。卢毓嵩诗：榴花吐焰菖蒲碧，画图一幅生虚白。绿袍乌帽吉莫靴，知是终南山里客。眼如点漆发如虬，唇如猩红鬚如戟。看彻人间索索徒，不食烟霞食鬼伯。何年留影在人间，处处端阳驱疠疫。呜呼！世上魍魎不胜计，灵光一睹难逃匿。仗君百千亿万身，却鬼直教褫鬼魄。

(又)六月六日，曝衣晒书，不生虫蛀。浴犬于河滨。俗呼是日雨为狗毛雨。

(又)伏日，取神水造酱，麦曲、米、豆腌黄，此名酱黄。加盐曝之，经岁不坏。

(又)七夕，女郎望月瞻斗，陈瓜果，罗拜中庭，穿七孔针以乞巧。陈《志》谓：不行瓜果，乞巧之事近亦罕见。惟拜七姊妹则恒有之。小儿以五日所系彩索翦之，裹以饭，送置屋上，谓鹊含此布桥，使牛女相会，名曰助鹊桥。

(又)是月大傩，立桃人、苇索、沧耳虎等，以逐疫鬼。此病家祈禳之事，非傩也。傩名清醮，以道徒五七人，金铙鼓角，送纸船，出河烧之，以为逐疫。

按：《文选》载，阮瑀为曹公作书与孙权，言赤壁之役，遭离疫气，烧船自还，以避恶地，非周瑜水军所能抑挫也。今俗以烧船为逐疫，岂效曹公故智乎？亦可怪已。又《周礼》方相氏之职，黄金四目索室而逐。今四乡尚有用蒙供之面作种种怪状者，或曰即古方相氏遗意，见者为之一噱。

(康熙《县志》)中元，俗称鬼节，设斋素以祀其先。是日，里民集浮屠修焰口道场，为盂兰盆会，亦有夜放河灯者。(嘉庆《县志》)装叠纸镪成筒，外号封识，谓之烧包。俗称封筒。他处亦曰冥袱。

清刘佳《中元曲》：钉盘罗列篆烟霏，画像家家尽祭仪。刚是城隍神过后，纸钱如蝶作团飞。岭月初升夜色凉，秋声一径送啼蛩。最怜携手娇儿女，绕巷沿门插路香。野冢累累接短桥，碧芜极目总萧条。孤魂坛外凄凉月，箔绽成山彻夜烧。

(嘉庆《县志》)八月望日，俗呼中秋节。家买菱芡、梨、藕、石榴，并市月饼等物，厚相馈遗，曰送节。邀宾朋登楼临轩，喧饮达旦，曰赏月。小儿女釀钱具糖米果茶环供月下，曰拜月。婆偷摘瓜芋，以

衣襟囊之，送新妇家，曰献生子。亦有具鼓乐送子者。

(又)秋社，各乡祠庙为会祀神，舁神像出游，以隆报赛。有演戏者，不拘定社日。

(康熙《县志》)重阳，置酒登高。姚《志》谓：游鹿鸣山。其地有登高亭，经重建，又圮。以秫米酵发之，杂以果肉，蒸为糕，姚《志》以为牡丹糕。今不闻是名。以会宾朋。习礼之家，以是日前后省墓，祭以时食。

(嘉庆《县志》)十月十日，迎厕姑。彩衣一、绣履一，覆大被于箕上，数女子舁至厕所。一女子祝曰：“请大姑。”一女子答曰：“家事忙。”又祝曰：“请二姑。”答曰：“洗衣忙。”又祝曰：“然则三姑可乎？”答曰：“来。”舁之归，以金钱掷之，成卍字形，即为得巧，如乞巧故事，号金钱卜。

按：此即迎紫姑之故事，不拘在十月十日。《荆楚岁时记》在正月十五日。小姑可出于厕边，或猪阑边，迎之，捉之，觉重是神来也。俗云：厕溷之间，必须净，然后至。紫姑，厕神名。《异苑》亦云：世人以正月十五日迎紫姑于厕间。然不闻有三姊妹者。或谓即《封神传》云霄、琼霄、碧霄，赵公明妹，随兄助商拒周，后子牙封为坑，三姑娘执掌混元金斗。夫所谓混元金斗者，何物也？或曰粪桶也。果尔则与《岁时记》紫姑之说又差异。总之，一小儿女游戏之事，不必求其实也。

(又)冬至前一日，俗以为冬除日。又谓冬夜。设家宴，男女围炉欢饮，燔柴于庭，谓之旺相。

按：《老学庵笔记》、陈师锡《家享仪》谓冬至前一日为冬住，与岁除为对，盖闽音也。读《卢项传》，知唐人冬至前一日亦谓之除夜，音如《诗·唐风》“日月其除”之除，直虑反。所谓冬住者，冬除也。则衡俗冬除夜享宴之说有自来矣。

(康熙《县志》)冬至，祀祖先于宗祠，长幼咸集，以次罗拜。拜毕，受胙。其外姓不行拜贺之礼，惟官师仕绅行之。近民间亦有拜贺，并互拜祖先之例，然较之元旦不过十之二三而已。姚《志》：但云称贺，如元旦仪。故俗有冬至大如年之说。今此礼久废矣。

(又)十二月初八日，僧寮以五谷米，杂诸果、菜，煮粥供佛，延居士食腊八粥。(嘉庆《县志》)腊日，煮赤小豆，沃以米汤，分啖之，亦名腊八粥。

按：《东京梦华录》：十二月初八日，诸僧寺送七宝五味粥于门徒斗饮，谓之腊八粥。一名佛粥。陆放翁诗“今朝佛粥更相馈，反觉江村节物新”，即谓此也。今此俗自徽人传之，亦未闻有供佛者矣。

(嘉庆《县志》)丐者扮钟馗，手执木简，鸣锣跳舞，沿门乞钱，谓之打夜狐。亦有跳灶王者，装作相似，唱词各别。打夜狐之名，亦不闻矣。

按：吴自牧《梦粱录》：入腊，街市即有丐者，三五人为一队，装神鬼、判官、钟馗、小妹等形，敲锣击鼓，沿门乞钱，呼为打夜胡。在宋时已然。始于月朔，届除夕而止。亦谓之跳钟馗。周宗泰《姑苏竹枝词》有云：残须破帽旧衣裳，万两黄金进士香。宝剑新磨堪逐鬼，居然护国有忠良。此与衢俗相同。

(又)腊月二十四日，祀灶神甚谨。今多于前一夕行之。虔祷以迎吉祥。不荐酒，惧其醉也。輦下岁时记有醉司命事。钉胶饧于灶门，夜燃灯灶里，谓之照虚耗。据《乾淳岁时记》，除夜明灯床下，谓之照虚耗。今俗，除夕，虽暗室必燃灯，亦即此意。姚说出《琐碎录》，然非事实也。扫屋尘，谓之除残星。《月令粹编》引《嘉定志》名曰除残。今俗扫尘必于祀灶前。

按：《姑苏送灶竹枝词》有云：送君一盏油灯挂，扫却灰尘上碧天。衢俗亦然。考之吴穀人《新年杂咏小序》：杭俗，名竹灯

盏，曰善富。因避灯盏盏字音锡，名燃釜，后又为吉号，易燃釜为善富。腊月送灶，则取旧灯载印马，即灶神印像。穿竹箸送之，是名善富箸。善富之名，人多不知，故特表而揭之。

(康熙《县志》)除夕，陈设祖先像。此节姚《志》删去，非是。易门神桃符，烧火炉，放爆竹，骨肉团圞坐饮，谓之守岁。近循北方礼，亲姻卑幼，亦有登门辞岁之例。(嘉庆《县志》)妇女翦彩楮为和合、寿星、金鱼、八卦诸形，以绳贯之，缀以杂果，挂窗户间，谓之百事大吉。即彩胜。以甘蔗挂门，谓之节节高。吴曼云言：杭俗，除夕封门，束甘蔗树之门侧，取渐入佳境之意。别以冬青、柏枝、芝麻萁插于檐端，名曰节节高，与此不同。为角黍、枣糕，分饷亲串，曰馈岁。亦曰送年。备牲醴，放花爆，祭赛天地，曰谢岁。设天地香案，供青龙神马。至年初四，焚送之，亦曰谢年。设肴蔌，相聚酣饮，曰饯岁。合家团聚过年，为年夜宴，简称吃年饭。以瓶饭供献天地，插柏枝其上，又留其余者，为新年饭食。尊长选大钱数十枚，分赐子孙，曰压岁。多至百文为度，亦曰百岁钱，置之卧所，是为压岁。以柏叶刺或加松枝，燃薪满盆，曰暖岁。暖通作餚。是日，有鼓吹登堂，亦曰餚年。骨月团坐，达旦不寐，曰守岁。俗称长寿夜。

陈圣洛《衢州竹枝词》十六首：新年箕帚戒持操，红蔗支门节节高。贺客不须亲见面，年糕腊酒递相招。元宵锣鼓闹声稠，百戏鱼龙杂沓游。穿得灯棚宜子息，小姑相伴踏灯头。今年上巳喜晴明，菱角塘头听晓莺。转过保和楼外去，城隍山上看风筝。台阁今年胜往年，家家门首挂缃帘。谁知轻薄王孙眼，更比春风十倍尖。云梯高步欲凌云，长股争来海国民。策蹇小儿须鬓古，焦侥原是老成人。声声布谷啭青杨，保罢田禾好插秧。愁杀黄梅连日雨，屋头高挂扫晴娘。新秧初绿麦未黄，里胥下县正催粮。丁男当差老翁病，阿妹应门罗酒浆。乌饭搓团饷阿爹，村中黄犊尽簪花。爱他出力胜儿女，耕得深田饱一家。看得吴蚕才半筐，家家也供马头娘。茧成不用缫丝织，细翦新花插鬓旁。飙轮何处响淙

涼，急水滩头置水春。搗得香粳如雪白，不施人力信天工。木奴一夜著新霜，屋角金丸颗颗香。摘取头红不肯食，唤船装载下苏杭。苏姥滩边古渡头，枫林乌桕逗深秋。牧童供爨扫红叶，风雨欲来闻唤牛。冬冬社鼓响前村，却喜今年暂饱温。计亩输租余稻种，课儿馆谷有鸡孙。荞麦花开霜满天，阿公阿姑夜不眠。去年布袍犹未赎，今岁冬衣那得棉。团圆棵热点沙糖，涤釜移薪谢灶忙。但愿口头甜似蜜，只将好事奏天堂。姑蔑山城斗样宽，田多硝萃水多滩。饥人每念观音力，惯把泥沙当顿餐。

## 方言

方言大都因水土而别，有清浊之不同。衢之发音，半由轻唇，牙音次之。惟吴鱼字音从鼻出，有特殊之点。然城与乡，有若径庭。四乡，又各因其区域之所近而差移。或曰乡音，本土音也。宋元时，名流硕彦，多侨居衢城，故有文言参杂其间。句语清晰，闻者易解。兹略加诠释，不斤斤于扬子《方言》例也。

### 名词

#### 天类

天行之日，曰日头，日音读如业，下同。亦曰太阳。

时日之日，曰日子，又曰日甲。据干支而言，古义也。有前音如贤。日、昨音如闸。日、今日、明日、后日等名。乡音谓日，近似讷。前日之前，谓大前日。即上前日。后日之后，谓大后日。即晚后日。

黎明，曰天亮，《杨公笔录》：浙谚云：雨下畏天亮。亮即明也。乡音称天光。故谓早稻为天光早。又曰五以鼻音呼之，为鱼上声。更。音将。五更二字指早晨，意较天亮为晚。或加早字，为五更早。故食早粥，曰吃

五更。半午前，曰晓日中。正午则曰日中，又曰中饭边。过午，曰饭后。以饭定时，岂《尚书》“食哉惟时”之意乎？晡时，曰点心边。晚，曰黄昏。稍早为边稍，迟为底。又曰煞黑边，又曰乌阴底。阴，一作荫。

夜之初更，曰定更。更音读如金，下同。二更至五更，则数之曰二更鼓、三更鼓、四更鼓、五更鼓。更皆读为金，或为几记鼓，又云几击鼓。

乡间谓午前，曰豆前。前字音近似许。午后，曰豆罢。乡谓稻为豆，稻花以午时开，借此定名，亦乡人重视五谷意也。

云，曰云头。

月，曰月亮。见李益诗。

雾，音如暮。

霞，音如牙。音衙。

下雨，曰落雨，乡音曰腾雨。腾，当为坠音之转也。

乡音呼天暖，曰炖，《方言》：炖，赤貌也。注：火盛炽之貌。又曰烘。音读为哄。

虹，读去声，音降。乡亦呼作螢。音吼。

雷，曰雷公。

电，曰忽闪。意亦同扇。

夏多雨，曰霉，实为黄梅之梅，亦作徽。

秋夜银河，曰河西。一作荷西。乡社会设供，具五谷、酒、果，曰摆荷西，不知何义。

冬日云阴欲雪，曰乌风冻。

霰，曰雪油。音又。雪珠，曰雪子。

积雪不化，曰雪不烊等雪娘。谓将再雪也。

冰冱，曰冻，乡音曰胶。音教，稍偏如沼字音。

檐冰如玉柱，曰壶铎。有音无字。

## 地类

可耕之高地，曰埂。音梗，乡间土音。

田塍所界，亦曰埂。义或为塉。

地中有深坎贮水，曰井。此古井字，今假为坎窔之窔。

水所钟，曰瀛，亦作溢，省为盈。四乡以此名地者多矣。

阴沟，曰瀛沟。其水所出，曰瀛洞

壠音昏，乡音读如烘。菜壠，即菜圃也。茅壠，即茅厕也。字亦作圃。古书未见。

山尖突起，曰峰。分水处，曰岗，实即冈字，读去声。亦作降。其平处为坪，音如并。凹处为洼。音转为涡，又或作窈，变为坳。

曲而深者为坞。亦作鴻，即邬字。

山坡甃石有步可行者，曰踏步，亦曰踏道。凡上下有阶级者，皆同。

田坂之坂，乡音呼为蓬。

石坡光洁不生草木者，曰塔坛。

泥土之泥，音如严，乡音如涅，转音为惹。以土音读。

泉水，曰濂，音读如善

水，音为汝，乡音如女。

火，乡音作毀。

## 人类

呼父，曰爹，低，亚切。亦有呼伯伯者。亦作爸爸。通常相谓为老子。呼祖父，曰爷爷，亦单称爷。转音为呀。曾祖，曰太公。

呼母，曰姆妈。《广雅》：妈，母也。乡间或呼曰姐。《说文》：蜀人呼母曰姐，本有母义。后假为女兄之名，同姊。通常相谓为娘。后

母，曰晚娘。晚，读如慢。呼祖母，曰妈妈，或单称为妈。读平声，如麻。字或作嬷，作嬷。曾祖母，曰太婆，亦单称太。

伯父，曰伯伯，或分行呼之。伯母，曰伯娘，亦曰大音如杜。娘。

叔父，曰叔叔，或亦分行呼之。叔母，曰婶母，或重言之曰婶婶，与叔叔同。

姑母，本为姑娘，连呼之为娘娘，读上声，音如仰。年长者，曰姑妈，亦曰娘娘，音仍如仰。

祖姑，曰姑婆妈。

祖太姑，曰姑太。

兄，曰哥哥；弟，曰弟弟，或分行呼之。兄，况也，俗谓兄曰老况，读如赏，义同覩。兄之妻，曰嫂，或连声呼之，或分行呼之。嫂呼夫弟为叔。本于《礼经》。

母之兄弟，皆曰舅。其妻，曰舅母。

母之姊妹，为姨母。长者称大姨娘，幼者称小姨娘，亦连呼姨姨。音转去声，近似异。庶母称姨，言与嫡母若有姊妹之义也。或曰姨为如字之转音，于义亦通。

妻之父母，为岳父母，尊称丈人、丈母。或云泰山下有丈人峰，因名。

妻之兄弟，亦曰舅。舅之妻，为舅嫂，或亦以舅母称之。

婚姻两家，互称曰亲家。亲读去声，音庆。亲家母，亦曰亲母、亲婆。此亲字仍为平声。

两婿相谓为连襟，称大、小姨夫，亦以长幼别之。

姊妹之子，曰外甥、姨甥，亦通称外甥。

此下悉以一表字呼之。俗云：一代亲，两代表，三代全不晓。又云：一表三千里。言愈远也。

小儿为孩，亦曰牙儿。音倪。言如萌芽初生也，又谓牙牙学语

也。字当作磼。《集韵》：牛加切，音牙。吴人谓赤子曰磼磼。亦作磼。

今俗谓始生之孩，曰毛头。

代客买卖，曰牙郎。牙字本作牙，即互字。古为互市郎，变为互市牙郎，今单称牙郎。

商贩，曰客人。音如雀银。有山客、水客。

外宾，曰人客。音同上。

妇人，曰堂客。闺女，曰小娘。年长者，曰大音杜。小娘；年小者，曰娜妳，亦曰小姨姨。《说文》：姨，色美也。言其娇小可爱。作妹妹，非。

称寄父谓寄养之父，俗又有寄拜他家香火为干儿者。曰干爷、亲爷、老爷。称寄母，曰干娘、亲娘、老娘。对于乳公、乳母，谓育儿者。亦同。

店东，曰老板。疑板为贩之转误，系老于贩运之人。

店友，曰伙计。徽人则通称之为朝奉。

医士，曰郎中。

堪舆师，曰地仙。

身材之长者，曰长子；短者，曰矮子。

耳，曰耳音你。朵。重听，曰聋子。

目，曰眼音如岸。睛。近视，曰眯觑眼；眼多白，曰白子；瞽，曰瞎子；乡音夹子。视不明，曰矇矇亮。

鼻塞，曰鼈鼻。《集韵》：鼈，乌貢切。《埤仓》云：鼻病也。

缺唇，曰缺子。

口难于语言，曰吃子。吃，音葛。《史记·韩非传》、《汉书·周昌传》并作口吃。俗误为哈。不能言，曰哑吧子，亦简称哑子。

齿露于唇外，曰龅牙齿。《集韵》：龅，步化切。齿出貌。

女人挽发为髻，曰头髻。《玉篇》：髻高髻也。或云当如总笄、总角之总，非是。

小儿翦圈于顶，曰刘海圈。雏尼多作此妆束。女子额发未齐者，亦谓之前刘海。

初生婴儿留发护脑，曰囟命搭。

小女子梳髻于两旁耳边，曰搭耳音亦如你。

项，曰项颈。

肩，曰肩膀音榜。衢于手膀、力膀、膀子头，皆用此字。与膀胱之膀，义别。

背，曰背脊。

背曲而若有臃肿者，曰驼子。如驼之有峰。

足跛，曰跷子，跷亦作蹠。或曰蹠脚。蹠义同蹇，若颠仆然。

夜睡，曰困觉。《月令》：广义俗谓眠曰睱觉。音教。

早起，曰爬起。

小睡，曰一寤。音忽。

## 物类

门外有竹篱者，曰笆篱门。

院子，曰天井。

屋檐挑出于外者，曰撩檐。

檐际有灯垂下，曰长寿天灯。亦有点于路口者。其灯上或书南北斗及三官、观音等佛号。

墙角高耸者，曰鳌头。

格檐溜水者，曰水枧，亦作笕。山中引泉水者，亦同。

阶沿出水，明曰阳沟暗曰阴沟。

打油者，曰麻车。挤油具，曰榨。见《唐韵》；又压酒具也。此

义《广韵》作醉。今俗以人多拥挤为榨，即本此义。

春米杵臼，曰碓头。今俗，与人不合，亦谓碓头，有冲突之意。

厅堂供于上者，曰香几桌。古时，以供香案者也。长连者为供桌，设供品者也。坐八人者，曰八仙桌。坐四人者，曰四仙桌。团坐者，为圆桌。独脚者，为金鸡独立桌。可分可合者，为和合桌。

椅有纱帽椅、笔管椅、醉翁椅、太史椅、美人椅。此类甚多，不胜枚举。

酒壶有耳者，为酒注，亦作酒持。

杯，乡称为钟，又曰盏。

箸，称曰筷。此字不典，但从快音。乡音仍为箸。一作筋。筭菜为筭。《文韵》：筭，亦箸也。义同挟。

瓢匙，曰调羹。

锁钥之钥，称钥匙。

火锅，曰暖碗。

火炉，曰风炉。

熨手之火笼，曰火熜。音聰。亦作燧。《广雅》：炬也。一曰温也。省作熜。

烛，曰蜡烛，乡间曰油烛，又曰皂烛。

鞭爆，曰爆仗，爆竹音转。亦曰百子爆。俗作火爆。

地上堆积尘垢物，曰攢𠀤。《广韵》作此二字，和杂也。上音腊；下音𠀤，入声。俗作垃圾。或假龌龊字为之。《广韵》别作邋遢。物之不净者，义同。

扫帚，曰苕帚。

盛土器曰坌斗。《说文》：坌，扫除也。《广韵》：音畚。乡间谓之畚斗，音本。《左传》称畚筑，与坌稍别。今俗称粪斗，殊非。

算数：

一。为单独之义，又为统概之词。惟行辈第一称老大，曰老一。

二。音义。推排各数，则为两。

三。

四。音读如戏。

五。此读鱼，上声，以鼻音出之。乡音如卧。

六。

七。

八。

九。乡音读如苟。

十。

廿。二十相并为廿，音作念。相传吴王女名二十，故为讳二十为念，见《韵鹤轩笔谈》。

卅。音飒。《说文》有此字，云三十并也。《广韵》：卉，三十也。今作卅直为三十字，俗于簿记中往往书此。实古义也。

卅。四十并也。与册同，实古文庶字，见《汉孔和碑》。今人用此者鲜矣。

百。音近似必，如土音柏枝之柏。

千。

万。音曼。十千为万。然计数者，多云几十千，不云几万也。

不定数，曰几个。

浑举数，曰两个。

极多数，曰许多。许或作庶。

极少数，曰些小。亦作稀微。

数钱以五计数，曰一花。

积钱满千，曰一串。古作一贯。

## 动词

分开，曰拍。故兄弟析产为分拍。质剂书分出若干分，亦曰

拍。音近似擘。

凑合，曰拢。凡物品成，谓之抖拢。舟人泊船到岸，亦曰拢船。

手携物，曰拎。《玉篇》：音零，手悬捻物也。今音近丁。

以手捻鼻出涕，曰擤。音虎梗切，读如很。俗谓擤鼻涕。

以手击物，曰掴。《唐韵》：音确，鞭声。俗谓掴脑别子、掴潮烟筒，当即此字。

以手扯物，曰撕。音雌。《诗》“斧以斯之”，亦离析之意。

摔物于地，曰兜。字作丢。扬子《方言》：一去不还也。作丢非。

今俗亦曰甩，或音豁，或音惯。甩亦吊为箱甩、蓝甩字，然字书未见。

抛物于空中，亦曰兜。

行路转曲，亦曰兜。故山行便轿名兜子。

倚物曰戤，音该，上声。

悬物于绳，曰縕。《玉篇》：音丁了切，俗以悬物字作吊。

补衣，曰叮。《字汇》：补，都汀切音。俗亦谓之打补叮。

衣肩，曰祐，音托。《说文》：衣衿也。《广韵》：开衣领，俗谓托肩。

无袖衣，曰背搭。《敬止录》：古谓之背子，又谓之搭护，故合为背搭。

浆洗衣服出清，曰汰。音徒盖切。《说文》：淅滌也。故俗谓之汰衣裳。土音如代，与淘汰字别。

向干，曰晾衣裳。晾，音朗。字书未见，疑即景字之变。《诗》“泛泛其景”，叶音读举两切，其声近似。

去渣出汁，曰滗。音笔。《广韵》：滗，一曰去汁也。

阉鸡，曰骟。本音扇，读如线。阉猪、阉猫，曰劁。本音队，读如登。《正字》：通骟，割去势也。《肘后经》：骟马、宦牛、羯羊、阉猪、劁鸡、

善狗、净猫，皆同此类，故亦通称。今惟骟鸡、劁猪为普通法。牝猪则为抵，不令其孕也。

燶猪，曰燶。亦作撢。读如推。《集韵》：以汤除毛也。鸡、鸭他物，亦可曰撢。

炉起火，曰燉，音艳。添火曰爌，音相。吹火，曰煽。

挑灯，曰掭，音忝。《容斋五笔》谓：挑剔灯火之杖，曰掭，俗谓掭灯棒。

食饭，曰喫。《说文》：喫，食也。俗作吃，误。北乡谓食，从亦声。

与小儿食为喂，音读作与，乡亦曰饲。

饭送口，曰划。言如船之划，进也。

茶酒，曰呷。《说文长笺》：吸而饮，曰呷。

以舌试物，曰舔。《说文》本作𠙴，亦作丙，象舌外出之形。《孟子》书作恬。

餐饭为顿，每日三餐为三顿。杜诗“顿顿食黄鱼”，即此意也。

乡人说来为厘，或作利音。下为户，皆有古音。

## 代名词

自呼，曰我，乡音曰卬。《尔雅》：卬，我也。读如《诗》“人涉卬否”之卬。又曰侬。古诗歌自称为侬者甚多。合为卬侬。又转别曰吾，音为衙。读如“执金吾”之吾。

私己，曰自家。合众，曰大家。

对人谓，曰你。读泥，上声。《通雅》云：爾汝而若，乃一声之转。爾，又为尔，尔又作你。《说文》：尔从入变，从人作尔，加彳作你。俗书作你。

谓他人，曰其，即彼也。如《诗》“彼其之子”。读平声。四乡称

为伊。

指彼，曰彼格。彼，音如必。指此，曰个格。犹这个也。

问何人，曰那个。

地有所指，曰彼里、旁里。乡音曰彼落。落有处义。

人有所指，曰其能，乡音为渠依。古乐府有《懊侬歌》，《六书》故云：吴人谓人依，即人声之转。瓯人呼若能。今此音亦同。渠转为其，故谓其能。

泛指物件，曰东西，乡音呼作里舍。

## 助词

哗，惊讶之词，亦曰哗刺。

唉，读哀，上声。《说文》：磨也。又读平声《史记》：范增曰：“唉！竖子不足与谋。”叹恨之声。

呸，音丕，读如配，啐声。

阿唷，疑讶之词。

是麼、音末。好麼，皆问词。

是格、好格，皆应词。

曷音如瞎。等，即何故也，疑词亦问词。

乡音曷曷，转变为憨憨。苏有憨憨泉，此二字为无知之貌，其意似不能解也。

问何物，曰要此什么二字之短音，读沙，上声，非玩耍字。东西，亦曰要里，乡音为假里。假犹假若、假设之词，当用重舌音读之。杭人所谓假格者，即此字。按：假与遐通，何加切。《诗》“传遐”，何也。亦转音为格。吾乡正合此音。

如此，则曰这等，这，读为格，音亦作者、作只。或曰个样。

这些、这点，皆对物而言。

## 语词

盈余，曰赚音栈。钱。

亏折，曰蚀本。

博之胜负，曰赢、曰输。

拚一掷，曰孤注。

计赢而抽采，曰头钱。总其事者，曰头家。《吹景集》：博戏者，立一人司胜负，曰头家。

不用钱而以筹计数，曰筹马。意与天平之法马同。

得有好处，曰舔糖拇指。拇指，音如牧竹。

作事艰难，曰尝辣汤，亦曰吃苦头。言辛苦之至也。

凭空生事，曰发潮风。

藉端滋扰，曰起花头。

诈财，曰捉鹅头。语见《日知录》，鹅一作讹。

为人排解，曰打圆场。

有挟而求，曰捻酸鼻。

攻讦阴私，曰挖痛疮。

欺诳人语，曰搭趟头。趟，亦作山。

冒取他人物，曰打雪孔。

遇事生风，曰敲竹杠。

卷物而逃，曰打瓜精。

善语求人财物，曰打秋风。一作抽丰。

罄其所有，曰倒汤瓶。

送客人，曰趨去，或趨走。《说文》：趨，行迟貌。今多通作慢。

道歉，曰待慢，或简慢。

善钻营，曰头削尖。善偃卧，曰头睡扁。皆讽刺语。

喜奉承，曰戴高帽。不喜奉承，曰戴石臼。

煽人生事，曰持蒲扇。

从旁吹嘘，曰打边鼓。

敷衍了事，曰著水膏。

事后不履行，曰抽桥版。

七零八落，凑不齐也。

八瓶七盖，遮不过也。

老虎吞蝴蝶，食不饱也。

蚂蟥钉螺蛳，舍不脱也。

聋子放火爆，听不见声。

哑子吃黄连，说不出苦。

灯笼照火把，亮见亮。

义乌人钉碗，自顾自。

小炉匠打铁，丁打丁。

泥菩萨过水，自身难保。

铁将军把门，主人外出。

箸帽插花，四围团转也。

楼版铺纸，一曰草席。增高不多也。

云端跑马，足不踏实地也。

阳沟翻船，失于不措意也。

## 形容词

门大开，曰豁閼。音呼，下切。《史记·司马相如传》：‘‘縕辟豁閼’’。

在高，曰架阁老。

锐顶，曰笔尖。

圆，曰滚圆，亦曰鹊落子。

极远，曰慢远，曰辽远。辽转音老，故亦曰慢老远。

大，音读如杜，亦读如代。字别为达，亦读为杜。

小音为卸。亦径作卸。

甚之之词，曰恶勃。凡物盛多，曰勃勃。满满而溢，曰孛孛出，亦单言曰孛。字亦作浡。

红，曰红瞳瞳。当作此字，如晓日初出。

绿，曰绿英英。亦作阴阴。

黄，曰黄娇娇。亦则焦焦。

黑，曰黑闼闼。唐初有刘黑闼。

白，曰白皙皙。或曰当作雪雪，然皙有白义。

谓玄色为青。此自明初避太祖元璋讳改。

黑色为乌。

架空大言，曰黄六。或曰黄巢行六。其人多诈骗，因有是名。

虚张声势，曰黄龙，或曰空心黄龙。言如龙灯之中空也。

量小，曰小器，又曰小家子。

奢华，曰阔气。

美丽，曰齐整。

丑陋，曰难看。

惭愧，曰羞面，又曰难好难为情。

事急，曰快，曰赶紧。

事缓，曰慢，曰疲。音如皮。

事多急速，曰连忙。

倭子夹鞑，言不清也。

胡里胡涂，言不明也。

村言俗谚，多不胜述，撮其大概，亦举一反三之意也。

《衢县志》卷九

# 防卫志

五目

军备

屯卫

巡警

民团

历代军事记

《衡县志》卷九

县人郑永禧纂

## 防卫志

### 军 备

古者寓兵于农，民皆兵也。故管氏轨里连乡之法得行，唐制府兵变为募兵，于是处处设防，而军事之计画，愈严而愈密。其后，卒以藩镇乱国，酿成五代之变局。独吾浙赖钱氏之力，至老死不见兵革，诚为大幸。然其弊不免流于文弱，民不知兵，亦非自卫之道。衡据浙水上游，为三省交通之门户，在地理上尤关重要。观清初之耿乱、清季之太平军，全浙皆于此收克复之功，则谈兵者，尤不可不注意也。赵《志》军政只载元、明，杨《志》兵防兼及宋制。兹采历史以补之。

(《明一统志》)吴遣征虏将军郑平以千人守峥嵘镇。赵《志》同。  
《清统志》有三国字，无征虏名。姚《志》所引《一统志》云：以五千人戍峥嵘岭。  
不知所见何本。

按：此为衡地驻兵之始。姚《志》以平为开衡名宦，亦非。

(《陈书·王质传》)文帝镇会稽，以兵助质，镇信安县。

按：此亦县有驻兵之事见于史传者。

(《通鉴纪事本末》)唐咸通元年,裘甫分兵掠衢州,什将方景深将兵拒险,贼不得入。

按:什将亦作十将,即守将也。衢有守将亦仅见此。

(《十国春秋》)吴越置武胜军于婺州,衢州属焉,有应援指挥使。并见《鲍君福传》。

(《吴越备史》)天复元年九月,王以衢州制置使陈章为本州刺史。

(《通鉴纪事本末》)天祐三年,叶让为衢州罗城使。

按:此三使皆掌握兵权者也。其阶级不同,权限似亦有异,今不能考耳。

(《宋史·兵志》)庆历中,衢州禁军曰宣毅军,设指挥一。建炎后,曰威果,曰雄略。又衢州厢兵步军曰崇节,水军曰采斫。

杨《志》按:两朝史志,宋以禁军卫京师。奉命征讨,则遣戍于外。康定后,议者以禁兵不耐劳苦,遂募就粮军,始于陕西、河北,行于诸道,乃有在外禁兵。又按:诸州指挥,各有指挥使、副指挥使。每都有军使、副兵马使、都头、副都头、厢军头、十将、将虞候、承局、押官,置都监、监押以领之。每指挥领军无过五百人。又按:三朝史志,宋选州兵强壮者,部送京师,以补禁卫;余留本城,谓之厢兵,仅给役本郡。有櫟同篱。手,有本城,而櫟手先废。皇祐中,富弼安抚京东,因募流民伉健者为厢兵,训以武伎。其后,东南仿而行之。又按:禁兵、厢兵之外,有土兵,有弓兵。弓兵者,以户口多寡定额,满万户者五十人,余以次降杀其四。土兵者,各寨所统,无定额。今制,弓兵属巡检司,而具有民壮,亦土兵之意也。

(王明清《挥尘三录》)中书舍人李正民《乘桴记》云:建炎己酉三年,时有苗刘之叛。十二月十一日,命傅崧卿为浙东防遏使,令召

募土豪以备衢、信。

(旧《浙江通志》)元初，衢州府设立镇守保甲万户府。

杨《志》：按：《元史·兵志》：万户府，蒙古、汉人、新附诸军相参，作三十七翼。元有万户翼之名，领有汉军。又路设万户府，县设千户所。

(《明太祖实录》)龙凤五年，取衢州，立金斗翼元帅府。洪武三年，改守御千户所。

按：上二条并为衢州卫所之起源，另有详载。

(天启《府志》)嘉靖四十五年，设防矿总捕都司一员，领兵三总，共一千六百二十三名。每总五百四十一名。内一总支徽州协济兵饷。后减一总，免支徽饷。实存二总，名为前、左二营。万历十五年，改都司为守备。十九年，添设威远营，官兵一总，俱听守备训练。二十年七月，调二哨征宁夏，仍存三哨，与防矿兵并为二营，每营复为五哨，共计一千九十员。二十四年，每营并为四哨，并中军员役，共八百八十二员。续又减去右营医生，将左营医生隶之，实存官兵八百八十一员。每年兵粮，俟本府给发。

按：明代全浙兵制，考金衢区，兵巡道下，守备一员，陆兵名色把总三员，哨官十二员，民兵三总，官兵杂役共一千三百一十二员，其名额较此为多，殆亦有分防于外者也。

(嘉靖《府志》)城内四营及马路、教场：

东营自迎和门沿城右转接下南营，又左循菱塘，与北营接。

南营自光远门沿城右接于西营，又循城左过通仙门，与东营接。

西营自朝京门沿城左绕过小西门，与南营接，又沿城右转接于北城。

北营自拱辰门左循城转与东营接，又自右沿城接于西城。

马路周围亦如营额，计阔一丈八尺。

演武教场在郡治北，拱辰门内。

大教场郡治南五里，上航桥西，嘉庆乡五十五都。

小教场在西安县五十九都。洪武十年，调军太原等卫。后废。近迁城内东北营。

按：以上各处，今皆荒废无考，或仅存其名。兹仍录此，以存旧也。

(《明会典》)洪武二十六年，定凡天下要冲去处，设立巡检司，佥点弓兵应役。

(嘉靖《府志》)西安严剥寨巡检司，在县西南一百二十里；板固寨巡检司，在县东南四十五里。每司弓兵三十名，均徭编。

按：此系明以前旧制。清初犹循之，设板固巡检，弓兵二十名；严剥，裁；添设全旺巡检，弓兵十二名。终清之世不改。弓兵与民壮相等。见前。西安县民壮，原额一百六十八名，后减至五十名。

(《浙江通志》)衢州镇标镇守衢州，总兵官一员，驻劄衢州府。标下中、左、右三营，管辖衢州城守营。

中营，游击一员，守备一员，千总二员，把总四员。

左营，游击一员，守备一员，千总二员，把总四员。

右营，游击一员。乾隆二十三年，改为都司。守备一员，千总一员，把总四员。

顺治三年，设总兵官。五年，裁，改设副将一员。中、左、右三营，各都司佥书一员、守备一员、千总二员、把总四员。雍正六年五月，为敬陈查复浙洋等事，将衢协右营都司一员、把总一员，拨入温州磐石营。十三年，仍改为衢州镇，额设马、步、战、守兵丁共二千三百名。内有三百名系由城守营增额。

(嘉庆《县志》)顺治三年，设总兵官一员，统兵三千，镇守衢州府城。顺治六年，改设衢协副将，左、右二营，额兵一千六百名。嗣

因督标官兵驻劄衢州府城，改调协标兵七百八十二名，衢协仅存兵丁八百十八名。康熙二十三年七月，因浙江督标营制奉裁，将督标兵一千七百八十二名并归衢协，立为中、左、右三营，共额兵二千六百名。嗣于三十五年、四十七年，奉裁马、步、战、守兵丁三百六十名。又于雍正五、六两年，奉裁战、守兵一百八十三名，衢协实统兵二千四十名。雍正十三年，工部尚书徐本、浙江总督程元章会奏：衢郡界联三省，为江西、福建咽喉紧要地方，副将不足弹压，请将衢协改镇等因，于雍正十三年闰四月，奉旨复设总兵，统辖标下中、左、右三营，统领官兵二千零五十七员名。衢州城守营，原属提标管辖，康熙四十九年改隶处州管辖。雍正十三年，改协为镇，其城守营都司归衢州镇管辖。

此与《通志》所载稍有不同，自当以此为正。自后亦未有所变更。

**中营** 游击一员，驻防衢州府城。原有都司一员。《清统志》云：乾隆九年，裁。**守备**一员。原分防龙游县，后移驻郡城，而以千总一员留防龙游。**千总**二员，留防郡城一员，《清统志》云：一分防兰溪县，后改龙游，而以龙游把总移防兰溪。**把总**四员，留防郡城一员，余分防西安郭外并龙游、兰溪各县汛。**额兵**七百四十九名，存郡城三百十九名。

**中营**分防西安安仁讯，**把总**一员，《清统志》作安仁埠。带兵八十名，存本汛十一名。分拨水旱塘十二处，兵六十九名。

《浙江通志》载：中营分防樟树潭汛，兼管张碓港、盈川、安仁埠等拨，千把一员、兵三十五名，又带外委一员、兵二十一名。分驻排门、安仁街、洋村、后方等拨。分防大洲汛，兼管黄坛、坑口、前王等拨，外委千把一员、兵三十四名，额数相等，惟把总驻在地之不同。

安仁汛水塘六十庄。

樟树潭水塘四十五庄。

章戴港水塘六十五庄。

盈川潭水塘六十七庄。

排门汛旱塘四十八庄。

安仁街旱塘六十庄。

洋村后方塘六十三庄。

洋村高家塘五十九庄。

大洲汛山塘三十四庄。

黄坛汛山塘二十九庄。

坑口山汛塘二十七庄。

全旺汛山塘五十四庄。

**左营** 游击一员。原驻常山。 守备一员。原驻开化。《清统志》云：分防华埠汛，后移驻郡城。 千总二员，留防郡城一员。 把总四员，留防郡城一员。 额兵六百二十三名，存郡城二百八名。

左营，无附郭塘汛。均在常、开一带，故不载。

**右营** 都司一员。原系游击，驻防江山。 守备一员，驻防西安。 千总二员，留防郡城一员。 把总四员，留防郡城一员，余分防西安郭外南、北两乡。并江山县汛。 额兵六百三十三名，存郡城二百十九名。

右营分防西安溪口汛，把总一员，在南乡。带兵六十名，存本汛十六名。分拨水旱塘九处，兵五十名。

《浙江通志》载：右营分防西安溪口汛兼管十五里、项家桥、百灵街、百灵埠、后溪街、蔓青、九都岭、严剥关等拨，千把一员，兵七十五名，额有减除。

溪日本汛塘二十五庄。

十五里旱塘十一庄。

项家桥旱塘十四庄。

柏灵街旱塘六庄。

柏灵埠即前河埠。水塘六庄。

后溪街旱塘五庄。

万青汛山塘十九庄。

九都岭即岭头。山塘二十二庄。

严剥关山塘二十三庄。

右营分防西安杜泽汛，把总一员，在北乡。带兵八十名，存本汛二十五名。分拨各山塘十一处，兵六十四名。

《浙江通志》载：右营分防杜泽汛，千把一员，兵八十名。又带外委一员，兵十八名，分防上方、云溪二拨。较此额有增加。

杜泽本汛八十七庄。

峡口汛山塘八牛庄。

后堆汛山塘九十七庄。

川坑汛旱塘九十九庄。

双桥汛山塘八十六庄。

谷口汛山塘百五庄。

沐尘汛旱塘百七庄。

上方汛山塘八十四庄。

葱口汛山塘八十四庄。

莲花汛旱塘七十一庄。

云溪汛山塘九十二庄。

城守营 都司一员。 千总一员，专防郡城仓库、牢狱。 把总二员，留防郡城一员，分防附郭塘汛一员。 额兵三百六十二名，存郡城二百八十七名。

城守营分防朝京埠汛，把总一员，带兵七十五名，存本汛二十

名。分拨附郭水旱塘十处，兵五十五名。

朝京埠水塘。

东门塘。

鸡鸣渡水塘四十二庄。

相公坟即石宕背。水塘二十庄。

航埠河东塘百廿六庄。

航埠河西塘百廿五庄。

东迹街旱塘四十五庄

南门双水塘百三十三庄。

压潮埠旱塘百廿八庄。

石梁汛旱塘百九庄。

以上各营汛，均于清末宣统三年五月间裁废。未几，政体改革，所有军械、火药，概行运省。旧时营产，亦由官产处标卖，现存无几。并录原有官署、营房地址及亩数于下。照官产处册。

总镇署，在新桥街北化龙巷口。屋百余间，地税八亩四分一厘六毫。存。

中营游击署，在状元坊长竿林。屋三十间，地税一亩一分八厘八毫。售出东边一部分。正房尚存，今为警察所。

城守营都司署，在止马湾。屋三十间，已圮。地税四亩六分。今作公众运动场。

中营守备署，在三桥头。屋二十一间，地税二亩二分三厘七毫。已售出。

左营守备署，在塘田街。屋无，地税三亩四分二厘五毫。已售出。

右营守备署，在讲舍街。屋十间，地税二亩五分五厘三毫三丝。已售出。

城守营千总署，在假山街。屋七间，地税四分一厘一毫六丝。已售出。

中营把总署，在东乡安仁街。屋无，地税一分。

右营把总署，在南乡溪口。屋无，地税八分二厘四毫。

右营把总署，又一在北乡杜泽镇。屋十五间，地税二亩六分六毫六丝。今存留，用作警察所。

又操场地一片，屋无，地税十亩三分三厘九毫。已售出。

城守营把总署，在大西门外朝京埠。德平坝前。屋无，地税三分五厘六毫。此地当水陆之冲，原为上航水马驿旧址，今已售出，民间改建市房。

右营外委署，在上方。屋十二间，地税六分五厘。今存留用，作警察所。

中营口址，在老天后宫。屋二间，地税无考。

左营口址，在止马湾。屋二间，地税六厘六毫六丝。

右营口址，在集庆庙。屋三间，地税五分七厘七毫。

城守营口址，在土地堂。屋二间，地税四厘一丝。

东门营房，屋二间，地税七厘一毫六丝。

大南门营房，屋三间。

小南门营房，屋三间，地税均无考。

大西门营房，屋三间，地税一分三厘七丝。

小西门营房，屋二间，地税五厘六毫。以上均已售出。

三营军械局，在东门大街。屋十七间，地税一亩八分五厘六毫。已售出。

三营火药局，在北门讲舍街。楼房保存。

春配药局，在止马湾。屋五间，地税三分六厘六毫六丝。

右营火药局，在鼓楼底。屋三间，地税三分三厘九毫六丝。

城守营军需局，在东门口大街。屋十二间，地税七分四厘六毫。已售出。

大教场，在城东七里街。周四里余，中有演武厅、将台，协镇李乾龙建。原址尚存。四旁尚有隙地，佃与就近农民种植者，原收校场税。民国元年，为精勤植牧公司购去开垦。

小教场，在城内城隍山下。无亩数。已售出。

箭道，在县治北。向为县仓隙地。本明代织染局余址，清初，曾为督署操场。其袤不及小教场，而广逾之。中有演武厅，协镇孔弘宪建。今辟作桑园。以上三处，均见姚《志》。

按：此地，俗名小箭道。厅屋久圮，废而不用，徒为刑人之所。光绪二十四年，初设农务局于此，植桑数百株，至今茂育成林。沿街基地，近亦建作市房。

牧马场，在城北五里帝王滩。其地四周环河，水之涨落无定，可耕者约三百有余亩。民国元年，与大教场并售与精勤植牧公司栽种果木。

## 屯 卫

昔赵充国策屯田，大获地利，为后世所效法。无事则散而归田，有事则出而御敌，斯犹寓兵于农之意也。衢自明初设卫以来，地方防务悉属诸屯，而官为世袭，视若永业。在屯民之所耕作者，大都腴田居多，由是日事家人生产，不复习于戎行。中叶以后，浸浸有守御之名，无守御之实。矿盗群兴，另筹兵备，设官募卒，不关卫所事。逮及有清，沿袭旧制，屯民之坐食其利者数百年。清末，始将守御所裁撤。民国令行缴价，改军粮为民粮，而屯田之名泯然澌灭矣。兹以其与绿营性质不同，故别录之。

(嘉靖《府志》)元初,立镇守保甲万户府,在录事司西隅居仁坊。

至元十九年,建厅堂廊庑,共一十八间,系西安县治廨。归附国朝谓前明。金斗翼元帅府,寻罢。

(康熙《府志》)万户府,达鲁花赤一员,正万户、副万户各一员,皆世袭;镇抚经历知事、照磨各一员。千户所一十一弈,即金斗翼之翼。每弈,千户三员,百户三十员,弹压三十员。引《豫章漫抄》。有征伐之事,置行枢密院,有使,有知院,有院判。事已则罢。引《续通考》。

(又)明太祖取衡州,立金斗翼元帅府,有元帅,有副元帅,又有枢密分院判官。

(《明一统志》)衡州守御千户所,在府治西。洪武初,置仁和卫。后罢为守御千户所。

(嘉靖《府志》)洪武初,置仁和卫都指挥使司。后裁减,立守御千户所。中为堂,匾曰永宁。堂之东为吏目厅,堂之西为军器局,堂之后为旗纛庙。每岁霜降日,于原派军需银内支银五两,买办猪、羊、绢、帛等项致祭。堂之左右为廊房。堂之前为仪门,门之东为关圣庙,外为镇抚司,门之前为外门,门之外为屏墙。嘉靖壬戌,守杨准大修。时公因月食,诣所救护,睹其倾颓,遂捐俸大修之。命千户谷金总其事,千户刘镗董役,务须坚致。嘉靖甲子,守郑伯兴、同知薛应元作外门。是年春,外门复火,守郑公、同府薛公捐俸作之,命千户谷金董役。

按:此所即今道署,虽迭经改建,其规模犹可复按也。

(康熙《府志》)洪武初,废翼元帅府,置仁和卫都指挥使司。后改立守御千户所,其职有正千户、副千户、百户、镇抚,俱世袭。其属吏目一员,后裁吏目。

杨按:太祖初得诸州,置各翼统军元帅府。甲辰三月,始罢

诸翼而设卫所。则衢之建卫，当在龙凤十年。而此云洪武初，盖丁未以前太祖尚未即位，故旧志皆不纪年月，概以为洪武初年。此亦其类也。

(《明实录》)洪武三年十一月，曹国公李文忠奏置浙江十卫，有金华及衢州守御千户所。(旧《浙江通志》)洪武八年，分十六卫，有金华守御千户所、衢州守御千户所，各卫附各府县。至是始分。

(宋濂《王公恺墓志》)王师克三衢，擢公左司郎中，总制衢州军民事。公增城浚濠，置游击军，保甲翼余丁及旧民兵，得六百人，以益戍守。兵食不足，则斥并城废田五万七千亩，使之耕以自给。民有田力弗能艺者，听军士贷耕而为输粮县官。

按：此即为衢有屯田之缘始。

(嘉靖《府志》)千户以下诸军政，悉报浙江都司，以达于兵部，泊布、按二司，兵备、守巡各道，衢州府，察其贤否，阅五载考选而变易之，谓之二选军政。其军印及训练、屯田、漕运，管局巡盐、巡捕各一人掌领之，并以选任，皆谓之见任管事。不预此者，编诸行伍。

百户考选军政管事管军，如千户之制，不皆堪任，常以能者兼摄之。镇抚掌所之狱事吏目，则流官铨授，得以文法吏事，纲纪所致，今多不行，势使然也。

**旗军** 原额一千一百二十人，额外新充发带管一百五十人。见充伍者仅二百八十七人，余皆老幼残疾、死亡逋绝矣。漕运浅船五十二只，运军五百七十二人，内旗军八十人，余皆余丁顶数。驾运操练二百五十四人、巡捕十人、巡盐十人、局匠十五人。外岁造本所每年解折价银三十一两九钱二分，解赴衢州府转解布政司给造。屯种一百二十人，内旗军十人，余皆余丁顶数。屯种，杂差一人、守门三十六人、守所九人、守监二人、跟伴十七人。

**军月粮** 每月共支米七百石零，俱于衢州府广盈仓支领。本

所原纳屯粮并西安等四县存留米内，正千户每月支米三石九斗，副千户二石八斗，百户三石，镇抚二石四斗，运粮者每月支米八斗，操备及诸杂差有妻者六斗、无妻者四斗五升，老幼残疾者三斗。

**军需银** 原额奉派银一百五两一钱一分二厘八毫四丝，续加总兵官派银八两六分六厘六毫，二项共银一百一十三两一钱七分九厘四毫四丝，俱于食粮内均派征完支解。

**屯田地** 原额一百三十二顷二十一亩六分，坐落西安市抱戴乡五等都图等处，岁征本折粮米共三千四百八十三石七斗四升二合四勺。本所辖属九屯所田九十八顷三十四亩九分、地二十顷五十四亩七分，共征粮米三千三百七十七石一斗四升二合四勺，内本色米二千一百二十六石七斗一升一合二勺，征运衢州府广盈仓上纳折色米一千二百五十石四斗三升一合二勺，每石折银二钱五分不等，共折银三百一十五两五钱二分七厘五毫，解赴衢州府兴惠库交纳。西安市民人带种屯田一十三顷三十二亩，共征米一百六石六斗，俱征本色运赴衢州府广盈仓上纳。

按：杨《志》兵防、田赋两载屯田、地，额数不同，殆以荒废、缺失日久，不能复元。兹存其旧。

(旧《浙江通志》)衢州守御千户所原额一千一百二十人，后充伍者仅二百八十七人。所辖九屯，系西安市民人带种。

按：九屯之名，今亦无考。其田散在四乡民田中，有有图册者，有无图册者。总之，由农民带种，而课其息者也。

(康熙《府志》)明设守御所。其制，三分守城，七分屯种。洪宣而后，军额渐缺。嘉靖以来，始专令运粮北上，而攻守之宜、城池之任，设官募卒，不复关守御所矣。

(《清一统志》)浙江省武职官，有衢州所千总，又有金衢所千总，二员。

按：金衢所当是金华所，然在明初洪武八年，已与衢州划分两所，不知何以犹仍此名。历查前清《搢绅全书》总漕部院衙门下截浙江卫所五缺，只有衢州所守御千总，别无所谓金衢所者，想已裁之矣。其裁自何时，今无所见，俟考。

守御所署，自明季千户所变更后，迁移所在，前陈、姚两《志》均未之载。今考，原设北门城内新河下，土名麻车沿，背城面河，南向，基地约一亩许，其址尚存。道光间，迁南隅折桂坊。光绪二十七年，守御所奉裁，归并衢州府办理。此署空废，在屯士民因组织衢卫小学校设此，今仍之。

屯田改编事在民国，详见《田赋》门中，兹不赘。

## 巡 警

巡警，即古保甲之遗意，使民守望相助，正所以保卫地方也。读清祖圣谕联保甲以弭盗贼，言之綦详。然地方保甲之设，多在冬防，为临时机关。司其事者，亦只由府委一二佐贰理之，似无专责。晚清，始于各省添设巡警道，主管警务，分令各县立警察局。民国后，更名警佐，而以县知事兼所长，由城而推之乡，级分数等。于是，各乡分所林立。如衢之一县，全境面积并不十分辽阔，而城有一总所、一分所，东乡一所，南乡三所，西乡一所，北乡二所，共计九所。衢非匪盗出没之区也，察奸禁暴乃至于如此严密，得勿畏地方多累乎！

(嘉靖《府志》)城乡急递、巡警铺舍，共五十四。急递铺，有铺司铺兵，俱均徭编。巡警铺，有总甲、小甲，有火夫，俱近铺居民充之。

郡城内急递总铺一、巡警铺十一。

时各铺倾颓，巡警、火夫皆无止息之所，知县曹存俱措处修理，而民不扰。

府前总铺在府治东班春亭故址。

府门铺在府治东三凤桥。此后皆巡警铺。

新桥铺府治西北。

十字铺府治西。

狮桥铺府治前西。

三桥铺金钟巷东。

帅正铺新驿巷口。

酒务铺忠武庙左。

华丰铺天宁寺前。

衣锦铺在衣锦坊。

状元铺状元坊东。

仁德铺仁德坊南。

西安巡警铺四、急递铺八。

其在城外者，皆列于西安。

通仙铺通仙门外。

光远铺光远门外。

迎恩铺在驿前。

朝京铺朝京门外、大埠头前。

东迹铺县东十里东迹渡。此后皆急递铺。

牌门铺县东二十里。

安仁铺县东三十里。

压潮铺县西十里。

石塘铺县西二十里。即航埠。

新店铺县西三十里。

常乐铺县南二十五里。

百灵铺县南四十里。

(《赋役全书》)冲要九铺、府前总铺,司兵七名;东迹、牌门、安仁,司兵各五名;压潮、石塘、新店,司兵各四名;百灵、常乐,司兵各四名。

按:以上均系旧制,与今警察不同,备列于前,以资参考。

**衢县警察所** 本前清遗制,民国因而存之。原在中河,今电报局。移旧镇署,复移知事公署,又移天宁寺。民国十三年,始定以长竿林旧游击署修改为警察所。有一等警佐一员,为总所长。下有巡长七名、巡警五十名。

**城区分所** 原在老天后宫。民国十年,移知事公署。有五等警佐一员、巡长一名、巡警十名。

城区共有六分驻所。第一所,驻老天后宫;第二所,附总所;第三所,驻道尹公署;第四所,驻衢县分庭;第五所,附城区分所,在县公署;第六所,驻看守所。

**樟潭警察分所** 在东乡樟树潭镇,距城十五里。民国元年成立。有警佐一员、巡长二名、巡警十三名。

由此分所抽拨巡长一名、巡警三名,分驻高家镇。

**岭头警察分所** 在南乡岭头。与江、遂两邑交界,距城八十里。民国三年成立。有警佐一员、巡长一名、巡警十名。

**下石埠警察分所** 在小南乡石室埠。滨东迹港大河,上通岭头,下至樟潭,舟筏往来停泊之所,距城二十五里。民国十一年冬,始设临时分所,派委稽查一名、巡警十名,以司其事。至十二年,更委警佐一员,添置巡长一名、巡警十名,改由城区分拨。其临时机关撤销。

**后溪警察分所** 在南乡后溪街。沿江山港,距城四十五里。

水陆冲要之地，五方杂处，良莠不齐。民国六年，始设警所，有警佐一员、巡长一名、巡警十名。

**航埠警察分所** 在西乡航埠河西。沿常山港，距城二十里。亦水陆交冲之地，有商货市场。民国八年，设立警所，有警佐一员、巡长一名、巡警十名。

**杜泽警察分所** 在北乡杜泽镇，距城四十里。民国初，与樟潭同时成立。原与上方并设，后分。有警佐一员、巡长一名、巡警十名。

**上方警察分所** 在北乡上方镇，距城八十里。原属杜泽分拨，巡长一名、巡警十名，驻上方办事。民国十年，始行划区，更委警佐一员，巡长、巡警如旧。

#### 《衡县警察经费预算书》：

**收入** 每年约计银二万零八百九十一圆。

三成地丁特捐九千七百零二圆。此项年有上下。

店屋捐四千一百四十圆。

固有警捐铺货捐一千六百圆。 乐户捐二百三十七圆六角。 纸捐三百圆。柴炭捐一百圆。 各乡警捐四千八百十三圆。 五项共七千零四十九圆。

**开支** 每年额定银一万九千二百六十七圆。

一等警佐一员，月支银六十圆。 公费月支四十圆。

五等警佐八员，月各支银二十四圆。 公费月支十圆。

巡长一等一名，月支十圆；二等一名，月支九圆；三等十五名，月各支八圆。

巡警一等十五名，月各支六圆六角；二等三十名，月各支六圆二角；三等一百五名，月各支五圆八角。

伙夫十五名，月各支四圆。

探警二名，月各支七圆。

服装费，年支一千五百十九圆。

**内河水上警察** 驻大西门朝京埠。陆上驻外周王庙。有巡船二只，分队长一员、水巡巡长二名、巡士二十名，隶属兰溪。

## 民 团

保甲、团练，本两事也。平时用保甲，乱时用团练，此郇模团字之策所由来也。洪杨之役，曾文正起家团练，卒成中兴佐命之勋。左文襄驻衢，规复全浙，亦赖团民之助力居多。近自民国，创设保卫团于城市、乡镇。团总以下，有保董，有甲长，斯合保甲团练而一之以为之制。其有资于防卫者，正非浅鲜。吾衢因自治区域之划分以设施，数载以来，地方绥靖，萑苻不惊，其成效亦略可睹矣。

**第一区保卫团** 在城天宁寺古佛殿，后移关帝庙。民国三年十二月创设。有十二保五十九甲。经费，柴炭捐一百八十圆、洪山坝捐一百三十圆、现已增加。大行捐四十八圆、河工事务所津贴一百圆、饭铺捐四十圆、各业公捐三百六十圆、冬防捐约计一百六十圆，年共收银一千零十八圆。

**第二区保卫团** 在东乡樟树潭。民国四年五月设。有四保二十三甲。经费，山货行捐、店铺捐四百余圆，粮户捐一百余圆。区内有四十一庄、四十二庄、四十三庄、四十四庄、四十五庄、四十六庄、四十七庄、四十八庄、四十九庄，共九庄。

**第三区保卫团** 在东乡高家。民国四年一月设。有六保三十二甲。经费，铺户捐五十圆、住户捐二百圆。区内有五十八庄、五十九庄、六十庄、六十一庄、六十二庄、六十三庄、六十四庄、六十五庄、六十六庄、

六十七庄、六十八庄，共十一庄。

**第四区保卫团** 在东乡全旺。民国四年一月设。有四保二十一甲。经费，槽户捐一百圆、铺户捐四十圆、住户捐一百二十圆。区内有五十庄、五十一庄、五十二庄、五十三庄、五十四庄、五十五庄、五十六庄、五十七庄，共八庄。

**第五区保卫团** 原在南乡上宇，移前河埠。民国四年一月设。有八保四十二甲。固有经费，年仅七十二圆，余由临时筹集。区内有首一庄、次一庄、二庄、三庄、四庄、五庄、六庄、七庄、八庄、十五庄、十六庄、十七庄、十八庄、十九庄、二十庄、二十一庄、二十六庄，共十七庄。

**第六区保卫团** 在南乡将军殿。民国三年十二月设。有六保二十八甲。经费，粮户捐一百圆。区内九庄、十庄、十一庄、十二庄、十三庄、十四庄、百三十二庄、百三十三庄、百三十四庄、百三十五庄，共十庄。

**第七区保卫团** 在小南乡大洲。民国三年冬设。有四保二十甲。经费，粮户特捐、商店堆金及纸捐，年约共五百圆。区内有三十二庄、三十三庄、三十四庄、三十五庄、三十六庄、三十七庄、三十九庄，共七庄。

**第八区保卫团** 在小南乡黄坛区石室街。民国四年一月设。有五保二十一甲。经费，槽桶捐一百五十圆。区内有二十七庄、二十八庄、二十九庄、三十庄、三十一庄、三十八庄、四十庄，共七庄。

**第九区保卫团** 在南乡山源破石区。民国三年冬设。有三保十四甲。固有经费移充岭头警察分所用，已无常款。有事临时筹集。区内有二十二庄、二十五庄，共二庄。

**第十区保卫团** 在南乡山源洋口区。民国三年冬设。有二保十二甲。经费情形与破石区同。区内有二十三庄、二十四庄，共二庄。

**第十一区保卫团** 在西乡航埠河西。民国四年一月设。有六保三十三甲。经费，由警察项下拨七十圆、碓捐约二三十圆。区内有百十九庄、百二十庄、百二十一庄、百二十二庄、百二十三庄、百二十四庄、

百二十五庄、百二十六庄、百三十一庄，共九庄。

**第十二区保卫团** 在西乡石梁。民国四年十一月设。有五保二十二甲。经费，住户捐二百十圆。区内有百九庄、百十庄、百十三庄、百二十八庄、百二十九庄，共五庄。

**第十三区保卫团** 在西乡毓秀区鲁班殿。民国五年一月设。有八保三十六甲。经费，槽碓、粮户、小典商店等捐，年约共五百圆。区内有百二庄、百五庄、百六庄、百七庄、百八庄、百三十庄，共六庄。

**第十四区保卫团** 在西乡下村。民国三年十二月设。有四保十九甲。经费，住户、商店、纸槽、窑椎、麻车等捐，年约共四百圆。区内有八十五内半庄、百十二庄、百十四庄、百十五庄，共三庄半。

**第十五区保卫团** 在西乡钩溪。民国四年一月设。有三保十七甲。经费，由警察项下粮捐拨二百余圆，碓捐、窑捐四五十圆。区内有百十一庄、百十六庄、百十七庄、百十八庄、百二十七庄，共五庄。

**第十六区保卫团** 在北乡车塘。民国五年六月设。有六保三十甲。经费，粮户、住户、铺户捐，共四百五十圆。区内有八十九庄、九十庄、九十五庄、九十六庄、九十七庄、九十八庄、百三庄、百四庄，共八庄。

**第十七区保卫团** 在北乡莲花。民国四年一月设。有三保十四甲。经费，粮捐、住户捐，共二百五十圆。区内有六十九庄、七十庄、七十一庄、七十四庄、九十一庄、九十四庄，共六庄。

**第十八区保卫团** 在北乡杜泽。民国四年一月设。有六保二十四甲。经费，铺户、住户捐，共二百五十圆。区内有八十五外半庄、八十六庄、八十七庄、八十八庄，共三庄半。

**第十九区保卫团** 在北乡浮石区云溪。民国四年一月设。有二保十一甲。经费，粮户捐一百六十圆。区内有九十二庄、九十三庄、九十四庄、百庄、百十一庄，共五庄。

**第二十区保卫团** 在北乡峡口。民国四年一月设。有六保二

十三甲。经费，铺户、住户捐，共二百五十圆。区内有七十二庄、七十三庄、七十五庄、七十六庄、七十七庄、七十八庄、七十九庄、八十庄、八十一庄，共九庄。

**第二十一区保卫团** 在北乡玉泉区上方。民国四年一月设。有六保十八甲。经费，住户、槽户、铺户捐，共二百八十圆。区内有八十二庄、八十三庄、八十四庄，共三庄。

## 历代兵事记

衢故蛮越，自姑蔑旗见，浸成用武之区。立县于汉末，初无城郭，倚峰嶂为巨镇，屯兵牧马，威摄一方。然变乱相乘，民无数十年之休养。无他，地理上之形势使然也。有唐之世，生聚教训，渐见蕃庶。及其季也，终遭黄巢之祸。五代而后，迄乎明清，每一朝之鼎革，辄有易姓之战争，或以草窃奸宄，侵略城邑，民不宁居，因之流离失所者，不可胜纪，甚可痛也。前无专志，漫难稽考。兹采撷历史及诸家载籍之文，为编次如下。

**姑蔑旗**(《左传·哀十三年》)夏六月丙子，越子伐吴，为二隧，畴无余、讴阳自南方，先及郊。吴太子友、王子地、王孙弥庸、寿于姚自泓上观之。弥庸见姑蔑之旗，曰：“吾父之旗也。不可以见仇而弗杀也。”太子曰：“战而不克，将亡国。请待之。”弥庸不可，属徒五千，王子地助之。乙酉，弥庸获畴无余，地获讴阳。越子至，王子地守。丙戌，复战，大败吴师，获太子友、王孙弥庸、寿于姚。丁亥，入吴。

按：杜注：姑蔑，越地，今东阳太末县。弥庸父为越所获，故姑蔑人得其旌旗。此为姑蔑属越之证，亦姑蔑人以兵事见于经传之始。

**吴，贺齐平乱** 《三国志·吴·贺齐传》齐，字公苗，会稽山阴人。太末丰浦民反，转守太末长，诛恶养善，期月尽平。

按：此事当在汉献帝建安元年以前。时太末与新安尚未分析，丰浦特其一乡耳。建安四年，始分立丰安县。《明统志》谓：废县，在龙游境。孙吴置，隋省。赵《志》以孙权置丰安县，即其将郑平所戍峥嵘镇。见《沿革表》。陈《志》虽因之，然未敢遽以为信也。

(又)建安十三年，迁威武中郎将讨丹阳黟、歙时，武彊、叶乡、东阳、丰浦四乡先降。

按：《水经注·浙江水》下言：孙权使贺齐讨黟、歙山贼，贼因黟之林历山，山甚峻绝，又工禁五兵。齐以铁杙椓山，升出不意，又以白棓击之，气禁不行，遂用奇功平贼。应即此事。衢地近接黟、歙，兵乱之际，不免同时被灾。观明代衢防之设兵，犹有一总五百四十名为一总。由徽协饷，其利害关系意可知已。

**陈表简充兵额** 《三国志·吴·陈表传》表，武庶子，所受赐复人二百家在会稽新安县。表简视其人，皆堪好兵，上疏乞还官，充足精锐。

**郑平戍峥嵘** 《康熙《县志》》吴遣征虏将军郑平以千人守峥嵘镇。曹石仓《名胜志》云：郡治据龟峰，其西为峥嵘岭。相传昔有柴宏屯兵于此，后讹曰峥嵘。

按：汉季建安之间，地方多乱，故分立新安县。吴因遣平戍之。据此，则平之先，已有柴宏屯兵，当在两汉时代。迨平至吴亡退老，入晋不仕。继之者，复有信安侯陈弘。衢防之重要于兹可见。

**陈，留异割据** 《陈书·留异传》异，东阳长山人。侯景平后，王僧辨使异慰劳东阳，仍纠合乡间，保据岩阻。其徒甚盛，州郡

惮焉。元帝以为信安令。异与王琳自鄱阳信安岭潜通信使，亦知朝廷终欲讨己，乃使兵戍下淮及建德，以备江路。（又《王质传》）质率所部度信安岭依留异，文帝镇会稽，以兵助质，令镇信安县。

按：《清统志》常山下云：山在县东三十里。唐以此名县。巨石环绕，俨如城郭。王象之《舆地纪胜》：即古信安岭也。陈天嘉初，文帝年号。留异据东阳，时王琳据江、郢二州，异因自信安岭与琳潜通使往来。今自衢州西出信州、达鄱阳者，必由常山，所谓岭路也。

（旧《新定志》）严州古名。永定中，陈武帝始建国年号。留异据信安。新安人向文璧与异连结，陆绩为新安太守，讨平之。

**唐初，平李子通、辅公祏** （《新唐书·地理志》）武德四年，平李子通于信安县，置衢州。七年，平辅公祏，废之。《通典》同。《通考》无。辅公祏，《元和郡县志》：六年，辅公祏叛，州又陷没。七年，平定公祏。

按：《唐书》李、辅二传，均不言及据衢事。主将何人率兵平乱，别无佐证。第据故老相传，武德四年，尉迟敬德筑衢州城，于此事或有关系，然亦未见于本传。窃考《唐书》，尉迟恭于武德二年降秦王，相从击王世充、窦建德，累积战功，虽亲莅衢与否不可知，而事出同时，或史氏偶从略也。

**晚唐，袁晁、裘甫、陈儒、黄巢之乱** （《唐书·李光弼传》）代宗宝应元年，《本纪》作乾元元年，《通鉴》作广德元年。浙东贼袁晁反台州，建元宝胜，以建丑为正月，残剽州县。遣麾下破其众于衢州。

按：梁肃撰《越州长史李公墓志》云：永泰末，妖贼杀郡将以叛。其帅败亡，贼党诈服。公以单骑往安其民。一旦，收隐患三十人，杀之以徇，三衢之人道路相庆。公讳锋，字公颖，蔣人也。考永泰与广德年代相连，此贼当即台之袁晁。事后传闻，纪年不无舛误耳。

(《通鉴纪事本末》)懿宗咸通元年,裘甫分兵掠衢、婺州,衢州十将亦作什将。方景深将兵拒险,贼不得入。

按:信安之更名西安,疑即在此时。

(《唐书·僖宗纪》)光启三年十二月,饶州刺史陈儒反,陷衢州。

(《吴越备史》)光化三年九月甲午,王复巡衢州,陈岌降,王以岌为浙东安抚副使,命顾全武权知衢州事。岌兄儒,本黄巢之党,寻降,朝廷授以饶州。光启三年,率其部伍自饶厅事直指衙门而出,人无预知者。既而径趋衢州,知州元泰迎于郊。儒诘之曰:“元宗御容安在?”泰曰:“使君不见容矣。”时信安有元宗铜容,泰毁之,故以是为责,遂斩之而自据焉。凡在信安十年,颇有惠爱。每秋主司请纳稼,儒必至城南绿野亭,观其刈获,始使输之。又尝见吏于仓所赈衣以避糠粃,儒怒而罚之。其所为皆类此。南海节度使刘宗龟道由信安,见其品裁,乃抚之曰:“此贼有士人之风。”儒亦欣然谢之。及儒病,岌入省之,因顾岌曰:“汝非侦我耶?今汝仁弱,其如诸将何?”乃召列校豪强者十余人入卧内,皆斩之,遂以郡付岌。王坛婺州刺史。之反,岌实同其恶。至是降而宥之。

按:杨《志》引《唐书·黄巢传》:巢破饶、信、衢等州,因刊山开道七百余里,直趋建州。今考《新唐书·巢传》但云破虔、吉、饶、信等州,实无衢字。或后人以意增之耳。《读史方舆纪要》又云:唐乾符五年,巢破饶、信、歙等州,转略浙东。则未尝不假道于衢也。盖是时,黄巢之兵已蔓延四方,衢人亦至今盛传黄巢入城事,曾不知有陈儒。儒本巢党,疑其初即假巢之名号以至衢也。《方舆纪要载》:府西十里岩山,为黄巢屯兵处。陈《志》亦云:旧传黄巢余党阻兵其上。山下耕夫时得箭镞。又余将山,传有余姓将兵御黄巢乱。《古迹志》亦载:城南六里驿马桥,有黄巢

寨。今其近旁，尚有黄巢山。下有黄公桥，或云亦以此得名。城东四十里六十八庄有山土名黄巢墩。旁有寨垄、寨缺、寨墩边等名。似巢实至其地者。大抵皆儒之兵也。《备史》称儒在信安，惠爱及民，岂非逆取而顺守者乎？

**吴越，陈章之叛** 章本作璋，明避讳改。  
（《吴越备史》）天祐二年，陈章自称衢、婺二州刺史。三年，王至睦州，陈章退保衢州。婺州平，命方永珍、杨习等进攻衢州。初，王命陈章城衢州，工毕，以图献。王视西门樟树，密谓左右曰：“此树不入城，章当非我畜也。”至是果验。事败，奔淮南。

（《通鉴纪事本末》）唐天祐三年，叶让为衢州罗城使，吴越遣让杀陈璋。事泄，璋斩让而叛。

（《十国春秋》）鲍君福为衢州应援指挥使。刺史陈璋背叛，胁君福为郡职，君福不纳。武肃王虑其遇害，密赐帛书，令姑受命，以缓旦夕死，终坚拒不敢从，伺守者李元嗣醉，遂驰归。吴将周本守信州，屡侵信安境，君福率数千人往追之，本即遁去。

按：《备史》：君福，字庆臣，余姚人。初事汉刘宏，及武肃东讨，归降，号曰向盟都，累从征伐有功。能马上轮双剑入阵，望之若飞电，军中谓之鲍闹。为衢州应援指挥使，属刺史陈璋叛，淮人入其境，乃以淮帅命辟为郡职，君福不纳。武肃闻之，虑其被害，乃密赐绢书，使苟从之。因与贼徒李元嗣饮，伺其醉，乃奔归。授衢州刺史。此可补前之所不及。

**钱俶归宋** （《宋史·慎知礼传》）信安人。父温其，有词学，仕钱俶，终元帅府判官。知礼幼好学，年十八献书于俶，署校书郎，为掌书记。太平兴国三年，从俶归朝，授鸿胪卿。子从吉，俶之婿也。

（康熙《府志·名贤传》）江景防，赵《志》作景房。字汉臣，事忠

懿王，官侍御史。吴越以一隅捍四方，其田赋、市租、山林、川泽之税，悉加故额数倍。忠懿王入朝，景防以侍从。当上图籍，叹曰：“民苦苛敛久矣，使有司仍其籍，民困无已时也。”遂沉图籍于河，诣阙自劾所以亡失状。太宗大怒，欲诛之。已而，谪沁水尉，遂屏居田里以卒。未几，太宗命右补阙王永均吴越田税，旧率亩税五斗，永更定为一斗。其减税之由，实始于景防沉籍云。景防之裔有钧者，字世范，官太常寺少卿。其后相继登第者，至百五十余人，至今未艾。赵《志》：景防五世孙、侍御躋，六世孙侍御溥，尤显。至十世孙万里，遂登相位。人以为景防阴德之报也。事载程俱《保安院记》。今其子孙散居西、江、常、开四县。

按：慎氏、江氏，均世居在衢。当时称为信安者，本郡而言。《常山志》以为南渡后之信安县而并收之，当订正。吴越纳土，保障和平，全恃慎、江二公为之左右，而二公皆衢人，足征造福不小。赵清献作《表忠观碑》谓吴越之民老死不见兵革，信有由也。此节本非兵事，以其与易代有关，故并录之。

**方腊之乱** 《《通鉴》》徽宗宣和二年十月庚子，方腊作乱。十二月，分兵陷衢州，知州彭汝方骂贼死。《《东都事略》》彭汝方，字宜老。知衢州时，方腊陷睦、歙、杭，而衢介于三郡之间，贼势张甚，兵力寡弱，众皆奔溃。汝方与郡僚段处约守孤城，城陷，骂贼而死。年七十一。赠龙图阁直学士。原有祠，在关帝庙右。

《《泊宅编》》宣和二年十月，睦州青溪县次年，改淳化县。南渡后，改淳安。竭村居人方腊托左道以惑众，知县事陈光不即沮治，腊自号圣公，改元永乐，置偏裨将，以巾饰为别，自红巾而上凡六等。无甲胄，惟以鬼神诡秘事相扇摇。数日，聚恶少千余，焚民居，掠金帛、子女。提刑狱张苑、通判州事叶居中不能招致，欲尽杀之，故贼得胁虏良民为兵，旬日有众数万，遂陷青溪县，连陷睦州、歙州，乘

势取桐庐、新城、富阳等县，衢之陷亦当在此时。进逼杭州，知州事赵霆弃城走。霆为清献孙。据乾道《临安志》，霆于是年十二月徙知青州，并无失城出走事，则此段记载，恐有讹传失实。州陷，纵火六日，居民死者十三。明年正月，少保刘延庆由江东入复衢州，出贼背；统制王涣、杨惟忠、辛兴宗自杭趋睦，与江东兵合，斩获百七十里，生擒方腊及伪相方肥等妻，邵子毫二太子，其子之号。凡五十二人于桐梓石穴中。余党走衢、婺，而兰溪灵山龙南乡山中。贼朱言、吴邦起据处州，四年三月讨平之。

（《宋史·刘光世传》）延庆次子。方腊反，延庆为宣抚司都统，遣光世自将一军趋衢、婺，出其不意破之。贼平，授耀州观察使。

（《明一统志》）张宪，贵溪人，张道陵之后。以武力绝伦中选。睦寇作乱，部使者檄使募兵为援，宪出赀百万，得勇士千余人，声势甚张。贼大恐，不敢窥江左。宪益励士卒，昼夜兼进，遂复衢州。刘光世上其功，拜武义大夫。衢州、广信两府下并见。

（天启《府志》）高至临，宣和三年知州。自睦寇陷衢，彭守方死，公至，筑城，三面浚濠，北阻大溪。后数有叛将，皆不得薄城，民赖以无恐。杨《志》引此，有小异。（《清一统志》）衢州府城，周十三里，门六，三面浚濠，西阻溪。宣和三年始城。说详《城池》。

**苗刘之叛** （《宋史·胡唐老传》）建炎三年，知衢州。叛将苗傅败走，以乱兵犯城，唐老拒之。会大雨雹，城上矢石俱发，贼不支，遂解去。是年，唐老迁镇江，被难。（又《赵子瀟传》）为衢州推官。胡唐老奇其才，任之属。时多故，子瀟佐唐老缮完城具。苗刘兵至城下，不能攻。

按：杨《志》载有徐大兴，建炎初，迁衢州守，修战具，充积贮。及苗刘之变，与通判史愿率众遏贼，贼趋瓯闽，郡赖以安。此事，《常山志》作建炎元年，在胡唐老前。杨《志》表复据《西河徐氏

谱》，以大兴与史愿并列为孝宗朝通判，赵、叶两《志》均无。则与苗刘乱事无关。记载失次，必有一误。姑附其说于此。

**芝溪余寇**（嘉靖《府志》）崇义公柴叔夏受袭封，收掌二帝位版，权就衢州景福院奉安，遂金衡幕。时余寇起芝溪，夜至城下，守王公曠（《志》作岩）委之捍御，故寇不得冲突。

按：叔夏袭封崇义公，在绍兴五年。赵《志·职官表》载王曠守衢在十年以后。

**理宗时，前后诸寇**（《清一统志》）陈辨，侯官人。绍定中，提点福建刑狱招捕使兼知建宁府。衢州寇汪徐来二破常山、开化，势张甚，辨命淮将李大声提兵七百，出贼不意，夜薄其砦，贼出迎战，见旗惊曰：“此陈招捕军也。”皆大哭，急击之，衢寇悉平。

（《兰溪县志》）范士表，丞相钟之从子。《名贤录》作钟子。嘉熙戊戌，以别院登第，由栝梓衢。适郡民有啸聚为乱者，阖郡濒洞，守惧，委印去，人心大震。士表摄郡事，协僚佐集筹画为守备计，登城抚劳，益兵诛讨。未旬日，元恶就戮，变乱赖以靖。军民欢呼曰：“我辈若无范权州，皆为鱼肉矣。”

按：士表倅衢，赵、叶诸《志》均未见，不知何年。倡乱者亦无主名，第以嘉熙科分度之，当在理宗中叶、绍定以后事也。

（《宋史·孙子秀传》）衢州寇作，水冒城郭。朝廷择守属子秀行。子秀谓“捕贼之责，虽在有司，亦必习土俗之人，乃能翦其凭依、截其奔突”，乃立保伍，选用土豪，首旌常山县令陈谦亨、寓士周还淳等捍御之劳，且表于朝，乞加优赏，人心由是竞劝。未几，盗复起江山、玉山间。甫七日，而众擒四十八人以来。终子秀之任，贼不复动。水潦所及，则为治桥梁，修堰闸，补城壁，浚水原，助葺民庐，赈以钱米，招通邻籴，奏蠲秋苗万五千石有奇，尽代纳其夏税并除公私一切之负。坍溪沙壅之田，请于朝，永蠲其税，民用复苏。

以政最，迁太常丞。

按：此节与《兰溪志》所载大略相似。赵、叶诸《志》亦均未见。以家庙碑考之，孙任在理宗宝祐三年，当与范摄州事相栉次第。孙之所表著者，皆地方善后之政耳。

（《癸辛杂识》）赵暨守衡日，所任都吏徐信兴建佑圣观，敛民财甚夥。未几，詹寇作，以信致寇抵罪而死。

按：詹寇事，赵、叶诸《志》亦不详其始末，《府官表》并不列赵暨名。其时当在理宗末造。以上数事观之，理宗一朝，衡地亦多故矣。迄至宋室之亡，犹萑苻之不靖也。

**元兵侵境** （康熙《县志》）宋末恭帝㬎德祐二年，即至元十三年丙子。元兵侵至衡，民胥罹患。（韦居安《梅涧诗话》）予丙子司纠三衡。二月十一日，宋太后诏谕诸郡归附，郡将而下奉诏依应，吏民安堵如故。至四月二十三日，忽西安管下诸郡草寇攻城甚急，守将孟茂以众寡不敌而遁。午后，城破，沈倅应龙被伤，西安令赵若鏗《归安志》作鏘。遇害。次日，贼沿门剽掠。

（《通鉴》）至元十三年夏五月，建康安抚使索多克衡州。时，衡、婺诸州皆复起兵，董文炳谓索多曰：“严州不守，临安必危。公往镇之。”未十日，诸州连兵来攻，索多连战三月，遂克婺州。衡守备甚严，索多率总管高兴等鼓噪登陴，拔其城。宋故相留梦炎降。

按：其时，宋室已亡，孤城无援。外有草寇，乘间窃发。民罹锋镝之苦不堪言。状留相身受重困，顾全民命，甘冒不韪，而出此下策，其亦有不得已之苦衷耶？然而律以《春秋》之义，贤者不免矣。

**元末诸寇** （嘉靖《府志》）至正十二年冬，红巾寇至衡，民居尽燹。十七年，休宁兵入境。十九年，汪同来寇。

（嘉庆《县志》）郑汝厚，衡州路训导，元末殉节。（《郑氏谱》）

元末，红巾寇衢，城陷，不屈死。此为至正十二年事。郑一珩《序》作十九年。

(《元史·伯颜不花的斤传》)至正十六年，授衢州路达鲁花赤。阿鲁灰引兵经衢州，军无纪律，所过辄大剽掠。逐之出境，郡赖以宁。升浙东都元帅，守御衢州。十八年，陈友谅寇信州。明年正月，自衢引兵援焉，力守孤城而死。总管马浩同时赴水死。见《清统志》。

**明太祖平定衢州** (《明鉴纪事本末》)元至正十九年秋九月，常遇春进兵攻衢州，建奉天旗，树栅围其六门，造吕公车、仙人桥、长木梯、懒龙爪，拥至城下，高与云齐，欲阶以登城。又于大西门城下，穴地道攻之。宋伯颜不花悉力捍御，以束苇灌油烧吕公车，驾千斤秤钩懒龙爪，用长斧砍木梯，筑夹城防穴道。遇春攻之弗克，乃以奇兵出不意，突入南门瓮城，毁其所架炮，攻围甚急。院判张斌度不能支，遣使约降。夜出小西门，迎大军入，众遂溃，擒宋伯颜不花。遇春还宁越。寻改宁越为金华府。

按：《明史·常遇春传》：都督马步水军大元帅从取婺州，转同金枢密院事守婺，移兵围衢州，以奇兵突入南门瓮城，毁其战具，急攻之，遂下，得甲士万人。进金枢密院事。据此，则常开平由婺移兵取衢，未尝久屯兵于此也。宋文宪为王恺撰墓志，言恺尝总制衢州军民，开平之部将或来侵，械而挝诸市，开平使人谢过。则其纪律严明可知，宜享祀于后世也。

(《两浙名贤录·刘基传》)吴王太祖初号。既破陈友谅，降洪都。刘基申母丧告归之请。基至衢，而苗军叛，杀金华、栝苍守将胡大海、耿再成等。衢人汹汹，其将夏毅忧甚，迎基入，众即帖伏。基为移书诸属邑，俾固守俟邵平章之兵，而悉诛诸叛将。

按：俗传，太祖亲征陈友谅，过衢，驻跸。有御书“仙岩洞天”

及帝王滩诸证。陈《志》以为太祖定金华后，即返金陵。其破伪汉，即由湖口东下，未尝至衡。此滩及仙岩御书，皆非实录。史称金华蒋英之乱，衡守将夏毅惧甚，适青田先生以母忧释服来衡，一夕定之。或先生中夜借称驻跸，以弹压乱者，至今遂传其事，亦未可知也。又考之郎瑛《七修类稿》亦有“刘基撫定三衢天堑，誓拔处州”语，当然不能无所设施也。安衡之功，基实有焉。

**灵山啸聚**（天启《府志》）同知余伯深佐郡守黄夷，凡美政两家共之。当开国草创之时，增益城垣。灵山之民啸聚，剽掠及境，亲入其党，谕散其众。

（又）县丞柴伯安。洪武十四年，邻寇窃发，诱邑之九都今周公源，通遂昌县。无藉愚民，肆行剽掠。伯安即领众人入其地抚谕之，皆泣拜顺从，擒其从盗十余家诛之，一乡安堵。

按：此二事出自同时，当有关联，故并志之。

**饶寇侵扰**（嘉靖《府志》）正德二年，饶寇入开化境。时守臣据表载，是时知府为张维新。委本郡同知孟博亲练民兵，逐至星口渡。义士苏十一等奋力前敌，寇始退。四年，雨黑子。姚源寇起，居民罹患。八年春正月，大雪，顷刻数尺。饶寇入境。廿三日。自玉山至开化，劫毁肆毒。邑民罹贼害者，大概二三万。时所赖以保障者，都司李隆诸人及知县杨璨、开化县。义士胡潭辈，咸有力。

（天启《府志》）宋毓，山东德州人。由进士历升郎中。正德十年，任衡州府。饶寇作乱，常、开二邑亦为残扰。官军往征，次衡。公综理周密，上肃军令，下抚居民。虽盛暑，不惮劳瘁。寇平，竟以伤暑致疾卒，人皆哀痛。

按：此饶寇之乱，前后已及十年，虽未入城，而民之受其残扰者已不堪矣。岂特常、开二邑而已哉？

**矿贼窃发**（嘉靖《府志》）嘉靖三十九年，盗掘铜山矿。西安

西北，去城百里。往岁，此二字，陈《志》脱落，致下已未春有疑义。徽、处二州民群聚窃掘，推官刘起宗逐散之。己未春，在上年。贼复聚，构庐成市，其势甚炽。太守杨准谋逐之。具请监司，调所属五邑兵，阅于教场。七日，先期谕以词，命开其归路。顽梗无忌者，属通判张泽陈《志》误铎。出师扰之，分道进兵，贼惧溃散。四十年夏，铜山矿贼害祝知事。时矿贼乌合甚前猖獗。太守杨准，初委知事祝芹御之。祝恃父子善射，中十数贼死，遂轻敌。贼伏兵四起，矢尽，父子俱被害。复委知县俞大有督兵，计俘其首乱者百数十人，余党解散。四十一年春，铜山矿贼复聚。贼以利之所在，时复乌合。然挫败之余，少有身家之虑者，亦欲自保，故谕之即散。

(康熙《县志》)嘉靖四十五年，流贼窃发剽掠，乡民老幼逃匿。贼至西安铜山，中丞刘羽泉亲提大兵剿之。复题请设兵巡道都司兵营于本府，自后矿寇始息。

按：陈《志》于铜山下云：银坑盗起，蹂躏数邑，西安被害尤甚。相传，戚大将军亲率兵定之。此语不知何出，今无可证，并志于此。

**明末乱患** (康熙《县志》)崇祯十五年，东阳许都乱起，民间惊扰逃窜，幸而获全。明季乙酉即顺治二年。是时，衢尚未入清。六月，金陵溃兵过衢入闽，往往剽掠为患，民间骚动。有赵民怀者，故贵州平越指挥，与马士英同里。士英与江南诸将齧龁，召以自卫，屯金陵鸡鸣山。至是溃归，所将苗獠骑兵千余人，并挟滇南贡象二乘，自越、婺肆掠入衢。郡司理彭遵锜、守戎张文拥步兵数百，倡率市人万余，欲邀之，利其所有，遇于青原之磨盘山，疑即石磨山，在城北清源乡。大败，死者数百人，城中震恐。翌日，乃自源口叶坂引去。所过东北诸乡，被屠戮甚惨。

**清初鼎革**(《东南纪事》)唐王聿键，明太祖八世孙，收衢州散卒

入建宁，即位于福州，与鲁王以海相犄角，有黄道周诸臣佐之，衢州属焉。

按：明亡后，衢奉唐王隆武年号。北乡下叶明王太子庙琉璃碑刊有“隆武元年十二月买田”文字，顺治四年立。

(《东华录》)顺治二年十月，大兵克徽州。十二月，进攻婺源，追至开化。次年，开化士民，先薙发投顺。至八月，征南大将军贝勒博洛由金华入衢州，擒蜀王朱盛浓、乐安王朱谊石及总兵项鸣斯。唐王闻警，救援不及。

(《通鉴辑览》)顺治三年秋七月，清兵克衢州。唐王聿键巡按金、衢二府兼视学政、御史王景亮，衢州知府伍经正，推官邓岩忠，皆不屈死。鲁王以海所遣镇将张鹏翼及伯吴凯、总兵项鸣斯等亦死之。初，杨文骢走处州，唐王聿键以在镇江时与之有旧，拜为兵部侍郎兼右金都御史，提督军务，令图南京。至是，闻衢州告急，命诚意伯刘孔昭共援衢。大兵至，文骢不能御，退走，为追骑所获，与监纪职方主事孙临俱不降，戮死。

(《清一统志》)伍经正，安福人。崇祯时，为西安知县。寻擢知府事。城陷，赴井死。邓岩忠，江陵人。为衢州推官，城破自缢。时巡按王景亮，吴江人；镇将张鹏翼，诸暨人；同死之。乾隆四十一年，经正、岩忠、景亮并赐谥节愍，鹏翼烈愍。

按：陈《志》仅载：王景亮，字武侯。先名佩，字仙声。苏州吴江人。少有至性，刻苦向学。癸未成进士，以中书舍人典试云南。道梗，遂入闽中。唐藩素重之，擢为御史。极言时事，动中机宜。疏上，虽夜分必披衣起阅，甚见褒美。加太仆卿，巡按金、衢，督学政。丙戌八月，皇师入城，景亮死焉。余人未详。

鼎革余波 (康熙《县志》)顺治三年鼎革时，魏福贤、李遂、汪长寿、方世法、郑三七之属盘踞南山、黄潭、翁源、磧源诸处。副将

王定国颇知兵，每出，辄歼馘渠魁，然亦有滥死者，后数年始定。

(《东华录》)顺治五年，衢州贼魁赵之超起，蔓延至临安，浙江巡抚萧元起平之。是年五月，浙江总督移驻衢州。

按：是时，天下纷纷，群以复明为标帜，号召党徒。之超事虽不成，其志气亦未可概没也。

**耿精忠之叛乱**(《清鉴易知录》)康熙十三年，耿精忠据福建。总督范承谟不屈，囚之。巡抚刘秉政从反。精忠遣曾养性取浙东，陷温、台、处诸州。总督李之芳闻变，疾驰扼衢州，分兵守常山要路。养性以兵数万窥衢州，李之芳亲自临阵，大败其众，养性以故不得越衢而西。帝使精忠弟聚忠赉敕至衢州，拒不纳。命内大臣希尔根为定南将军，帅师赴江西，讨耿精忠。十五年，康亲王杰书至浙江，破曾养性于衢州城外。引兵围温州，久而不下。而马九玉方据江山、常山、开化三县，与李之芳相持。会耿继祚再犯建昌，忽弃营宵遁。上知精忠必与郑经互争，乃命杰书、傅喇塔撤围温之师，直取福建，合军赴衢州，大破马九玉之众，乘胜复江山，因长驱入仙霞关，曾养性降。

(康熙《县志》)康熙十三年甲寅，耿精忠反于福建，通郡震恐，西安士民男女逃窜，城市为之一空。未几，群盗蜂起，连破江山、常山、开化据之。守道梁公激厉文武固守，请援于幕府甚急。于是，将军赖公、总督李公统兵于钱雾山、即前坞山，城西二十里。有里、外两前坞。唐公山、压潮源口、焦坑诸地，大小数十战，屡平寇穴，贼势少衰。然贼渠马九玉尚以全军结营据九龙山，此九龙山，亦在城西。逼郡城，砦栅甚固。至十五年八月，康亲王自婺至。翌日，进军。凌晨，破大溪滩江山县境交界之所。贼数千人，马九玉等始奔溃，遂长驱入闽，乃奏荡平。

按：耿逆之乱，衢民受困者三四年。观周召《双桥随笔》之所

记，已属苦不堪言。陈公修志时，相距不远，语必翔实。惜其中大小数十战，多未明晰，因摘《先正事略》及《东华录》奏报数条补充之。

(《先正事略·李文襄公传》)李公之芳，字邺园，山东武定人。顺治四年进士。任金华府推官，擢御史。康熙十一年，超拜左副都御史，擢吏部右侍郎。十二年夏，命以兵部侍郎总督浙江军务。莅事甫两月，吴三桂反云南。公檄总兵李荣，副将王廷梅、牟大寅、陈世凯、鲍虎等，分道御贼，又请调江南满汉官兵驻闽浙交界处，并发江西重兵守铅山、玉山，以壮声援。当是时，贼由常山陷开化、寿昌、淳安，由处州犯义乌、浦江、东阳、汤溪、龙游。叛镇祖宏勋陷平阳，踞温州，寻陷黄岩，犯台州及绍兴，集悍卒数万窥衢州。公偕平南将军赖塔率满兵千、绿旗兵二千、乡勇五百，以五月自杭趋衢。时，自巡抚以下，佥谓会城根本地，不当移镇。公曰：“今日事势所争在衢。上游失，则全浙动摇，江淮以南皆不能安枕矣！”遂行。七月，闽贼大举攻衢，众寡不敌。公大阅将士于水亭门，宣布朝廷厚恩，陈说大义，众感泣，愿决死战。兵既接，炮声震地，流丸如雨。左右请少避，公不可，曰：“今日之事，以兵胜败为吾生死，可稍怯耶？”守备程龙怯战，斩以徇。于是，将士殊死战，一可当百，遂败贼于阮西，斩馘数千。陈世凯等乘胜复义乌、汤溪，牟大寅破贼常山，游击王世万破贼龙游，鲍虎复寿昌，王廷梅败贼于金华，李荣复东阳。寻，大败贼于金华之寿溪，斩伪总兵张元兆等，毁寨十八。参将洪起元败贼于绍兴，复嵊县。先后得旨嘉奖。时，大将军康亲王统禁旅出金华，遣贝子傅拉塔等剿贼温、台。贼之在处州者，逼衢州东南；在江山者，逼衢州西南。公分饬守御，勿遽迎击，乃奏增本标为五营，得兵五千。十一月，贼众五万自常山逼衢州，结寨数十，冀联南路贼巢。公与赖塔督兵进战，斩贼万余，追奔二十里。十四

年冬，疏言被贼之地，一望萧条，啼号载路。即如衢州近城，难民九千七百有奇。散处各乡者，不可数计。请发库金赈。从之。时，贼帅马九玉、朱怀德等屯驻江山、常山、开化。其溪口、清湖、大溪滩、茅村前岭，皆列贼营。且散布处州、金华山谷，四出窥犯。公命荣、世凯、廷梅等分路攻剿，皆大捷。五月，公与赖公乘连旬水涨，由南塘捣贼前岭，阵斩七百余级，坠崖落水死者无算。十五年春，遣将由遂安截贼后路，连破贼寨，复开化。公遂建议直捣仙霞关，为摧坚制胜之策。有诏命，公条上进取机宜。公言：“进取之路，不在温、处，在三衢。今悍贼悉萃于此。此贼破，诸贼必骇散。虽伪将马九玉、朱怀德抗拒河西，而江、常之间有间道可袭。我军进击，使贼首尾不相顾。从此入闽，可奏荡平矣！”疏入，从之。时，康亲王自金华至衢州。八月，合军进克大溪滩，复江山县。将战，王问公，公策以必胜。明日，捷书至，王大喜曰：“岳忠武之策杨么，不是过也。”时，马九玉犹冀绕道夺仙霞，而诸将已受公密檄急据关口夹击，贼将金应虎等穷蹙乞降。于是，康亲王大军遂入闽。临行，公启曰：“王但饬诸军勿掳掠，即长驱入福州，兵不血刃矣！”未几，精忠降，槛送京师。

(《东华录》)康熙十三年五月，总督李之芳奏：衢州一路，贼兵屯聚清湖。在江南，通闽北大路。七月，奏请敕副都统喇哈统兵急进，以壮声援。上谕喇哈速赴衢州，与将军赖塔并力剿御。耿逆兵在衢州杜泽、大洲等处。都司姚世熙、守备晋大忠等两路进剿，大败之。八月，副都统胡图、督标中军副将王廷梅统兵至石梁、大沟源，三路击败贼众。十四年二月，贼踞衢州近郊，伪总兵叶念带贼兵五千于南山一带扎营，为贼运粮。平南将军赖塔密令总兵官王廷梅等分路冲杀，连胜三阵，杀贼二千余，焚毁贼巢，余众奔溃。三月，平南将军赖塔遣副都统喇哈、胡图、总兵官王廷梅败

耿逆下伪将军马九玉等于衢州，斩级千余。五月，贼屯衢郡隔河，各路窥犯。游击高禄等败贼于大埂、余村；守备李和龙等直抵上路源贼巢，生擒伪总兵缪国英等；外委都司张文福等败贼于峡口等处。闰五月，贼屯扎前岭，各路贼巢，互相应援。遣正白旗参领巴雅思呼朝、参将赵得胜至南塘、万青、前岭等处，分路冲杀，擒斩伪都司千总等。九月，耿逆伪将军马九玉下副将李廷魁等率贼数千，屯衢州府北源口山上，断我粮道。平南将军都纯赖塔等攻贼木城，围其三面，乘夜攻击。至天明，冲入，贼败走，官兵进剿，斩获甚众，木城俱毁。十五年二月，衢州逆贼负固河西，贼党王国忠屯聚河南，转运粮草。参将赵得胜率兵前进，连破三关，阵斩伪游击都司等，焚毁贼巢。八月，伪将军马九玉等领贼众数万人，踞守河西；贼将林福等扎营大溪滩，搬运粮饷。大将军康亲王杰书因诏促进，兵抵衢州，集都统赖塔等议，先断贼饷道以夺其势。于是月十五日，赖塔等率满汉兵，宵抵大溪滩，奋击，大败之，乘势进取江山县。马九玉大惧，弃营遁。十六年二月，周公源口，通衢州、处州两府属县地，联江西、福建三省交界之处，闽逆林惟仁统众盘踞。参将王英等奋力逾险，直捣贼巢，林惟仁率众归顺。

按：北门关帝庙碑记：贼营西门马棚岭。风闻耿逆在是，李公出大兵击之，贼溃下窜。追擒耿逆，得蟒袍、玉带、铜大刀，诏存协库。今刀、带尚存。民国后，移交县知事署。惟云“耿精忠于此被获，西门城边有杀耿埠头”，此语未见李公奏报，流俗传讹，恐不足信。

周召《甲寅纪事》诗：衢郡一掌大，冲瘠称岩疆。疮痍方未起，羸如瘠首羊。上苍应轸念，时若沾雨旸。讵当旱潦日，蹂为戎马场。今岁届甲寅，西南动機關。逆藩惮远徙，卷土抗王章。云南隔万里，视之尚寻常。无端邻八闽，仙霞境接壤。叶榕城佳丽地，拥矗称名王。虽无带砺盟，赫

煜芙蓉冈。四时饶海错，龙眼荔枝香。百货日闻溢，工巧埒苏閩。权操市舶利，鱼哮纵群商。富贵亦已极，肯随人颉颃。滇江忽闻警，迹疑唇齿凉。遂溅忠臣血，虽死身不僵。耽耽瞰虎辈，一旦戒抢攘。扼要绝枫岭，聳锐不可当。布劄鸠暴客，豕突而鷙张。谓可取富贵，不复畏彼苍。龙蛇竞走陆，日疲天昏黄。丛祠构孤火，鸺鹠声皇皇。讹言若鼎沸，靴尖趨城隍。守卒二三百，何以逆颜行。盈城悬鬼策，首邱宁北邱。一旦蜂拥出，当事难提防。扶老又携幼，奔迫何踉跄。舟中指可掬，野哭泪淋浪。岂知城内外，病在膏与肓。朝廷发劲旅，初到驻船艎。扎营四郊外，偶为敌所创。驟言难露宿，拥入民居房。所居破四壁，洞开垣与墙。发掘及井灶，括取室内藏。马圉果鹰惊，地棍为虎伥。蚁屯迄数月，乃换羽林郎。檄檄嚼回味，籠头虱已光。土寇若鬼蜮，伺隙即披猖。黑旆画圆轮，裹额扮戎装。腰悬七星剑，红袖耀柄裆。啸聚皆无赖，斩木为戟斬。或称索器械，或叱责糗粻。追比备五毒，锋袍居中央。箱笥碎满地，钗钏声铿锵。努目作骄态，醉饱然后飈。所生胜猰㺄，幸免无一乡。妇女窜山谷，狼狈混姬姜。老羸赴沟壑，婴儿弃路傍。夜暗风雨恶，闻唤爷与娘。贼来欲请兵，兵远刃在航。兵来贼已去，后门又进狼。控弦甲数万，未创其跳梁。昊天真不惠，复罹旱魃殃。山川皆涤涤，何暇议祈禳。师处生荆棘，土孽为螣蛇。加以涝旱苦，人命同秕糠。皇哉仁圣主，视民常如伤。軫恤谕屡下，天语何煌煌。运筹倚督府，仰体极端详。目击残黎面，簌簌泪盈眶。森严明纪律，调剂尤多方。羽书旁午内，所苦鞭虽长。久识琅玕公，推轂居黄堂。题蠲请民命，获免今岁粮。夫草发现价，尽去眼前疮。挺身犯强御，任事真慨慷。叶。军中乍指戒，此公项最强。奠民以衽席，出民于镬汤。余犹隐村落，举室皆凄惶。啼饥复号寒，薪米竟日忙。僦屋不容膝，裸被惟空囊。牛羊呼皆应，有若转粪蜣。故庐在城市，但存柱与梁。驼羸蹴蔬径，败砌鸣寒蟬。锥也没得卓，负郭皆抛荒。有书堆满架，尽遭一苇杭。他物犹慙置，此更摧衷肠。客谓余何痴，世界方沧桑。但使骨肉完，无书亦何妨。官军已四出，原野骨贼盈。蒿街馘累累，萑苻敛螳螂。运筹在帷幄，次第成纪纲。时事蹊徑惚，太平已可望。会将葺数椽，斗室聊徜徉。人生

如泡影，何用增瘋痒。此言殊可听，余眉为稍扬。揖客班荆坐，相与倾一觞。企愿洗兵甲，高歌乐虞唐。所苦无数帙，老眼终徬徨。送客出门去，仰视天茫茫。

**雍正甲寅之变** (府署杨景震碑记) 雍正十年壬子，予自西曹来守于衢。甲寅，江邑王益善潜构江西黄森官等谋为不轨。予廉访其实，密速擒拿，尽俘其党，驰报制宪程公，名元章，见《东华录》。具状以闻，特命今相国、前大司空徐公名本，见《东华录》。会审题结。稔知三衢之难治也，遂具疏请改协为镇，复设金衢严道，以资弹压。是年十一月，奉旨俞允。

按：《东华录》载“雍正十二年十二月戊申，兵部议准工都尚书徐本等奏，奉命浙江审理，查浙江衢州为福建、两江门户，请将衢协副将改为衢州总兵官，置中、左、右三营，以资弹压。并复设分巡金衢严道，驻扎衢州”等语。即为此事而起。前志不详改置之由来，亦以当时系弭患于未形也。

**咸丰乙卯杀台勇** 咸丰五年四月，有台勇二千余人，为粤军前驱入衢。邑令吴来鸿率团民杀之，地方赖以安堵。周世滋《淡水山窗诗集》有《台勇行》一篇纪其事，为吴邑尊来鸿作云。

**《台勇行》** 黑云拔屋屋欲走，百围大木摧如帚。六街飞瓦打人头，萧寺鸣钟不住手。鸺鹠昼啼怪物出，三日盈川杀机陡。城闕连夜闻鬼泣，八百奸顽齐授首。昨宵芹岭烽火明，新建白沙都失守。天台健卒猰子狗，倒戈反受贼奴嗾。强梁不许相侧目，官军两字籍入口。楼船骤下定阳溪，鳌弧直指烂柯阜。金刀出鞘戟荷肩，争入三衢思蹠蹂。郊原瞬息闻呼号，夫寻其妻儿唤母。犬奔上屋鸡上树，恍似郑人惊伯有。大炮无声日无色，青天雷霆噤不吼。吴侯意气何赳赳，屡及室皇剑及牖。投袂一呼市人奋，十万鋤兵共抖擞。同声杀杀振林木，刀斫斧斩如截藕。死者弃波活者埋，自午进追直至酉。二百年来见此变，血流盈浍尸横亩。遂令四境布谣传，疑有神兵集左右。羽书片刻越兰山，匹骑宵驰子历丑。明发衣冠历村野，酬

拜间闾欣孺妇。殷勤再四勖我民，善后章程期永久。父老闻之皆涕零，感公为我何忍负。尔日风声若有神，哗言到处争相诱。千村团练一夕成，百四十庄同比耦。雄威震破群魅胆，四奔决裂瓜分割。转祸为福在翻掌，半壁东南赖枢纽。还忆乌台忧国心，下士爱贤敦醴酒。当时有客善天文，瞻天台上觇星斗。杀星正照金鳌山，云将以术禳厥咎。一招海贼十千人，不募良豪募么丑。惜哉糜帑恣横行，坐使豺狼居腋肘。彼徒流毒伊胡底，图蔓须当绝渊薮。断绝根株有如此，何殊梦应风吹垢。陆家我幸为州民，帡幪所赐得亲受。愿借江东三寸铁，永奠长城功不朽。

**太平军一次围衢** 《平浙纪略》咸丰八年，伪翼王石达开贰于金陵，贼首欲自据一方，由江西河口、铅山、广丰，绕江山，以围衢州。总兵饶廷选败于大南桥，常、玉防兵退保郡城。金衢严道缪梓率数百人击贼城下，大破之，遂与衢州知府马椿龄、西安县知县李甫田及廷选登陴固守。甫田者，文襄之七世孙也。镇道故龃龉，防务一柄于道。闻警数日，守具悉备。杨国正、翟先仲两将隶麾下，所部并能战，民倚赖之。西安将军福兴由广信奉命来援，军既至，索犒汹汹，出战而胜，仍闭门按甲。请再战，不允。旋奉廷旨切责，愠甚，遂还江西。同知李元度亦由河口入浙，军于屏风关水田，遥为衢州声援。是时，贼以全力注衢城。衢防各兵二万有奇，金陵及徽、宁两防征调踵至，不相统制。于是，晏巡抚奏以周天受督办金、处，而请张公芾移驻严州，督办衢、严。未至，会贼之旁窜寿昌者，为李定太所败，而衢州城守九十一日，数破贼。贼掘地道五，皆不成，食尽力疲，解围宵遁。

**太平军二次围衢** 《平浙纪略》咸丰十一年八月，伪忠王李秀成率众二十余万从江西犯浙。二十一日，纠合湖防大股陷常山，即分路下窜龙游踞，贼复窜至安仁街一带，为夹攻衢州之计。九月初二日，围城。城中守兵多老弱，饷又不继，贷之民间，月给人千

钱。城外，火光周围数十里，旌旗如云，从西而来者，数日不绝，昼夜环攻，势危甚。督办防务衢州镇总兵李定太、署衢州镇总兵崇志、署金衢严道江允康、候补道苏式敬、衢州知府吴艾生、署西安知县丁寿宸等，婴城固守，间出军击之，力据外垒，水师炮船回环轰御，守备董兴仁阵亡，前后共毙贼数百，并将三百斤以下各炮运置城外木棚之内，平对贼营。贼觉之，遂于初八日解围东走。并复常山。浙闽总督庆瑞具疏奏捷。时，道员李元度安越军八千人、总兵林文察台勇二千人，先后抵衢。是年十月，上命太常寺卿左宗棠为浙江巡抚。时，省城被陷已二十余日矣。上谕左宗棠迅即督率所部兵勇亲赴衢郡，将开化及附近衢城股匪力行扫荡，并会合闽省援师及李元度进攻龙游之师，节节进剿，为收复金、严之计。同治元年二月十八日，左公率各营驰抵常山之水南地方，侦知贼分股窜踞招贤一带，衢城与常山、江山道路中梗，粮运隔绝。是夜，左公令刘典等各率所部分左、右路进，刘璈等各率所部相机接引。十九日黎明，齐抵招贤。贼不及列队，弃械狂奔，我军奋力追杀。于是，衢城粮路始通。李世贤由大洲窜至江山，踞花园港，结党自固。既为刘典所逼，遁走。潜约伪对王洪春元，纠合大股由衢州西北至双桥，我军迎剿，贼即潜遁。左公督师行抵常山，李世贤已绕由衢南回窜龙游，令贼党坚踞龙游县城及衢南之石室街，并嗾寿昌踞贼分窜衢州东北之莲花一带，修筑堡垒，以抗我师，而率诸贼回窜金华府城老巢。贼之大势，趋重金华，而倚龙游、寿昌、兰溪三县贼巢为犄角。左公方欲剿除衢北之贼，以攻龙游，忽闻杨辅清率大股由威坪图扑遂安，而宁国败贼亦转窜而至，左公遂令刘典率各营往剿，自率亲兵及各营由常山进驻开化。谍报寿昌、龙游之贼闻官军已赴开，遂一路逐渐上窜，逼近衢城。左公令刘典、崔大光等各营陆续拔回，而自仍由华埠出常山，赴衢剿之。五月初四日，驰抵衢城。

西北沐尘，诇知李世贤纠集贼目冯谷胜、陈寿，伪主将赖贼，伪佐将林贼、賂贼等，由龙游、兰溪、寿昌上犯于北路峡口、莲花、童村、里外黄、五坦、洋塘、盈川一带，连三十余营，并盘踞杜泽、云溪、璋塘等处村庄；又令嘏天义李贼、皎天义侯贼，天义系伪封号。于南路石室街筑四垒，联为一大垒；东路大洲、全旺、安仁埠等处，各筑数垒，相为犄角。其北路，地势毗连遂安、开化、常山，贼势亦较重于东南两路。左公令处州镇总兵刘培元进军常山，而调江西道员屈蟠、王德榜两军会合培元，进驻江山交界之后溪街，以防石室街之贼，而自率各营由北路进剿其东路安仁街一带之贼；令总兵李定太、郭启举等凭河堵截，以防横窜。十二日，我军九路并进，抵云溪，贼即溃退，因即屯云溪。十五日，分三路进攻里外黄、莲花等处贼巢。我军右路甫至艮山凉亭，而莲花、洋塘、盈川等处之贼先列队田垄，并挑骁贼数千过河而阵。张声恒率勇先进甫列队，骁贼数十跃马而来，步贼继之。张声恒以枪炮排击，贼败退，追至田垄，贼复张两翼来抄。对岸之贼亦纷纷踩浅过河，声恒悉力抵御。正鏖战间，杨和贵、马德顺先后驰至，斩骑马数贼，贼势少却，乘势追至河边。李世贤张红盖坐山巅，麾骑贼向前冲突。杨昌濬率亲兵往来堵御，刀矛紧接，毙贼数十，我军伤亡者亦以数十计。相持两时之久，适我军由右路进攻峡口者，毙贼二百余，破贼三垒；杨鼎勋复由莲花过河，烧贼一大垒，毙贼数十。李世贤知中、左两路俱败，不敢恋战，纷纷遁走。我军复追数里，始整队而还。时大雨连旬，溪流暴涨，我军与贼巢前阻一溪，不能凫水出队。六月初五日，天霁水退。初七日，刘典督同各营，由左路进攻里外黄之贼；杨昌濬督同各营，分列艮山凉亭一带，会攻莲花、洋塘、盈川之贼。我军左路行抵童村，上山瞭见外黄村庄甚大，后岑山一带贼垒亦固，刘典遂挥军严阵村前河干，令杨和贵、李良平伏童村下山内，黄有功、邢得伏童村上山。

内，遣亲兵数十人至村前挑战。外黄之贼见我军不多，蜂拥而前。刘典令各军稳站勿动，黄有功、邢得鬼水过河，绕出贼后。里黄垒中之贼大队来援。典即麾军过河接战，杨芳桂马队继之。外黄垒中之贼见我军过河，亦凫水来抄后路。李良平、杨和贵于林内突起击之，各路齐进，呼声动天，无不一以当百，贼败退入营，然放枪炮。我军奋勇直前，拔开花篱地刺，逾濠而入，贼势不支。适杨鼎勋、刘光明、张志超所部由峡口绕至外黄后山巅，摇旗擂鼓而下，群贼惊骇，不知所措，弃械狂奔。中、右两路见左路烟尘蔽空，知我军得手。即乘势进攻，莲花垒中之贼亦悉数遁走，逐北二十余里，蹋平沿途贼垒而还。是日，毙贼数百，生擒数十，救出难民男妇以数千计，夺获伪印军械枪炮旗帜无算。其下自盈川、上至里外黄一带数十里，贼三十余垒，一律平毁无余。南路石室街，东路大洲之贼闻北路贼巢已破，惊怖殊甚。初九日卯刻，刘培元、李定太会同屈蟠、王德榜等，各率所部，由南路进剿，贼见官军大至，弃垒而奔。各军急起追之，比至大洲，大洲贼亦弃垒遁，沿途毙贼百余，所有衢州东、南两路贼垒亦均平毁。各败贼分窜龙游，亦有窜至兰溪者。左公疏言：“浙江贼数虽有数十万之众，而皆听首逆李世贤一人指嗾，贼踪倏忽靡常。其注意仍在抄袭臣军后路。臣先拟衢州、江山兵力足资堵截，即当由寿昌、淳安直捣严州，以规省会。”六月，左公将进攻龙游、寿昌，以规金华。忽谍报李世贤率大股贼由严州淳安而来，前队已至遂安之东亭四都。左公令刘典率马步九营即夜由岭头倍道驰赴援剿，会江西援师亦至，贼大败退回金华。搜获贼中五月二十四日伪文，言金陵急须救援，然必先将衢城官军击退，始可前往。左公既败贼遂安，即日进攻龙游、兰溪、汤溪等城。贼自受此数大创，不敢再窥三衢。

附：左文襄公家书二则：

二月初九日，同治元年。由开化进攻遂安，毙悍贼近万，立复县城。本拟即攻严郡，忽接衢州道府稟报，李逆世贤攻扑衢城，李次青分守江山、常山，亦呼援甚急。不得已，以老湘二千五百人守遂安县城，而亲率各营赴常山为援剿之计。甫到，而常山之贼逼近我垒，幸均系我军年来击败余党，闻风丧胆，即败遁数十里，衢州围解。三月初二日，常山水南营次发。

近日兵事尚顺，衢州城东、南、北三路均一律肃清，踏破贼营数千。六月廿四夜，云溪营中发。

**林、米正法** 《(左恪靖伯奏稿)同治元年七月二十六日，奉上谕：左宗棠奏：官军攻剿衢州东、南、北三路贼垒，地方一律肃清一折。逆首李世贤纠党由龙游等处上窜，经左宗棠督军分道并进，复将里外黄等处贼匪击败，追杀二十余里，歼毙悍贼数百名，生擒六十名，救出难民数千名，踏毁贼垒三十余座。其南路石室街、东路大洲贼匪，复经刘培元等会同江西会剿之师节节进剿，该逆弃垒狂奔，沿途毙贼百数十名。衢州东、南两路贼垒亦一律踏毁，地方肃清。剿办尚属得手，著左宗棠亲督各军由龙游等处进剿，次第克复各城。所有出力绅民、兵勇，并著查明酌保。

(又)同年七月二十九日，奉上谕：左宗棠奏称“已革浙江布政使林福祥于到任后扎营江口，迨檄调入城。省垣被陷，林福祥避入满洲营。嗣满洲营又陷，该藩司辗转逃至江南提督曾秉忠营盘，旋即逃赴上海。已革提督米兴朝于杭城失陷后，亦复绕由桐庐等处，逃至副将李恒松等营内。本年正月间，逃至上海。所供逃避情形，历历如绘，请旨办理”等语。林福祥、米兴朝以文武大员，叠受先皇帝厚恩，不数年间，擢任提督、布政使。该革员等苟天良未泯，自应于杭城失陷时，即行奋烈捐躯。乃巡抚王有龄、将军瑞昌等先后殉节，而该革员目睹情形，恬不知耻，仍复辗转逃匿，忍辱偷生，希求

苟免。若不从严惩办，何以肃军纪而正人心？林福祥、米兴朝即著在衡州行营正法，免致久稽显戮，用示衡情执法、辟以止辟之意。

**九牧红巾之祸乱**（黎天才《五十寿启节略》）光绪庚子夏六月，红巾匪首刘加幅叛，起于九牧，闽界。劫渔梁，度枫岭，戍兵溃，长驱入浙。二十三四等日，连陷衢之江、常二县，匪氛益炽。警电至省，刘抚军树棠命天才率兵两营，星夜援衢。时，衢城已被围三日，军民协力抵御，匪少却。闻大兵至，遂宵遁。天才追逐数十里，抵一渡江地方，获吴癞头丑、柴鸿儒斩之。收复江、常两城，进剿匪穴，诛刘加幅于峡口山洞中，传首至衢，匪乱以平。是役也，仅歼渠魁三人，余众悉赦免。事闻，朝廷嘉天才功，擢升副将。

（詹熙《衢州奇祸记》）刘加幅，江山著匪也。前以清湖行劫漏逃，缉捕未获。庚子五月，京、津一带义和拳肇乱，南人惑于闻八月必反之讐言，刘遂蠢蠢思动，潜赴闽边之九牧，纠合吴癞头丑、柴鸿儒，谋劫渔梁汛之军装。枫岭游击、旗人煜林羽书告急，会绿营裁减，余额未满三百名，又多调操在衢。总镇喻俊明得报，遣把总项升率以往援，时六月十六日也。既而风鹤之警，日甚一日。知府洪思亮、知县吴德濂唯以辟谣为事，绅民请办团，吴不许；请置守，亦不许，且严禁上城。至二十一夜半，讹传有匪越城，居民狂窜西门，望见铜钱岭灯火荧荧，并闻炮声隆隆，俄顷声息俱寂，惊扰达旦。乡民避乱，扶老携幼，蜂涌入城，颠仆践蹋，呼号震耳。官厅仍无防御之策。二十四日午后二时，探报江、常二邑均失，全军覆没，文武各官相顾失色。未几，江山都司杨怀清、常山游击陆嗣恺亦在江山。各领残队，踉跄奔回。乱民乘势窜入，祸机四伏。是夜，民自为卫，仓猝集团，登陴守瞭。吴令亦悔前此讳饰之过也，上城慰劳之。孰知肩舆前行，咀声后起。次日拂晓，西城团民搜获一人于天王塔底，或言身藏火药，未知意欲何往。有识之者，认为县厨小老李实

奉吴母命，往蒋家滩取回其孙也。吴令在任，庶出一子，留乳蒋家滩，其后幸免于难。城闭被阻，潜避塔下，外人妄生猜测，吴令通匪之谣由是纷起。先是匪警初至，西乡有路过十一人，行踪诡秘，薄暮渡河，将入城状，携有兵器，乡民执以送县，吴令羁押，未讯未办，反与敷药疗伤。是晚，都司周之德入署牵出三人，杀之照墙下。时，乱民混居城内者甚众且杂，疑神疑鬼，举国若狂。匪复扬言于外，乘此纵反间，吠影吠声，因讹成实。吴令张皇失措，天甫曙，即速召绅集议于郡庙。其地僻，向无议事者，乱民谓有别谋，一哄而入，缚送道署，鲍祖龄畏难，拒不纳。延至日晡，办法犹未决，乱民愈聚愈众，遂毙之大堂下。英教士汤明心见祸，挈同妻儿走道署，求保护，鲍亦不理，伥伥无所归，并毙之于道署之门外。当祸之发也，有请命于镇署者，喻俊明始终不一临，亦不出一兵以弹压之。是时，怨雾弥天，杀机陡启，一任乱民恼恼，累及吴令二子与幕丁多人与佳音堂美女教士二人。又闻城外有常山逃来之教士，亦毙于中途。冤哉惨已！越日，刘匪率队扑城，持巨斧抵门阙，力斫之，口呼“吴大老爷开城”不止；标兵协团奋勇击退。无何而省军大至，匪势溃散，侵扰四乡，罹其害者犹不一。同时，寿昌获有巨匪戈大眼睛，亦供称西安县吴公所使，足见匪党故造此谣，鼓惑人心，使酿成内乱，自相戕。贼亦狡矣！事后，省令查办。官教重案，外人指索，横连无辜，年余始定谳，以周之德等十四人拟抵。案归北结。筑教士坟于府山之西，与地方官绅签订善后条约。此吾衢莫大之浩劫也。痛定思痛，辄笔录之，以告后人。《熙子磨来节稿》。

龙游县杨葆光《题詹肖鲁〈衢州奇祸记〉后》 太阴沴寒纯阳销，天公  
酿雪冻不浇。夜窗展读《奇祸记》，虚堂毛发森调刁。此盗原从讳盜起，清  
湖胠箧人旋跳。积习渐移结死党，三省会合通塘蜩。卒然帕首夺关隘，鬼  
箭直下枫岭摇。岭头老将羽书急，三衢传遍众志摇。文武不和兵家忌，况

复上下形神骄。郡置不问亦不备，恬熙如故嗟同僚。鬼火磷磷原上集，阴风心动惊连宵。有时人影在屋角，城头箭镞闻殷殷。曾不登城一眺望，但凭虚报词哓哓。以为时平焉有贼，百里远出烟尘消。岂知六月二十四，江常连陷练军凋。城头犹不许民守，县官通贼由此谣。那知出自长官意，空令冤死随妖腰。是时教士求避地，坚持不可何所要。约章本有保教义，既不听去宜相招。民人初起只疑惧，疑官疑教心慟慟。斯时县官但明断，正如旭日当清朝。岂容无赖擅杀戮，冤声惨地冲长霄。城中无故自戕贼，试问法律谁为昭。我友觥觥郡中望，召父之子良弓调。当其与贼不两立，奉母挈妻判共焦。及至幸存乃载笔，谓是心史无虚杼。我当其时正困守，危城夜听风萧萧。激厉士卒勉眷属，效死勿去期后凋。与君异地有同志，两家交情真琼瑶。读君此记感何极，直笔采向天边韶。

((龙游新志))先是江土匪起事，四乡已举办团练。及六月二十五日，西安知县吴德瀟被害，风声益紧。二十九日，北乡团练赴西安东乡与县交界之郑家村，为匪所乘，死者四人。及七月初三日，匪掠西安县东之樟树潭村，复顺流至郑家村。匪首吴懒头丑者，本欲攻龙游。而匪首三角人江山方言，人读如难。以夙与高家村人有隙，因先率众渡河，至其村焚掠。于是，马叶村一带民团虑其侵入县境，正事防堵。而北乡团首、泽随村人徐炳芝夙以臂力称，乃率团勇三千余人踵至，同追至郑家村。村中有江山人數家，本窝藏匪人者，团练遂举火焚其居。高家村之匪望见郑家火起，急渡河归，与团勇战，匪败走。当时，别有一股土匪，其匪首名陈铁龙，由西安全旺窜入十都。十都人大惧，勉为供应。铁龙正思与江山匪合，以闻郑家村匪败，遂散去。后二年，复与龙兴殿僧密谋举事，破获，铁龙遁，不知所之。

按：陈铁龙，不知何许人。当刘加幅未起之前一月，五月某日，记系十五日。铁龙在全旺邻近之尖峰山约十里许。祭旗举事，为乡绅邱朝昇、凌鹤云等所揭破，遂窜入龙游。

**民国反正之初基** 《衢城光复记略》辛亥五月间，绿营裁撤，改作陆军，总兵官沈大鳌为统领。编制甫就，两阅月，而武昌革命事起，风传入浙。大鳌二侄瑞麟、增海阴图响应，讽示大鳌，大鳌不从，遂结韩石胆、曾黄老虎等，纠集无赖，私行招兵。迨九月十五夜，杭州市城宣布独立，通电至衢，人心惶惶，不知所措。二沈乘间复进言于，大鳌仍执不可，乃与中军游击陈怀玉谋幽大鳌。越日，假座商会开衢民大会，宣传新共和，推怀玉为军政长，李道龙元为参谋长，孔博士庆仪为民事长。协议既定，市悬白旗，顺应省城文告，用黄帝纪元名义电上都督府。此九月十七日事也。时，衢州知府兼西安县崇兴，本旗籍，士绅虑为二沈所挟，请迁出署，暂寄天主堂一宿。次日，别赁民房居之。衣服器皿，安置如常，崇心甚慰。逾年三月，始去北上。怀玉见二沈之跋扈，兵权落其手。又韩石胆自江山来，率领新兵助之，愈不能制，遂电辞军政长职。沈、韩等要索益甚，向商会大肆恫吓，衢城扰扰者数日。孔亦辞民事长不就。李道名为参谋，势实孤立。都督汤寿潜得衢电，以衢为浙上游军事重要之地，乃派光复军一营，命统领刘忠樑驰至衢镇抚之。忠樑至，谂知始末，电请改授李道为衢州军政分府兼民事长，执二沈、韩、曾四人，毙之道署，人心始定。邻县闻之，皆随衢下。南京政府成立，改行阳历，始以民国纪元。旋改衢州府为衢县，辛亥七月，已裁西安县。委楼守光任知事。五月，军政分府亦撤销。

**闽军入浙之关键** 《江浙战史》民国十三年七月间，江、浙失和。闽孙传芳为卢永祥收容臧致平、杨化昭，因陆续征调，与苏齐燮元接洽，攻浙后方。八月十五日，孙之卫队先开往延平。二十九日，孙传芳抵延，分所部六混成旅为六支队，每支队设一司令。闽北镇守使兼第十混成旅旅长孟昭月，第一支队；第二十四混成旅旅长张俊峰，第二支队；二师三旅旅长卢香亭，第三支队；二师四旅旅

长谢鸿勋，第四支队；第一混成旅旅长彭德铨，第五支队；十一混成旅旅长王麒，第六支队。麒病留省，暂归孟昭月指挥。议既定，遂分道入浙。九月四日，两军在仙霞关接触，闽军先开一排枪，浙军即还枪攻击。开火数小时，因距离甚远，双方均无死伤。浙军以人数较少，旋即自退数里。闽军乘势前进，浙军复据险回守。时有炮队长通款于孙，潜将危险处炮上之重要机件卸下。迨孙军攻至关下，浙军遽失其利器，无所凭藉，纷纷溃退。闽军孟昭月之第一支队分支队韩团遂占领仙霞关。而浙军第三路副司令潘国纲在衢城，尚不知前方天险之已失也。浙江省军队向分省军与国军。省军，如潘国纲之第一师、张载阳之第二师。国军，如卢永祥之第十师、陈乐山之第四师。以内容而论，国军远优于省军。二者相处多年，颇能相安，然交接之机会殊鲜。江、浙战起，当军旅出发之初，卢永祥氏以国军及臧、杨旧部赴前敌专力对苏，而令省军潘国纲所部及张载阳所部之一部分御闽。以大势观之，浙军当浙东，国军当浙西，平分一半，措置不为不当。虽明知潘不敌孙，而有仙霞关之险可恃，纵不能战，或尚足以守，而不料其失守竟如此之易也。五日以后，十日无战事。因据仙霞关者不过孟昭月先锋队之一部分，而大部分闽军则随总司令孙传芳氏集中于浦城，尚待陆续开拔。而浙军一方面则慑于孙军之威势，竟不于此时挑选精锐反攻仙霞，而逗留衢、常、江山之间，从容观望，以迟闽军大队之入浙，此一星期来所以无战事也。十四日晨，闽军占龙泉，江、衢大震。浙军副司令命旅长伍文渊紧守江山，并命七团火速开赴江山助守。七团不奉命，全体开赴大陈。伍旅长派人请其来援，亦不至。十五日午前十时，闽军抵江山，即向浙军阵地开始攻击。午后三时，战斗非常激烈。九时，浙军副司令潘国纲亲到江山阵地督战，并派杜营长赴大陈，令七团火速前进。十六日晨二时，闽军向浙军两翼包抄，同时正面战斗亦烈。然浙军布置适宜，士气壮盛，勉可支持，

只望七团来援，不难将闽军击退。至上午八时，七团尚未到。同时，闽军发现于浙军阵地后面，并有系七团倒戈之谣。于是，浙军四团军心摇动，向后退却。遂将三团包围。三团亦不能站住阵地。闽军复三面痛击，炮火甚烈。浙军死伤一千余人，全体向衢县溃退，遂失江山。十七日，浙军退抵衢县。得后方探报，谓闽军将接踵追至，复弃衢县不守，退兰溪。潘国纲氏拟即在兰溪架炮固守，背城一战。复碍于绅商之请，不得已，再退至桐庐。于是，闽军总司令孙传芳氏长驱直入，势如破竹矣。

十八日，杭城联军总司令卢永祥得第三路前敌败讯，疑浙军有变，即通电以浙江还浙人，尽率所部及眷属赴沪。张载阳亦以省长印信交警务处长夏超，以第二师师长关防交警备总参议周凤岐，偕卢氏同行。于是，孙氏至杭，而浙局一大变矣。

按：衢为闽浙门户，浙军初不措意，致有此失已。如记者所言，此次车骑之往来，米刍之供给，地方劳顿不堪。时又有赣军两团逼踞衢城，行动越轨，向衢民索借饷银十万圆，道尹冯学书筹之，当地绅商勉为应命，即密电至省，请予拨还债券。其他各种供应之需，所费尚巨，经县议会议决，按田赋每两征收特捐银一圆，以一年为限，约得五万余圆，以资弥补。

《衢县志》卷十

# 官师志

三目

治官表附：驻衢同城长官

学师表

武官表

《衢县志》卷十

县人郑永禧纂

# 官师志

## 治官表

州、县亲民之官，与民有直接利害之关系。其贤也，民之利，民自受之。不贤也，民之害，民亦自受之。古者设官为民，所以慎重乎令长也。历数千百年来，官斯土者几何人，昔所著录远弗能详。其幸而后之人识其姓名者，度其功德，皆有可传者也。衢自武德创建州治，唐、宋知州，其权特盛。明清以降，由县治事，府以察吏而已。县志例不载府。今府制既裁，旧日府官虚悬无薄，县属附郭之下，同城共治，相依为理，政令所出，较之外县尤亲至。巡道一职，设自明季，迁置于清初，就有清一代并列之，以明今道尹之所伊始。《上海续志》、《建德新志》已开先例。兹仿取之，亦存大小相维意也。

### 汉至隋令长

《汉书·百官表》：县令、长，掌治其县。万户以上为令，秩千石至六百石；减万户为长，秩五百石至三百石。皆有丞、尉，秩四百石

至二百石，是为长史。百石以下有斗食、佐史之秩，皆秦官也。后汉以下，皆视此制为差，兹不备述。

汉献帝时

贺齐本姓庆氏，避安帝父讳，改为贺氏。见《三国志》裴注引虞预《晋书》。字公苗，会稽山阴人。太末、丰浦民反，转守太末长。有《传》。

按：杨《志》表载，贺齐，献帝建安十六年令。姚《志》因之。然据本传，齐转守太末下有“建安元年，孙策临郡”语，是尚在建安以前。建安四年，始分立丰安县。此称丰浦，其未立县可知。其时，太末、信安两县未分。汉代令长，仅此一人，故首列之。

姚《志》载，晋吴猛为西安令，见于宝《搜神记》。复载《仙释》下，陈不载。考：晋以前，未有西安之名。猛为豫章人，豫章别一西安。《水经注》：赣水又北径南昌县故城西，建安中，更名西安。晋又名豫章者，是也。姚认为此地与刘粹封西安县五等侯此齐郡西安，承《通志》之误。同一谬误。姚氏疏于考证，而陈氏《正误》反欲改为信安，弗思甚矣。

姚《志》又依杨《志》，载有晋江迪、齐萧谌、梁将匠道李三人。江、萧俱见本传，将匠氏见凌迪知《万姓统谱》，并太末令，已入《龙游志》，陈《志》不叙及，故不列。

晋怀帝时

郑济郑平之子。信安令。前志失载，今补。

按：《郑氏谱》载，平少子济为信安令，勤于职，得侍左右，时在永嘉元年。平虽退老，犹在衢也。

刘宋时

王瑗之杨《志》表载，宋信安令，见《齐谐记》。姚《志》记误志。

按：广汉王瑗之为信安令，有遇鬼伯喈事。今见《太平广

记》。

梁武帝时	刘勰《梁书》本传：字彦和，东莞莒人。天监初，自车骑仓曹参军出授太末令。龙游旧志俱不载。兹仍杨《志》及陈、姚两《志》存之。
------	--

按：陈《志·官师》名宦首列刘勰。姚《志》谓无政绩，改以郑平冠之。不知平虽镇衢，非令长，职不得云宦，所说仍未安也。

梁元帝时	留异杨《志》表：陈世祖承圣间，信安令。见《陈书》本传。
------	-----------------------------

按：《陈书·留异传》：东阳长山人。元帝以为信安令。荆州陷，王僧辩以异为东阳太守，均在梁时。承圣乃梁元帝绎年号，非陈世祖文帝蒨年号也。杨《志》有误，姚未之更正，但以异传在《陈书》，遂谓为陈代信安令耳。至异入陈后，以叛逆诛，自不得入名宦，然县令之名亦不可灭也。

隋炀帝时	辛大德杨《志》表：炀帝大业九年，任信安令。见《北史·虞绰传》。
------	---------------------------------

按：亦见《隋书》。大德，天水人。赵《志》西安令以辛大德居首。云：为令有惠政，坐匿虞绰，为使者所执，吏民叩头请之，获全。

## 唐、宋县令

丞、簿、尉属焉。

《通典》：唐县有赤、畿、望、紧、上、中、下七等之差，县令各一人。《元和郡县志》：信安，望，郭下。《新唐书·志》：西安，望，本信安，咸通中改。宋制同。

	令	丞	主簿	尉
唐武后如意年	杨炯盈川令。 按：如意元年，分置盈川县。元和七年，省入信安。今县之东乡有盈川乡。令、尉当亦列入。			吉琰杨《志》表：如意二年，盈川尉。姚作炎。
玄宗开元间				皇甫憬杨《志》表：开元十二年，盈川尉。见《旧唐书·宇文融传》。按：《传》融以括容田、佐军需，憬上疏论不便，贬盈川。龙游旧志以阳翟尉上书，新志融作弛，疑敬误。敬，融之祖也。

	令	丞	主簿	尉
天宝间	辛规 赵《志》 载信安令，杨 《志》无年代。 按：见《郑 崇义传》，与 张思钦同时， 当在天宝间。			郑相如 杨 《志》表：天宝 二载，信安 尉。见《前定 录》。 按： 亦见《白六 帖》。
肃宗至德 间	裴济 至德二 载，信安令， 荐余势亮。 见《大俱余氏 谱》。			
宪宗元和 间	李杠 杨《志》 表：盈川令。 无时代。见 《宗室世系 表》。 按： 《表》：杠为代 祖后蜀王房 六世孙。其 任盈川，当在 宪宗元和以 前。《龙游 志》载：杠，文 宗时龙丘令。 岂其在后欤？			

	令	丞	主簿	尉
元和四年	侯高信安令。 见李肇《国史 补》。为李逊 荐。又李翱 《来南录》；与 侯高同宿石 桥。  李术赵《志》： 西安令。见 旧经。年次 无考。	韦密信安丞。 见《唐书·宰 相世系表》。		张叔敖信安 尉。亦见《宰 相世系表》。
五代时无 县官可考				
宋太宗端 拱二年	张师颜			
淳化五年	吕文膺			
真宗咸平 元年	崔遵吉赵作 古，陈作吉。 大理寺丞。			
四年	魏价光禄寺 丞。			
五年	王楚光禄寺 丞。			
景德元年	樊汝士国子 助教。			

	令	丞	主簿	尉
四年	徐可度卫尉 寺丞。			
大中祥符 二年	赵惟吉 赵、 陈：二年。姚 依杨作三年。 奉礼郎。			
五年	张方回大理 寺丞。			
六年	卢范校书郎。			
九年	任堪校书郎。			
天禧三年	高舜卿校书 郎。			
仁宗天圣 元年	安惟良给事 中。		朱寅天圣年， 主簿。姚《志》 补。	
四年	李有象承务 郎。			
七年	卢咸和承务 郎。			
十年	左倩承事郎。 以上并见 赵《志》。 郑荣寿昌人。 天圣后，知 县。见《两浙 名贤录》。			

	令	丞	主簿	尉
明道二年	许朝宗承事郎。			
景祐二年	慎曷知礼子。 见《慎氏谱》。 儒林郎。			
宝元元年	李方将仕郎。			
庆历元年	杨阜将仕郎。			
四年	过勣文林郎。 旌清献公庐墓。一作煦，亦作照。			
七年	高舜臣儒林郎。			
皇祐二年	张诜文林郎。			郑子高浦汭人。为信安尉。见赵《志·流寓》。杨《志》列此。
四年	宋宏校书郎。			
五年	张朴文林郎。			
嘉祐元年	陈瀚 陈《志》作澣。将仕郎。			

	令	丞	主簿	尉
四年	朱明之登仕郎。赵《志》：立石题名，自为记。			
七年	周师厚文林郎。			
英宗治平三年	江淑校书郎。 杨《志》翻刻误汪姓。			
神宗熙宁二年	雷庠校书郎。			
四年	丘达将仁郎。 姚作邱逵。 依柯山碑，当不误。			
八年	桂砺文林郎。			
元丰三年	吴柏淮南节度推官。			
六年	崔希仲和州防御推官。			
哲宗元祐二年	陈祐赵作祜。 雄州防御推官。丁忧。姚作淮南，误。			

	令	丞	主簿	尉
三年	黄崎 雄州防 御推官。丁 忧。			
四年	李积中 剑南 西川节度推 官。丁忧。			
五年	张铎 嘉州军 事推官。			
六年	郭仪 姚依杨 《志》表作八 年。			
绍圣元年	陆周			
元符二年	杨光弼			
徽宗崇宁 三年	包雄			
五年	程迈			
大观四年	曾班 陈《志》 姓作鲁。			
政和二年	李增			
八年	陈逸 改江东 运司管勾文 字。			
宣和元年	张振 奉议郎。	黄瑗 姚《志》： 宣和间丞。 陈《志》作瑗。		留辟疆摄西 安尉。

	令	丞	主簿	尉
五年	斛侁宣教郎。 以上并见 赵《志》。 魏炳文通直 郎，权知西安 县。见《鹤屿 文集》。			
钦宗靖康 元年	姜诜姚作侁。 宣义郎。			
高宗建炎 元年	魏旦朝散郎。			
二年	夏元亨承直 郎。			
绍兴三年	赵继之左宣 教郎。			贝钦世上虞 进士。绍兴 时，为西安 尉。见《绍兴 府志》。
五年	李佃右朝散 郎。			
八年	叶綬右承奉 郎。			
十一年	桑庄右宣义 郎。			

	令	丞	主簿	尉
十二年	柳材右从政郎。			
十三年	王兴慈右宣义郎。			
十六年	赵不猷姚《志》不作丕。 右宣义郎。			
十九年	吴詠左宣教郎。临海人。 见《通志》选举门。			
二十年	唐开右通直郎。赵云：立石题名，方柒记。			
二十三年	曹随左奉议郎。杨《志》列二十二年。			
二十六年	王衣右通直郎。			
二十八年	王恬右通直郎。			

	令	丞	主簿	尉
三十年	潘偁左朝散郎。		张仲迈临安人。绍兴二十七年，进士。西安簿。	
孝宗隆兴元年	温镗左承议郎。			
二年	洪晖右宣教郎。			
乾道元年	贾子渊右通直郎。	张应麒一作麟。乾道初，丞。捐躯石室堰。		
四年	周权右通直郎。			
七年	赵善言左奉议郎。丁忧。		黄度平阳人。乾道二年，进士。见《通志·选举》。不知任年，补列于此。	
同前	林谦右宣教郎。			

	令	丞	主簿	尉
淳熙元年	邹嶧姚作澥。 奉议郎。赵云：立石题名，闻人阜民记。			
三年	叶载宣教郎。			
五年	钱说之奉教郎。			
六年	张次夔宣教郎。			
八年	刘兴祖通直郎。			
十一年	王庵赵作庵， 陈作奄，姚依杨《志》表作淹。承议郎。			
十四年	娄玑朝奉郎。 后为参政。 赵《志·章戴桥记》作机。			
光宗绍熙二年	徐云翔奉议郎。			
四年	俞厚承务郎。			

	令	丞	主簿	尉
五年	叶嵩陈作嵩。 通直郎。			
宁宗庆元元年	林琰姚作炎。 承议郎。			
四年	赵希倧奉议郎。			
五年	叶嗣昌朝请郎。			
嘉泰二年	杨汝明宣教郎。			
四年	叶知柔奉议郎。			
开禧三年	张从之宣教郎。姚作二年。			
嘉定四年	林士裕通直郎。			
五年	林介通直郎。 后通理泰州。			
八年	方亿宣教郎。			
九年	叶守宣教郎。			
十年	刘之瑞通直郎。			

	令	丞	主簿	尉
十一年	李大成宣教郎。赵《志》止此。			舒瀛奉化人。宝庆二年，进士。西安尉。见《四明志》。
理宗淳祐元年	翁甫本《宋史·王应麟传》。字浩堂。杨误翁南。		王应麟本传：淳祐元年，举进士。调西安主簿。	邵庆杨《志》：后改江山。
宝祐间	陈均平阳人。知西安县，以最称。除大理丞。见《名贤录》。	康忱康执权子，为西安丞。见赵《志·侨寓》。年次无考，附列于此。		卢宜之西安尉。年次无考。姚《志》附后。
度宗咸淳末	赵若鏗丙子在任。遇害。见《梅涧诗话》。			

## 元代县官

《元史·百官志》：至元二十年，定为上、中、下县。上县，达鲁花赤一员，尹一员，丞、簿、尉各一员，典史二员；中县，不置丞，余悉如上县之制；下县，置官如中县。民少事简之地，则以簿兼尉。尉主捕盗事。别有印典史一员、巡检司一员。西安，中县。典史、巡检，皆不可考。

	达鲁花赤义 言总辖。	县 尹	主 簿	尉
元初	赡思丁进义 校尉。  不花忠翌校 尉。  忽辛将仕郎。 别失别进义 校尉。  忽都答儿将 仕佐郎。  久住哥进义 校尉。  李罗帖木儿 进 义 校 尉。 并赵《志》。			
至元十四 年	小布伯			
十五年		李谦将仕郎。		
十六年	杨山			
十七年				王蒙古歹姚 《志》蒙作梦。
十八年		冯义从仕郎。		
二十年				李琦
二十二年		桑茂从仕郎。	王闰将仕佐 郎。	边完
二十四年				彭聚

	达鲁花赤义言总辖。	县尹	主簿	尉
二十五年		王茂承事郎。		
二十六年			张维纲将仕佐郎。	
三十年			苏璘登仕郎。	
三十一年	马合麻承事郎。	傅嵩卿将仕郎。		
成宗元贞二年		郭亨承事郎。	陈遂进义副尉。	刘福
大德二年	失刺失里从仕郎。			
三年		赵思敬承事郎。	樊仲玉将仕佐郎。	符珍
五年	阿答海迷失承事郎。		郭英将仕郎。	
六年		王得山忠丞校尉。		
七年				尚斌
十年		庞仲奎承事郎。	吴时森登仕郎。	许从凯
武宗至大元年	教化的敦武校尉。	完颜荣甫承事郎。		
二年				众家奴
三年			秃鲁罕进义副尉。	

	达鲁花赤义 言总辖。	县尹	主簿	尉
四年		赵昇承务郎。		
仁宗皇庆 元年	昔里吉思 前志均 止此，以后无 考。			崔从政

## 明代县官

明制，县设知县一人，掌教养万民之事。县丞一人，管马，管河，管粮。主簿一人，巡捕。典史一人，典出纳文移。又有巡检，分防于外。

	知县	县丞	主簿	典史	杂属
明太祖洪 武初	汪朝选吴 元年。江 西九江县 人。有 《传》。赵 《志》作王 姓。 曹郁移建 县治。	唐铎《太 祖实录》、 《明史》俱 云：庚子， 从征江州， 授西安县 丞。为时 尚早。赵 作洪武八 年，杨改作 龙凤六年， 均不合。 有《传》。			

	知 县	县 丞	主 簿	典 史	杂 属
二年	何忠见宋濂《徐贞妇传》。与知府王珍同时。 秦軫本邑人。授录事，署县。今补。		皇甫通见王玑《题名记》。杨补。	冯克忠见王玑《题名记》。杨补。	
八年	靳达见郑辰《清节祠记》，作远，误。弘治《府志》：修县学在五年。疑误。				
十八年	陈祥赵云：广东程乡县人。由德行文学荐。				

	知 县	县 丞	主 簿	典 史	杂 属
二十三年	傅裕山西 泽 州 人。 有《传》。	柴伯安叶 《志》:河津 人。洪 武 初 任。赵 《志》:在二 十 三 年。 列傅裕下， 有《传》。			
二十七年	姜仲能四 川 泸 州 人。 有《传》。				
三十二年	杨守恭江 西 新 涪 县 人。有《传》。				
成祖永乐 元年		陈志和			
十四年	李 宪				
宣宗宣德 四年		王 佐 河 南 襄 城 人。 监 生。			
七 年	李 瑚 真 定 府 饶 阳 县 监 生。				

	知 县	县 丞	主 簿	典 史	杂 属
十年	傅琳江西 临川县人。 监生。以 忧去。				
英宗正统 元年		陈简江西 大庾人。 监生。		廖隆福建 宁化人。 吏员。	
二年	伍服广东 番禺县人。 政绩著闻。	郑余庆陈 作庆余。			
五年	李晋江西 南城县人。 由训导升。	王 恺 赵 《志》年阙。			
八年	黄琎苏州 府长洲县 人。监生。 满去。姚 作王姓。				
代宗景泰 初			李通江西 南昌府武 宁县。吏 员。	朱伦华亭 人。由御 史左迁，寻 升余杭县 知事。	

	知 县	县 丞	主 簿	典 史	杂 属
三年	陈暹湖广 蕲州人。 监生。	盛霁武宁 监生。九 年，满去。	胡瑄		
四年			陈福		
英宗天顺 元年	邹震江西 新喻县举 人。有《传》。				
宪宗成化 元年	程英湖广 汉阳县人。	王鼎山西 蒲州人。 监生。	许谨岳州 府慈利监 生。后致 仕。	朱冠淮安 府盐城吏 员。	
成化间， 无年次	黄玹湖广 人。升监 察御史。 历南京大 理寺丞。 赵《志》年 脱，姚作二 年。	张珍山西 监生。姚 作二十三 年任。 崔效山东 平度州监 生。 张哲江西 新喻监生。 姚作廿一 年任。	熊源四川 泸州监生。 姚作二十 三年任。 张聪江西 德化监生。 姚亦廿三 年任。	李昇 陈绶 赵忠山东 人。吏员。	
二十年	卫璿广东 东莞县举 人。				

	知 县	县 丞	主 簿	典 史	杂 属
二十一年	廖铉四川崇庆州进士。有《传》。				
孝宗弘治初		余璁陕西褒城监生。		夏志海合肥吏员。	
六年		汤经江西安仁监生。			
七年	郑玉山西朔州人。由训导升，三载去。		陈璋福建武平监生。	孙俊凤阳府颍州吏员。	
十年	戴礼山东济阳县人。姚《志》：举人。		冯忠四川梁山监生。		
十四年	方景渊福建莆田县人。			谢镛直隶人。吏员。卒于官。	
十六年		卫銮江南宣城监生。	陈祐新乐监生。姚亦十年任。		
十八年	戴旦江西浮梁县举人。有《传》。	郑公奇福建莆田进士。			

	知 县	县 丞	主 簿	典 史	杂 属
武宗正德五年	涂秋江西浮梁县举人。	黄仁山江西新淦进士。给事中左迁。 有《传》。			
九年	杨脩江南无锡县举人。				
十一年	郁浩湖广进士。				
十二年	张润身直隶成安县进士。有《传》。				
十六年	王密直隶唐山县进士。陈与上并误江南。	周宇见孔氏家庙碑。 旧志失载。			巡检、驿丞以前无考。 李满以下严剥司巡检。 陕西蒲城人。 吏员。 杨作李涵。

	知 县	县 丞	主 簿	典 史	杂 属
世宗嘉靖元年	梁朝宗江西龙泉县进士。				
四年	林钟广东高要县进士。有《传》。				宋钦分宜人。知印。
八年	张江江西庐陵县举人。有《传》。				石伦嵩县人。吏员。
十年			殷廷光江南徐州监生。陈、杨《志》姓作段。		钱模六合人。知印。
十一年	拱廷臣广西桂林卫进士。				曹学高邮人。吏员。
十三年	冉崇礼河南中牟县进士。有《传》。	焦珍		吴琦广东人。吏员。	刘金以下上航驿丞。固安人。姚作全。
十四年			吕贞江南无锡监生。		陈惠德化人。

	知 县	县 丞	主 簿	典 史	杂 属
十五年			王露山东人。监生。		
十六年	王余泽四川南充县监生。	王东江南金坛人。 调江山。 莫斅广东人。继任。			
十八年	王洪江南华亭县举人。见家庙碑。			苏曦湖广醴陵人。 吏员。	
二十年	吴德范福建同安县举人。	刘翔江西监生。			
二十三年	魏春湖广黄冈县举人。	李用枣阳县监生。 陈作李甫，襄阳人。	王述寿州监生。		
二十六年				陈志华当涂人。吏员。	
二十七年	潘浒江西上高县举人。				

	知 县	县 丞	主 簿	典 史	杂 属
二十八年				李钊华亭 县吏员。	
三十一年		丁表江南 常熟县监 生。	周仲谟江 南昆山监 生。	冯桥兴化 县吏员。	
三十五年	徐卿成湖 广醴陵县 举人。	桂标石埭 县监生。			
三十七年			凌敏德江 南吴县监 生。	瞿澜泰州 吏员。	
三十八年	俞大有福 建莆田县 举人。				
三十九年		吴志学福 建泰宁岁 贡。			
四十一年			云经徐州 砀山监生。	万化滋南 昌吏员。	
四十三年	曹存字三 存,应天句 容县举人。	尹凤朝湖 广湘潭监 生,杨谋朝 凤。	杜世显江 南上海监 生。	以上并见 赵《志》。	

	知 县	县 丞	主 簿	典 史	杂 属
四十五年		蒋文炳江西铅山贡生。石室堰碑。		鲁朝海貴溪人。见石室堰碑。	
穆宗隆庆元年	梁问孟河南新乡县进士。有《传》。				
二年			黎伯宽广西陆川监生。		
三年		史可立湖广湘潭县监生。姚作四年任。			
五年	魏良知湖广京山县进士。		姚期生四川峡江县监生。	曹斌华州人。	
神宗万历二年		汪子清江南歙县监生。	张三珩江南常熟县监生。陈作枅。		洪尚德以下严剥司巡检。泾县人。

	知 县	县 丞	主 簿	典 史	杂 属
三年			沈卉桃源 县监生。	张一鹤吴 江人。	童学礼 姚《志》 无。据 陈《志》 补。
五年		张俶江南 芜湖县监 生。姚 《志》误椒。		叶蓁丹徒 人。	蔡斗烹
六年	李一阳江 南丹徒县 进 士。有 《传》。		包洪范江 南华亭县 监生。		蒋义金 坛人。
八年				司马栋长 沙人。	汪拱休 宁人。
九年		朱守俭江 南华亭县 监生。			靳克刚 合肥人。 姚误纲。
十年		李梦龙江 西南昌吏 员。	程本礼徽 州府吏员。	林乔莆田 人。	陈九皋 香山人。 杨作陆 姓。
十一年	许国诚福 建晋江县 进 士。有 《传》。				王应瑞 金溪人。 魏尧卿 星子人。

	知 县	县 丞	主 簿	典 史	杂 属
十四年			刘呈江南 武进县监 生。见家 庙碑。		李福广 德人。
十五年		葛基广德 州选贡。 见石室堰 碑。	杨拘芦溪 县贡生。 陈作拘。	陈杰芳江 夏人。见 家庙碑。	潘大兴 永丰人。
十七年	王临亭江 南崑山县 进士。有 《传》。				杨尚义 当涂人。
二十年	蔡元相江 西弋阳县 举人。		陈梁北直 大兴县监 生。	张纯如福 建顺昌人。	罗燦南 昌人。
二十一年			孙世忠江 西德兴县 吏员。		王嘉德 山阳人。
二十二年		唐良臣江 西丰城县 吏员。			欧阳德 卿以下 板固司 巡 检。 江西人。

	知 县	县 丞	主 簿	典 史	杂 属
二十三年				李杞南城人。	
二十四年	林云福建福清县进士。祀名宦。有《传》。				黄徇松江人。
二十五年			夏鐘建平县监生。杨《志》作鍾。	马瀛江都人。	夏价福建人。
二十六年		朱朝贞江南华亭县监生。	邵南寿溧水县监生。		彭义达金溪人。
二十九年			钟俨丹阳县。知印。		朱贤懋南昌人。
三十年	杨世勋江陵籍，南昌进士。有《传》。			周镐武进人。	吴廷善连城人。
三十一年		岑一栋广东东莞吏员。			黄起凤南平人。

	知 县	县 丞	主 簿	典 史	杂 属
三十二年			孙应奎徽州监生。		涂贵杨作澧州人，姚作豊城人。
三十三年				林应腾莆田人。	□学孟丰城人。
三十五年		罗良材永宁县选贡。	姚舜民广德州监生。		梅景春广德州人。
三十六年	刘有源字崑海，江南南陵县进士。有祠。			李华春丰城人。陈《志》作春华。	岑一泓广德州人。
三十八年		蕭南甫江西庐陵县监生。			曹贞吉姚作宁洋人，杨作宁海。
三十九年			任杰庐州监生。	魏淑阳建安人。	姜之屏沙县人。
四十年			褚宪庐州吏员。		施继有以下上航驿丞。永丰人。

	知 县	县 丞	主 簿	典 史	杂 属
四十一年	俞琬纶江 南长洲县 进 士。有 《传》。			许懋训晋 江人。	王用臣 永康人。
四十三年		林宗有福 建福清县 监生。		龙应祯江 夏人。	胡邦铁 建德人。 姚作邦 铁。
四十四年			王自信邵 武吏员。		宋应元 诸暨人。
四十六年				宋吾煥莆 田人。	蔡绍芳 江西人。
四十七年	郭允厚山 东曹州进 士。升除 未任。	张鸣銮福 建海澄县 岁贡。	姚尚懋庐 州吏员。		林珂福 建龙溪 人。
四十八年	郭如闇江 西庐陵县 进 士。选 除未任。				丁应夏 缙云人。 韦士迪 建平人。

	知 县	县 丞	主 簿	典 史	杂 属
光宗泰昌元年	郑覲光江西鄱阳县进士。姚误鄭。				
熹宗天启元年			张一鹤鄱阳人。		宦可远以下严剥司巡检。杨作福建人，姚作临淮人。
二年	王一鹗江西高安县进士。	张久大内黄县监生。 杨《志》是年有徐梦弼。		萧朝辰庐陵人。	麻坤当涂人。
五年	贺康载江西永新县举人。有《传》。	马进朝颍州。知印。	胡世赏宁国吏员。	刘淡大庾吏员。姚《志》作谈。	郑纲上饶人。

	知 县	县 丞	主 簿	典 史	杂 属
七年	张伯鲸江 南江都县 进 士。未 任。	李启元东 乡县准贡。	李大华歛 县吏员。		李春光 青阳人。 许廷俊 以下板 固司巡 检。和 州人。 蔡鼎晋 江人。 徐启泰 以下上 航驿丞。 丰城人。 张问达 磁州人。 姚误磁 溪。 潘上卿 宣城人。
怀宗崇祯 元年				曾则任晋 江吏员。	许继穀 以下严 剥司巡 检。漳 浦人。

	知 县	县 丞	主 簿	典 史	杂 属
三年		王来召任 县监生。	高嘉应滁 州吏员。		权以忠 南昌人。
四年	花上苑四 川南充县 进士。有 《传》。			吴麟凤江 都吏员。	王士曾 上航驿 丞。胶 州人。 姚误吉 曾。 本栏年 分无考， 姑按时 代以类 分列。
五年			窦国乔霍 邱吏员。		
八年		张相陈 《志》：拔 贡。		罗维寅陈 《志》：江西 吏员。	
十年	吴允初由 龙游兼署。 见校士馆 碑。				
十一年	王景云江 南六合县 进士。				

	知 县	县 丞	主 簿	典 史	杂 属
十三年	洪明伟江 南歙县进 士。		朱之璘陈 《志》无，杨 作十二年。		
十四年		黄应试陈 《志》：吏 员。		杨 缺 名。 陈云：由吏 员升府经 历。	
十五年	于华玉江 南金坛县 进士。 洪明伟复 任。		刘国瑞河 南吏员。		
十六年	伍经正江 西安福县 拔贡。		景可观		
十七年	杨明祯山 西平顺县 举人。		童志纲杨 州吏员。		

## 清代县官

清仍明制，不设主簿，其职并于县丞。而典史督捕盗贼、典守监狱，有专责焉。

	知 县	县 丞	典 史	严剥巡检、 杂属上航驿丞。
清世祖顺治三年	孔贞锐至圣六十三代裔，曲阜贡生。六年，修祖庙，有碑。	王应仕曹州恩贡。	翟士俊尉氏吏员。	
四年		姚鸣时宛平县儒士。陈《志》作五年任。		魏谕巡检。 杨作喻。
六年			孙绳武黄冈吏员。	
七年	成晋徵山东邹平进士。有《传》。			张天杰同前。宜兴吏员。杨作一杰。 赵弘恩驿丞。陈作同州人，姚作开州人。
九年			余司廉宛平吏员。	
十一年	白拱薇沔阳州进士。有祠。	贾时英衡水县岁贡。陈《志》作嘉定人。		章国英巡检。石埭吏员。

	知 县	县 丞	典 史	杂 属 严剥巡检、 上航驿丞。
十三年		钱国珍北通 州吏员。		郑云鹤同 前。吴县 吏员。
十四年			李福大兴吏 员。	刘应兆驿 丞。直隶元 氏人。姚误 江南，列康熙 年。
十七年	戴圣徽孝感 县恩贡。			
十八年	李忱安邑县 拔贡。康熙 十年，升巩州 同知。见县 学碑。			
圣祖康熙 二年			王澈大兴吏 员。见郡庙 碑。	
三年				胡应龙巡 检。大兴 吏员。 刘文德驿 丞。陕西蓝 屋人。

	知 县	县 丞	典 史	杂属 严剥巡检、 上航驿丞。
四年		唐 聪 福清县 监生。见郡 庙碑。		
七年				王维慧 同 前。建德 人。姚误加 江南字。
十年	杜楚 芜湖举 人。杨作太 平。	徐兆熊 复州 拔贡。		
十三年	李呈桢 号遂 庵，奉天铁岭萌 生。有《传》。			
十四年			王世相 富平 吏员。	
十七年	何其显 顺天 府例监。 李呈桢 复 任。廿一年。 有修家庙碑。	余效 大兴例 监。		刘世济 同 前。陕西 朝邑人。
十九年				朱吉茂 巡 检。大兴 吏员。

	知 县	县 丞	典 史	杂 属 严剥巡检、 上航驿丞。
二十二年	金国琮沈阳 县监生。陈 云：辽东贡。			
二十四年	曹若辂真定 隆平举人。	刘登鼎复州 卫恩贡。杨 作廿五年。	牛昌中牟吏 员。见三十 一年县学碑。	由 出 众 同 前。 杨 《志》无，依姚 《志》补。
二十六年			以 上 见 陈 《志》。	杨 玉 驿 丞。 山东茌平吏 员。姚误列 雍正年。
二十八年	鹿祐凤阳进 士。有《传》。			
三十年		谷皇几丰润 监生。		
三十三年	李惟嵩河南 通许县举人。	郭蕃大兴生 员。		翁 捷 同 前。 直隶卢龙 人。姚误列 乾隆年。
三十五年	陈鹏年湘潭 县进士。有 《传》。			徐从盛本县 人。无年次。
三十七年		王统吴江监 生。		

	知 县	县 丞	典 史	杂属 严剥巡检、 上航驿丞。
三十八年		王大任 阖县 功 贡。 以 上 并 见 陈 《志》。		
三十九年	任升 青涧县 举人。			是年，严剥巡 检奉裁。旧 志名尚不全， 今亦无考。
四十二年	胡舜裔 虞城 县进士。以 上 并 见 杨 《志》。			
四十四年			吕翰 富平吏 员。	
五十三年	王涵煥	李国祥		
六十一年	王世甲 见是 年育婴堂碑。 姚《志》列雍 正三年，误。 四川进士。 有《传》。			
世宗雍正 二年			李宗绅 直隶 安州吏员。	

	知 县	县 丞	典 史	严剥巡检、 杂属上航驿丞。
五年	董治曾河南 武陟举人。	马赞陕西长 安县附贡。		
九年		鲁宗尧汉军 正红旗附监。		沈钦夏见雍 正十年府学 碑。又赵姬 墓诗碑云：娄 村人。字思 安。姚《志》 失载。
十年	任之俊长安 县举人。编 造鳞册。至 乾隆三年。			全旺巡检，姚 《表》自乾隆 元年始，则谓 十一年设者， 恐非。
高宗乾隆 元年				杨名显巡 检。兴宁 吏员。
四年	董宗孔			
十年				姚曾同前。 宛平人。
十一年		熊安清江拔 贡。		
十二年	岳淳《名宦》。 有《传》。			

	知 县	县 丞	典 史	杂 属 严剥巡检、 上航驿丞。
十三年	伍鉉顺天大兴县监生。			申承德驿丞。申甫父，江南扬州人。
十五年	高容直隶赤城县进士。	徐锦仪征监生。	杨绥燕宣化县监生。据道署碑，任至三十年。	
十八年	邢铨山东历城县举人。			
二十一年		周起华吴县监生。书府学碑。		上航驿丞，是年奉裁。旧志缺略颇多，今无可考。
二十三年	张锡锦崞县举人。姚《志·学校》误锡龄。有《传》。			
二十五年	刘甫冈江西安福县进士。见廿八年县学碑。			
二十七年		杨椿甘泉监生。		

	知 县	县 丞	典 史	严剥巡检、 杂属上航驿丞。
二十八年		李灿吉水监生。		
二十九年	玛晋布正蓝旗。笔帖式。 汪增谦姚《志》见城池下，职官脱。	朱元椿大兴监生。		
三十年	常 署篆。见道署碑。名缺。与守张士范同时。	张承积桐城监生。		钟国宝巡检。嘉应州人。
三十二年	胡师亮湘潭县明通。			
三十四年	景士秀直隶赤城县进士。			
三十五年			陈耀祖嘉庆州监生。	
三十六年	罗见龙云南蒙自县举人。			
三十七年		周元栋汉军廂红旗。		
三十九年	雷廷鉞			

	知 县	县 丞	典 史	杂属 严剥巡检、 上航驿丞。
同前年	王沂然金坛 县举人。姚 《志》：建三衢 首邑坊，在四 十五年。疑 误。			
四十年		杨翹崇安监 生。姚《志· 公署》下作翔。	李鹤龄宛平 监生。	
四十二年	罗见龙复 任。			
四十三年	段廷瓛晋宁 州举人。			
四十四年				王皋巡检。 庐江人。
四十五年	曾维道遵化 州拔贡。			
四十八年	熊言孔顺天 进士。			
四十九年	黄宗伊顺天 举人。署任。			
五十二年	张义辂葭州 举人。			

	知 县	县 丞	典 史	杂 属 严剥巡检、 上航驿丞。
五十三年	李秉钥 汉军举人。			
五十四年	谢最淳 湖南进士。鹿鸣书院有近思匾。姚《志·公署》下作五十年修县署，误。			
五十六年	蒋元复 吴县举人。			
五十八年			李长绅 荆门州监生。道光元年县学碑犹见列名。在任已久。	李朝勋 巡检。嘉应州人。
五十九年	林元署 县。姚《志》见公署下，职官脱。			
六十年	许执中 歙县监生。徽州会馆有嘉庆元年联。			

	知 县	县 丞	典 史	杂 属 严剥巡检、 上航驿丞。
仁宗嘉庆元年		恩授汉军正白旗。		
四年				陈述曾 同前。 孟津人，以上并见姚《志》。
八年	刘炳顺 天大兴县举人。			
十二年	姚宝煃 汉军廂黄旗进士。 十五年，修志。	黄靖大兴人。 姚《志》止此。		
二十年	武新安 晋阳人。见邑庙匾。			
二十三年	吴鼎辅 见道光元年县学碑。			黄琬同前，宜黄人。见道光五年搢绅。
宣宗道光元年	刘性源 署任。亦见县学碑。			
三年	续立人 署任。见孔氏家庙碑。	丁孝书三年四月任。顺天房山增贡。 见搢绅。		

	知 县	县 丞	典 史	杂 属 严剥巡检、 上航驿丞。
同前年	俞梓有家庙碑。又增建育婴堂。			
四年	陈 见大乘寺碑。俞之后、梅之前，名缺。		萧自勋是年八月补。安徽怀宁监生。见搢绅。	
五年	梅树德乌桥碑。名缺。由搢绅查出福建邵武进士。	李绍恭七月调。巴县人。	徐林十一月补。大兴人。并由旧搢绅查出。	
六年	朱緒曾上元举人。见《海宁志》。小周王庙，有道光七年联。			
八年	高炳驯字劫生。丙子举人。移建忠壮祠。后任龙游。			

	知 县	县 丞	典 史	杂 属 严剥巡检、 上航驿丞。
九年	王晖吉字海 楼。癸酉举 人。采自崔 世霖殊卷。			
十二年	周壬福字鹤 衡。邑庙前 有十五年赈 济碑。			
十五年	万 周调任 接署。亦见 赈济碑。名 缺。			
十七年	舒恭受字垕 奄。翰 林。 邑庙有联匾。	张家彰		
十九年				刘时泉巡 检。大兴人。 至咸丰七年 尚见搢绅。 疑在刘念祖 后，曾复任。 今已无考。

	知 县	县 丞	典 史	严剥巡检、 杂属上航驿丞。
二十年	余士璵字菊农。寿春进士。有开河碑及鼓楼碑。		王宗诠青阳人。	
二十三年	李瑾字朗山。 采自硃卷。 张家彰县丞代理。	丁溥丹阳人。		
二十四年	陈元谦字小羌。山西猗氏优贡。前后凡三任。	李澍直隶乘州人。		
二十六年	石意恭字小鲁，汉阳人。 甲辰进士。			
二十八年	荣第旗籍进士。			
二十九年	杨裕深进士。			刘念祖同前。崇阳人。
三十年	陈元谦复任。		蒋凤祥上元人。是年四月补。至咸丰末尚在任。	

	知 县	县 丞	典 史	严剥巡检、 杂属上航驿丞。
文宗咸丰元年	马椿龄字寿山，升知府。 张宗照署任。 杨由嘉兴县调署。乌溪桥有碑。 名缺。			
二年	陈元谦第三任。			
三年	李枝青安福举人。			
四年	吴来鸿五年，杀台勇有功。			
七年	李甫田李文襄七世孙。 八年，守城有功。	吴世荣桐城人。是年五月补。见搢绅。		
十一年	丁寿宸署任。与上并见《平浙纪略》。			

	知 县	县 丞	典 史	严剥巡检、 杂属上航驿丞。
穆宗同治 二年	高世清署 任。			
三年	雷以诚时又 有雷嘉树，疑 即其人。			
四年	阮恩元黄安 举人。咸丰 八年十一月 补。	罗惇樞广东 顺德人。是 年补。	侯建勋甘肃 肃州人。是 年选。以上 并见六年搢 绅。	
七年				李圭巡检。 二月补。长 洲人。见光 绪元年搢绅。
八年	程国钧署 任。见校士 馆碑记。			
九年	张廷璜		钱浩阳湖人。 是年二月补。 在任二十余年。	
十年	曾国霖翰 林。			

	知 县	县 丞	典 史	杂属 严剥巡检、 上航驿丞。
十一年	黄敬熙萍乡 优贡。			
十三年	陈恩受薪水 荫生。是年 六月补。光 绪三年，丁 忧。	吴佑孙河南 祥符人。是 年三月补。 升知县。		
德宗光绪 二年		曹和浩新建 人。是年四 月补，在任十 余年。		唐瀚同前。
三年	吴庆咸署 任。卒余官。			
四年	蒋熙恩府经 历代理。武 进监生。			徐濂同前，五 月补。临川 监生。见播 绅。在任近 十年。
同前年	欧阳烜江西 南城进士。			
七年	吴保燮字岱 林，苏州人。 《龙游志》作 固始。			

	知 县	县 丞	典 史	严剥巡检、 杂属 上航驿丞。
八年	欧阳烜复任。有循吏名。十年，调黄岩。			
十年	郭泰昇广东清远人。是年五月补。			
十二年	善广字子居，蒙古进士。京口驻防署任。			
十三年	饶云鹏字少岳，湖北广济举人。署任。			
同前年	伍桂生字芝荪，上元荫生。十七年，调署钱塘。			王缺名。同前。署理。
十五年		周学濂丹徒人。	张文斗	
十六年				韩道生 同前。

	知 县	县 丞	典 史	杂属 严剥巡检、 上航驿丞。
十七年	徐懋简字小筑，江苏昆山人。署任。		邓涤四川长寿人。	
十八年	何应福字备堂，湖南人。署任。			
十九年	叶承钠字泽之，吴县人。实任。			
二十一年	黄大华字鞠友，湖北武昌县进士。署任。			
二十三年	吴佑孙字殿英。曾任县丞。由平湖调署。			李景瀛同前。署理。
二十四年	吴德瀟字筱邨，四川达县举人。由大挑补。	沈秉铨德平坝碑，秉作振。	陈星涵与邓涤对调。	陈光辉同前。
二十六年	沈秉铨字佩五，溧阳人。由县丞代理。		吴培身	

	知 县	县 丞	典 史	严剥巡检、 杂属上航驿丞。
同前年	邹寿祺字静山，无锡人。署任。		郭朝海	
二十七年	龚廷玉字稼生，北通州人。署任。后补江山。			
二十八年	胡寿海字东清，清河举人。大挑补。			沈显曾 同前。代理。
二十九年	卢士鸿代理。宣城人。			司图骥 同前。三十四年，请假去。
三十一年	尹克正字存朴，山东举人。署任。			
三十三年	薛应枢字炳明，常熟举人。署任。			
三十四年	程龢字蓉生，奉贤进士。即用补缺。	陶佑霖上元附贡。补缺，未任。	马志援上元监生。补缺，未任。	

	知 县	县 丞	典 史	杂属 严剥巡检、 上航驿丞。
少帝宣统元年				李景瀛 同前。再署。
二年	张维桢补缺，未抵任。 天津人。  刘景焯字韵生，武进人。 以经历代。	梁仕湜字利生，湖南人。 署任。	张鼎煜善化监生。 元年六月补。	谭崧 同前。 署理。国变后去。
三年	洪禧字金萱， 徽州人。署任，奉裁去。  崇兴七月后 裁首县，衢州府兼任。			

## 民国行政司法官

辛亥反正，改西安县为衢县，改知县为知事。元年五月，设立第八地方法院检事厅及衢县县法院检事厅。二年三月，改名第八地方审判检察厅及衢县初级审判检察厅。同年七月，又改第八为衢县地方审判检察厅。十月，归并衢县，地初合厅。三年四月，裁撤，司法归县知事兼理。至十一年九月，复立衢县地方分庭，而统摄于金华地方厅。

## 行政官表

	县知事	警察官止裁总所。
元年	李龙元本金衡严道，改设军政分府，兼知事。	胡友文县人。一月，军政分府委警务长。
元至二年	楼守光字醇安，诸暨人。元年三月任，二年终。	孔宪葵县人。省委署长。元年任。 姜宸典黄岩人。二年任。
三年	徐铭新字又农，吴兴人。	孔宪葵三年复任，称警佐。
四至七年	桂铸西字末辛，湖北蕲春人。 四年一月任，至七年。	胡宗瑗仙居人。四年任。
五年	王象泰安吉人。七月，桂知事请假，代理至十二月。	唐光仙安徽合肥人。五年任。
五至八年		周廷勋东阳人。五年十一月任，至八年。
七至八年	谭家临字敦甫，安徽合肥人。 调任桐乡。	
八至九年	刘荫榕字韵生，直隶盐山人。 八年八月任，至九年终。	
九至十年		汪祝尧安徽合肥人。九年任，至十年。
十至十二年	王浣字陶崧，江苏武进人。十一年一月任，至十二年六月。	王世荣临海人。十年任。
十一年		曹铸杭县人。十一年任。

	县知事	警察官止载总所。
十二至十三年	金真诚字济时，江苏盐城人。 十二年七月任，至十三年终。	高廷耀杭县人。十二年任。
十三年	胡祖张字毅人，安徽人。金 知事因军事下省，代理两月。	张国光湖北人。十三任。 陈诒庆安徽人。十三年，继 张任。
十四至十五年	周伯甲字寅东，山东福山人。 十四年一月任，至十五年终。	李庆鑫安徽合肥人。十四年 任。 潘天慧嘉善人。十五年任。

## 司法官表

	审判官	检察官	管狱员
元年至三年	丁华绍县人。法院 长。 余信芳临海人。 地方厅长。 柴宗濂杭县人。 瞿梁 潘芝恩绍县人。 并地方推事。 陈斌初级推事	童济时绍县人。 检事长。 任家驹吴兴人。 地方检察长。 周祖宋诸暨人。 王葵杭县人。 孙瑞元富阳人。 裘粲并地方检察 官。 吴琳初级检察官。	翟宗翰县人。元 年任，军政分府 委。 石蕴玉
	承审员		

	审判官	检察官	管狱员
三年	汪汉滔江山人。 并徐铭新任内。 吴炎吴兴人。		潘庆璜兰溪人。
四至七年	何鑑铭义乌人。 许洪焕绍县人。 并桂铸西任内。		朱强七年任。
七至八年	许洪焕见前。 陈德新崇德人。 并谭家临任内。		王嵩八年任。
八至九年	杨杰江都人。 储时敏宜兴人。 并刘荫榕任内。		戴熙炎县人。代理在八年十二月。 刘日晟直隶盐山人。九年任。 俞尔咸黄岩人。九年七月任，至十四年。
十至十一年	刘惟金江都人。 秦镜武进人。		
十一年	陶鎔上元人。 罗文煜诸暨人。 并王浣任内。		
	审判官		

	审判官	检察官	管狱员
十一年	范贤初字叔云，鄞县人。监督推事，分庭成立始任。 陈佩珽字季直，湖北安陆人。推事，同时任。 张济演字鹤乔，嵊县人。候补推事。同时任。	林鵠翹字剑楚，吴兴人。监督检察官，分庭成立始任。 程仁毅字餐英，永康人。检察官，同时任。	
十二年	李群秀字漱霞，临海人。监督推事。八月任。	李春楼字纬升，东阳人。检察官。三月代理。 汪士成字秀夫，富阳人。检察官。三月代理。 刘永镛字协笙，四川雅安人。检察官。十二月任。	
十四年	萧培身字厚斋，桐乡人。监督推事。十月任。		徐威瑞安人。十四年四月任。
十五年		方圆字□□。检察官。九月任。	

## 附：驻衡同城长官

唐	刺 史	别驾长史 司马 治中
	赵《志》云：武德初，改太守曰刺史，加使持节。丞曰別駕，表列格。	《唐書》注：高宗改別駕皆為長史。上元二年，諸州復置別駕，以諸王子為之。永隆元年，省。永淳元年，復置。天寶八年，廢別駕，下郡置長史、司馬一員。
睿宗景云 间	李祎赵云：詳《傳》。按：即信安郡王。 见《旧唐书》本传，前后两任。  萧瑀赵云：见《唐相系表》齐梁房。按： 瑀为梁萧詧后，瑀从子。《通志》作膳， 误。  李免赵云：袭济北郡公、刺史，終御史中 丞。见《唐宗室表》景皇帝下七世。原 误煥，杨《表》作免，引《宰相世系表》， 误。	
玄宗开元 初	徐坚赵云：字元固。幼有敏性，及壯宽 厚。杨《表》：湖州长城镇人。按：即今长 兴县。  徐峤坚子，相继为刺史。并见韩文公 《徐偃王庙记》。	

唐	刺 史	别驾长史 司马 治中
四年	李杰杨《志》：洛阳人。《通志》作滏阳人。本名务光。赵《志》失载，杨据《资治通鉴》补列于此。	
二十四年	李祎再刺处州。	
二十六年	赵颐赵云：好游西安之清皎湖。见旧经。杨《志》表列此。	
天宝初	天宝元年，改刺史曰太守。 张思钦赵云：见旧经《郑崇义传》下。 长孙子哲《唐书·宰相世系表》称信安太守。赵无，杨补。	娄知柔赵云：为司马，见旧经。按：亦见《郑崇义传》。原列贞元十年，非。
十三载	贺兰进明赵云：以朝请大夫入任。按： 亦见李华《厅壁记》，城北项山项王庙有碑。 李郎中按：李华《厅壁记》贺兰大夫下， 李郎中继之。郎中，名失。但云有文有武，家倾户歌，亦良吏也。	
肃宗至德间	《通考》云：至德二年，复改太守为刺史。	柳浑襄阳人。杨《志》：司马。见《旧唐书》本传，未至任。
元年	殷公陈郡人。苏州刺史转任。见李华《厅壁记》。杨按：肃宗上元二年九月罢，年号但称元年。《记》云：元年建寅月。	

唐	刺 史	别驾 长史 司马 治中
代宗永泰元年	李岘赵云：祎之第三子，后相肃宗，本出宗室。《世系表》应列肃宗前。杨据《旧书·代宗纪》，列永泰元年。	
大历间	崔论杨云：定州安喜人。见《旧唐书·崔液传》。	
德宗贞元年	韦光辅按：柯山碑：信安王外孙，贞元三年正月刻石。其抵任当在贞元初。 杨《志》表列建中元年，相距十八年，恐非。  赵涓冀州人。杨《志》补，据《旧唐书·德宗纪》。	白季庚居易父，明经出身。见《旧唐书·白居易传》。别驾。杨补。
六年	裴郾赵云：见旧经。	于邵京兆万年人。见《旧唐书》本传，杨补。
十年	陈智赵云：见于《偃王庙后记》。按：韩记虽云有前碑，但记中未见智名。于氏，不知何人，杨作于平，恐仍有误。	

唐	刺 史	别驾长史 司马 治中
十一年	李若初赵郡人。杨《志》补。据《旧唐书·德宗纪》。 田敦见《新唐书·令狐峘传》。	令狐峘赵云：德棻五世孙，天宝末及进士第。杨云：宜州华原人。《新唐书》本传：在衢十年。顺宗立，以秘书少监召。则莅任当在贞元十二三年。
十六年	郑式瞻杨按：《旧唐书·德宗纪》：贞元十七年，衢州刺史郑式瞻进银二千两、绢五千匹。钟辂《前定录》：贞元六年，豆卢署谒郑式瞻。考：唐郡守无任十余年者，当是《前定录》六字上遗一十字耳。赵引《相系表》列会昌年，亦非。	
十八年	齐总杨按：《旧唐书·德宗纪》：贞元十八年，以浙东团练副使齐总为衢州刺史，给事中许孟容封还制书。而《新唐书·宰相世系表》仍书衢州刺史。赵据《许孟容传》，语同。 李深赵云：由兵部郎中升任。见石桥薛戎碑刻。	
顺宗永贞元年	陆燮赵云：以朝请大夫任。	

唐	刺 史	别驾长史 司马 治中
宪宗元和 元年	陆庶赵云：见石桥两记。杨按：《石桥 记》作于元和元年，而云牧于是邦迨兹五 祀，则莅任当在贞元十八年。然中间又 有陆燮。赵《志》以为永贞元年任，何也？	
二年	李素见韩文公《河南少尹李公墓志》。 叶《志》云：已祀名宦。 李逊杨云：后魏申公发之后。《旧唐书》 本传。 元锡杨据《新唐书·孝友传》，补云：任 衢当在四五两年。今按韩公《偃王庙 碑》，元锡书福州刺史銜名当在后。	
七年	薛戎见石桥碑记。叶《志》云：字元大， 祀名宦。杨《志》云：河南宝鼎人。依叶 作七年任。	
九年	徐放韩公《偃王庙碑》云：字达夫，坚、岐 之后。碑今尚存半截，末行作元和九年 十二月，正放在任时也。	
十年	郑群赵云：字洪之。见旧经。任不叙 年。考：韩文公墓志：字弘之。治衢五 年。入为库部郎中。行，遇疾卒。时长 庆元年。其莅任当在元和十年间。杨 谓十三年，亦非。	

唐	刺 史	别驾 长史 司马 治中
十五年	豆庐署事详征梦亭。赵因式瞻列会昌而列署于大中后，杨移置太和间，均非。今由贞元十六年推后二十年，则当在元和末，故改列于此。按：《相系表》：豆庐钦望相武后，中宗玄孙，署字正名，河南少尹、中牟县男。	
穆宗长庆四年	庞严寿春人。杨《志》补。据《旧唐书·于教传》。 张聿按：白居易有《浮石潭报张使君》诗，杨《志》缺名，《通志》有张聿，当即其人。	
文宗太和间	卢简辞范阳人。杨《志》补。《旧唐书》本传、《相系表》；字子策。	
开成初	张贾赵云：由鸿胪卿出刺衢。辞日，文宗谓曰：“闻卿大善长行。”贾自解曰：“臣公事余，聊与宾客为戏，非有所妨。”帝曰：“岂有好之而不妨事耶？”见《唐实录》。然《芝田录》载贾“自泾原移许昌，宣宗”云云，二说不同。 李钦彝赵云：由兵部员外郎升任。附后。杨云：即李敬彝，见《唐书·李训传》。	李宗闵唐宗室，郑王元懿四世孙，字损之。《旧唐书》本传：司马。赵失载，杨补。

唐	刺 史	别驾长史 司马 治中
武宗会昌二年	<p>崔耿赵云：以朝请大夫任。见《东武楼记》。按：薛逢有《赠崔员外衢州刺史》诗，或即其人。</p> <p>徐向赵《志》列此。见《唐相系表》北祖房。按：《表》称“向，字文伯，刺史六州，衢其首也。”杨据《孝义徐氏谱》谓放之祖，恐系误会。</p> <p>李顼亦见《唐相系表》。宪宗相李绛第二子，年次当在此前后。</p> <p>王众仲赵云：见《唐相系表》，太原王氏。按：高邑平侯长明之九世孙。</p>	
宣宗大中间	<p>赵璘《唐书·艺文志》：著《因话录》。然《名胜志》又载：咸通中，作雁序馆。在任亦久。</p> <p>戴潛字茂明，徽州人。宣宗甲戌进士，官殿中侍御兼浙西兵防御使、知衢州。值梁主篡位，弃职隐于龙邱。见《戴氏谱》。</p>	
懿宗咸通间	孙玉汝赵云：唐《登科记》会昌四年进士第。会稽大庆寺碑，咸通十一年立，云衢州刺史孙玉汝记。荣王宗绰，书目有《南北史选》，孙玉汝撰。盖其人也。见《容斋续笔》。	
僖宗乾符间	季穀赵云：见《双石题志》。按：《名山藏》作李邵。《通志》分为二人，误。	

唐	刺 史	别驾长史 司马 治中
不知年次	<p>周元善赵《志》无，杨《志》附末。《江山流寓传》：淮右人。考：《周氏谱》有周美，贞观时，房元龄荐，刺衢州。年代恐有差误。兹仍阙疑，附之于此。</p> <p>徐 刘禹锡有《答衢州徐员外使君》诗，不知名。赵《志》不载，杨附存其姓。</p> <p>孙 罗隐有《寄衢州孙员外》诗。赵存其姓，附列于表尾。</p> <p>杜 僧贯休有《寄衢州杜使君》诗。赵存其姓，亦附列于表尾。</p>	<p>柳师玄长史。年代无考。《文苑英华》；杜牧有制。杨补。</p>
光启	<p>元泰光启三年，饶州刺史陈儒入衢，被害。见《吴越备史》。</p> <p>陈儒本黄巢党，为衢州刺史。见《僖宗纪》。据衢十年，颇有惠爱。见《吴越备史》。</p>	
昭宗乾宁间	陈岌儒弟，继兄任衢事，后降吴越钱氏。	
光化	顾全武三年九月，受吴越王命。见《十国春秋·吴越世家》。	
天复	陈璋《吴越备史》作璋，本钱氏臣，后叛。	
天祐	鲍君福余姚人。在衢十二年。见《十国春秋》本传。	

## 五代时，吴越刺史

钱武肃王	<p>钱锯武肃从弟，弘偓之祖，为衢州刺史。见《十国春秋》及《吴越备史》。杨作据。</p> <p>钱传球梁贞明四年六月，王命子传球权衢州刺史。鲍君福等率兵攻信州。见《吴越备史》。</p> <p>陆仁璋龙堂庙碑阴载：后唐明宗长兴二年，即武肃宝正六年也。《十国春秋》以为长兴三年六月文穆即位后事。璋，杨作章，疑有误。</p>
文穆王	<p>陆仁灿赵云：见常山禹迹洞石刻。按：亦在长兴时。</p> <p>吴佑杨据江、常二县志补。后唐清泰二年。按：《紫薇里吴氏谱》佑作祐。</p>
忠逊王	鲍修让君福子。《十国春秋》本传。
忠懿王	<p>钱元璫详下。</p> <p>钱弘偓《十国春秋》：周广顺二年，改衢州刺史。叔元璫知福州，弟弘偓为衢州刺史。</p> <p>钱俨《宋史·吴越世家》：周显德四年，奏署衢州刺史。又考：《弘简录》：是年，周以李谦溥领衢州刺史。盖遥领也。</p> <p>钱弘信《十国春秋》：周显德四年九月，任衢州刺史。宋建隆元年十一月，入贡。二年十一月复任。</p> <p>张元善浦江人。宋濂《张怀仁墓志》：五代周衢州刺史。亦见《浦江县志》。今补。</p> <p>刘彦琛赵云：吴越时任。刘牧之曾祖，见《家传》。杨云：安国人。忠懿王将。见《十国春秋》。</p>

	<p>朱仁幹赵云：乾德五年任。见净刹寺旧碑阴。</p> <p>慎知礼信安人。杨《志》列董询后。赵云：开宝中，在董前。</p> <p>董询赵云：开宝七年，检校司空任。见《石桥塔记》。</p> <p>吾渭建隆三年，曹彬下江南，辟为参军。南唐平，进都督，授衢守。见吾进《闲居录跋》。考：太祖平南唐在开宝八年。《吾氏谱》谓建隆三年任者，非。</p> <p>陆超钱塘人。有惠政。见《十国春秋》。年次无考。依杨《志》，并附于末。</p>
--	--

宋	知州知州军事	通判处官 推官 参军
太宗太平 兴国三年	张守则赵《志》：殿丞。钱氏归宋，始任，至六年满。	李寅司理参军。 《宋史·李虚已传》。
六年	黄子才国博。当年罢。 李希杰侍御。雍熙元年满。	
雍熙元年	何继昭四年满。	
四年	尹季通殿丞。	
端拱元年	边肃太博。淳化二年罢。	
淳化二年	孔贻庆司门。四年满。	
四年	李象太博。至道元年满。	

宋	知州知州军事	通判判官 推官 参军
至道元年	康亚之太博。三年满。	
三年	席羲叟学士。咸平二年满。	
真宗咸平 二年	阮思道学士。四年满。	
六年	柴德芳库部。景德元年满。	韩昌龄赵云：屯田 员外郎，任通判。见 《祥符寺塔记》。今 无考。
景德元年	傅寅比部。字同叔，义乌人。四年满。	
四年	李敏比部。大中祥符元年满。	黄倩赵云：卫尉丞。 见子湖寺碑。
大中祥符 三年	黄宗旦屯田。五年，改知虔州。	王丝萧山人。通判， 有惠政。见《浙江通 志》及《两浙名贤 录》。
五年	宋为善都官。八年满。	
八年	苏晟屯田。天禧元年满。	
天禧元年	舒雄职方。三年满。	祖軫赵《志》原引南 龙塘庙碑。按：城南 回龙塘庙碑有陆軫 记，见《坛庙》下，非 祖軫。且在天圣四 年，疑此误。

宋	知州 知州军事	通判 判官 推官 参军
三年	裴奐都官。四年，丁忧。	
四年	余献卿《通志》翻刻，姓误余。乾兴元年满。	
乾兴元年	张昭庆比部。天圣元年，致仕。	
仁宗天圣元年	曹修方《宋史》本传：未行。杨《志》表仍列其名。	陆同佃之祖，判衢州。见《泊宅编》。 赵《志》误列佃名于前。杨按：佃为通判，未见本传，疑误。惜未更正为同耳。
二年	吴应职方。五年满。按：回龙塘灵泽庙有碑。姚《志》作吴应义，误。	
五年	鲍当都官。七年满。	
七年	尹锡郎中。八年满。	
八年	刘有方比部。明道二年满。	郑惇忠 陆佃《陶山集》有《郑公墓表》，云：天圣后，通判衢州。此亦致误之一因也。赵、杨《志》，均失载。
明道二年	吕士宗比部。景祐二年满。	龚宗元字会之。登天圣五年进士。后通判衢州。见《中吴纪闻》。

宋	知州知州军事	通判判官 推官 参军
景祐二年	胡晏郎中。四年满。	
四年	牛昭俭金部。康定元年满。	
康定元年	毕庆长少卿。庆历二年满。	
庆历二年	周德延驾部。五年满。	
五年	李及之太博。本年改知信州，高易简继。  高易简金部员外郎。本年，福建运副，以擅注铁钱，谪守。六年，改除广西运使。	
六年	谢颐素都官员外郎。《通志》颐作显。 皇祐元年满。	
皇祐元年	章岷祠部员外郎、集贤校理。二年满。	
二年	陈商太常少卿直昭文馆。三年，分司南京。	
三年	陈宗言屯田郎中。六年满。按：《清献集》有《次韵衢州陈守言职方招游烂柯山》诗。守，盖宗之误。	
六年	邢处恭驾部郎中。至和二年，官祠。	
至和二年	唐诏国子博士。三年，改知复州。杨《志》疑即清献送诗之王照，恐非，说详后。	
三年	胡楷职方郎中。嘉祐四年满。	

宋	知州知州军事	通判判官 推官 参军
嘉祐四年	张益之比部郎中，当年致仕，高赋继。 高赋屯田郎中，字正臣，中山人。治地方虫毒。《宋史》有传。清献有《赠别高赋同年》诗。	
英宗治平元年	杜昉比部员外郎，三年满。	
三年	张兑驾部员外郎。熙宁元年满。	
神宗熙宁四年	张倜屯田郎中。四年满。	曾平曾楙、曾开之祖，通判在衢，因家焉。见《曾楙传》，年次失。
四年	张鑑比部郎中。六年满。柯山题名碑：字唐臣，题熙宁壬子岁正月十一日。则五年也。	高定通判，虞部员外郎，字公武。亦见壬子柯山题名碑。
七年	李冠卿太常少卿，当年赴阙，徐师回继。 徐师回比部郎中，十年满，师闵之弟。 按：师闵，吴人。知袁州，有循吏名。	孙元长判官，字仲勉。同时并见柯山题名碑。
十年	孙亚夫都官员外郎。以下赵《志》失载在任年次。	

宋	知州知州军事	通判判官 推官 参军
元丰间	<p>王照清献《送衡守王照大夫》诗云：车骑 衡民不可攀，机山云约首春还。彩衣堂 上成童戏，八十慈亲为解颜。又酬前人 见别云，退休林下屈朱轮。逸老亭边袂欲 分，一诵高斋回首句。感公于我独慇懃。 自注：公诗有“回首高斋拭泪痕”之句。 按：此诗明系赵公退老后之作，王亦以亲 老告归。杨《志》乃欲混误“至和二年，改 知复州之唐诏”语，无根据。兹別列之。</p> <p>杨涯朝请大夫。赵《志》涯作漎，《通志》同。</p> <p>杨完朝请郎。后赴阙。</p> <p>范镗承议郎充集贤校理。</p> <p>张复圭右朝散大夫。</p> <p>吴安常右朝散大夫。 上五人，《通 志》：并神宗时任。</p>	
哲宗绍圣 二年	<p>孙贲朝散大夫。见《石笋记》。</p> <p>黄潜朝请郎。</p> <p>曹辅朝奉郎。</p> <p>文勋朝奉郎。后赴阙。</p> <p>陈沂朝散大夫。</p> <p>徐介立朝奉大夫。后致仕。</p> <p>韦寿隆承议郎。</p> <p>许巨卿朝奉大夫。 上七人，《通志》： 并哲宗时任。</p>	

宋	知州知州军事	通判判官 推官 参军
徽宗	<p>求元忠嵊人。知衢州。</p> <p>石彦和新昌人。知衢州。此二人，皆崇宁二年进士，其官衢不知年次。见《通志·选举》，赵、杨两《志》皆脱。</p>	
政和间	<p>李景夏赵云：朝奉郎，后除本路提刑。 政和元年，复知衢。</p> <p>耿南仲《宋史》本传：知衢州，在政和二年前。赵《志》列入侨寓，而不载其本任。</p> <p>陆远朝奉郎。后致仕。此下赵《志》复无年次。</p> <p>李友闻朝奉大夫。</p> <p>刘彦祖朝奉大夫直秘阁。</p> <p>叶仲谋朝请郎。按：《通志·选举》：元丰八年进士。叶仲堪，松阳人。知衢州。《职官》又作叶仲谌。堪、谌，形似，疑本谌字，误作谋。</p>	<p>彭汝方由通判擢知州。</p> <p>留辟疆推官。</p>
宣和三年	<p>彭汝方死方腊之难。《宋史》有传。</p> <p>高至临守衢有功。进直龙图阁。</p> <p>虞沆朝请郎直秘阁。</p>	<p>张正文推官。见夏希贤《祷雨记》。</p> <p>赵季孙瑞安人。重和元年进士，通判衢州。</p> <p>见《通志·选举》，不知年次。今补。</p>

宋	知州知州军事	通判判官 推官 参军
七年	毛友朝请大夫，延康殿学士。后改知杭州。 吕勤朝散郎。后差知郑州。 虞彤朝散大夫。《通志》作彤。以上并徽宗时任。	
高宗建炎元年	邹宝赵《志》无，杨据《邹氏谱》补。	张邵司刑曹事。《宋史》本传。
三年	胡唐老御苗傅难。《宋史》有传。叶《志》：已祀名宦。 章思永赵《志》载此。其事实未详。杨《志》列孝宗乾道中。	赵子瀟推官。与胡唐老并守城。《宋史》有传。 徐大兴衢守。见上。杨《志》表复引《西河徐氏谱》作通判，列于孝宗朝，前后倒置。然以与史愿同时考之，或一守而一判也。
四年	范冲赵《志》；《常山·侨寓传》：冲，字元长，祖禹长子。南迁，得守衢，因请祠，与赵鼎同居焉。后人祀于六贤堂。 徐大兴赵《志》无，杨引《南巽徐氏谱》：赠中奉大夫。又见通判下。 曾纡字公袞，南丰人。见《文献通考》。	史愿赵云：朝议大夫，燕山人。有学问，上召见，命著《金人亡辽录》行于世，见《系年录》。 郑廷宪司法参军。据《崇德邹氏谱》补。

宋	知州知州军事	通判判官 推官 参军
绍兴元年	李处効朝列大夫直秘阁。后赴召。 《通志》作励。	
二年	席益左朝奉郎充集英殿修撰。二年正月十八日，由杭州徙知衢州。见乾道《临安志》。后至参政。 王曇见《侨寓·柴叔夏传》。赵《志》作曇；陈《志》作岩；杨《志》列岩于前，复列曇于后，误分两人。 汪思温左朝奉大夫。后罢。	
三年	李大有左中大夫。后赴召。 谢克家左中大夫，资政殿学士。后致仕。	陈康伯 绍兴初，判官。见《明统志》。有《传》。赵云：后为丞相。
四年	宋伯友左大中大夫，充徽猷阁待制。 本年九月，改知扬州。 常同左朝奉郎充集英殿修撰，后除徽猷阁待制。《通志》：字子正，邛州临邛人。 徐濂直议大夫。赵《志》无，杨引《西峰徐氏谱》。 章荊左朝散大夫。后改知信州。 吴革右中奉大夫直徽猷阁，升副使，字孚道，全椒人。 范正己右中奉大夫直徽猷阁。	方槩五年，通判。见《宋稗》。

宋	知州知州军事	通判判官 推官 参军
六年	富直柔资政殿学士。杨《志》：弼孙。 《通志》：字申季，河阳人。 晏敦复左朝奉大夫、宝文阁直学士。 《通志》：字景初。有晏公祠，尚存。 祖秀实左朝请郎直龙图阁。赵云：无 择后。	
十年	沈晦左朝请大夫、徽猷阁直学士。后升 安抚使。《通志》：字元用，钱塘人。 赵思诚左朝奉大夫，充宝文阁侍制。 周秘左朝奉郎、徽猷阁直学士。	何铸通判，后至金 书，字伯寿，余杭人。
十四年	林待聘左承议郎、敷文阁直学士。	吴清之绍兴己未进 士，甲子任衡州治 中，即推官。致仕 后，住衡。见《上衡 吴氏谱》。
十七年	张嵲左朝奉郎充敷文阁侍制。《通志》： 字巨山，襄阳人。有《思政堂记》。	
十八年	章杰左中奉大夫。后罢。	

宋	知州知州军事	通判判官 推官 参军
二十年	<p>曹筠集英殿修撰，除敷文阁待制，后改知成都。</p> <p>张楠左朝请大夫。后丁忧。</p> <p>王师心左中大夫，后知泸州。《通志》：字与道，金华人。</p> <p>王彦傅左朝请郎，后除都大提典坑冶。《通志》傅作传。</p> <p>钱端礼叶《志》：右中奉大夫直龙图阁，至参政。祀名宦。《宋史》有传，字处和，临人。</p> <p>王普左朝议大夫。</p> <p>黄仁荣右朝请大夫，后改知温州。杨《志》姓误王。《通志》：建安人。</p> <p>陈机左朝议大夫直秘阁。杨《志》机作機。《通志》同。</p> <p>王汝则右朝直大夫。《通志》姓作汪。</p> <p>赵公称左朝奉郎直秘阁，后改知镇江府。</p> <p>孟处义左朝请大夫，后致仕。</p> <p>郑作肃左朝议大夫直秘阁宫观。</p> <p>沈度右朝奉大夫，后赴召。《通志》并高宗时任。</p>	<p>张阐《宋史》本传：通判。</p> <p>汪召锡《宋史·高宗纪》：绍兴二十四年，通判。</p> <p>丁长卿永嘉人。绍兴二十一年进士，通判衢州。见《通志·选举》。不知任年。今补。</p>

宋	知州知州军事	通判判官 推官 参军
孝宗隆兴初	<p>刘珙叶《志》：左朝散郎充集英殿修撰，祀名宦。《宋史》有传；字共父，子羽长子，崇安人。</p> <p>周操左朝散郎充秘阁修撰，后赴召。 此下年次难考。</p> <p>王悦叶《志》：盛暑，祷雨，疏食减膳，忧勤致疾而死，赠直龙图阁，列名宦传。</p> <p>张杓浚子。《宋史》本传，杨补。按：乌石山有张浚听颜师鼓琴题名，当在绍兴丙寅十六年也。</p> <p>徐藏左朝散郎，浙东提举常山茶盐。 《通志》：字子礼，吴人。</p> <p>刘夙左奉议郎，后改知温州。</p> <p>王稽中左朝奉郎直徽猷阁宫观，后至从臣。</p>	
乾道初	何甫左朝奉郎充集英殿修撰，后改知宁国府。执中孙。按：执中，龙泉人，寓衢。甫修城池，事在乾道中。	
六年	胡坚赵《志》无，杨据《宋史·食货志》补列于此。	

宋	知州知州军事	通判判官 推官 参军
七年	<p>施元之左宣教郎，后除直秘阁、浙西提刑，曾任司谏，字德初，吴兴人。柯山题名书辛卯，盖七年也。</p> <p>张子颜右朝散大夫充敷文阁待制，后改知信州。</p> <p>王察右朝奉大夫，后致仕</p> <p>朱周卿右朝请大夫，后致仕。</p> <p>陈举善承议郎直宝文阁，后改知常州。</p> <p>曹总朝散郎。</p> <p>王公袞朝奉郎，佐之弟，山阴人。</p> <p>汪悟朝散大夫。</p> <p>路由中朝散大夫，枢相九迪子。杨《志》翻刻，由误田。</p> <p>宋之才除敷文阁待制，起知衢州。见《两浙名贤录》，前志未载。</p> <p>王瑀嵊县人。乾道八年进士，知衢州。见《通志·选举》。年次无考，今附此。</p>	
淳熙八年	李峰朝散郎，为朱子所劾。赵无年次，杨列八年。	

宋	知州 知州军事	通判 判官 推官 参军
九年	<p>沈密一朝奉大夫，后赴召。</p> <p>赵师垂宣教郎直敷文阁。秀安僖王孙，终使相。</p> <p>沈祖德承议郎，后除直敷文阁，知平江府，曾为江山尉。</p> <p>沈作砺奉直大夫，后除福建运判。</p> <p>袁说友原误说文，《通志》更正作说友。台州人。朝请大夫，除浙东提举茶盐，至参政。</p> <p>谢源明朝散郎，后赴召，至尚书。</p> <p>《通志》以上孝宗时任。</p>	<p>吕祖俭司法参军。</p> <p>赵希言十四年，司户参军。见《宋史·宗室传》。</p> <p>王淮字季海，金华人。十五年，通判。见《宋史·宰辅表》。</p> <p>舒杠淳熙五年进士，奉化人。通判衢州。见《通志·选举》。</p> <p>翁忧淳熙五年进士，乐清人。通判衢州。见《通志·选举》。</p> <p>二人，前志俱未载。</p> <p>张石瑞安人。淳熙十一年进士，衢州司户。见《通志·选举》。今补。</p>
光宗绍熙元年	李信甫朝散郎宫观，廷平先生子。按：先生名侗，南剑州人。《宋史》附侗传。以监察御史，持正不容，出守。	

宋	知州知州军事	通判判官 推官 参军
二年	<p>萧沈朝散郎，永嘉人。绍熙二年，以大理丞出知衢州。见《景高堂记》。</p> <p>江乙祖朝奉大夫。</p> <p>郑若容朝散大夫，后除直秘阁，知平江府。</p> <p>叶龕朝奉直大夫，后除江西提刑，石林梦得之孙。</p>	<p>张次贤别驾，字思齐，仙居人。历监察御史。见《台州府志》。</p> <p>徐次铎通判，东阳人。《续文献通考》。</p>
宁宗庆元三年	苏林朝奉大夫，后改除福建提举。黄门苏辙孙。	史弥坚通判，明州人。承议郎。
五年	<p>张经朝请大夫，后除福建提举。</p> <p>叶适《宋史》本传：辞，未赴召。</p> <p>陈希默朝请郎，后赴召，至中书舍人。</p> <p>章颖朝请大夫宫观。省元。后至尚书。 按：《宋史》本传：未赴任。而旧志载有章颖撰《重修贡院记》，则似曾莅衢也。</p> <p>《通志》：字茂献，临江军人。</p>	薛龟从庆元五年进士，永嘉人。通判衢州。见《通志·选举》。
开禧间	<p>孙昭先朝奉大夫，后赴召，曾官两浙提刑。</p> <p>曾宁赵《志》姓误鲁。依杨《志》改正。 朝奉大夫宫观，公亮之孙。</p> <p>连元开禧元年进士，龙泉人。知衢州。 见《通志·选举》。赵作嘉熙三年通判，距此三十多年，似太远。</p>	

宋	知州知州军事	通判判官 推官 参军
嘉定元年	高文善承议郎，后别与州郡差遣。按：赵《志》云：阅孙，文虎弟。查《宋史·儒林传》，有高明阅州，鄞县人。又《文虎传》，阅从子阅，与阅形似，易误，则文善亦阅之从子耳。据弘治《府志》广佑庙碑，高文善记在嘉定元年。	
二年	孙子直朝请郎。三年，修城，毛宪为记。	柴天麟承奉郎，通判。崇义公次子。
五年	綦奎承奉郎，后除福建运判。学士北海先生密礼侄孙。 王棐奉议郎。	
八年	魏豹文奉议郎，后除太常寺丞。丞相文节公杞之孙。	郑如冈见毛宪《章戴桥记》，称郡丞，即通判也。今补。
十二年	刘垕朝奉郎，后赴召。尝知龙游县。 按：陈氏《书录》载：《信安志》成于太守四明刘垕嘉定己卯，即是年。 郑豹文奉议郎，后除太常寺丞。与前魏豹文名职相同，疑系一人。 赵希齐朝奉郎，后赴召，除浙西提举。 沈燮朝散郎。 潘櫶朝散郎，除仓部郎中。 赵希葵朝请大夫，后致仕。	

宋	知州知州军事	通判判官 推官 参军
理宗宝庆间		何永锡宝庆二年， 判官。见叶清臣《石 桥记》。 孔万春宝庆时，通 判。《孔氏谱》。
绍定初	袁甫状元，朝奉郎，后除江东提举，至尚 书。按：陈氏《书录·信安续志》下云： 太守袁甫广微，绍定初也。 林略朝散郎，后赴召，至签枢。	赵若炼宝庆二年进 士，仙居人。衢州推 官。见《通志·选 举》。
三年	蔡范朝散郎。四年，丁母忧。起复朝请 郎，知衢州，辞不赴。后再起复朝请郎 直宝谟阁，知衢州节制，出戍军马。后 改除大理寺丞。 蔡节承议郎，行军器监丞兼权知衢州节 制，出戍军马。后别与州郡差遣。	史弥应承议郎，通 判，鄞人。弥远弟。 潘康子景宁人。宝 庆二年进士，衢州判 官。见《通志·选 举》。
五年	林楷赵《志》无，见开化知县董梦程碑 记，杨补。	
六年	赵汝apse朝奉郎，两易知常州。 章鑑赵《志》无。杨云：昌化人。见《浙 江通志》，今本亦不载。	陈瑩通判。朝奉郎。

宋	知州知州军事	通判判官 推官 参军
端平元年	陈埙朝奉郎，除江、淮、荆、浙、福建、广南路都大提点抗冶铸钱，转朝请郎，后就州交冶司，即离任。按：旧志图考载有宋嘉定间衢州守陈公埙祠，今圮。嘉定年，误。	杨伯畧通判。《通志》：提点刑狱有杨伯畧，钱塘人。按：即杨彦瞻，淳祐间守。
二年		潘牥《宋史》本传：推官。
三年	赵彥呐赵《志》无，杨补。考：《宋史》本传：端平三年，金人大入，彥呐大败，贬衡州。非衢州。	
嘉熙元年	程公许《宋史》本传：未赴任。 沈景渊中散大夫。 史弥巩朝散大夫直宝章阁，除江东提刑，后离任。《通志》：南叔，四明鄞人。 弥远弟。	钱禾之通判。承议郎。
三年	章谦亨朝请大夫，两易知衢州兼浙东提刑，续准省劄，除直秘阁、浙东提刑兼知衢州。  洪梦炎承事郎，权发遣衢州，后致仕。 《通志》：宝庆二年进士，淳安人。  朱元龙义乌人。杨据旧《通志》补。	范士表通判，兰溪人。曾摄州，有《传》。
淳祐二年	郑逢辰朝散大夫。	沈暨通判，朝奉郎。

宋	知州知州军事	通判判官 推官 参军
三年	葛崇节朝散大夫，后除大理寺正。《通志》同，杨《志》翻刻崇误宗。	冯惟说推官。见《宋史·徐鹿卿传》。
四年	<p>杨彦瞻按：周密《齐东野语》：为书致徐霖、留梦炎，称外舅杨彦瞻时以工部郎守衢。《续通考》：杨伯岳《九经韵补》下又云：伯岳，字彦瞻，号泳斋，代郡人。淳祐间，以工部郎守衢州。其为一人无疑。《提要》谓代郡已入金，当住钱塘。</p> <p>全清夫此下数人，赵《志》无注。如有所见者补之。</p> <p>朱仕麟</p> <p>谢奕熹</p> <p>游钧见柯山碑。为徐径坂先生建柯山书院。</p>	<p>牟子才通判。见《宋史》本传。周密《蘓州渔笛谱》云：先君子监州太末时，刺史杨泳斋、别驾牟存斋、西安令翁浩堂。详《古迹》小蓬莱下。</p> <p>存斋，子才字。</p> <p>孔洙通判。《孔氏谱》：亦在淳祐间。</p> <p>朱楫建安人。淳祐时，为衢州判。与径坂徐霖交好，命子照从学，后婚于霖家。见《园林朱氏谱》。</p>
宝祐三年	<p>孙子秀余姚人。见孔庙碑。</p> <p>龚自元见《龚氏谱》。此三人，赵《志》未载。</p>	
开庆元年	陈仁玉天台人。其序《赵清献集》云：开庆己未冬，湖广蛮兴自讲厦受遣驰至太末。己未，在是年也。	

宋	知州知州军事	通判判官 推官 参军
景定元年	马天骥龙游人。史但称衢州人。本传：是年，知衢州。龙游旧志不载。按：陈仁玉《清献集》序》在景定元年八月，疑未任。	
二年	谢奕中按：《学校志》载：柯山书院，延请孔元龙为山长，事在景定壬戌。则三年也。 吴梦弼临海人。嘉熙二年进士，知衢州。见《通志·选举》。不知任年，姑列于此。 陈存赵《志》不注。考《通志·选举》，淳祐七年进士陈存，龙泉人。探花，官至端明殿学士。疑即其人。	
五年	谢暨见《宋史·理宗纪》。《通志》作墜。 王已见黄溍《明正书院碑记》。在景定末，亦五年也。 赵逢龙见《宋史》本传。字应甫，鄞人。 黄宗仁赵《志》不注，今无考。 常挺《宋史》本传。杨补。字方叔。福州人。 赵暨按：《癸辛杂识》有赵暨守衢，自建佑圣观事，在陈蒙、赵孟奎未任前。赵、杨诸《志》均不载。	俞能千判官。杨据柳贯《俞相墓志》。今考《通志》，淳祐十年进士，东阳人。 萧雷龙通判，权知州。详上。

宋	知州 知州军事	通判 判官 推官 参军
度宗咸淳元年	<p>陈蒙见清献书院碑记。《续通考》：在咸淳中。</p> <p>赵孟奎为赵清献立祠莲花，有碑。字春谷。见《庶斋老学丛谈》。</p>	<p>孙潼发桐庐人。咸淳四年调衢州军事判官。见《省志·循吏》。</p> <p>章暨通判。</p>
十二年	<p>董瓈咸淳末。见韦居安《梅涧诗话》。时南宋已亡，衢尚奉宋虚号。</p> <p>舒济川 咸淳元年进士，奉化人。知衢州。年次无考。</p> <p>蔡垫以下六人，并见赵《志》。其任期年次无考。</p> <p>马元演</p> <p>赵淇 楊作洪。</p> <p>龚集</p> <p>郭困</p> <p>赵与穀</p> <p>萧雷龙 赵按：《一统志》：江西新城县人。景定中进士，通判衢州，权知府事。元兵逼城下，势不可支，将趋入闽，为同安武人获送县。权县刘圣仲素与雷龙有怨，杀之。后圣仲北来，泊舟小孤山，有巨舰前冲，建大旗，书曰萧知府兵，继见雷龙坐船上，圣仲大呼，有顷，不见，遂惊死。</p>	<p>韦居安甲戌来衢，自云司纠，盖推官也。</p> <p>沈应龙通判。丙子城破，被伤。亦见《梅涧诗话》。</p>

## 元衡州路官属

	达鲁花赤	总 管	同 知	治 中	府 判	推 官
世祖 至元 十四 年	阿的迷 失昭勇 大将军。 王俊怀 远大将 军。	刘克昌 嘉议大 夫。		撒罕奉 议大夫。	岛兀敦 武校尉。	
十五 年		沈世隆 昭勇大 将军。				
十六 年			王谅朝 列大夫。		梁德通	
十七 年				吕翰承 直郎。	张汝翼	
十八 年		李火明 金吾卫 上将军。		李昌龄 承直郎。		以上赵 《志》均 未叙年， 杨《志》 补叙。
十九 年	劄杰明 威将军。		史俊杰 昭勇大 将军。			
二十 年	也先怀 远大将 军。				王延寿 昭信校 尉。	

	达鲁花赤	总 管	同 知	治 中	府 判	推 官
二十 一年			杨应奎 中顺大夫。	朱端义 奉训大夫。		
二十 三年	布伯少 中大夫， 建总管 府，有碑。	彭之才 昭勇大 将军。			马合麻 奉训大 夫。	
二十 四年				陈珪奉 议大夫。		
二十 五年			黄云瑞 朝列大 夫。 杨 作端。			
二十 六年	马合麻 宣武将 军。	周成定 远大将 军。				张式承 务郎。
二十 七年					李遁承 德郎。	
二十 八年	冻阿木 嘉议大 夫。		吕师张 宣武将 军。	木速答 班昭信 校尉。		
三十 年		赵国器 昭武大 将军。		乜先帖 木儿	亦不刺 金直承 郎。	

	达鲁花赤	总 管	同 知	治 中	府 判	推 官
三十一年				陈 钧 奉 议大夫。		
成宗元贞元年	霍脱儿 赤 嘉议 大夫。		王 构 奉 政大夫。			
二年		魏 英 昭 武 大 将 军。	灭里沙 奉训大 夫。		邵周佐 承德郎。	
大德元年						罗天禄 承务郎。
二年	忻都察 通 奉 大 夫。					
三年			别撒里 奉训大 夫。	杨 钥 奉 训大夫。	王 处 约 承务郎。	完颜嗣 承务郎。
五年		朵儿赤 少 中 大 夫。				张 玥 承 务郎。
六年				陈 孜 字 刚中，有 政声，作 平山堂。	朱麦里 于昭信 校尉。	

	达鲁花赤	总 管	同 知	治 中	府 判	推 官
七年					法合鲁 丁承务 郎。	田郁承 务郎。
八年	忽撒马 丁嘉议 大夫。	孙虎昭 武大将 军。	倪敏德 朝散大 夫。			
九年				忙古歹 奉政大 夫。		胡之谦 承务郎。
十年	脱因大 中大夫。					张正承 务郎。
十一 年		朱霁嘉 议大夫， 修《信安 志》，祀 名宦。	王汝弼 朝列大 夫。		撒刺忽 丁承务 郎。	
武宗 至大 元年				九圣奴 武略将 军。 杨 脱		
二年	释兰都 都请大 夫。 杨 误。					乐元章 东平人。 杨误。

	达鲁花赤	总 管	同 知	治 中	府 判	推 官
三年		柴奎 买住杨 《志》引 《江山人 物志》补 此二人， 并列五 年。然至 大正四 年，殊误。			普阿里 昭信校 尉。 杨 脱。	王裕 泰安人。 杨脱。
仁宗 皇庆 元年		申月鲁 木帖儿 大中大 夫。 见 黄溍《明 正书院 碑》。 高 丽人。	撒里蛮 中顺大 夫。	燕只吉 台奉议 大夫。		谢庆 冀 宁 人。 承直郎。
二年	易释董 阿中顺 大夫。				木八刺 大都人。 承务郎。	姜安仁 冀宁人。 承直郎
延祐 元年			伯要歹 广平人。 中顺大 夫。			

	达鲁花赤	总 管	同 知	治 中	府 判	推 官
二年				若思丁 朝列大夫。		
三年	塔察儿正 议大夫。 卒于任。	曹按丹 不花大 中大夫。			拜帖木 儿昭信 校尉。	叶文胜 冠州人。 后住衢。
四年			张熙祖 信州人。 中顺大夫。			马大英 怀庆人。 贾晦大 都人。
五年				捏古伯 昭信校 尉。		韩公方 赵州人。 承直郎。
六年			李宏亚 中大夫。 卒于任。			
七年						李晔广平 人。后除 合肥尹。
英宗 至治 元年	马合谋 大中大 夫。回 回人。	花忽都 安丰人。 大中大 夫。		也先不 花朝列 大夫。	定住承 事郎。	张安国 乌程人。 延祐五 年进士。 据《通 志》补， 列于此。

	达鲁花赤	总 管	同 知	治 中	府 判	推 官
二年			李彦大 同弘州 人。中 顺大夫。			王刚克 真定人。 承直郎。
泰定 帝元 年	赫斯以 下赵均 无注。	赵仲礼		廉玉居宝 海牙		高询
二年						魏简
三年		卢字彦 远。见 《柳贯 集》。留 宴平山 堂，当在 此时。	任字仲 安。并 见《柳贯 集》。		昔刺	
四年	铁柱	虞景		失里牙		李琰
文宗 天历 二年	中都海 牙		关驴		马速忽	张让
至顺 元年	察可儿 马木速 蛮人。 见《通 志》。			朵的		王克正

	达鲁花赤	总 管	同 知	治 中	府 判	推 官
二年					韩敏	
三年	薛超吾 儿 杨作 薛遮。	乞儿	沈忙古 歹			
顺帝 元统 元年	燕只吉 台见《余 阙传》。 前志失 载。			王思敏		董守游
二年					刘岩	崔克弘
至元 元年	那怀			也木干		董仲礼
二年		龙士俊 赵《志》： 胡昱《城 隍庙记》 作张士 俊，在至 正初。				李居敬
三年						秦良佐
四年	寿山			一德普 化	樊昌祖 杨《志》 补。	

	达鲁花赤	总 管	同 知	治 中	府 判	推 官
五年			月鲁			
六年		刘 檟 杨 《志》作 桢。				
至正元年			完者帖 木儿	井都木 儿 杨 《志》井 误斗。	张忠	
二年	不鲁迷 失帖木 儿按：崇 祯《府 志》：普 润庵，元 至正二 年，郡守 宣差广 建。不知即其 人否。	王主敬 柯山有 碑。				
三年				撒的迷 失		舒嗣隆
四年	速来蛮		不花		王德脩	
六年		白景亮 有《传》。				

	达鲁花赤	总 管	同 知	治 中	府 判	推 官
七年			崔思诚 见修学碑。 火失不花		僧保	陈思孝 李哺
九年		马浩字 昂夫， 《华丰楼 记》在四 年。			蛮子沙	
十年						张廷成
十五 年	伯颜忽 都赵隆 《外纪》， 杨补。	高存诚 《通志》 作存谊。	赵《志》 止此。			
十六 年	伯颜不 花的斤 《元史》。	方国璋 《顺帝 纪》。遥 授。				
十九 年	宋伯颜 不花见 《明鉴纪 事》，疑 即前人。					

## 明府官

	知 府	同 知	通 判	推 官
太祖在宋时	杨苟儿龙凤五年。《太祖实录》。			
吴元年	章溢胡翰《青霞洞天记》：字三益，龙泉人。			
洪武二年	王珍见宋濂《徐贞妇传》。 赵云：乡贯无考。	余伯深湖广常宁人。有清节祠。		
三年	黄镇见宋濂《杰峰禅师塔碑》。			
四年	黄夔黄冈人。 详郑辰《清节祠碑记》。 吴泽赵云：江西人。叶云：仁心惠政，祀名宦。			

	知 府	同 知	通 判	推 官
	文辐《太祖御制集》有命知衢州府敕。 杨补。 毕贞《明统志》：洪武中，知府。列名宦。			
二十三年	郭敦《府佐题名记》：堂邑人。《明统志》：永乐初，知府。			
二十四年	张士良见胡昱《城隍庙记》。			
成祖永乐初	张实题名牌：在夏升后。 赵云：名蹟。 见《学校》。	王清赵云：河南人。 王贯赵云：河南人。	唐舟广东琼州府琼山县进士。	

	知 府	同 知	通 判	推 官
十九年	夏昇直隶盐城人。由开化县升任。 题名碑：昇作升。  曾田政题名碑作正。直隶盐山人。  简贞  夏昇以民谣上闻，复任。	宗得赵按：旧志。乡贯无考。	王礼东昌府朝成县人。永乐十三年进士。	李翥顺天府三河县人。十六年进士，任年无考。
仁宗洪熙间		吴琛黄冈人。 叶《志》引《黄州人物传》： 卓有政声，升御史。		
宣宗宣德间	朱敬淮安山阳人。户部郎中升任。 祀名宦。题名碑列永乐年。  黄胜建阳人。由楷书任户部郎中升任。 祀名宦。	白珪题名碑作圭。乡贯无考。  宗建南昌人。	杨敬乡贯无考。  邓时俊庐陵人。  郑宪闽县人。 进士。  赖得秀汀州人。	

	知 府	同 知	通 判	推 官
英宗正统间	刘贵山东人。由兵部郎中升任。为人慈善，以年老去。	张琛东平州人。孝廉，丁忧去。后至布政使。	朱善徐州人。	魏忠赵无年次。杨注：十二年，湖广人。有墓在衢。
十四年 见叶《志》	白琮新野县进士。以工科给事中任。祀名宦。	彭英武进县举人。		
代宗景泰间	王高江西安福县进士。《通志》：字邦彦，正统间任。	甘霖直隶人。陈钺江宁县人。题名碑列天顺年。	罗琥茶陵人。董鑑河南人。张祥北直隶进士。为礼部主事，以试院灾出判。	宋昭山东长山县人。罢去。
英宗天顺初			曹明江西信丰县人。罢去。	周瑛庐陵人。题名碑作英。胡文海茶陵人。题名碑列成化年。

	知 府	同 知	通 判	推 官
二年		魏安昌黎县人。存心平易，莅官勤慎。		李能宁府前卫人。
五年	唐瑜松江上海县进士。由礼科给事中任。祀名宦。			
宪宗成化间	阎铎兴平县进士。顺天府尹左迁。祀名宦。升布政使。涂观江西丰城人。宽厚慈爱。未几，以忧去。刘必贤滁州进士，监察御史升，以疾去。	周钦四川涪州人。以忧去。后升岳州知府。 邓璇广西南宁府宣化县举人。防御矿盜，有功。 何本湖广江夏县人。	李霖直隶乐平人。罢去。 卫澜贵州平坝卫人。题名碑作兰。 徐珏山东东平州人。未浃旬，卒于官。	沈英南直五河人。罢去。 《赵清献集序》作瑛。

	知 府	同 知	通 判	推 官
十七年	李汝嘉福建晋江人。由户部郎中任，升浙江参政。 蔡敞直隶宛平县人。性恬静。未几，以疾去。		刘珪直隶潜山人。 李撝谦郯城人。明敏，有治才。卒于官。 樊辅江都人。 乔聪河内人。	李荣山东武定州人。以老去。商辂《科贡题名碑》，二十一年犹在任。 吕柟常州无锡进士。征拜监察御史。
孝宗弘治初	张俊博野监生。祀名宦。	萧显直隶山海卫进士。 工科给事中左迁，后升佥事。 曾铎四川井研人。义理之学，平易之政。	岳镇广东饶平人。	樊睿山西襄人。
六年	饶泗江西进贤县进士。刚毅有为，宽宏简易。祀明德祠。		黄廷臣湖广宁乡县举人。	芮鑑溧阳举人。断狱平允，民甚德之。

	知 府	同 知	通 判	推 官
八年		张伦登州进士。由兵部郎中任。廉公正大。卒于官。		
十一年	沈杰长洲进士。疏请孔氏承荫博士，善政良多。祀名宦。			
十二年		王统临川县进士。		
十四年			李盛磁州举人。	贺泰吴县进士。
十五年		姚凤蒲州举人。	王纶开州进士。莅政有方，催科不扰。纶，杨作伦。	
武宗正德元年	张维新直隶龙骧卫进士。		王廷臣湖广武陵县进士。	
三年		孟周山西朔州卫人。	谭让湖广罗田县举人。失年次。	

	知 府	同 知	通 判	推 官
五年	刘鸾山东章丘县进士。			
八年	程云鹏四川南充县进士	杨槃淮安府山阳县举人。		
十年	宋毓德州进士。由郎中任。以饶寇扰境，综理军务，致疾卒。		曾伦贵州威清卫举人。	
十一年		王道山东登州府黄县进士。		
十三年	刘澄亮江西临江府新喻县进士。			
十四年	李志学河南开封府大梁县进士。			
十六年		陆钟吴县举人。恺悌爱养，平易近民。见孔庙颂碑。		杨文昇无锡举人。用刑平恕，守己清廉。
世宗嘉靖元年	林有年莆田举人。御史左迁丞令，擢守。			

	知 府	同 知	通 判	推 官
二年			简阅广东高 要县举人。 叶《志》称：礼 士爱民。	
四年				李翔 广东揭 阳县进士。 升主事，后刺 邵武。
五年		杨文奎 陕西 平凉府举人。		曾仁湖 广举 人。
六年	赵可与 字令 中，安福举 人。立仁雨 亭。祀名宦。			
七年			刘琰 宣城县 举人。	
十年				张鹏 山西祁 县进士。
十一年	王莘 江阴县 进士。		杨梓 江西南 康府安义县 举人。行政 刚明，加意士 类。	

	知 府	同 知	通 判	推 官
十二年	袁城 丰城县 进士。			郑道江都县 举人。
十三年		刘大清莆田 举人。持己 谦虚，行政清 简。	李寅 云南楚 雄卫贡生。 捐俸造祭器、 乐器。	
十五年		程达字时望， 婺源举人。 礼士爱民。 杨误程远，依 孔庙碑改正。		
十六年			李相 广西桂 林府金州举 人。	李文进 四川 重庆府巴县 进士。
十七年	李遂字克斋， 丰城进士。 政绩甚多。 祀名宦。升 兵部尚书。		何伟 阖县举 人。见家庙 碑。	方舟 婺源进 士。见家庙 碑。
十九年				刘起宗 巴县 进士。治矿 贼有功，民立 生祠，祀名 宦。

	知 府	同 知	通 判	推 官
二十年	王仲锦字纲之，锦衣卫籍，吉水进士。祀名宦。			
二十一年		杨日赞揭阳举人。谦虚下士，讲学不倦。	萧文佐江西万安县举人。	
二十二年		陈念湖广麻城县进士。杨《志》误姓杨。		张玠华亭县举人。
二十三年	杨子臣字惟敬，南充县进士。柯山有摩崖石刻。		周业孔安福县举人。	
二十五年			陈弥正南昌举人。忠厚简易，守己清约。	
二十六年	余鏞德兴县进士。历御史，卒于官。杨《志》循吏作金姓。			谈承儒华亭县举人。

	知 府	同 知	通 判	推 官
二十七年		周泾 贵溪县举人。		
二十八年	周臣字子忠，吴县进士。著《厚生训纂》。祀名宦。			
二十九年			詹乾 江夏县举人。	毕锦 歙县举人。
三十三年	张正和 南昌县进士。			
三十四年	丘玳 六安州进士。《通志》：字文玉，周王庙有坊。		汤拱 江西瑞金县选贡。存心和厚，决事详明。	
三十五年	洪恩 黄梅县进士。	杨朗 南昌县举人。		吴勋 歙县举人。
三十六年			张泽 桐城县选贡。逐铜山盗。	吴国宝 无为州进士。
三十七年		黄伯善 福建晋江县举人。		

	知 府	同 知	通 判	推 官
三十八年	杨准宜兴县进士。开杨公河，倡修《府志》。祀名宦。	薛应元字文台，江都县举人。		
三十九年				任秀山东济阳县举人。
四十二年	郑伯兴无锡县进士。字南溟，完成《府志》。		夏宝字来山，江西南城县举人。	
四十四年			俞璇字双河，应天府举人。	
穆宗隆庆元年	何东序猗氏县进士。《通志》；字仲穆。	章时鸾青阳县举人。	崔学履吴县进士。	
二年	汤仰四川新都县进士。与何东序齐名，民称二天。	陈中烈都昌县举人。		李畿嗣蕲水县进士。
三年		李齐芳成安县进士。	叶洁丰城县举人。	陈祖尧莆田县进士。

	知 府	同 知	通 判	推 官
五年		王之臣休宁 县进士。	李澜叶《志》： 署四邑篆，在 信安调停船 夫之差役。	耿定向麻城 县进士。调 除未任。
神宗万历 元年	韩邦宪叶作 隆庆六年任。 字子成，高淳 进士。			邓逢吉广西 宣化县举人。
三年	黄辰大埔县 进士。		王之路上海 县举人。	
四年		李惟祐徐州 举人。		王同任晋江 县举人。
五年	陈润字淇洲， 零陵县进士。 刻《水利图 说》一册。			
八年		雷应志山西 太原进士。		
九年	史翊永新县 进士。《通 志》作翊。		钱邦伊蕲水 县恩贡。	胡以淮丰城 县举人。
十一年		张继芳祥符 县举人。		

	知 府	同 知	通 判	推 官
十二年	廖希元字梦衡，湖广蓝山县进士。十六年家庙碑。	李道先安溪县举人。亦见家庙碑。		
十三年			王松汶上县举人。见清节祠匾。	谭希思茶陵州进士。调除未任。
十四年				陈三乐瓯宁县举人。见清节祠匾。
十七年	易仿之《通志》：字维效，黄冈人。叶《志》：号霍冈进士。		魏恭文昌县选贡。	
十九年		陈端言海阳县举人。祀名宦。		李愬嘉鱼县进士。升南吏主事
二十一年		汪绍英晋江县举人。		
二十二年	岳万阶朝城县进士。			
二十三年				姜志礼丹阳进士。叶云：有善政，生存未传。

	知 府	同 知	通 判	推 官
二十五年				王学孝龙溪县举人。
二十六年		郑伟番禹县举人。	邓俊卿临川县选贡。	
二十七年	张尧文江西新淦县进士。字复吾。关庙有碑。			
三十一年			江之龙青阳县选贡。见府学碑。	汤大濩桂阳县举人。依府学碑作濩，杨误謾。
三十二年		朱朝望据府学碑：武昌进士。杨误举人。		
三十四年	朱朝望字俨之，号震区，署府。有修学碑。			庄钦邻晋江县进士。
三十五年	张所望上海县进士。按：府学碑上年朱署，故次之。		李棠平和县举人。	

	知 府	同 知	通 判	推 官
三十六年		叶时敏长乐 县举人。		
三十八年	洪纤若同安 县进士。有 善政。叶以 生存未传。			顾毅吴县举 人。
四十年			姚邦幹旌德 县选贡。	
四十一年				荆懋贤丹阳 县举人。《学 校》作茂实。
四十三年			岑凤翔邵州 选贡。	
四十四年	董元勋太仓 州进士。		纽明纲吴江 县举人。	
同年	吴澄时无锡 县举人。			
四十五年	瞿溥达州进 士。字维西。 柯山日迟亭 有碑。	刘以昱安福 县举人。		
四十六年				戴壎长泰县 进士。

	知 府	同 知	通 判	推 官
嘉宗天启元年		李正芳钟祥县举人。	莫簧荔浦县岁贡。叶《志》作簧，有善政，生存未传。	伍承憲安福县举人。
二年	林应翔字止岩，同安县进士。修《府志》，建浮桥。有祠。			
三年		傅伊沅陵县举人。		
五年	舒崇功重修府学，见杨《志·学宫表》。缺载。			刘学诗仪真县举人。
七年		汤有望宜兴县举人。		
怀宗崇祯元年	蔡三复字内斯，由庶支郎出守。见二年修府学碑，今补。		吴翰平乐人。号念劬。亦见府学碑，今补。	黄荩卿靖江县举人。碑作临江。号希白。
二年		徐日升崇安县举人。		

	知 府	同 知	通 判	推 官
三年	庞承宠吴江县进士。杨《志》表作卢姓。			
五年	丁明登江浦县进士。		汤莹	黄世泽巴陵进士。
六年	杨公按：陈《志》：郡庙，崇祯壬申署府杨公修，癸酉秋成。名缺。			
七年	张文达《通志》：字文隆，保山人。《传》称：字九隆，云南进士。《表》误举人。			
八年		刘国祥崇仁县人。	曹自强四川大足县人。	陈其赤崇仁县人。
十年		欧阳理庐陵县人。	何际可富水县人。	吴适长洲县进士。

	知 府	同 知	通 判	推 官
十一年				邓岩钰《清 统志》作岩 忠。江陵人。 丙戌八月，城 破，死。
十五年	王榜宜兴县 举人。姚《志 ·梁德荣传》 作黄姓。 金之鑛吴江 县举人。 伍经正安福 县拔贡。西 安知县升。 丙戌，殉难。			彭遵锜《表》 附明末。名 宦祠作遵琦。 似属清初。

清道府佐贰附见。

	道清初，巡道 驻衢。裁缺 后，守道来驻。	知 府	同 知	通 判	推 官
世祖顺治 三年	钱志駘金 衢巡道。 江南丹徒 县进士。	常攀桂河 南扶沟县 举人。随 征上任。	王懋敬	王宫桂	

	道清初，巡道 驻衡。裁缺 后，守道来驻。	知 府	同 知	通 判	推 官
四年	王道成山 西安邑县 进士。	冷时中 《通志》：内 江人。柯 山碑：系三 年秋至任。 秘业捷山 西晋州举 人。系四 年任。	张弘道		王纳 海 峴 县 拨 贡。
五年		韩养醇山 东禹城县 举人。	马攀龙		王宗 谛
六年	李际期河 南孟津县进 士。提学。			张弘典唐 山县副榜 贡。	
七年					李炌 长 山 县 进 士。 祀 名 宦。
九年			李葆贞广 宁府左卫 贡生。		

	道清初，巡道驻衢。裁缺后，守道来驻。	知 府	同 知	通 判	推 官
十年	张元璘辽阳州进士。	袁国梓字丹叔，华亭进士。修府学及石室堰。	杨振麟大兴县贡生。	姚之英巨野县拔贡。	
十三年			郭建章五河县拔贡。		孙鲁字孝若，常熟县进士。
十四年	罗廷玙新建县人。				
十五年				朱光宗商邱县副榜贡。	
十六年	陈韩遴晋江县进士。				
十七年			刘梦兴罗山县举人。	唐士魁延庆卫岁贡。	
十八年	韩廷芑山东青城县进士。	甘日进丰城县官生。			

	道清初，巡道驻衢。裁缺后，守道来驻。	知 府	同 知	通 判	推 官
圣祖康熙元年	巡道裁缺，守道移衢。 按：《明史》：布政司员有金衢严守道，按察司员有分巡金衢道。《方輿紀要》：金衢道兵备金事，清初犹承明制。《东华录》载：顺治间，冯如京、徐来麟、毕振姪、宁之凤，俱金衢道参政。《通志》列作金衢严守道，疑是时已有变更。	雷经井研县举人。 又见九年郡庙碑。			
二年				田钟雨公安县恩贡。	
四年					陈策临漳县进士。
六年			宋灿莱芜县拔贡。		是年，推官裁。杨《志》作九年。

	道清初，巡道驻 衢。裁缺后，守 道来驻。	知 府	同 知	通 判
九年	胡养忠见九 年郡庙碑，尚 存。衙署分 守金衢严道。		沈 奕 琛 同 知。高邮州 举人。	
十年	梁万襍《通 志》：康熙九 年 任。陈 《志》云：驻衢 十五年。有 祠。			李 鼎 通判。 武陟县拔贡。
十三年		王 弘 仁 知 府。辽阳恩 贡。耿乱时， 有功，入名 宦。		
十四年			杨 道 泰 沈 阳 荫生。	
十九年		姜承基 盖州 荫生。		马斯作 河内 县拔贡。
二十二年	王乔栋 康熙 间名宦，继梁 任，年无考， 附此。		井睦 文安县 进士。祀名 宦。	

	道清初，巡道驻衢。裁缺后，守道来驻。	知 府	同 知	通 判
二十五年		董弘毅沈阳县荫监生。字士超。见柯山题名，郡城隍庙有匾。		黄应科零陵县拔贡。
二十六年			王景圣奉天府例监生。字士敏。见柯山碑。	
二十七年	孙允恭丹阳县进士。			
二十八年				金光裕辽阳官监生。
二十九年	王默顺天宛平人。按：《先正事略》：大学士王文靖公熙有弟照，以兄荫起家，官金衢道。《宁邦陈氏谱》：贤妇陈蒋氏，有观察王照给匾。疑默即照误。			刘泽嗣吴桥县荫生。字蓬脩。见柯山碑。

	道清初，巡道驻衢。裁缺后，守道来驻。	知 府	同 知	通 判
三十一年				王廷奏长山县监生。见康熙《县志》。圣像碑奏作揆。
三十二年		王文锦长安县荫生。据《带经堂诗话》，系渔洋族子。		
三十三年	董昭祚奉天人。邑庙有匾。			
三十四年		张琳汉军荫监生。		
三十五年		张濬沧州岁贡。	赵衍禧商邱县监生。见康熙《县志》载。三十九年，同知裁。雍正三年，复置，移驻江山县峡口，不复裁。	

	道清初，巡道驻衢。裁缺后，守道来驻。	知 府	同 知	通 判
三十六年	胡承祖见康熙《县志》。 修志衔名。 三十九年裁。			
四十一年		李云龙奉天监生。		
四十五年		杨廷望武进士。《传》作崑山。重修《府志》，善政良多。		
四十八年		马遴三韩人。 杨《志》止此。		
四十九年	程銮是年，复设。字坡士，歙人。	金玉衡字敬庵，廂蓝旗人。由台州同知署。完成《府志》。		

	道清初，巡道驻衢。裁缺后，守道来驻。	知 府	同 知	通 判
五十五年		靳树德奉天副贡。有《谈荟序》。据育婴堂碑，六十一年犹在任。《海宁志》：乾隆元年，升海防道。		
五十七年	田呈瑞以上并见《通志》。是年，裁缺。			
世宗雍正五年		朱伦瀚伦，一作纶，字一三，奉天正红旗进士。		
七年		郭朝端字稜庵，廩红旗人。世隆嗣。见十年府学碑。		

	道清初，巡道驻 衢。裁缺后，守 道来驻。	知 府	同 知	通 判
十年		杨景震字继 伯，江都萌 生。乾隆三 年移府署。 有碑。		
十三年	程光钜复 设，改分巡 道。由翰林 改授，字尔 志，孝感人。			
高宗乾隆 初	李公见《徐焕 新传》。名 缺。 吕公见《徐常 昇传》。名 缺。	胡文溥六年 辛酉抵任。 见十一年周 王庙碑。		王嵩年见 《周宣灵王牌 坊记》。
十三年	德福刊《训饬 士子文碑》。	同德见府学 《训饬士子文 碑》。		刘树中州人。 由直隶推官 借补。亦见 万安桥碑。 二十四年，尚 在任。

	道清初，巡道驻衢。裁缺后，守道来驻。	知 府	同 知	通 判
十九年	陈树耆见《胡其慧传》。 按：《海宁志》有海防道陈树耆，湘潭人。荫生。十三年任。十九年裁缺，去。疑即其人，耆字误。			
二十一年		甘士瑞襄平人。廿一年任。见廿五年正谊书院碑。		
二十四年	陈守诚有万安桥碑载是年任。			
二十七年	程国表歙人。道署有碑，徽州会馆有匾。			

	道清初，巡道驻 衢。裁缺后，守 道来驻。	知 府	同 知	通 判
二十八年	明禄有开浚 城河碑载是 年，文存。			
三十年	张士范见道 署碑。			
三十一年	程国玺道署 有 联。 姚 《志》载《九华 山游记》，无 年次。	林 明 伦 闽 人。天后宫 有匾。		
三十八年	孔毓文字载 之，句容人。 甲戌进士。 调杭嘉湖道。 见《海宁州 志》。	葛尔弼善大 堂有匾。		
四十二年				田 元 淮 姚 《志》：是年， 亲勘虹口闸。
四十三年		王士灝见孔 庙牌坊。又 四十七年武 庙匾作士灝。		

	道清初，巡道驻衢。裁缺后，守道来驻。	知 府	同 知	通 判
五十年		舒庆云字璇亭，豫章人。		
五十二年		方受畴慈云阁匾。		
五十三年		明保厢蓝旗人。五十五年，升杭府。 见《杭州府志》。		
五十六年	玉德育婴堂碑。	曹玉树并见育婴堂碑。		
仁宗嘉庆元年		朱理元秋菴任。见八年正谊书院碑。 丁未传胪。		
八年	舒庆云署道有楹联。亦见《盈川小草·七里街》。 嘉庆十七年节孝坊，尚可見。			

	道清初，巡道驻衢。裁缺后，守道来驻。	知 府	同 知	通 判
十四年	继昌重修文庙。			
十七年	富忠阿嘉庆《县志·序》。	那英亦见嘉庆《县志·序》。		
二十二年		刘重麟二十 二年石将军碑，署任，朝邑人。见《杭州府志》。		
二十五年	程立堉字莲溪，歙人。会馆有联。	那英复任。 府署有对联。		程名佚。 请那公葺关帝庙，见道光十五年碑记。
同年		周镐无锡进士。调漳州去。		
宣宗道光元年	季秉铨见学宫碑。又道署有联。临川人。	谭瑞东长洲翰林。家庙碑：辛巳任。 盖元年也。		

	道清初，巡道驻衢。裁缺后，守道来驻。	知 府	同 知	通 判
二年	苏成额升河南按察使。 见三年修家庙碑。			
三年	觉罗承宝亦见家庙碑，道署有匾。			
五年	张元模字竹坪，安州翰林。五年任。 见六年搢绅。 十五年，尚在任。	成世瑄黔南人。翰林。 见五年十月《修赵清献祠序》。		萧炜广东始兴人。五年九月调。见六年搢绅。
同年		谭瑞东复任。有浚河碑。		
八年		江伸江西弋阳人。字藕洲。见《存悔堂稿》，慈云阁有匾。		

	道清初，巡道驻 衢。裁缺后，守 道来驻。	知 府	同 知	通 判
十一年		李瀛 辛酉拔 贡。		魏 缺名。 不知任年。 十二年裁缺。
十四年		黄锡祚 闽 人。玉环厅 同知代理。		
同年		石同福 旧珠 卷查出。		
十五年	德兴见重修 关庙碑，文昌 阁、关庙均有 联。廿一年， 尚在任。	文柱 旗籍进 士。		
十七年		杨鹤书		
同年		潘观藻 武昌 翰林。府署 有匾。		
十八年		汤俊如 皋人。		
二十年		王德宽 武陵 翰林。查旧 珠卷，同时有 王德襄，未知 孰误。		

	道清初，巡道驻衢。裁缺后，守道来驻。	知 府	同 知	通 判
二十一年		珠煥正黃旗 滿州岳慶佐 領下人。		
二十二年		湯俊復任。 有鼓樓碑及 古佛殿聯。		
二十三年	布彥博勒格 蒙古正藍旗 人。見舊播 紳。	王紹燕仙游 縣翰林。是 科調帘。三 十年，復任。		
同年		周師雲南陸 涼州翰林。		
二十四年	董友筠字柯 亭。道署有 師竹軒匾。	朱淳雲南石 屏州人。		
二十五年		邊寶樹廂紅 旗漢軍。		
二十六年		崇福正白旗 滿洲常山佐 領下人。		

	道清初，巡道驻衙。裁缺后，守道来驻。	知 府	同 知	通 判
二十七年	周缙字竹莽，吴县人。见陈埙《真父母记序》。	刘仲晦直隶沧州人。壬辰进士。		
二十九年	刘仲晦兼护。	方秉柯城人。署任。		
三十年	赵连标关庙有联。	王绍燕复任。		
同年		文廉蒙古正蓝旗翻译进士。		
文宗咸丰元年		瑞春正蓝旗卓陵阿佐领下人。		
二年	刘成万泾县翰林。道署有联匾。	徐相汉军正蓝旗人。戊戌翰林。		
五年		吴艾生吴县人。是年，杀台勇。十一年，复任。		

	道清初，巡道驻衢。裁缺后，守道来驻。	知 府	同 知	通 判
六年	缪祉江苏举人。八年，守城有功。《忠义录》有《传》。	讷勒恒额廌 蓝旗满洲人。 有匾，存。子海容。		
八年		马椿龄云南新兴州人。 西安县升，守城有功。见《平浙纪略》。		
九年		江允康黟县人。		
十一年	江允康由知府署任。	吴艾生守城有功。见《平浙纪略》。		
穆宗同治元年	苏式敬字周亲。署任。	杨昌濬补缺，未任。		
二年	王荫棠字芾南，盱眙人。有《留别》诗。	林聪彝侯官廉生。		

	道清初，巡道驻衢。裁缺后，守道来驻。	知 府	同 知	通 判
三年		魏良湖南宁 乡人。 朱煥文休宁 县人。代理。 冯誉聰广东 高要县人。 正谊书院有 联。		
四年	和齡字莲汀。 旗籍举人。 关庙有对联。	丰应齡歙县 人。正月，代 理。		
同年	顾菊生广丰 人。翰林。五 年，歿于任。	刘汝璆江西 人。升署道。		
五年	刘汝璆继顾 道署任。有 《上左中丞 书》，见《经世 文续编》。	陈鲁江宁县 进士。七年， 调杭府。		
六年	如山字冠九， 满洲廂蓝旗 翰林。善书 法。升督粮 道。			

	道清初，巡道驻衢。裁缺后，守道来驻。	知 府	同 知	通 判
七年	梁恭辰字敬叔，闽人。篆三衢试院匾额。	宗源瀚字湘文，上元人。署任。		
八年		海容正黄旗满洲举人。讷勒恒额子。		
九年	秦缃业字淡如。署任。			
十二年	英廉字嶽亭，满洲廂红旗生员。曾署藩、臬。			
德宗光绪二年		汪勋江苏宝应人。同知代理。		
同年		葛利宾江西武宁举人。 靳邦庆广西临桂翰林。 刊《知府题名录》。		

	道清初，巡道驻衡。裁缺后，守道来驻。	知 府	同 知	通 判
五年	王景澄字清如，萍乡人。传胪。	虞庆澜阳湖人。代理。		
同年		解煜字星垣，临榆翰林。是秋，莅任。明年，调汀州。		
六年	桑树勋字春浓。道署有联。	刘国光字宾臣，湖北安陆县举人。重刊《府志》。		
七年	黄祖经字子畲，后再任。有联。			
八年	联綬满洲正蓝旗荫生。十三年，歿于任。			
十年		李审言字宋田，永平举人。署任。		

	道清初，巡道驻衢。裁缺后，守道来驻。	知 府	同 知	通 判
十一年		刘国光 觀见 后回任，后降 佛山同知。		
十二年		朱德澄 广西 博白县进士。 署任。		
十三年	蒋国桢	荣望满洲廂 蓝旗翻译举 人。上年简 放。		
十五年	唐树森 湖南 人。十五、十 七、十九三次 署臬，有三去 三来之室。			
十六年		毕棠字芾亭， 深泽进士。 署任。		
十七年	邹仁溥字渭 清。署任。	保顺字雨亭， 汉军，汪姓。 上年简放。 十九年，歿于 任。		

	道清初，巡道驻衢。裁缺后，守道来驻。	知 府	同 知	通 判
十九年	王景澄再署。	翁曾纯常熟萌生。		
同年		林启字迪臣，候官翰林。 廿一年，调杭府。		
二十一年	黄祖经再署。	刘宗标字海臣，广西贺县翰林。署任。		
二十二年	鲍祖龄字鹤年，四川夔州萌生。袭子爵。	志覲满洲廂红旗人。由湖州调署。		
二十三年		沈文炜字仲昭，江苏常州人。由厘局代理。		
同年		洪思亮字朗斋，怀宁翰林。上年简放，由湖调回。		

	道清初，巡道驻衢。裁缺后，守道来驻。	知 府	同 知	通 判
二十六年	徐士霖字澍生，清江廉贡。道署。有联。	赵惟嵛字俞山，南丰人。		
二十七年	郭式昌字毅斋，闽县举人。三十年，升按察使。	世龍字伯先，满洲廂黃旗人。萌生。创办中学。升皖臬。		
三十年	王绰山东诸城翰林。由给事中简放。	龙锡恩贛县举人。由厘局代理。		
同年		惠格字式堂，满洲廂红旗。笔帖式，由嘉兴府调署。		
三十二年		萧文昭湖南善化进士。署任。		
同年		姚舒密山东曹州翰林。简放。当年，丁父忧。		

	道清初，巡道驻衙。裁缺后，守道来驻。	知 府	同 知	通 判
三十三年		吴学庄安徽泗州举人。署任。		
同年		徐承焜汉军。简放，到任未久。 陈文玑顺天大兴人。		
三十四年		周以翰江西兴安举人。简放。宣统元年，歿于任。		
少帝宣统元年		周志靖江苏人。署任。		
二年	刘学询字问菊，广东人。进士，简放，未任。	崇兴字立夫，满洲正白旗人。由监察御史简放。		
三年	李龙元字云卿，云南蒙自举人。署任。			

## 民国道尹

六年	沈钧业金华道道尹，字馥声，绍兴人。由兰移衢，仍旧道署。
七年	赵曾蕃字椒圃，太湖人。由瓯海道调任。
九年	沈致坚字卓如，黄冈人。由钱塘道调任。
十年	陈嘉字子谋，安陆人。代理。
十一年	沈致坚仍回原任。十二月，调瓯海道。
十二年	冯学书字仲贤，绍兴人。由省委代。
十四年	汪希字叔明，杭人。简放。

## 学师表

古者，政教不分，官师合一。汉代，始有学官之设，立五经博士，置弟子员，犹三代时庠序校之遗制，而司徒明伦之教寓焉，故名其堂曰明伦。造士之方，莫此为重。文翁讲学，必率明经。饬行者与，俱此其意。逮及河汾，厥有国学、社学、乡学之别，然无不重赖地方官长为之提倡也。有唐受命，即诏有司立周公、孔子象于国学，而天下诸道、州、县置学。宋庆历初，令州、县立学。本道使者选属部为教授；不足，则取于乡里宿学之有道业者。熙宁六年，始命于朝廷。洎元，县儒学，教谕、训导而外，复设山长

一员。明，益以阴阳、医学，而山长不列于命官。清之教官，与科举相终始。书院别有掌教之山长，出之聘请，尊师道也。古云：师道立，则善人多。有经师，有人师，所系綦重，勿谓广文官冷苜蓿盘空也。兹取宋以下，立之表以存古。

宋	教授	主 学	山 长
真宗咸平间	余旦《龙游余氏谱》：咸平间，衡州教授。卜居于龙之柳村。		
神宗熙宁间	周次说《江山流寓传》：熙宁间，授通好使，权贵，谪衡教授。寓江山。		
徽宗崇宁二年		王汉之常山人。 姚《志》作崇宁二年。见《江宁志》。 然考汉之登熙宁六年榜，在前三十二年。主学之名，又始于景定，必有差误。	
政和间	应灌《通志·选举》：政和五年进士，仙居人。今补。		

宋	教 授	主 学	山 长
宣和五年	钟燮高至临《学记》。 蒋旦应灌同年进士，仙居人。家世以儒显。见《台州府志》。今补。		
高宗绍兴间	陈士表《通志·选举》：绍兴二十一年进士，永嘉人。今补。		
二十四年	莫波《宋史·赵令衿传》。		
宁宗嘉定十二年	卫玠著《信安志》。		吴好恭柯山书院。见《上街吴氏谱》。
理宗绍定间	叶汝明著《信安续志》。并见陈氏《书录解题》。		
淳祐四年	俞任礼见《九经韵补跋》。 洪名佚。号恕斋，与知州杨彦瞻同时。见周密《蘋洲渔笛谱》。		

宋	教 授	主 学	山 长
景定间			孔元龙郡守谢奕 中延主柯山书院。 亦见《尚友录》。
度宗咸淳四年	曾凤庐陵人。见赵孟奎《莲花祠碑》。	马举之并见《莲花祠碑》。陈《志》字有讹误。 舒槐《通志·选举》：咸淳七年进士，奉化人。衢州教谕。	
帝显景炎间		韦居安吴兴人。 著《梅洞诗话》。	
年次无考	杨一夔《江山任宣传》。 苏幼安《志》引《明一统志》。今考《江山志·忠烈传》：字心德，以明经任。归老时，乡寇犯境，不屈死。立祠祀焉。 郑伯谦永嘉人。 著《太平经国书》。	毛时学《江山志》云：为衢州学正。 即主学也。 孔纯邑人。西安教谕。见《黄文献集》。 按：宋代学官无教谕名，舒、孔二人之任，疑在元初。	留梦发明正书院。

元	教 授	学正、录	教谕 训导	山 长
世祖至元 十四年	吴安朝方逢 辰《学记》。  徐伯彪《龙 游学记》。在 二十年以前。			徐天俊 赵 《志》：丁丑， 柯山书院山 长。杨《志》 作天复。俊、 复形似，疑即 一人。
二十年	徐梦龙见方 逢辰《学记》 及总管府碑。	吴梦霖 学 正。见方逢 辰《记》。在 廿四年前。  王尚翁 学 录。见《黄溍 集》。在三十 余年。  徐希武 学 录。见《常山 流寓传》。		徐庭琇明正 书院。杨《志》 引《徐氏谱》。
成宗大德 八年		秦显忠 学 正。见郑鸣 凤《学记》。		陈彦正 大德 间，柯山山 长。见戴良 及柳贯《集》。 今补。

元	教 授	学正、录	教谕 训导	山 长
仁宗皇庆元年				叶谨翁见黄潘《明正书院记》。
延祐元年	许应祈《江山县堂记》。			
七年	洪焱祖由绍兴迁调。见《徽州府志》。			
文宗至顺元年	应公朝金华人。是年进士。见《通志·选举》。今补。	严辰 学正。 《通志》：兰溪人。以明经任。		
顺帝至正六年		善才奴 学正。见郑汝厚《学记》。	左宗海 西安流寓。	谢芳应清献书院。见《元百家诗选》。
十一年			闻人梦吉金华人。《宋学士集》。右二人，杨作训导，姚作教谕。	

元	教 授	学正、录	教谕 训导	山 长
年次无考	<p>徐宏杨《志》： 《西安·流寓传》。</p> <p>张主善金华人。以明经任。 见《通志·荐辟》。今补。</p> <p>潘必卿至正间。武宁人。 《西安流寓传》。</p> <p>程端礼《元史·韩性传》：庆元人。住衢。</p>		<p>郑汝厚 姚《志》：训导。 元末，殉节。</p>	<p>徐济清献书院。见《龙游志》。浩弟。</p>

明	府学教授一人	府学训导四人	县学教谕一人	县学训导二人
太祖洪武	胡翰杨《志》： 龙凤五年，金华人。	<p>蒋植学正。 见《常山县治记》。</p> <p>徐宗显元年。西安人。</p> <p>周刚十五年。 莆田人。</p> <p>王焯廿三年。 永福人。</p>	孔思模元年。邑人。	留文溟元年。邑人。

明	府学教授一人	府学训导四人	县学教谕一人	县学训导二人
成祖永乐	韩著十六年。 上海进士。 陶圭鄱阳进士。 周文奇侯官人。	曹 琚 元 年。 瓯宁人。		
宣宗宣德	吴志建宁人。	邱政泰和人。	翁 赐 四 年。 浦城人。	
英宗正统	余传龙溪人。		刘 显 元 年。 新淦人。 黎扩十四年。 临川人。	陈 邇 元 年。 吴县人。 杨 泰 二 年。 鄱阳人。 雷 恺 二 年。 建宁人。
代宗景泰	陈烜闽县人。			陈 禄 元 年。 泰州人。 张 瞠 四 年。 建安人。
英宗天顺	陈 元 纲 五 年。莆田人。	蔡 足 元 年。 龙溪人。	李 芳 元 年。 新城人。	向 敏 元 年。 沅州举人。

明	府学教授一人	府学训导四人	县学教谕一人	县学训导二人
宪宗成化	陈恒十九年。 章懋《学记》。 赵《志》无。 陈讷常熟人。	方景渊莆田人。 杨增陵县人。 董濬南海人。 黄铠合肥人。 蔡瀛安县人。 右五人，杨《志》年缺。	罗文六年。 高要举人。 诸祺十四年。 华亭举人。	冯瑞六年。 彭泽人。 林璋七年。 福州人。 康荣十三年。 南平人。 饶恕十八年。 晋江人。 池华同前。 政和人。 冯达廿一年。 《科贡题名记》。
孝宗弘治	顾润元年。 上元举人。 戴钦八年。 丹徒岁贡。		林典元年。 莆田举人。 陈世高九年。 闽县举人。 罗幹十六年。 吉水举人。	陈闰杨作閔。 元年。龙溪人。 袁杰四年。 建安人。 王璋九年。 金山卫人。 王侃十年。 南昌举人。

明	府学教授一人	府学训导四人	县学教谕一人	县学训导二人
武宗正德	赵神甫十一年。闽县人。	舒信五年。 太仓人。 黄桧九年。 未详。 袁章同前。 扬州人。 张敷诚十一年。安福人。 王明十四年。 庐陵人。 郑伟十五年。 上饶人。 张翹十六年。 大兴人。 杨銓同上。 闽县人。	黄豫五年。 丰城举人。 谢纪十一年。 辰州人。 林文十六年。 揭阳举人。	陈祀十六年。 吴县岁贡。
世宗嘉靖	耿光四年。 麻城举人。 林浩七年。 龙游举人。 郑珏十三年。 永春岁贡。 高晋十七年。 桂林举人。	钱钦五年。 临川贡。 伍万期七年。 恩平贡。 郑凤来八年。 南平岁贡。	陈爵四年。 江阳岁贡。 陈朝庆八年。 长乐举人。 董植十六年。 贵溪岁贡。	祈经元年。 闽县贡。 袁冕一作晃。 二年。永昌贡。 黄辅四年。 莆田贡。

明	府学教授一人	府学训导四人	县学教谕一人	县学训导二人
	吴兰二十年。 霍山进士。	张文炤十一年。 晋江贡。	谭敷二十一年。 曲江岁贡。	林孔式八年。 侯官贡。
	马寅二十二年。 侯官举人。	王兆同上。 宁都贡。	郭弘恺二十九年。 泰和岁贡。	宋文兴十年。 南安贡。
	张抑二十八年。 上海岁贡。	蔡长春十四年。 南充岁贡。	周恺三十五年。 贵溪岁贡。	孔韶同上。 琼山贡。
	宋廷琦三十年。 武城举人。	刘洙润十七年。 新兴贡。	俞镜四十年。 永丰岁贡。	黄若愚同前。 临川岁贡。
	吴守蒙三十六年。 歙县举人。	陈麌同上。 永安贡。	徐守四十一年。 临川举人。	谢濂十五年。 闽县岁贡。
	金汝砺四十年。 常熟举人。	隗滋十八年。 潜江贡。叶误陈姓。	高擢四十四年。 金坛岁贡。	符文瑞二十年。 广东某县岁贡。
	康宪四十三年。 龙泉岁贡。	朱鍊同上。 宜春贡。		黄杰廿三年。 同安贡。
	王问四十四年。 京山岁贡。	叶元春二十年。 浦城贡。		黄彦廿六年。 分宜贡。
		蔡棨同上。 永新贡。		程恭廿七年。 休宁贡。
		李字廿三年。 武宁贡。		梅环廿九年。 全椒贡。
		鲁崇德同上。 武陵贡。		陈大章三十年。 高要贡。

明	府学教授一人	府学训导四人	县学教谕一人	县学训导二人
		孙芹 同前。 清江贡。 邬相二十六年。武平岁贡。 彭琰三十二年。当涂贡。 吴伟三十三年。休宁贡。 冯天祥 同前。都昌贡。 叶万芳 同上。博罗贡。 董苏三十九年。松溪贡。 周在四十年。德安贡。 陈光四十一年。江阴贡。 胡绣 同上。江浦贡。 汪世济四十二年。贵溪贡。		汤建中 同上。凤阳贡。 戴邦直三十七年。上海贡。 汪旦三十八年。南城贡。 胡燮四十年。 太平贡。 冯元庆四十四年。顺德贡 林腾鲲四十五年。永安贡。

明	府学教授一人	府学训导四人	县学教谕一人	县学训导二人
穆宗隆庆	王师性四年。晋江举人。		杨绣二年。 辰州岁贡。 王良冉五年。 吉水举人。 庞鹤鸣同年，合浦岁贡。	程中和四年。 乐平贡。 刘琯同上。 长洲贡。
神宗万历	吕渭元年。 嘉善岁贡。 李惠二年。 广昌岁贡。 林士升五年。 莆田贡。 江山教谕升。 王师元八年。 安仁举人。 高堪九年。 临安岁贡。	张承芳 姚泗 萧应麒 匡存穀右四人，并据五年 赵鐘《学记》补。 杜承芳十六年。 泰和卫岁贡。 刘元辅十九年。 永嘉贡。	陆世有元年。 海宁岁贡。 诸峤二年。 上海举人。 何永昇五年。 崇仁选贡。 黄应元十一年。 遂安选贡。	刘一元元年。 永丰贡。 陈文二年。 长汀贡。 杨廷爵三年。 绥宁贡。 徐廷接同上。 慈溪贡。 魏仲鳌八年。 丽水贡。 商翀九年。 金华贡。 陈一言十年。 长兴贡。

明	府学教授一人	府学训导四人	县学教谕一人	县学训导二人
	殷士望十五年。丹徒岁贡。	冯翊二十年。慈溪贡。	牛大纬十四年。琼山举人。	应绥邦十五年。永康贡。
	杨蕙十八年。大河卫岁贡。	江应昇廿一年。贵溪贡。	姜邦直十九年。金华选贡。	程迁同上。清江贡。
	潘桂同前。	袁实同上。	高宠二十三年。学碑云古润人。	戴梦松廿一年。太平贡。
	长乐进士。	李承窠同前。	庞尚鸿二十四年。南海岁贡。	罗含章同上。建安贡。
	唐斯盛二十一年。湘潭进士。	张飚廿二年。建德贡。	李应元二十六年。贵州安南选贡。	颜容恭廿四年。永春贡。
	赖汝霖二十一年。宁洋岁贡。	吴宣同前。潜山贡。	赵应贵二十七年。余姚举人。	秦懋敬廿五年。临海贡。
	凌世章二十四年。双流岁贡。	章廷用廿四年。宣平贡。	虞鸣冬三十年。义乌岁贡。	徐枋廿六年。义乌贡。
	郑梁二十七年。闽县岁贡。	吴三畏同上。临安卫贡。	张第三十三年。巢县岁贡。	戴于逵廿七年。金华贡。
	吴钺二十九年。南溪岁贡。	苏志尹廿七年。苍梧贡。	高标三十七年。合肥贡。	陆应铿三十一年。丰城岁贡。
	金洪相三十年。嘉兴岁贡。	童任同上。连城贡。		陆德渐三十年。鄞县岁贡。
		马良载廿九年。随州贡。		
		项一鹏同上。龙泉贡。		

明	府学教授一人	府学训导四人	县学教谕一人	县学训导二人
	陈善道三十年。长洲岁贡。	王德乾三十年。归安贡。	姚应聘三十年。定远岁贡。	欧文鼎同上。永平贡。
	王宏同前。会稽岁贡。	郑成章同上。永安贡。	李兆龄四十年。缙云恩贡。	王一翰三十八年。晋宁贡。
	黄美中一年三教授。漳州岁贡。	陈所得三十年。钦州贡。	尹渭杨作喟。	何东凤四十年。开卫贡。
	吕曾见三十六年。新昌岁贡。	张榷三十八年。江宁岁贡。	四十二年。巢县举人。	黄琅四十二年。高安贡。
	李之乔三十九年。海门岁贡。	刘一鲲三十年。龙泉贡。	虞允中四十五年。仁和举人。	滕王英四十四年。瓯宁贡。
	吴一机四十四年。淳安岁贡。	张弦同前。永平卫贡。	余宇泰四十七年。新建举人。	邬应萃四十七年。宁海贡。
	徐玉铉四十五年。安吉岁贡。	胡纯臣四十二年。黄陂贡。		
	龚希尚四十八年。南靖岁贡。	刘宗向同前。象山贡。		
		童养直四十四年。甄宁贡。		

明	府学教授一人	府学训导四人	县学教谕一人	县学训导二人
	郑应几万历 间。太平岁 贡。见《台 志》。	费一庆四十 五年。归安贡。 詹沚四十六 年。浦城贡。 杨其志四十 七年。邠州 贡。		
光宗泰昌		亢承训元 年。临淮贡。		
熹宗天启	郭元菴元 年。东阳岁 贡。 崔思谦同 前。江陵岁 贡。 陈用俊二 年。临海岁 贡。 汤世尹四 年。景宁岁 贡。	黄尚诗元 年。义乌贡。 徐永法三 年。黄岩恩 贡。 严毅同前。 平湖贡。 胡惟新五 年。汤溪贡。 计遵训六 年。马平贡。 邹邦荣七 年。邵阳贡。	徐永法《台 州府志》作西 安谕。 姚一慕五 年。诸暨举 人。	童志大元 年。临安贡。 谈我蕴四 年。长洲贡。 董正五年。 邓州贡。

明	府学教授一人	府学训导四人	县学教谕一人	县学训导二人
	於慎行六年。嘉善岁贡。 徐希穀七年。萧山岁贡。			
怀宗崇祯	梁藻二年。会同岁贡。 聂国琦三年。新淦岁贡。 王万乘四年。云和岁贡。 冯端仕同前。义乌岁贡。 陈祖念五年。连江岁贡。 许翰十七年。绍兴举人。 以上并采杨《志》。	王汝迪二年。宣平岁贡。 范奇四年。沁州岁贡。 束玉五年。禄丰恩贡。 蔡子晟字毅所。黄岩贡。 张宗宥字选斋。太平贡。 任汝直宁海贡。 据《台州府志》，作衢州训导，不知任年，并附于后。	徐璠四年。嘉兴举人。	何斐二年。高明贡。 王思卿同上。松阳贡。 王邦宁三年。曲靖贡。 颜为邦五年。未详。 祝光国七年。兰溪贡。 高士霖十二年。临海贡。 毛国荣同上。遂安贡。 李道成十五年。霸州贡。 朱显宗十七年。丹徒贡。

清	府学教授	府学训导康熙三年裁,十五年复设。	县学教谕	县学训导与府学同。
世祖顺治	闵标三年。 随征上任。  戚朝栋四年。 四川举人。  姚纳揆八年。 崇德恩贡。  马维驷十年。 海盐恩贡。  李梦龙十二年。 宣平岁贡。  李仕道十六年。 处州举人。  沈正春十七年。 未详。  叶廷枢同年。 会稽拔贡。  叶郁然十八年。 云和岁贡。	郑承祯三年。 随征上任。  陈光前五年。 永嘉岁贡。  章一桂九年。 鄞县岁贡。  楼立尊十年。 浦江岁贡。  骆建奇十六年。 武康岁贡。  陈尧典十七年。 会稽岁贡。  郑之騄十八年。 未详。	陆醇三年。 宜兴官生。  周沛生六年。 山阴进士。  桂攀九年。 慈溪举人。  王德新十八年。 宣平恩贡。	吴山涛四年。 钱塘举人。  蒋士芳五年。 《蟠轩续录》作教谕。  余杭拔贡。  虞汝节八年。 义乌岁贡。  盛养周十四年。 於潜岁贡。

清	府学教授	府学训导康熙三年裁，十五年复设。	县学教谕	县学训导与府学同。
圣祖康熙	郭宗仪五年。海宁举人。 来式钰十七年。萧山举人。 陈大尝二十一年。杨《志·名宦传》作天尝，姚《志·名宦祠》作大常，《题名录》未见。宁波举人。 潘荫余三十一年。仁和举人。 郑吉士三十六年。仁和举人。 以上杨《志》所载，不免缺漏，自后更难稽考，识者谅之。	三年，奉裁。 十五年，复设。 蔡治来十五年。德清岁贡。 周元釜二十四年。桐乡岁贡。 费金星三十年。归安廪贡。	魏允枚初年。见《通志》。嘉善举人。 王莫京见十年重建明伦堂碑。 俞兆吉十一年。慈溪举人。 沈完龙完，一作元。十九年。仁和举人。 潘之泓二十四年。平湖举人。 钱瑞徵二十六年。海盐举人。 唐炌三十七年。山阴岁贡。 车德辅四十六年。德清举人。	三年，奉裁。 《通志》云：四年裁。十五年，复设。 鲍檍十五年。 余杭副贡。 沈人魁二十二年。德清岁贡。 王钦擢二十九年。县学碑：会稽岁贡。 孙其濬四十年。会稽岁贡。 徐奕美六十年。山阴人。

清	府学教授	府学训导康熙三年裁，十五年复设。	县学教谕	县学训导与府学同。
世宗雍正	卓元基十年 府学碑，又鹿 鸣山诗碑。 字履斋。	楼昇亦见十 年府学碑。	朱大龄二 年。海盐举 人。 吴作楫十三 年。海宁举 人。	何逢源五 年。宣平岁 贡。 许弘健七 年。仁和廉 生。议叙。
高宗乾隆	费士桂初 年。文恪公 祖，慈溪进 士，住衢。  翟灝二十四 年府学碑。 字晴江，仁和 举人。  吴元会三十 九年。字东 垣，湖州进 士。  周翼洙任年 无考。嘉善 进士。	王嘉珮十三 年，与费士桂 刊《训诂士子 文》。  张嘉灿浦江 岁贡。见《浦 江志》。	陈本十年。 仁和进士。 沈天机二十 三年。石门举 人。 李志鲁二十 六年。安吉举 人。 李烜二十八 年。镇海举人。 詹国瑞三十 五年。山阴举 人。 沈凤来五十 四年。山阴举 人。 吴瑞五十五 年。长兴举 人。	朱大德三 年。未详。 吴锦章十三 年。归安廉 贡。 王秉铨二十 五年。平阳岁 贡。 姜人芳二十 九年。天台岁 贡。 宋贵三十二 年。桐乡拔贡。 沈石鳞三十 五年。归安举 人。 朱谦鲁五十 四年。长兴廉 贡。

清	府学教授	府学训导康熙三年裁，十五年复设。	县学教谕	县学训导与府学同。
仁宗嘉庆	陈有元任年无考，里贯亦未详。 汪元望同前。钱塘进士。 陈岱字步袁。见嘉庆《县志》。钱塘进士。 马俊良同前。石门进士。	陈传经字晴岩。九年署。海宁人。见《盈川小草》。 姚梦石十五年。钱塘举人。见道光三年家庙碑及五年浚河碑。 余文焘十五年署。姚《志》纂修列其名。 沈方箛同前年。归安举人，道光初修学碑。 龚汝南嘉庆举人。见《兰溪志》。	唐权三年。武康举人。 陆廷珍六年。海盐举人。 孙企奭七年。绍兴举人。 朱鬯八年。有《盈川小草》。嘉兴举人。 余文焘十五年署。姚《志》纂修列其名。 沈方箛同前年。归安举人，道光初修学碑。 龚汝南嘉庆举人。见《兰溪志》。	林纲二年。慈溪岁贡。 《辅轩续录》作教谕。 陆濬三年。钱塘举人。 沈翼丰同前。海盐岁贡。 季炳四年。庆元廩贡。 杨世英十二年。武义举人。 陆梦熊任年无考。钱塘恩贡。

清	府学教授	府学训导康熙三年裁,十五年复设。	县学教谕	县学训导与府学同。
宣宗道光	陈德调二年。义乌进士。 孙有光二十三年选。仁和举人。 黄楷署任年无考,里贯亦未详。	李坤二十三年。严州拔贡。 瞿纶字经阁。二十九年选。杭州附贡。	钱玖署任。见三年家庙碑。 葛应曾四年。绍兴举人。 汪同怿十三年。钱塘举人。	邹清见元年县学碑。咸丰初,尚在任。杭州廪贡。
文宗咸丰	陶庆麒有《守城记》。会稽举人。	汪以信海宁举人。见同治六年家庙碑。	徐允伦见五年孔氏永启家塾碑。	
穆宗同治	沈师濂署任,归安举人。 何汝枚署任。仁和举人。并见六年。 诸可箴八年署。修学,有匾对。钱塘举人。 谢凤毛八年署。里贯未详。	李怀尧八年署。见校士馆碑。 陆宗翰八年选。钱塘廪贡。在任十余年。	邹志初初年。钱塘举人。字菽原。 见《两浙𬨎轩续录》。 邹家栋六年署。里贯未详。 吴善述六年选。镇海举人。	王世镇三年选,至光绪初。鄞岁贡。

清	府学教授	府学训导康熙三年裁,十五年复设。	县学教谕	县学训导与府学同。
	<p>王树榮九年。 见重建三衢試院碑。</p> <p>李日曦十一年升任。桐乡举人。</p> <p>王玉藻十二年署。萧山举人。</p>			
德宗光緒	<p>戴邦榮四年。仁和舉人。</p> <p>林梯青由兰溪升。绍兴舉人。</p> <p>金署任。缺名。</p> <p>魏熙元廿一年,由桐乡升。仁和舉人。</p> <p>邹柏森末年,由严府调。卒于任。海宁附貢。</p>	<p>龔鼎禧十年选。秀水廉貢。</p> <p>陆用宾萧山廉貢。</p> <p>沈士彬萧山廉貢。</p> <p>陆登鳌十九年署。遂安舉人。</p> <p>謝煦</p> <p>吳逢庆署任。见三十年府學碑。</p>	<p>姜東初八年署。會稽附貢。</p> <p>張翼九年署。天台廉貢。</p> <p>張思哲十一年署。太平歲貢。</p> <p>項球同年署。縉云廉貢。</p> <p>章夏謨十二年选。仁和舉人。</p> <p>汪庆云十七年署。兰溪舉人。</p>	<p>溫汝超三年选。仁和副貢。</p> <p>叶钟骅九年署。定海貢。</p> <p>許传襄十一年署。上虞貢。</p> <p>周恩培十二年署。仁和廉貢。</p> <p>黃寿昌二十一年署。平湖貢。</p>

清	府学教授	府学训导康熙三年裁，十五年复设。	县学教谕	县学训导与府学同。
		汤学坚十八年选。萧山举人。 周光煦廿四年，江山调。 会稽廉贡。 高斐然二十六年署。松阳举人。 徐光烈廿七年选，至末。 仁和举人。		范凤书廿一年选，至末。 鄞县举人。
少帝宣统		钮家蓉选，未任。湖州增贡。		

## 武官表

自王孙弥庸见姑蔑之旗，衢于军事上始见于史传，尚未闻设有专官也。汉有会稽都尉，掌典武职。吴遣征虏将军镇戍峥嵘。厥后，唐宋相继，防御指挥属之，刺史、知州军事，亦兼兵马，其为保卫地方计者至巨。是故兵可百年不用，不可一日不备。战区地理，陈迹班班，虽曰一隅，未尝不于天下兴亡息息相关也。《诗》曰：公侯干城。非此谁属。兹取历代武治之变更，并著于表。

**汉** 《汉书·百官表》：郡尉，秦官，掌佐守典武职甲卒，秩比二千石。景帝中二年，更名都尉。

更始元年	任延西部都尉。南阳宛人。
------	--------------

按：《后汉书·循吏传》：延为会稽都尉，时年十九。龙邱苌隐居太末，以礼聘之。太末为衢地，衢之治，当自延始，故以冠之。

**吴** 历代史表，吴诸将军有征镇、安平等号。

大帝嘉禾 五年	郑平征虏将军，以千人戍峥嵘镇。
------------	-----------------

按：《郑氏谱》：吴黄龙元年，平为中郎将，戍东阳郡峥嵘镇。嘉禾五年，以功拜赞护将军、光禄大夫。元兴元年，加封征虏大将军、亭侯、金紫光禄大夫、新昌郡开国公，食邑信安一千五百户。吴亡不仕，以衢为家。姚《志》列平于名宦，又坟墓下称晋大夫，均非是。

**晋** 晋因魏制。《文献通考》：魏黄初，始置总管，都督诸州军事。

武帝太康 元年	陈弘授峥嵘镇总管，封信安侯。
------------	----------------

按：弘事见本传及祠墓下。特其职为总管，都督一州军事，不在以信安侯贵也，宜有以表之。

**唐** 李华《刺史厅壁记》：唐，州有防御军，刺史为之使。其下有千夫长、百夫长。

懿宗咸通 元年	方景深什将。什，亦作十。
------------	--------------

按：《通鉴纪事本末》：裘甫分兵掠衢、婺州，衢州十将方景深将兵拒险，贼不得入。十将，犹守将也。

僖宗光启 二年	许 缺名。信安镇。吴兴人。
------------	---------------

按：《十国春秋·僧晏仪传》：晏仪禅师，本吴兴许氏子。光启中，随父镇信安云云。盖亦守将之类。

吴越 《十国春秋》：吴越，州有指挥使、制置使，又有罗城使。

	制置使	指使挥	罗城使
唐昭宗光化 四年	陈璋		
天祐元年		鲍君福应援指挥使。见《吴越备史》。	叶让 吴越王遣让杀陈璋，事泄，璋斩让而叛。见《通鉴纪事本末》。
昭宣帝天祐 三年	方永珍 并见《十国春秋》。		

宋 《宋史》：以朝臣守郡，号权知军州事，或兼兵马钤辖，巡检、都监、知县，皆京朝幕官为之。有戍兵，则兼兵马都监或监押。庆历中，衢州设禁军指挥使一员。其属有副指挥使、十将、虞候等官。

	知州兼职	知县兼职	指 挥
理宗绍定四年	蔡范 蔡节并节制出戍军马。		
五年		董梦程弓手寨兵军正。	
度宗咸淳三年	赵孟奎节制出戍军马。		
恭帝德祐元年			毛献忠总制。见《宋史·瀛国公纪》。
帝景炎元年			魏福兴守将。见《宋史·二王纪》。
宋末			朱照统领，家于衢南园林。

元 《续通考》：有征伐之事，置行枢密院，有使，有知院，有院判。事已则罢。 《豫章漫钞》：万户府，有正万户、副万户各一员，皆世袭。千户所，十一奕，每奕千户三员，百户三十员。

	行枢密院	万户府
武宗大德间		沈显忠百户。
顺帝至正十九年	朵粘院判。 张斌院判。并见《明太祖实录》。	

按：万历《新城志》载：县南三里郎家庄百丈山麓，有元三衢大使罗清之墓。所谓大使者，不知何使。罗为昭谏裔，前志未见。

明 《太祖实录》：龙凤五年，取衢州，立金斗翼元帅府，有元帅，有副元帅，又有枢密分院判官。

	翼元帅府	枢密分院	总制守将、戍将。
太祖龙凤五年	唐君用元帅。 夏义副元帅。并 见《太祖实录》。	朱亮祖院判。 《太祖实录》。	王恺总制军民事。 见孔氏家庙碑及 《清统志》。
八年			夏毅杨《志》云：旧 志：守将。不明何 职，疑即夏义。
洪武三年			徐与启戍将。见 宋濂《杰峰禅师塔 碑》。

嘉靖《府志》：洪武初，废翼元帅府，置仁和卫都指挥使司，后改立守御千户所。其职有正千户、副千户、百户、镇抚，俱世袭。其属吏目一员，后裁吏目。 天启《府志》：嘉靖四十五年，设防矿总捕都司一员。万历十五年，改设总捕守备。

	正千户	副千户	百户	镇 抚	吏 目
太祖 洪武		谷实合肥人。父勒归附有功，授百户。子实，升龙江卫副千户。洪武三十年，改调本所。	刘靖和州人。归附有功，以总旗升授。 邵业巢县人。以小旗征哈喇哈有功，升授。		牛惟善山东人。三十年任。
惠帝 建文			史庆高邮人。始祖祥归附有功，授世袭百户。至庆，建文四年，由泗州右所改调。 陈琏利州人。始祖玉归附有功，授世袭百户。至琏，建文间，由泗州屯田卫左所改调。		

	正千户	副千户	百户	镇 抚	吏 目
			刘敬曹县人。从军有功，由金乡卫中所百户改调。		
成祖永乐		冯信确山县人。始祖诚归附，充管军百户。子胜，升天策卫副千户。子信，永乐二年，改调本所。 高忠六安州人。始祖兴归附有功，授世袭百户。子冠，升副千户。子忠，定辽卫，六年，改调本所。	陈义江都人。父兴以总旗升府前左卫百户。至义，永乐初，改调本所。 邵旺业子，二年继。 魏安迁安人。父荣以功授府前右卫百户。至安，六年，改调。 魏敬安侄。十四年，继子俊升本所副千户。 刘山敬子。十七年继。		曾邦杰江西人。十七年任。

	正千户	副千户	百户	镇 抚	吏 目
宣宗 宣德	昌盛舍山人。始祖才归附有功，世袭百户。子隆升金乡卫正千户。子盛，六年，改调。	冯缙信子。宣德五年继。高铭忠子。九年继。	周斌上元人。始祖佛保以功授广信所，世袭百户。至斌，改调。五年，来衢。邵能旺子。九年继。	范辉鄱阳人。祖春以小旗有功升试所镇抚。至辉，八年，调本所。	
英宗 正统		谷寅实子。七年继。	刘通靖孙。二年继。 陈智义子。六年继。 刘能山子。七年继。 周濬斌子。十年继。 刘刚通子。十三年继。	范高辉子。八年继。	
代宗 景泰	昌武盛子。三年继。	魏俊本所百户敬子。征闽寇有功升。	邵杰能弟。元年继。 史能庆子。元年继。 陈鑑琏子。四年继。		毛焜四川人。元年任。

	正千户	副千户	百户	镇 抚	吏 目
英宗 天顺	昌文武弟。 三年继。	冯祯縕子。 八年继。	周琰濬弟。 四年继。		
宪宗 成化	昌镇武子。 六年继。  昌辅镇弟。 十年继。	魏贤俊子。 十一年继。  谷钟宣子。 十七年继。	邵康杰子。 二 年 继。  史鑑能子。 九年继。  陈玑鑑子。 十年继。  陈玉智子。 十七年继。  刘杰能子。 二十年继。  刘辅刚子。 廿一年继。	范鼎高子。 六年继。	
孝宗 弘治	昌穆辅子。 七年继。	高昇铭子。 元年继。  冯璿祯子。 三年继。  魏能贤弟。 十七年继。  冯荣鑑子。 同前。	周容琰子。 三年继。  刘俊杰侄。 十六年继。		

	正千户	副千户	百户	镇 抚	吏 目
武宗 正德	毕镇武定 州人。始 祖清有功， 世袭正千 户。至镇， 由燕山左 卫中所正 千户选调。 刘宣云州 人。始祖 兴有功，授 世袭百户。 子贵，升副 千户。子 英，杀贼有 功，升正千 户。子宣， 由杭州右 所十年改 调。 毕升镇子。 十五年继。	冯华荣弟。 六年继。 邵鼎以父 永征闽寇 有功，由本 所百户升。 谷廷钟子。 十三年继。 魏祐贤子。 十五年继。	邵永一作 承，康弟。 三年继。 子鼎，升副 千户。 陈杰玉子。 七年继。 周洪容子。 同前。 刘凤辅子。 十年继。 陈友玑子。 十一年继。 史清鑑子。 十六年继。 叶瑄宿松 人。始祖 盛归附有 功，授世袭 百户。至 瑄，由绍兴 卫改调。		

	正千户	副千户	百 户	镇 抚	吏 目
世宗 嘉靖	刘天祥宣 子。元年 继。 毕相千子。 十二年继。 昌钦穆子。 十七年继。 刘山天祥 子。二十 年继。后 降本所百 户。	高霑升子。 元年继。 刘宗山阳 人。始祖斌 以小旗升金 吾右卫后所 百户。至 鑑，讨贼阵 亡，升副千 户。子宗， 选授本所。 冯克诚华 子。十五 年继。 刘翰臣宗 子。十八 年继。 谷金廷子。 十九年继。 邵武鼎子。 年次失。 魏洪祐子。 三十六年继。 高应元霑 子。四十 年继。	刘恩俊子。 元年继。 陈恩友子。 二年继。 刘金恩子。 十七年继。 叶铨瑄侄。 二十年继。 周勋洪子。 廿二年继。 刘镗凤子。 年次失。 史臣清子。 年次失。 刘堂金叔。 三十三年 继。 陈良卿杰 子。三十 六年继。 陈勋恩子。 四十年继。	范泰鼎子。 十年继。 范楠泰子。 年次失。 范惟杰楠 子。三十 六年继。	嘉靖十五 年吏目裁。 嘉靖四十 四年，设总 捕都司。 陈大成金 华所镇抚 调衡。

	正千户	副千户	百户	镇 抚	吏 目
穆宗 隆庆	昌朝相钦 子。二年 继。  毕承恩相 子。六年 继。	谷万春金 子。二年 继。	周应奎勋 子。三年 继。		卞实武进 士。三年 任。  徐尚明金 华所镇抚 调。
神宗 万历	昌国勋朝 相子。十 三年 继。  毕拱奎承 恩子。三 十二年 继。  毕德隆拱 奎子。四 十二年 继。	刘执中翰 臣子。三 年继。  谷乾亨万 春子。十 年继。  魏国宾洪 子。十一 年继。  邵大镇武 孙。十四 年继。  高大才应 元子。三 十二年 继。  刘光远执 中子。以 父征倭功， 升世袭金 事	史朝卿臣 子。二年 继。  刘尚文铿 子。五年 继。  刘廷松堂 子。六年 继。  刘山本所 正千户。 查祖功次 不及降。  刘本固山 子。十二 年继。  叶文斌铨 子。十三 年继。	范时达惟 杰子。廿 八年继。	张澡六安 卫指 挥。  艾升定海 卫指 挥。  庞溟磐石 卫指 挥。  钱经济武 进士。九 年任。  金秉钺武 进士。十 二年任。  郑维藩常 德卫指 挥。  万历十五年， 改设守备。

正千户	副千户	百户	镇 抚	吏 目
	冯应克诚 子。四十 年继。	刘尚武尚 文弟。廿 二年继。		刘巨安绍 兴卫指挥。 十六年任。
	魏名扬宾 子。四十 一年继。	陈应召勋 子。三十 年继。		陈九霄金 华所千户。 十九年任。
	冯光祖应 子。四十 三年继。	史 上 策 朝 卿 子。三 十二年继。		鲁璋 盘石 卫指 挥。 二十年任。
		刘应文松 侄。三十 九年继。		张景房常 熟武进士。 廿三年任。
		郑子龙西 安人。以 舍人征播 西功，升授 周国忠应 奎子。四 十二年继。		周官仁和 武进士。 廿八年任。
		刘国杰尚 武子。四 十三年继。		成启元龙 江卫指挥。 三十三年 任。
				袁大宁会 稽武进士。 三十九年任。
				彭天翔武 进士。扬州 卫指挥。四 十三年任。

	正千户	副千户	百户	镇 抚	吏 目
					王佐才崑 山武进士。 四十三年任。
熹宗 天启	刘元勋百 户本固子。 告办题复。	谷震亨乾 亨弟，同年 继。	郑国材子 龙子。二 年继。  陈国柱应 召子。五 年继。		沈光宠松 门卫金事。 元年任。  王藩余姚 武进士。 二年任。
怀宗 崇祯		谷乘超震 亨子。十 六年继。	叶宗贤文 斌子。三 年继。		裘垣会稽 武进士。 三年任。  赵必荣南 昌卫指挥 金事。五 年任。

清 康熙《府志》：顺治三年，府城设总兵官一员。六年，改为协镇副将，统左、右二营。每营都司金书、守备各一员，千总二员，把总四员。康熙二十四年，添设中营，设官如两营例。 嘉庆《县志》：雍正十三年，工部尚书徐本、浙江总督程元章会奏：衢郡界连三省，为江西、福建咽喉紧要地方，副将不足弹压，请将衢协改镇。城守营，原属提标，康熙四十九年，改隶处州；雍正十三年，亦归衢州镇管辖。 又康熙《府志》：清初，守御所千户仍明之旧。康熙九年，改为守御所千总，部选掌印一员，秩从四品；领运一员，秩正五

品。三十六年，改为从五品与正六品。

	总兵协镇	游　击	都　司	守　备	守御所千户
世祖	冯用总兵。		胡曰让左营。六年新设。	许尚陞左营。三年，袁光祖右营。同。	
顺治	三年任。 王足国当是王定国。		潘鸿右营。	黄胜左营。	
	五年任。		同。	十年。	
	胡应秋西安人。见《府志》，不知年次。		佟养谟左营。八年。	白有德右营。十二年。	
	杨虎榆林人。六年，改协镇，第一任。		沈海左营。十一年。	周永祚右营。十八年。	
	李荣辽东人。十四年任。		陈培祺右营。十二年。	缪昌言右营。十三年。	
	孙加印绥德人。十八年任。按：康熙九年郡庙碑，尚在任。		张奇左营。十七年。	赵义右营。同。	

	总兵协镇	游　击	都　司	守　备	守御所千户
圣祖	郑世雄永春人。继孙加印任。 按：当在九年以后。 《通志》作八年，恐非。		戴振右营。 元年。	何万邦左营。 三年。	陈永盛杨 《志》：改设
康熙	李承恩大兴人。十二年任。		钱应龙右营。 六年。	吴英左营。 四年。	千总后，康熙三年任。
	杨宗道宁波人。十九年任。 《府志》姓作汤。		高伟左营。 九年。	李鲍左营。 七年。	武进士。 按：郡庙九
	卢光明海州人。廿一年任。 《府志》作二十年。		刘洪范右营。同。	冯名世右营。同。	年碑，衢州所守备陈永盛。疑尚在未改之前。故仍明制，称守备。
	孔弘宪京卫人。廿一年任。 字迈古。		孙洪业左营。十二年。	朱嗣昌右营。九年。	魏谕千总。 见九年郡庙碑陈永盛下。
			许鸣鹗左营。十三年。	张汝琏左营。十年。	汪之渭武举人。十年。
			李可陞右营。十四年。	程龙右营。十一年。	甘复武举人。二十年。
			夏必成左营。十五年。 按：廿一年家庙碑称衢州协镇都司兼管左营事。	廖成功左营。十二年。 夏必成右营。十三年。	郭大官武举人。廿一年。

	总兵协镇	游　击	都　司	守　备	守御所千户
	吕自魁湖广人。廿二年任。		叶伏祖右营。十五年。	晋大忠赵城人。耿乱时，阵亡。见《清统志》。	栗大本三十年。
	孔弘宪廿四年复任。		徐谦左营。廿二年。		张炳武进士。三十年。
	柯山有廿九年题名。		李国宁右营。同。	宋子龙左营。十九年。	王国保三十七年。
	仇机泰州人。见《福星桥记》。三十二年任。		梅槐中营。廿四年。	周文进右营。二十年。	赵启心三十八年。
	李乾龙四十四年任。		李养贤中营。廿五年。	武淮中营。	
	吴开圻五十二年任。		张自彪中营。廿七年。	廿三年。	
	李志华五十七年任。		沈庆昌中营。廿九年。	当是廿四年。	
	马璘五十九年任。有德政。		吴嵩中营。三十年。	萧名英右营。廿七年。	
			王象先右营。同。	谭洪猷左营。廿八年。	
			赵闇然右营。同。	陈士元中营。三十年。	
			曹奉中营。三十五年。	陈登耀左营。三十年。	

总兵协镇	游　击	都　司	守　备	守御所千户
		张元捷左营。三十年。 韩宏绪右营。同。 张玉金中营。四十二年。 姜朝相右营。四十三年。 廖腾煌左营。四十四年。 叶世奕中营。四十九年。大兴进士。 都辰右营。五十一年。 江南进士。 以上并见杨《志》。	牛应徵左营。三十年。 史斌右营。同。 王在忠中营。四十二年。 蒋弘毅左营。同。 卢友生左营。四十三年。 张善敬马公筑堤碑：五十八年。	

	总兵协镇	游　击	都　司	守　备	守御所千户
世宗 雍正	陈文二年任。 周腾凤六年任。 叶应龙九年任。并见《通志》。雍正十三年，复改协镇，为总兵官。				
高宗 乾隆		九年，裁都司，设游击。惟中营驻郡城。	城守营，都司一员，拨归衢镇管辖。	三营守备，后皆移驻郡城。	
			李长庚同安人。乾隆四十一年，衢州都司。见小谟觴馆《李忠毅公墓志》。		
仁宗 嘉庆	英海三年任。八年，修镇署，有碑。				

	总兵协镇	游　　击	都　　司	守　　备	守御所千户
宣宗 道光	刘廷斌见 六年搢绅。 四川温江 人。  曾大观七 年任。湖 北黄陂武 榜眼。  郭缺名。道 光二十年 开沟碑。  林方标廿 四年。铜山 人。辛未， 武探花。  恩长满州 人。见三 十年搢绅。 祥符寺有 匾。		欧阳乙道 光间。年 次无考。  薛思齐二 十九年。 被劾去。	刘龙标左 营。见三 年家庙碑。	陈元斌 李英十三 年。并捐 建泰安宫。
文宗 咸丰	富勒兴阿 二年任。 饶廷选六 年至八年。 守城有功。	刘念祖三 年。游击。 湖北人。  杨国正八 年至十年。 有战功。		董兴仁十 一年，阵 亡。见《平 浙纪略》。	

	总兵协镇	游　击	都　司	守　备	守御所千户
	李定泰湖南人。亦作太。九年任。崇志十一年署。见《平浙纪略》。				
穆宗同治	刘培元同治初。家庙有碑。徐芳护理。刘清亮五年。北门关庙有碑。李衡嵩六年任。赖安邦护理。杨芳桂七年署。喻俊明湖南人。七年至光绪廿六年。彭大光十二年署。	姚魁士同治初。徐芳本邑人。署。延瑞六年。赖安邦。侯桂林湖南人。同治末，在任二十余年。	方大魁本邑人。署。郑肇荣本邑人。署。华天禄宁波人。双全八年任。冉烈文同治至光绪初。		

	总兵协镇	游　　击	都　　司	守　　备	守御所千户
德宗光緒	郭启举光緒五年署。 林耀光亦五年署。 敖天印廿七年署。 方友升湖南人。廿九年简放，歿于任。 冯英华三十四年署。	万礼彬光緒七年署。 万寿宫區。 郑得标十二年。见《中枢备覽》。 徐胜荣十七年署。 乔炽昌山东人。侍卫。廿三年任。	周之德广济人。庚子被难。 黄殿臣廿七年。 王士贵廿八年任。后丁艰去。 陈浩三十一年。左营兼任。 楼殿英三十年任。 王士贵丁艰回任。	周得胜中营。 陈锦凤中营。 毛高魁中营。江山人。三十 二年署。 阎俊德左营。山东人。武举。 陈浩左营。侍卫。	冷玉华直隶人。见元年搢绅。 陈震江西武举。见八年搢绅。 善从字宝亭，汉军面白旗人。见十二年 搢绅。至十九年，裁缺，归衢州府。
少帝宣统	吴杰由衢标出身。 宣统初简放，未任。 沈大鳌合肥人。二年任。三年裁。	王士贵城守营都司兼署。 陈怀玉光复后，去任。		杨景昌右营。武进士。 吴经潮右营。 韩国华右营。 李惟辅右营。	

## 《衡县志》卷十一

## 族望志

孔 南宗。

颜 复圣。

郑 峥嵘、菱塘、湘潭、管家塘、中淤、石溪、亭川、秀俱、排门、沙川、谷口、石塘、双塘、石梁、后陇、上彭川、静岩、崇德、沐尘、祥塘、里前坞、厚贻、鲁地、石梁、中河、龙江、王家坂、云湖、坦上、咸林、清湖。

陈 信安、万川、石塘、枧陈、长泽街、巨门、姜家山、坝下、化龙、讲舍、下埠、芦田、陈家、岭头、坑头、前林、大教场、厚义。

徐 孝义、黄公桥、峡山、官塘、石室、辉屏、堰川、芝溪、川坑、浮石、葱峰、上欧塘、西峰、彭湖、下欧塘、上墈高、下墈高、五果、潘家陇、锦桥、石门西河、涧峰、联豸、道贯、方家、中央、中洲、南山、南关。

赵 南阳、赵家、西陇。

慎 宛邱。

柴 崇义、西乡。

王 楼山、显忠、峡口、戚家、桥王、月峰、南街、童村、唐公、彭村、董墩。

叶 青坦、石林、昱锦、仁德、迎恩、城南、南塘、仓里、麻车里、东埂、中河、万石、石林、石塘、莲溪、县东、三桥、社厚川、华村、叶家、派溪、

- 聚塘、月山。
- 周 孟林、仓前、万田、礼贤、石塘、上万、广坞、周家、秧田、孝义、青霞、钱家山、府山。
- 余 大俱、下洲、唐公、官庄坂、双塘岭、玻石、上街、杭头、万松、上余、下余、乌石、清节、中央淤、涧峰。
- 吴 紫薇、龙泉头、上街、石室、旺吴、璋塘、珊瑚、静岩、渤海、上宇、石宕、万青、柘川、中淤、天皇巷、塔石、盈川、清潭。
- 刘 拱辰、洛阳、上庄、四都、下刘、曲溪、墈高、破塘、前林。
- 龚 蛟池、亭川。
- 程 洋村、中河、盈川、程家山、柘木、樟潭、大路口、新河。
- 詹 中河。
- 濮阳 盐官。
- 汪 黎守、厚伦、山石、后汪、上冈。
- 梁 石塘。
- 张 东武、堰头、沙埠、前张、下张、荷花塘、漴源、张家坂、黄坛、抱珠。
- 范 新河、万田。
- 沈 东迹、万田。
- 姜 石塘、上姜、下余、石溪塘、姜家。
- 崔 文堂、先义。
- 孙 瑶峰、上墩、孙家、石阁。
- 毛 柯山、鳌川、廷屋、横溪、堰头、严家。
- 留 沧洲、刘家。
- 盛 广陵。
- 朱 甜亭、园林、治岭、文林、圣桥、石塘、彭村、中洲、管家塘。
- 吾 菜荫。
- 梅 下洲、梅村。

- 栾 高栾。
- 邵 龙图、邵家、锦里、棠陵、玳堰、仁堂。
- 杨 胜桥、南街、六都、唐公、屯里、墈头。
- 祝 宝山、厚川、上麓、花园、忠孝、清水桥、玳堰。
- 方 沐尘、滂川、万田、泽聚、松园、尤家山、鉴湖、荷花桥、理务、过山、村头、中淤。
- 翁 瑶峰、霞浦、翁源、双峰、翁梅。
- 蓝 北淤。
- 夏 庄辉。
- 何 凤山、莲塘。
- 彭 沧洲、彭家、中淤。
- 任 乐安。
- 左 东菜。
- 尹 遂昌。
- 桂 英潭。
- 贵 上万。
- 万 上万。
- 宋 富里、铿溪、玳塘、盈川。
- 金 金村、乌石坂、东金、岩峰。
- 胡 官庄、阜坑、上墩、横路、万青、马叶、上缪。
- 李 石屏、云溪、乌溪桥、大洲、西湖。
- 姚 瑶峰、峡口。
- 杜 铜峰、杜村。
- 璩 过溪、静严。
- 黄 里黄、外黄、堰头、普珠、上淤、上航。
- 舒 清源、上林、上菜、山头、杨塘、诚村、后堆、蟠塘坞、魁山头、马叶。

- 江 济阳、石梁、两头塘、万青、严家、江家、银塘、白岭。
- 华 黄茶。
- 严 芝溪、彭川、桐江、清水桥。
- 巫 碗窑。
- 蒋 蒋家滩、鲁地。
- 吕 大珠、西塘、张村、中淤、银坑、东源、吕泽。
- 童 塘底、横塘、童村。
- 汤 贺邵。
- 林 西陇、黎头山。
- 袁 马蹊。
- 缪 缪家、举贤里、排门、大路口。
- 魏 余塘、魏家、鳌川。
- 卢 卢家、卢村、航埠口、上珠坂。
- 柳 柳家源。
- 洪 杨梅岗。
- 赖 大日里。
- 邱 柴家。
- 曹 溪东。
- 廖 东门、岗头、白岩。
- 完 下余坞。
- 裴 裴家。
- 薛 河东。
- 支 石梯。
- 谢 后峰、石梯。
- 章 川前。
- 陆 菱塘。

钱 严家。

齐 压潮。

戚 戚家。

黎 樟潭。

冯 冯家。

《衢县志》卷十一

县人郑永禧纂

## 族望志

衢自古无土著，类皆由他乡转徙而来。溯厥最先莫若郑、陈二族，起于三国、两晋之间。若毛与留，虽亦托始于是时，已属迷惑，而不可信。韩昌黎作《偃王庙碑》云：衢州，故会稽太末也，民多姓徐氏。要不过迄唐而止。逮乎两宋，南楼北赵，盛绝一时。南门之楼，久已渺无可考。北门之赵，实亦即于式微。南渡以还，搢绅显宦，往往遁迹于衢，由是徐、王、孔、叶为著姓。数传之后，族大支繁，不能尽纪。炳蔚史册，代有科名。逊清中叶，乃有龚、陈、周、濮四大家。龚、周中析；陈亦不支；濮本侨居，宗祏至今未立。考杨《志》有《世科表》，姚《志》有《祠堂记》，其于阀阅、名宗，多所登载。数百年来，不无变迁。兹复加采摭，条举各族，以类相从，疏其系别，为表列之，名曰族望。然衢俗重秘谱牒，惜仍未得其详也。

## 族望表

	派 别	祠 址	源 流
孔姓	南宗孔氏	旧祠在鲁儒坊。 清初，移止马湾。	宋南渡后，衍圣公端友来衢，赐家于此。前志另立《圣裔》一门。兹取以冠族望之首，详见《孔氏家庙》下。 按：端友与从父传同至衢，具载于前志。而宋濂溪则谓端友、端朝之迁衢。赵《志》又于孔玠下注：端，操第四子，继端友，是端友已无嫡支。孔洙之后，又一继再继。今之所传仁、义、礼、智、性五房，以性房承袭世职。《圣裔录》所载单系一支，或犹有未尽也。
颜姓	复圣颜氏	旧居在城，后移北乡九十一庄华垄。	《祠堂记》：复圣裔扈蹕南渡，与孔氏衍圣公并家于衢。初居城内，后徙城北华垄。清有颜光宗、颜光祚并亲见七代五世同堂，建七叶衍祥、盛世休征坊。一云明初有名兴祖，字子发者，随其祖父宦游，道经西安之章戴埠，遂居焉。后迁下垄，即华垄也。其后十世

	派 别	祠 址	源 流
			文魁,又于清初迁龙游西乡,地名颜村,见龙游新志《氏族考》。
郑姓	峥嵘郑氏	祠今无考。	三国吴将军郑平镇峥嵘岭,附祀祥符寺。子孙散处四乡。
	菱塘郑氏	祠今无考。	杨《志·世科表》载有郑大经父子。
	湘潭郑氏	南乡廿六庄	赵大忠《记》:平五世孙给事中道张徙居湘潭。唐有孝子郑崇义。名为南郑。
	管家塘郑氏	南乡七庄	始祖郑茂。元代,由湘潭分支于此,定居建祠。
	中淤郑氏	东乡五十八庄 郑家。	明,郑耀自上湘中厅分支。
	石溪郑氏	西乡百廿八庄 石溪塘。	明初,郑培由湘潭分支。
	亭川郑氏	西乡百三十庄 龚家埠。	系出郑平之后,宦游于歙(名无考)。唐元和间,思浩任衢州刺史(杨《志》表无),复由歙徙信安。暨宋宣教思曾迁鲁安山,守平公之墓。传六世,明洪武间,用良再迁于此,建祠焉。

派 别	祠 址	源 流
秀俱郑氏 自称东郑。	西乡百十四庄	《谱》称郑平之后。姚《志》云：嘉靖间，裔孙巡使云鹏建祠。清嘉庆间，有举人郑邦型；道光间，有进士郑邦立。
排门郑氏	东乡四十八庄 郑家。	亦出郑平之后，分支于此。
沙川郑氏	小南乡三十九庄 郑家。	即柯山郑氏。朱彝尊《曝书亭集》有《柯山郑昉跋》。足本《摭言》：昉，宋进士。以上皆平公后裔。源流无考。
谷口郑氏	西北乡百五庄	唐相郑珣瑜孙覃子裔绰观察浙东，子孙寓居柯山。郑耀然《记》：宋进士郑琰之祖永，由柯山徙谷口。裔孙珩建祠于此。相传，衡郑分南、北派，谷口为北郑云。
石塘郑氏	西乡百廿六庄航埠河东、城西隅金钟巷。	明代，由谷口分支。永乐间，有兵部侍郎郑辰。嘉靖间，有举人郑秀夫。其后又分双塘岭、石梁、鼓楼下、下洲及城。清同治间，郑振瀛因嗣子剗举武科，因建新祠于龙江郑祠之左，仍署石塘望族。
双塘郑氏	西乡百廿九庄双塘岭。	由航埠石塘分支。

	派 别	祠 址	源 流
	石梁郑氏	西乡百九庄	由航埠石塘分支。
	后垄郑氏	北乡一百庄	郑永二十世孙郑受,明代由谷口分支。
	上彭川郑氏	西北乡百三庄	郑永二十世孙郑香,明代由谷口分支。
	静岩郑氏	西乡百十庄上静岩。	唐贞观三年,郑浩由杭州王归里迁此。
	崇德郑氏	西北乡百八庄。 下坦。	宋进士郑夔因弟爱监酒在衢,始至于峥嵘岭,后迁坦源。郑仲熊,即其后也。分上、下二祠。
	沐尘郑氏	西北乡百七庄	宋代,自开阳迁衢。
	祥塘郑氏	西乡百廿六庄航埠河东。	宋景定间,郑振居常山郑村,后为洪水所没,徙西安石塘之祥塘。旧祠在浴龙村,坍塌。民国初,重建新祠于祥塘,并重建浴龙旧祠,亦并署石塘郑氏。前坞、严家淤并有分支。
	里前坞郑氏	西乡百十三庄	由祥塘八角井边分支。
	厚贻郑氏	东乡四十一庄	元,郑涛由龙游徙此。

派别	祠址	源流
鲁地郑氏	西乡百十庄	元，郑子厚由城内迁此。
石梁郑氏	西乡百九庄	始祖郑宗芬，元代来衡。
中河郑氏	城南隅中河街	郑侠九世孙郑彦茂，明初，自江山礼贤街迁衡。世多务农，不甚显达。
龙江郑氏	城西隅金钟巷	宋监门御史郑侠后。原住福建福清县。宋末，进士大佐公名敬辅徙漳之龙江。清初，来衡。姚《志》云：道州知州郑大佐裔孙郑炎、郑万年建祠。至永禧，凡七世。按：四川富顺郑氏寄《谱系》来衡联宗。据云：侠生五子。次子如凤，居衡州石室；五子如海，居衡州西安县。富顺一支，即如海后。不知何时迁粤。清初，由粤迁蜀。其在衡两支，今皆不可考。
王家坂郑氏	西乡百廿庄	明初，郑尚旭来此。民国十四年建祠。
云湖郑氏	南乡十七庄塘坞。	明锦衣卫郑得之故居，有孝子门尚在。俗名塘坞。
坦上郑氏	西乡百六庄	明嘉靖间，郑崇由营头里宅分支。按：营头，地名无考。

	派 别	祠 址	源 流
	咸林郑氏	南乡十九庄	原取郑始祖出咸林之意，俗讹前林。
	清湖郑氏	东乡四十三庄 郑家。	郑超由徽州歙县徙此(录《谱》者，遗其年代)。
陈姓	信安陈氏	城西隅皂木巷 杨《志》称皂木陈族。	本閩中人。晋，陈弘以功授峥嵘镇总管，封信安侯，遂家于衢。详见《祠墓》下。三子斯才居此。明天顺间，其后人陈奎迁东乡，名陈泽。又有分支高家镇及南乡杨家墈头者。
	万川陈氏	西乡百三十一庄	宋代，康十公卜居于此。元，陈嗣宗建祠。至今传三十一世。善溪、柘溪及北乡板桥均有分支。
	石塘陈氏	西乡百廿五庄 航埠河西。	宋宝祐间，陈能由常山东鲁来此探亲，因家焉。明永乐间，有御史陈善。
	枧陈陈氏	西乡百廿庄	明洪武间，陈坚亦由常山徙此。
	长泽街陈氏	西乡百廿三庄	始祖陈倬，宋皇祐间，居常山东鲁。明正德间，陈麒一徙此。

	派 别	祠 址	源 流
	巨门陈氏	西乡百十一庄塘头陈。	祖居常山东鲁。明洪武间，陈庆徙江西南丰。弘治时，陈令名由南丰徙此，仍以常山始祖千俊为一世祖。
	姜家山陈氏	西乡百廿八庄	亦常山陈千俊之后。由本邑毛家墩分支。
	坝下陈氏	南乡首一庄	元大德间，陈裊由义乌迁衡。清有举人陈锦椿，寿榜举人陈经，武举陈运泰、陈常庆。
	化龙陈氏	未建祠	始祖陈守亮，明天启间，由义乌经商来衡。崇祯初，卜居化龙巷。
	讲舍陈氏	同前	始祖陈承鸾，明季，许村流寇为祸，徙居于此。清道光八年，陈朴创修《宗谱》。西北乡顺碓边有分支。
	下埠陈氏	西乡百廿三庄	元代，陈广由玉山腾鹏徙居于此。
	芦田陈氏	北乡九十九庄	元至正间，陈馨由遂安凤林迁衡。
	陈家陈氏	西乡百廿九庄	《谱》称陈襄仕于衡。明洪武时，隐居于此，因家焉。
	岭头陈氏	南乡廿二庄	明代，建祠。
	坑头陈氏	西乡廿四庄	明末清初，建祠。

	派别	祠址	源流
	前林陈氏	北乡八十九庄	明天顺间,由兰溪迁衢。
	大教场陈氏	东乡四十二庄	清道光间,有陈廷桢,字介眉,家巨富,居城,为衢城龚、陈、周、濮四大家之一。今已式微。
	厚义陈氏	城厚街小周王庙前	门有维扬陈彝题匾,系光绪二十年重修。今已绝支。
徐姓	孝义徐氏 一称厚徐。	城西隅大功塘	杨《志》表:唐刺史徐向之后。自序称:汉阳朔二年,徐元洎渡江居姑蔑。衢州三十六户,同出一源。唐有徐知新子惠𬤇,以孝义闻,因名。今《谱》以南宋上舍徐位为一世祖,以前无考。
	黄公桥徐氏	东乡四十五庄	徐永成由大功塘分支。
	峡山徐氏	北乡七十九庄后山。	其先徐元洎八世孙望,官秘书,寓衢,卒葬柯山之阳。其子乔,官大理评事,居石室市守墓,遂占籍西安。越一传,宋乾祐、景德间,徐迥有田庄在峡口,因迁居焉。后为洪水所冲,迥十二世孙坚于元至正间徙此。

派别	祠址	源流
官塘徐氏 自称南州徐。姚作忠壮徐。	东乡五十四庄官塘，清道光间，移建于城内东门。	五代，徐练始居此，因润州官堂之名而名之。徐泌、徐量、徐微言皆其后，人以南州名郡，别于东海。四乡皆有分支。
石室徐氏	南乡三十庄石室街。	忠壮公曾孙囊，淳祐进士，官监察御史，归老后，移居于此。
辉屏徐氏	北乡八十四庄辉屏源头。	忠壮公六世孙立可，为迁居始祖。
堰川徐氏	北乡九十庄堰坑头。	忠壮公六世孙辛徙此。
芝溪徐氏	北乡八十一庄东金。	始祖徐旺恭，忠壮七世孙。明初举人，任交城令。由石室迁芝溪山埂。子三：长荣玉，次荣宗，分居东金；三荣珊，仍居山埂。两村合谱。
川坑徐氏	北乡九十七庄	忠壮公八世孙、司户参军敏庐墓于此，遂家焉。
浮石徐氏	北乡百一庄徐家坞。	元至正间，忠壮公八世孙志英徙此。
葱峰徐氏	北乡八十四庄葱口。	忠壮公八世孙仕铉徙此。又前山、龙回等处，并称忠壮后人。

派 别	祠 址	源 流
上欧塘徐氏	东乡六十一庄	明洪武间，忠壮裔孙寿国由官塘徙此，鼎建宗祠。民国十五年，重建。
西峰徐氏	北乡七十庄 西山下。	王荣绶《记》：宋宣议大夫徐濂知衢州，家于城北之西山。曾孙襄任侍御史秘书，理宗御书“西山徐氏，清高世家”赐之。
彭湖徐氏	东乡四十六庄 彭湖头。	宋，徐能晖由龙游徙此。
下欧塘徐氏	东乡六十一庄	宋，徐德芳由富坞迁此。 按：富坞地名，无考。
上墈高徐氏	同前	宋咸淳间，徐允公，字乐溪，由兰溪之清塘贸易至衢，卜居于此。
下墈高徐氏	同前	宋开禧间，徐安贞之裔道贵自龙游唐公埠徙此。至景定间，建祠。后分东、西、中三厅。今中厅式微。
五果徐氏	东乡六十二庄	徐安贞之后，宋季，思二公自龙游唐公埠徙此。潘家垄、斋堂自分支。
潘家垄徐氏	东乡四十七庄	祖居五果，明初，忠二十贊于此，因分支居之。

派 别	祠 址	源 流
锦桥徐氏	北乡百四庄	宋观察使徐时彦之后。
石门徐氏	北乡八十一庄村。	始祖徐敬，南昌人。宋淳熙间，南昌令冯钦，信安人，招之入赘。咸淳二年，解组，挈之归，遂附西安籍。三世孙绍，元至大进士；八世孙升，明永乐举人。
西河徐氏	城西隅太平坊即上营。	王巩《记》：宋衡州守徐大兴裔孙逢吉，任衡州路大使，因聚族于邑之西河而居之。
涧峰徐氏	北乡七十四庄枧头。	宋节孝处士徐积之裔，有冲晦先生徐复之者，自杭州徙居龙游亭埠。其孙彦章再迁高塘。彦章次子淑彪避寇，徙西安官山头。宋末，为虏兵劫掠，二子亿兰、亿桂谋择居莲花丰屏。亿兰长子端岐再徙涧头，时在元至正间。
联豸徐氏	城西隅灵顺坊即下营。	《徐彦祥传》：彦祥，先籍祥符，南渡后，家于龙邱。淳熙间，楠、杓兄弟登进士，皆为御史，故名联豸。彦祥，其后人也。洪武间，葬于衡，遂居信安之灵顺坊。亦详见《徐任道墓志》。

派 别	祠 址	源 流
道贯徐氏	城南隅道贯巷	杨《志·世科表》载有徐演之后继芳、绍芳，并明代举人。演，本闽人，洪武时寓衢。
方家徐氏	东乡五十八庄方家叶。	明建文间，徐汇川由龙泉之黎竹桥头贸易来衢，居东乡汪底。十二世，至贵喜，因汪底被水冲洗，转徙于此，在清乾隆间。有《谱》四卷，未建祠。
中央徐氏	同前中央徐。	宋元符进士徐守中之后。明成化间，庠生徐梁，兰溪人。游馆来此，遂挈妻子居焉。
中洲徐氏	同前上徐。	明宣德二年，衢州府掾徐政挈家居此。
南山徐氏	同前下徐。	徐政三世孙永宗分支于此，未建祠。
南关徐氏 简称南徐。	城南隅五圣巷	明初，皖人徐珙奉命来修衢城，赵宜人卒葬此。万历间，孙大麟来守墓，建祠南关外。道光十五年，移城。

	派 别	祠 址	源 流
赵姓	南阳赵氏 杨称浮石 赵族，姚称 清献赵氏。 据《清献集》，自称 南阳赵氏。	城北隅浮石街	其先自京兆徙家于越。 至湘，始家于衡，即清献公 之祖也。后八世孙景文迁居 兰溪。在衡一支遂即式微。
	赵家村赵氏	南乡十四庄今名赵宅。	赵琯，山西人。宋末，来 衡，居城内。五世孙树芳，明 代由城迁此。
	西陇赵氏	南乡八庄	自称宋裔支系，不明始 祖。赵道川，元末由邾田迁 此。
慎姓	宛邱慎氏 南渡时，改 谨氏。	今仅存南乡廿八 庄庄底一支。	晋元帝大兴间，有慎条者 为东阳太守，爱浙东三衢山水 之秀，遂占籍为衡人。至唐 季，德公又迁衡之信安宛邱里。 善治产，家甚饶裕，遂为 巨族。五代时，温其为钱氏帅 府判官。子知礼、孙从吉，归 宋有功，俱见《宋史》。从吉之 子镛，知湖州。其后有居归安 之潞溪者。

	派 别	祠 址	源 流
柴姓	崇义柴氏	旧在城西隅柴家巷	周恭帝后叔夏封崇义公，收掌二帝位版，权就衢州景福院奉安，子孙遂家于衢。今城内但存柴家巷地名，祠不可考。
	西乡柴氏	西乡百十七庄地名柴家。	周恭帝族弟柴禹锡次子宗愈为温州刺史，因徙衢路。衢属之柴，非崇义派，即宗愈派也。南宋时，江山有学士柴中行。明永乐间，柴好悌令海丰，归老子于衢，卒葬东柴。子德迓、德迎庐墓于此，遂定居焉。
王姓	楼山王氏 一称楼峰。	东乡五十四庄	五代，王仁裕九世孙体崇迁居于楼山后。
	显忠王氏	城北隅三桥显忠坊原在北门浮石街撩檐洞，俗呼窑窑洞。明天启间，毁，改此。	欧阳德《记》：宋御史中丞王珉，汴人也。扈跸南渡，赐家于衢。卒，赐祠以祀。额曰显忠。裔孙都御史王玑重建。 按：祠分四支：一德贻，二都堂，三太白，四后街。今祠，即德贻厅也。
	峡口王氏	北乡八十庄王家墈头。	由显忠坊分支。
	戚家王氏	东乡四十三庄	亦显忠坊分支。

派 别	祠 址	源 流
桥王王氏	北乡九十一庄	宋三槐堂之后。端平元年，元主灭金，赵葵袭汴，师溃败，盟两淮，震东江左，惊恐。族有名位者，避乱来衡，遂居于此。
月峰王氏	北乡六十九庄官庄。	宋端平元年，萧山王僕寓居于此，因聚族焉。
南街王氏	祠无考	杨《志·世科表》载有明举人王铎、王之稷。姚《志》未见。按：即太原王氏王安之后，见王璿墓志。
童村王氏	北乡七十三庄	明初，萧山王仁曜以武功镇衡，退隐于此。清顺治十五年，九世孙应举始作《谱》。今二十一世。祠已衰微。《谱》新修，凡四卷。
唐公王氏	西乡百十三庄	明初，王均和由常山象源分支于此。
彭村王氏	西乡百廿一庄	明洪武间，王椿来居于此。清乾隆间，建祠。
篁墩王氏	东乡六十七庄	明正统间，王善道由淳安始新源来此耕种，因家焉。清分支北乡枧头，有武进士王崇庆。

	派 别	祠 址	源 流
叶姓	青垣叶氏	西乡百廿六庄航埠河东。	宋熙宁时,叶格由处州迁此,手建宗祠,今圮。
	石林叶氏	北乡七十三庄下叶。	宋,叶清臣曾孙有潮居寿昌,为衢签判。方腊之乱,寿昌被兵,因居衢北下峡。明参政叶秉敬告归,称昼锦里。
	仁德叶氏 简称仁叶。	城东隅长竿林仁德坊	宋忠简公叶义问,寿昌人,以奉祠寓衢,因家于此。后嗣极繁,分志道、据德、依仁、游艺四支。旧祠,在通仙门外。明嘉靖,迁察院左。清雍正,再迁都宪厅遗址,即今祠也。
	迎恩叶氏	城南隅童家巷	南宋,叶庆义创建享堂,后为祠堂。《谱》称义问之祖曰铸,居仁德里。其弟安志,居迎恩坊。有迁居九都芳桂里者,即岭头村。嘉庆癸酉,举人宗淳有题匾存。
	城南叶氏	初在衣锦坊,今在西隅柴家巷。	宋,叶忠简公之后,名章登,庆元元年进士。长子崇善,居城南衣锦坊,别为南叶,与仁德分派。明季,祠毁。清乾隆间,建祠柴家巷。西北乡布口桥头有分支。

派别	祠址	源流
南塘叶氏	南乡十九庄	始祖叶原仁，义问九世孙。明时，分支于此，遂建祠焉。
仓里叶氏	东乡四十五庄	叶应袭由城仁德坊分支。
麻车里叶氏	同前	叶应龙由城仁德坊分支。
东埂叶氏	东乡四十一庄	亦由城仁德坊分支。
中河叶氏 简称南叶。	旧祠在南街，久废。今祠在中河。	宋淳祐间，叶顺理为提举，居衡南街棋坊巷，为南街叶。清乾隆时，叶之珂妻吕氏捐中河房屋建祠。
万石叶氏	东乡六十一庄马叶。	叶万实，徽之蓝田人。宋理宗宝庆二年，贸易江湖，经故盈川县之万石里，爱其山水之胜，因挈家居焉。原有马姓者居此，因名马叶。马姓归龙游，叶姓归西安。清康熙间，重建祠宇。
石林叶氏	西乡百廿六庄航海河东。	元初，叶明德，处州声水人，以佐海运来此，因卜居焉。
石塘叶氏	西乡百廿五庄航海河西。	元初，叶明道偕明德同佐海运，亦由处州声水迁此。明末，处士叶敦良，其裔也。

派别	祠址	源流
莲溪叶氏	东乡六十七庄篁墩。	石林之后。元，提举曰仁谅者，由歙县黄墩迁居于此，故名其村曰篁墩。明进士叶仕魁、清拔贡叶闻性最著名。
县东叶氏	城东隅醋坊巷	姚《志》云：元，衢州路推官叶文胜占籍西安。裔孙元勋重建祠宇，今已式微。
三桥叶氏 简称三叶。	城北隅三桥街	元，叶恩由开化迁此。
社厚川叶氏	南乡九庄十八里。	始祖叶匡文，元代由遂昌独山徙此。清乾隆五十五年，裔孙应林建祠。
华村叶氏	西乡百十庄	明初，叶秀廷，江西广丰人。徙居于此。
叶家叶氏	东乡四十八庄	明，叶刚，湖州乌程人。随军来衢，遂卜居焉。
派溪叶氏	东乡五十八庄方家叶。	明洪武间，叶子源，字德正，由龙游八石坂徙居西安北乡上方。旋由上方再徙于此。万历间，创修《宗谱》。
聚塘叶氏	北乡九十九庄枫树塘。	系出栝苍。明宣德间，叶宰由金华迁北乡枫树塘。清，叶炳魁曾署金华协镇。

	派 别	祠 址	源 流
	月山叶氏	北乡六十九庄官庄。	清同治间，叶嘉葵、嘉翠自广丰来此垦种，遂定居焉。民国二年，建祠。
周姓	孟林周氏	南乡三庄三观里。	宋末，周端信由兰溪徙衡之航埠，再徙至三观里之外圆村。
	仓前周氏	城北隅广盈仓前祠今废。	始祖周溢，栝苍人。元江浙行中书省平章董搏霄辟参谋军事，檄署衡倅。时栝苍遭花帽军剽掠，因同次子周佾寓衡，遂为西安人。明，周宗道、周洪、周一敬，皆其后也。
	万田周氏	西乡百六庄	清初顺治三年，周万田避乱居此，遂名其村曰万田。与周万基盖同族兄弟，由城内仓前分支。
	礼贤周氏	旧祠在光远门外礼贤街，今移城南隅童家巷。	始祖祯二公，九江人。至元间，提举浙江军营，住此。建祠洪福庙前。康熙甲寅，毁，移礼贤街。咸丰戊午，又毁，移城。
	石塘周氏	西乡百廿六庄航埠河东。	元末，周通二由山东济南迁此。

派 别	祠 址	源 流
上万周氏	西乡百廿四庄	明初，周太芝由航埠迁大塘头。永乐间，周应洪赘于上万，遂家焉。
广坞周氏	南乡七庄	明初，周龙一由本邑九都东仓分支。
周家周氏	北乡九十八庄	明初，由山东历城迁此，与仓前同支。
秧田周氏	北乡八十庄	明洪武十七年，周宗祐由寿昌贸迁竹木来衢，遂居于此。至今二十世。虽子孙不繁，《谱》有五卷。
孝义周氏	城西隅水亭街北	今下营灵顺坊有周氏祠。始祖斌，上元人，盖屯籍。宣德五年，来衢。其孙女守贞不字，以孝义称。道光间，举人周世泰、弟世滋始为《谱》。分支北乡枧头村。
青霞周氏	东乡四十三庄	始祖周永二，名佚。明中叶，自湖广道州月岩来此，遂家焉。
钱家山周氏	西乡百廿九庄	明末，周真三来衢，居城内衣锦坊。其后分支于此。

	派 别	祠 址	源 流
	府山周氏	城东隅府前西水巷	《谱》称：唐初，刺史周美后，本居江山。其后，子孙分五坦。清初，有徙衢者，为府山周氏，世以文学称。
余姓	大俱余氏	西乡大俱源及上、下余村。	五代，余势亮由开化隐于衢之大俱里。衢之余姓多出其后。
	下洲余氏	南乡百三十二庄余家山。	势亮孙文昱由大俱分支。
	唐公余氏	西乡百十三庄	余势亮之后，由大俱分支。
	官庄坂余氏	西乡百廿九庄	亦由大俱分支。
	双塘岭余氏	同前	亦势亮后，由本邑前山分支。
	玻石余氏 俗作破石。	南乡破石源	宋乾道间，武举余智远由大俱徙居九都玻石。后，子徙居上街。智远从弟智侃迁华丰桥，别为一支。
	上街余氏 简称上余。	城南隅上街招贤坊	《祠堂记》：明都给事中余贞建祠于南乡玻石。上蔡尹余愈诚徙居郡治。裔孙宗洪建祠，布政国宾重建，祠之对门，为清内阁学士余本敦故居。

	派 别	祠 址	源 流
	杭头余氏	南乡次一庄棠村。	清乾隆时,余时昇由大俱分支。
	万松余氏	南乡十九庄万青。	元税课使余善之后,由玻石分支。以上皆同出一源。
	上之余氏	东乡六十八庄余家上头。	宋理宗绍定间,余进瑾由龙游石佛迁此。
	下之余氏	北乡九十五庄	元,由遂安迁衢。
	乌石余氏	西乡百廿九庄	明初,余讽由遂安桂林里徙此。
	清节余氏	城西隅后街巷	明洪武间,同知余伯深之后,门有开衢名宦题额。今无几人。
	中央淤余氏	东乡四十八庄	明,余寿由龙游东廊徙此。
	涧峰余氏	北乡七十四庄视头。	清同治初,余必献由广丰南阳避乱来此。子仁茂、仁寿于民国十五年建祠修《谱》。
吴姓	紫薇吴氏	小南乡廿七庄坑口。	五代后唐,吴祐为刺史,居衢。元末,避难于紫薇里。清,有吴卯金,举人;吴城,优贡。
	龙泉头吴氏	南乡四庄	与紫薇里同为吴祐后。明初,由江山青嵌迁衢。
	上街吴氏 简称上吴。	城东隅长竿林	宋南渡后,吴清之为衢州治中致仕,建祠于峥嵘山麓,

派 别	祠 址	源 流
		奉曾祖魏国文宪公中复为始祖。
石室吴氏	南乡三十庄	清之曾孙松迁居石室街，后又分支白塘、孟塘、云溪、梅坞等村。
旺吴吴氏	南乡十庄	宋，有名行可者自闽之长乐迁衡。明，徙于□，为云谷吴氏。又《棠村吴氏谱》亦称宋行可后。清，有钦赐翰林院检讨吴炯。
璋塘吴氏	北乡九十九庄	宋，天章阁待制吴仁，汴人。与其子椿，南渡后来衡，居芦田。其后迁璋塘。元末，分支玳塘。
珊塘吴氏	西乡百十三庄	宋，吴珍始居于此。
静岩吴氏	西乡百十庄下静岩。	南宋，吴高官京卫巡检使，徙居于此。明，吴天锡女为宸濠妃。
渤海吴氏	南乡十庄寺前村。	此吴不同郡渤海，不知所出。考：唐林宝《元和姓纂》，出自汉长沙王吴芮；齐道州别驾安诞，居邺县；五世孙道师，唐吏部侍郎；孙纳，安州刺史。又考：功员外郎安庆亦称渤海

派 别	祠 址	源 流
		人云云。此其遗裔也。来衢当在宋、元间。明成化，始有《谱》，云由豫章迁此，为金谷吴氏。金谷，里名。
上宇吴氏	南乡十五庄	元，吴荣由汴经商来衢。历四世，至明代，吴永由选贡补金华教谕，始置田庐于六都高阜处，名上宇。清季，嘉祥父子复大兴其祠宇。
石宕吴氏	南乡二十庄 石宕背。	明洪武间，吴冠宝由上宇分支。
万青吴氏	南乡十九庄	元时，吴岐来衢，居须江泉井边。越三世，曾孙庆转徙于此。
柘川吴氏	西乡百廿九庄	其先自湖迁淳安之石村，又迁北塘云村。元，有吴元享，字从山，官衢州路提领，与弟元利，字义甫，都尉，同来衢，居柘溪。至明万历年，族人一曾修《谱》，奉提领之祖天澄为始祖，分兄弟为前后两派。
中淤吴氏	东乡五十八庄 周吴。	元，吴让由保义乡之王贵徙此务农，因聚族焉。按：衢无保义乡名，疑误。

派 别	祠 址	源 流
吴氏	天王巷吴氏 城西隅天王巷	洪武初，歙人吴泰由总管告归，居衡。十二世孙士统迁下坦一支。
	塔石吴氏 北乡一百庄	世居城内止马湾。自明洪武间，吴应诏厌恶居城市，徙居于此。
	盈川吴氏 东乡六十七庄	明末，吴乾由歙县迁衡之洋村麻车基。越二世，再迁盈川。清道光二十八年，始作《宗谱》。
	清潭吴氏 西乡百七庄	原籍义乌。乾隆时，吴财云随父贸衡，成家于此。其后，吴梦龄、吴常椿皆武举。亦有举明经者。分支入城，或居大侯。
刘姓	拱辰刘氏 北门新河街	南唐宣政使源一清公由歙迁衡。北宋以前，已居菱塘紫金街。嘉祐进士载官□正以论事忤执政，乃归隐开化四都箬溪。子正夫，以使相，封康国侯，谥文宪。与其族人仍居西安。
	洛阳刘氏 城西南隅南赛巷口	《祠堂记》：宋都统制刘钟随高宗南渡，侨寓三衡。孙光

派别	祠址	源流
		大授衢州路教授，占籍西安。明末，分支□辉殿前，别建祠。
上庄刘氏	北乡七十九庄	始祖刘嵩，光世之族。孝宗时，为江山尉，秩满不获归，遂居此。迄今其祠内犹藏有《光世画像》及诰敕题词。详见《流寓》。七十六庄西方村有分支。
四都刘氏	南乡十二庄	元，刘日琯，江西人。任杭州府学教授。至元末，避乱来此。
下刘刘氏	同前	元，刘日琯，江西铅山人。任杭州府学教授。元末，避难来此。下刘，原名下刘嘴。 按：日琯、日暄，同时任杭府教授，又同时来衢，疑系一人，或亲兄弟。《杭州府志》不载，无考。
曲溪刘氏	南乡十八庄都刘。	始祖刘日琯，仁和石溪村贡生。明洪武中，任衢教授。解组后，卜居南关外金家坞。与四都始祖，名同事异。越二世，孙景凤复徙曲溪，名都刘。 按：前《志》并无教授刘日琯。

	派 别	祠 址	源 流
	墈高刘氏	东乡六十一庄	明成化间,刘廷良由龙游城内徙此。家世务农,未建祠宇。传十六世,有《谱》二卷。
	破塘刘氏	南乡八庄	始祖刘苍文,康熙间,由江西迁此。
	前林刘氏	北乡八十九庄	清康熙末,由歙迁居。嘉庆间,建祠。有武举刘身皓。
龚姓	蛟池龚氏	原在后街巷,后改建于蛟池塘。	宋室南迁,谏议大夫龚河由四川青神迁衡之龙游。传十世,当元末,典史龚和由龙游迁西安,留长子学箕于龙。至明,遂大发族。清初,武科起家,为西安全邑之巨室。
	亭川龚氏	西门外龚家埠	始祖龚芸田,山东益都人。明永乐间,行商于苏、杭,转而之衡,见隔河有土可居,遂家焉,号其地曰龚家埠。
程姓	洋村程氏	东乡五十九庄	宋,伊川先生七代孙文祯自河南迁衡城。元末,程金榜因明兵迫城,避难洋村,遂定居焉。
	中河程氏	城南隅中河沿	姚《志》云:司农主事程祚,端礼父也。端礼任衡州路教授,迎养于衡,遂卜居于衡中

派 别	祠 址	源 流
		河。按:《元史》:端礼,为庆元路人,即今宁波。而《程谱》则谓由开化北源迁裴口,分支西安。程文熙公宿为北源六世祖,敕葬白沙界首,坊表尚存。陈《志》亦以宿为西安人。
盈川程氏	东乡六十七庄	明,程灿,字光邦,由城内中河分支。但《谱》称原籍歙县,又似非端礼之后,疑有误载。《谱》在清康熙间始作。
程家山程氏	东乡六十五庄	始祖清逸公,本徽之黄墩人,元末迁衢。嘉靖间,有名显荣者徙居程家山。
柘木程氏	南乡二十三庄	亦黄墩分支。始迁时无考。清嘉庆间,建祠。道光庚子科,有副榜程凤冈。
樟潭程氏	东乡四十五庄	明嘉靖间,程温由休宁一都来衢,卜居鸡鸣埠。后徙樟潭。裔孙世泰重建宗祠。
大路口程氏	西乡百廿九庄	明万历间,程圣通由徽州绩溪来衢,贸易运米,往返有年,遂娶西河徐氏女,生一子贤佐。清顺治间,卜筑于城西大路口,因聚族焉。

	派 别	祠 址	源 流
	新河程氏	城西隅新河街	由徽迁衡，数世皆衣衿。至光绪间，举人程大廉始建家祠于此。
詹姓	中河詹氏	城南隅中河沿	始祖詹卜行，宋末由遂安东源迁衡。代有文士。常山、开化皆此分支。
濮阳	盐官濮阳氏	城西隅皂木巷享堂。	始祖炳，乾隆间由海宁迁衡。数代以来，已为著姓。因人口不蕃，尚未建祠，仅设一享堂。
汪姓	黎守汪氏	祠不可考	杨《志》载：宋，黎州守汪随。数世显官，详下。
	厚伦汪氏	城南隅厚伦巷	越国公汪华之裔。汪承裕由四明迁信安县西。随其后也。传十八世，汪普徙居钞库前之厚伦里。
	山石汪氏	东乡六十七庄	亦越国公之后。汪应晋，明季为会稽参军，迁新安别驾，入清不仕，隐居于山石航。
	后汪汪氏	东乡六十一庄	元泰定四年，西安尉汪淮卜居于此，创建宗祠。
	上岗汪氏	北乡九十八庄上 岗头。	明初，由汤溪楮山迁此。

	派 别	祠 址	源 流
梁姓	石塘梁氏	西乡百廿五庄航 埠河西。	宋，梁汶之后。汶，号壺中君，善医，与赵清献交好，由杭迁衢。初居沙湾，其后有梁弁子总、孙綱，皆有勋于朝。见杨《志》表。景定间，十世孙顺徙石塘河西。
张姓	东武张氏	东武楼左、峥嵘山麓	与北乡五坦张氏同支。明有通政张隆，清有进士张涟。其先自河南迁常山，再徙至衢之五坦，分支入城，又分赤山。
	堰头张氏	小南乡三十庄	自称张少卿后，其支绪殊不明了。按：《五坦张氏谱序》亦有同族少卿张应麒之对。《谱》语并未指堰头张而言。
	沙埠张氏	小南乡三十七庄	元延祐间，临川张熙祖为衢州路同知，遂留居于此。
	前张张氏	东乡四十四庄	张熙祖六世孙宗获由沙埠分支。
	下张张氏	东乡四十一庄	明，张国玺由江西迁此。
	荷花塘张氏	北乡九十五庄	明初，由龙邑横山分支入衢。

	派 别	祠 址	源 流
范姓	漴源张氏	北乡九十七庄	明初，由常邑市前分支入衢。
	张家坂张氏	西乡百十庄	明末，张翬贵始来居此。
	黄坛张氏	小南乡二十九庄	由徽迁衢。四世至德容，登进士，入词馆，终岳州守。
	抱珠张氏	南乡二十三庄 抱珠垄。	亦清代建祠。
沈姓	新河范氏	城西隅新河边	姑苏范文正公之后。元宝钞局大使范燕山宦信安，致仕，家于衢。姚《志》以文正列《流寓》，非也。
	万田范氏	西乡百六庄	本城居。康熙间，耿乱时，范玉迁居于此。
姜姓	东迹沈氏	东乡四十五庄 沈家。	宋德祐时，沈鼎由江西九江徙此。
	万田沈氏	西乡百六庄	明嘉靖元年，由城义生桥迁居于此。亦沈鼎之后。
姜姓	石塘姜氏	西乡百廿六庄 航埠河东。	元初，姜荣□迁居于此。
	上姜姜氏	北乡九十九庄	明初，由丽水迁衢。
	下余姜氏	北乡九十五庄	明正德间，由汤溪泽口迁衢竹篷头。清初移此。

	派 别	祠 址	源 流
石溪塘姜氏	石溪塘姜氏	西乡百廿八庄	明末，姜应祥由江山新塘边分支于此。
	姜家姜氏	东乡四十七庄	亦由江山分支。
崔姓	文堂崔氏	南乡二十庄	唐会昌间，洛阳崔耿刺衢，改葺城西北女楼，易名东武，而家焉。二十世孙寿盛避元末之乱，徙居于此。
	先义崔氏	城东隅新桥街圣泽楼前	旧《谱》遗失无考。东门外埋笛垄有明义官崔仰山与妻孔氏、叶氏墓，及崔见峰与妻王氏墓。今《谱》但以清初崔正伦为一世，有七子：长淑英，徙大洲，孙复昌；次子复居城。道光十七年，崔勋树与子、举人世霖建祠修《谱》。世霖子、恩贡守本又增辑之。
孙姓	瑤峰孙氏	西乡百十九庄孙家。	元至正间，孙鑑由杭州昌化迁衢，卜居于此。
	上墩孙氏	东乡五十八庄	明，孙连江，字云洲，杭人。由严州教谕调衢，留居于此。清康熙间，建祠。按：前志，明代并无孙连江为西安教谕。
	孙家孙氏	东乡四十三庄	孙振纪由漳安徙此，未详其时。

	派 别	祠 址	源 流
	石阁孙氏	北乡九十五庄石 阁山。	清代,由江西丰城迁此。 有廪生孙蓉镜、附生孙云锦, 并负文誉。
毛姓	柯山毛氏	散处各乡	晋毛璩之后。宋有毛友、 毛自知,总称柯山毛族。江山 亦其分支,每岁时至柯山展墓。
	鳌川毛氏	西乡百廿二庄毛 村。	《谱》称:毛宝,居太末。 孙璩葬此。八世孙元复迁须 江青漾。宋时,三十一世孙祥 子承务郎祖瑗由青漾迁此,名 所居曰毛村。
	廷屋毛氏	南乡十九庄	《谱》称:毛友之后。明成 化间,毛延祥由小南乡余家垄 春山村徙此。
	横溪毛氏	东乡五十七庄	族中以毛国华、毛宪、毛 自知为始祖,不言其所自出。
	堰头毛氏	北乡百三庄	由江山石门迁铜峰东村, 再迁至此。分支春山坪。
	严家毛氏	东乡六十一庄	明万历间,毛德繁由龙游 迁此务农。传十世,宗祠毁于 兵燹。有《谱》一卷。
留姓	沧洲留氏	南乡三十四庄大 洲。	宋,留从效之侄显来衢, 原住城内峥嵘山麓,有留梦炎 状元坊。不知何时移建于大

	派 别	祠 址	源 流
			洲镇东首。旋因风坏。近年，族裔留荣等另修民居为之。
	刘家留氏	东乡四十七庄	由沧洲分支。
盛姓	广陵盛氏	西乡百廿九庄慈姑塋。	《谱》称：始祖盛度，宋天圣间，翰林学士。自云广陵人。考：《宋史》本传：世居应天，徙余杭。其后罢尚书右丞，知扬州。或由扬州徙此也。南宋以后，世系多阙。元初，盛如梓当是其族人，但失载耳。明代分东、西两厅。
朱姓	甜亭朱氏 今称洋潭朱氏。	南乡廿三庄洋口。	宋天圣间，朱寅任西安主簿，卜居治南之甜亭。越六世，朱恺迁严剥。清康熙十三年，朱禧再迁洋口，即洋潭也。嘉庆间，有迁二十八庄洋坑者，又为洋坑朱氏。
	园林朱氏	南乡二庄	朱文公第三子在裔朱照，宋末任衢州统领，娶径畈徐霖女，遂家于园林。《谱云》：照父楫，为衢州判。
	治领朱氏	北乡八十五庄	明建文中，婺源朱仲文为严州都督副使。靖难师起，挂冠归隐于此。

	派 别	祠 址	源 流
	文林朱氏	北乡八十八庄	并出婺源,由兰溪迁衡北乡,亦朱文公第三子在之后。
	圣桥朱氏	北乡七十七庄朱家。	朱文公第七世孙梧岗,明代为鄱阳令,因避乱,迁居于此。
	石塘朱氏	西乡百廿六庄航埠河东。	明初,朱信五由歙县黄墩迁此。清乾隆初,建祠。
	彭村朱氏	西乡百廿一庄	明初,朱丁一来居。永乐间,建祠。
	中洲朱氏	东乡五十八庄朱家。	明永乐间,朱步云由江山五都平坦徙居西安溪淤。后因贸易,再徙于此。
	管家塘朱氏	南乡七庄	管家塘,初名白莲塘。始祖朱龙,明中叶由江山五都平坦之前墩徙居于此。
吾姓	棠荫吾氏 原吾邱氏。	南乡次一庄	本汉吾邱寿王之后,去邱为吾。宋初,吾渭守衡,遂家焉。长子渊,居西安;次子满,居开化。清顺治八年,有分支海盐者,科名亦盛。
梅姓	下洲梅氏	小南乡百三十二庄	明洪武二十二年,梅顺初自宣城经商来此,遂家焉。嘉靖间,赵镗序其《谱》;万历重修,郑有年《序》云:衡属梅姓,皆顺初所出。

	派 别	祠 址	源 流
	梅村梅氏	西乡百十庄	亦梅顺初之后。
栾姓	高栾栾氏	小南乡百三十二庄	明处士栾惠之后。
邵姓	龙图邵氏	原住菱湖,后迁北乡芦陵邵宅,今百四庄。	邵知柔,政和人。南渡后,以直龙图阁奉祠寓西安,结庐菱湖之东。子志谦,以荫补山东泰安知州;志和,以荫补湖南安化知县。八世孙际可,金华府教授。十世孙同,四川重庆推官。并隶衢籍。
	邵家邵氏	东乡四十三庄	宋,邵景二由淳安徙此。
	锦里邵氏 俗名锦桥里。	北乡百四庄	宋季,由福建南平迁此。 或云与邵宅同源。
	棠陵邵氏	东乡六十五庄	先籍淳安上梅。明初,邵广二游衢,泊舟黄甲山,爱妙山风景,遂家于此,名其地曰棠陵,盖取召伯甘棠之意云。清初,邵有声、邵有培,并登乡荐。
	玳堰邵氏	北乡八十二庄邵家。	明万历二十六年,建祠。
	仁堂邵氏	北乡一百庄仁堂桥。	邵氏原分博陵、东平两派。此派为东平邵,汉相邵平之后也。

	派 别	祠 址	源 流
杨姓	胜桥杨氏	北乡七十七庄杨家。	唐盈川令杨炯孙承统迁居衢州黄山之下，后称胜桥杨。
	南街杨氏	祠今无考	唐杨向以功封信安侯，食采于此。五代，分支江山。宋末，有善士杨复义家饶裕，舍田给天宁寺，寺中立有杨公祠。世居城内金钟巷，今称杨家地基。
	六都杨氏	南乡十八庄	元季，杨以德由金钟巷分支六都鹏墈。
	唐公杨氏	西乡百十三庄	宋末，杨铣始来居此。
	屯里杨氏	东乡四十五庄	明洪武时，杨子义由湖州长兴徙此。
	墈头杨氏	南乡二十庄	明嘉靖间，杨刚由常山苦竹乡徙此。
祝姓	宝山祝氏	北乡八十九庄有上祝、下祝。	晋永兴末，祝銮由河南迁徽。永嘉四年，迁信安之宝山。唐，大徹禅师；宋，櫟櫨、禹圭、材林等皆其裔。
	厚川祝氏	南乡九庄	亦衢旧族，屡见旧志。
	上麓祝氏 俗称上祝。	南乡百三十四庄	本郎峰祝钦明裔。元末，祝清由婺源来衢讲学，婚于刘姓，遂家于此。

派 别	祠 址	源 流
花园祝氏	西乡百廿九庄花园岗。	清乾隆时，祝富明由江山郎峰分支。
忠孝祝氏	居新河沿，未建祠，附祠于大周王庙。	明衢州府知事祝芹，山东武城人。嘉靖间，御矿盜，父子俱死于贼，子孙遂居西安。亦分支三十五庄清水桥。
清水桥祝氏	小南乡三十五庄	明知事祝芹之后，由城分支。
玳堰祝氏	北乡八十二庄	明嘉靖二十六年，建祠。明末，毁。清顺治十八年，重建。
方姓	沐尘方氏	西乡百七庄 宋礼部尚书方旺白云先生后。由桐江迁此，分支上方。明提学方应祥建祠，金声书额。
	滂川方氏 滂，一作彭。	西乡百三庄上彭川。 宋，由芦茨源迁衢方坞。明初，迁上彭川。其后分居翁塘、麦垄，再迁于万田，皆一支也。
	万田方氏	西乡百六庄 见前。
	泽聚方氏 音讹为十子下方。	北乡九十四庄 《谱》称：唐方干十二世孙宣议公，失名，于宋政和七年避兵来衢北四十都居之，名泽聚。

派 别	祠 址	源 流
松园方氏	东乡四十六庄前松园。	明洪武时,方德乾由严州芦茨源徙此。
尤家山方氏	东乡四十八庄	方承昭亦由严州分支。
鉴湖方氏 即上方方氏。	北乡八十四庄上方市。	亦方干子后,由徽之鉴湖迁遂安,分数支,转徙于此,仍称鉴湖,不忘本也。
荷花桥方氏	东乡四十六庄	明洪武时,方象仪由遂安徙此。
理务方氏	北乡八十四庄上方源。	上方源多方姓,不一支。理务,去市二里许。清,方騤之所居,与鉴湖各别。
过山方氏	北乡百一庄	宋,方泗封殿前指挥,战贼有功,加封云阳伯,始居五十三都一图,为一世祖。至第八世,名海者徙居于此。
村头方氏	小南乡三十三庄	元末明初,始祖文蔚由徽歙黄村迁衢。明季,建祠。清乾隆间,方秉彝、方奇麟等始修《谱》。
中淤方氏	东乡五十八庄郑家。	清咸丰间,方荣朝由江山来此耕种。民国七年,创修《宗谱》,尚未建祠。

	派 别	祠 址	源 流
翁姓	瑶峰翁氏	西乡百十九庄翁家。	翁时造,宋建炎四年来自衢,后卜筑于此。至今,传三十六世。大厚村有分支。
	霞浦翁氏	西乡百廿二庄墩头。	本闽之崇安人。宋,翁彦诚仕衢,将抵任而卒,卜葬于临安乡之北山,其子时造庐墓于此。其后仕瑛徙于霞浦之南,曰敦厚里,今墩头是也。乾道间,翁孟麟创兴谱牒。
	翁源翁氏	南乡廿四庄	宋绍兴间,翁子珏建祠。
	双峰翁氏	同前	南宋,兗州守翁曾缙建祠。
	翁梅翁氏	西乡百廿九庄	清康熙时,翁凤明来衢,居翁街,分支于此。按:翁街地名无考。
蓝姓	北淤蓝氏	西乡百廿二庄	元代,蓝敏由福建闽县迁此。明崇祯初年,建祠。清嘉庆间,补建。
夏姓	庄辉夏氏	同前庄辉殿前。	宋时,有夏康者仕衢吏,终于任。其后人夏明卜筑于此。祠已毁,仅存基址。
何姓	风山何氏	祠不可考	宋,何若,建康人,奉祠于衢,遂家焉。有《风山集》。

	派 别	祠 址	源 流
	莲塘何氏	城南隅荷花塘	清道光间,由兰溪河西乡莲塘冈迁此。后由何绍晏倡建宗祠。
彭姓	沧州彭氏	小南乡三十四庄大洲。	宋知州彭汝方遭方腊之难,骂贼而死。长子怡、次子悻即居衢城之菱角塘。八传至秉乾,始徙沧州。明代创《谱》,清代创祠。
	彭家彭氏	西乡百十庄	亦彭汝方之后。
	中淤彭氏	东乡五十八庄亦名彭家。	彭越之裔。明有彭魁四者,自广东来寓居衢之菱角塘。越四世,彭兴复徙宅于此。
任姓	乐安任氏	城西隅柴家巷	任一成,山西太原文水县人。清初,官衢州都司,因家焉。康熙间,任重买基建祠。
左姓	东莱左氏	今浮石渡航头街有数家。	元至正间,西安教谕左宗海家于此。
尹姓	遂昌尹氏	东乡五十五庄尹家。	宋,尹起莘和靖先生六世孙,因慕三衢山川风物之美,曾游此地。至元末,子孙遂移居于此。旧有《纲目发明》版藏于祠。

	派 别	祠 址	源 流
桂姓	英潭桂氏	小南乡三十一庄太平桥。	宋开禧间,桂汝珏由贵溪迁此。
贵姓	上万贵氏	西乡百廿四庄	元代,桂永崇由太平桥徙此。明初,南输之役颇苦饶裕之家。衢以桂姓名贵益者应役,误脱其姓,遂不敢改,子孙世以贵为氏。贵与桂,实一家也。
万姓	上万万氏	同前	明初,万华三由江西南昌迁此。清乾隆间,建祠。
宋姓	富里宋氏 俗称铺里。	南乡二十庄	元,宋招贤,字希圣,世居金郡义乌清水大塘头。顺帝时,仕福建泉州都督府副长,告老卜居于此,遂家焉。
	铿溪宋氏	南乡九庄	由富里分支。
	玳塘宋氏	北乡九十九庄大塘。	元代,由淳安迁衢峡口。四世至明永乐间国英,居城南街。十世廷瑞迁北乡玳塘。
	盈川宋氏	东乡六十七庄	明,宋永鸿由徽之歙县客游过此,爱其山水之胜,因卜宅焉。《谱》毁于清咸丰兵燹,光绪二年重修。
金姓	金村金氏	北乡七十八庄	元,金履祥嫡堂兄弟履发自兰溪迁此,亦曰西金。

	派 别	祠 址	源 流
	乌石坂金氏	同前	元，金履祥之孙名林者亦自兰溪迁此。
	东金金氏	同前金村之东。	始祖金美生，清康熙五十三年，由龙游后垄坞迁此。与金村隔溪之东，故名东金。考：《龙游志》有棠坞金氏。《谱》称：金履祥裔。后垄坞，未知是否即棠坞也。
	岩峰金氏	北乡七十九庄金英殿后。	始祖金仪型初由徽迁此。一云徽宁有金成烈，唐季避黄巢乱，挈家来衢。衢有金氏，此为最早。
胡姓	官庄胡氏	北乡六十九庄	宋，胡文定公裔孙应泽由汴迁大杨，再迁衢之东湖，后分官庄，例给嗣生奉祀。
	皋坑胡氏	北乡七十九庄考坑。	胡安定之后，世居寿昌附堂街。宋元之交，宗陶避乱居兰溪硕范。后五世荣卿，明洪武时分支来此。清乾隆，始自修《谱》。
	上墩胡氏	东乡五十八庄	明万历间，胡安定公十八世孙行俭二者，由徽迁居衢东厚伦里。后因水冲成滩，再徙于此。

	派 别	祠 址	源 流
李姓	横路胡氏	东乡五十庄	明弘治间,由兰邑硕范村分支来衢。清康熙间,建祠。《谱》经七修。
	万青胡氏	南乡十九庄	明中叶,胡中相来衢,居王千秋村。其孙守民复于明季转徙居此。
	马叶胡氏	东乡六十一庄上埠头。	明万历间,胡周德由徽之休宁来此务农,遂家焉。今已微甚。
	上缪胡氏	东乡四十一庄	胡钊由汤溪徙此。何时未详。
	石屏李氏	北乡七十九庄地名李宅。	其先闽之长汀人。始祖燦,唐代迁衢。后有世泽者,元时为衢州路仓大使。明有李庠,永乐进士。正德间,分支泽聚、下方。又分支余塘。《谱》称:宋相李宗勉亦其同族。
	云溪李氏	北乡九十二庄	元,李太明祖籍维扬,李纲裔。至元十八年,以金吾将军授衢州路总管,致仕,卜居于此。
	乌溪桥李氏	东乡四十二庄	元,李钊由严州徙此。
	大洲李氏	小南乡三十四庄	始祖李广源,元末由祁门来居此土。明永乐间,李文宗、文胜等建祠。分支横路。

	派 别	祠 址	源 流
	西湖李氏	东乡六十七庄	清同治二年，李朝玉、朝贵由江西广昌迁此。民国十三年，李邦耀建祠、修《谱》。
姚姓	瑶峰姚氏	西乡百十九庄 姚家。	始祖姚浩波，元初居开化马金，后迁西安石塘，复由石塘卜居于此。
	峡口姚氏	北乡八十庄	其先出自歙之深溪，迁龙之前冈。明永乐中，姚彦云辟豫衢州府典，司帑藏，其子显龙至峡口卜居焉。祠毁于咸同兵燹。民国十五年，重建。显龙曾孙厥宾迁浮石航头，名其村曰姚家。十四世孙亨俊分居玳堰头。
杜姓	铜峰杜氏	北乡八十七庄 杜泽。	姚《志》云：杜如晦裔孙元感爱铜峰山水之胜，遂家焉。杨《志》有杜宅侨寓。
	杜村杜氏	北乡九十一庄	宣风乡旧里即有杜村之名，由来已久。原分上杜、下杜二村，兹并合一。去杜泽约十里。人口远不及杜泽。
璩姓	过溪璩氏	西乡百九庄	始祖璩承，事宋南渡时，由江山分支。
	静岩璩氏	西乡百十庄上静岩。	始祖璩立，南宋初，由本邑梁溪分支。按：梁溪地名无考。

	派 别	祠 址	源 流
黄姓	里黄黄氏	北乡七十五庄	楚相黄歇后。宋代，峭山公有二十一子。其第二十子井公，讳南泉，号双井，由闽迁南丰之双井宝石村，以所居为号。至孙文昌，皇祐间为翰林直讲，与兄文星、文曼同迁衢之盈川乡丰屏里枫树塘，是为里黄。后嗣繁衍，下郑、上郑、汪坞及今东湖皆此分支。
	外黄黄氏	同前	祠中供黄山谷，清乾隆间建。其实与里黄同支。
	堰头黄氏	北乡七十七庄	黄宏一由外黄分支。明万历间，建祠。清康熙间，有武举人黄河清，黄金榜。
	普珠黄氏	南乡三十八庄普珠园。	俗名缸窑村，即双井黄氏，由南丰分支。见前。
	上淤黄氏	东乡五十八庄上淤尖。	明，黄国昇，闽之浦城人。经商来此，家焉。
	上航黄氏	同前上航头。	明成化间，黄应全自江右南城经商徙此。
舒姓	清源舒氏	北乡九十六庄	五代，舒久视建清源观，因以名乡。宋有舒清国、舒师皋父子进士，并道州守。其后分支甚多，疑皆一本。但考《下清源谱》云：宋淳熙迁自舒城。《上林谱》云：明正统迁自

派 别	祠 址	源 流
		严州。《上蒙村谱》云：其先世自汉来衡，明初居上蒙。《山头舒谱》又云：其始祖尧臣公为国子祭酒。似出唐代。又蟠塘坞亦有舒氏，云唐舒元舆之裔，宋由睦州迁衡。睦即严也。后堆、诚村皆同谱，亦元舆裔，元代来。杨塘舒氏，云出南昌，宋迁龙游，转徙至此。魁山头舒氏，则云出江右进贤，明初迁此。群舒并在清源乡，究不知谁为久视后也。
上林舒氏	同前	
上蒙舒氏	同前	
山头舒氏	北乡百三庄	
杨塘舒氏	同前	
诚村、后堆舒氏	北乡九十七庄	
蟠塘坞舒氏	北乡九十八庄	
魁山头舒氏	同前	以上并见前。
马叶舒氏	东乡六十一庄上埠头。	明万历间，舒贞伯、贞仲自龙游集贤里迁此务农，因家焉。清康熙间，建祠。今已式微。

	派 别	祠 址	源 流
江姓	济阳江氏	城中祠今无考。	《谱》称：南梁江世源为护军将军驻衢，遂家焉。原籍山阴，浙、闽、赣、皖支派多出其后。自宋江景房迁开化桂岩，衢有江溥、江至德、江芹。今已式微。
	石梁江氏	西乡百九庄	吴越侍郎江景房之裔。景房隐居开化桂岩，其夫人两徐氏葬衢北四十六都黄马冈。子孙守冢奉祀于此。元代分上、下两宅。上宅清公后，下宅清公次子贵公后。
	两头塘江氏	西乡百十三庄	由航埠石塘分支。按：石塘始祖江文用，为世源七世孙，唐代自城迁此。今已分散。
	万青江氏	南乡十九庄	本城居，清康熙初江起辉徙居于此。
	严家江氏	东乡六十一庄	宋乾道二年，江瑶，字良瑞，由开化迁此。宗祠毁圮，子孙式微。
	江家江氏	北乡九十七庄	宋，由开化桂岩迁衢严村。后徙于此。
	银塘江氏	同前	元时，江谊由花棚下迁此。
	白岭江氏	西乡百十三庄	元代中叶，江元庆由银塘迁此。

	派 别	祠 址	源 流
华姓	黄茶华氏	西乡百十二庄	延陵华仁祖父为饶州守，卒葬于衢，遂隐居于城西黄茶。分上华、下华二村，今并。
严姓	芝溪严氏	北乡八十一庄 严村。	始祖严国光，子陵三十八代孙，宋淳祐二年自遂安竹园徙家于此。
	彭川严氏	西乡百廿一庄 彭村。	亦子陵之裔。元大德间，严涣由富春迁开化。其子世华徙此。
	桐江严氏	西乡百十九庄 严村。	姚《志》：《祠堂记》：桐江严苍松迁衢。明天顺间，建祠。今为严村。邵家村有分支。
	清水桥严氏	小南乡三十五庄 严家。	由江西南丰迁此。与徐坦坂同源而异支。亦皆称富春严氏。
巫姓	碗窑巫氏	西乡百十五庄	姚《志》云：裔孙巫宣亿建祠，巫成英重建。
蒋姓	蒋家滩蒋氏有上、下二蒋。	西乡百二庄	宋开封府尹蒋延兴之后。南渡后，次子恰徙兰之水亭。八世，至明洪武初，熙保商于衢，遂家焉。万历间，始建祠。熙保曾孙解居上村，别为上蒋派。
	鲁地蒋氏	西乡百十庄	明万历间，蒋文韬由处州徙此。

	派 别	祠 址	源 流
吕姓	大珠吕氏	南乡七庄	南宋乾道中,吕朝堂始由德懋乡徙居于此。
	西塘吕氏	同前	元延祐时,由西山下分此。
	张村吕氏	同前	明正德间,吕登由后宅分支。
	中淤吕氏	东乡五十八庄	吕蒙正九世孙思易,明永乐间,任衢州分佐,自河南洛阳迁居于此。清乾隆,建祠。
	银坑吕氏	西北乡八十六庄	宋,吕夷简之后,由永康迁龙游。明代,由龙迁衢。
	东源吕氏	北乡八十一庄	本闽之龙岩人。始祖吕大选,乾隆间,由开化高塚迁此。有嘉庆四年《谱》。
	吕泽吕氏	南乡十一庄	其始原委不明。
童姓	塘底童氏 又名樟塘童氏。	南乡十四庄	本姓章,以甥继舅,遂为童姓,兰溪东莞童氏是也。明时,童孟爵住此。万历间,建祠。康熙间,毁于耿军。后重建。咸丰间,再毁于发军。族中童贞棣、童佩麟复建,宏敞有加。
	横塘童氏	南乡十三庄	樟塘童长房之分支,见前。

	派 别	祠 址	源 流
	童村童氏	北乡九十三庄	由龙邑童江坞迁此。 按:《龙游志·氏族考》作桐冈。其先寿昌杜田人,元末入赘于龙。童珮子鸣亦其后也。
汤姓	贺邵汤氏	东乡五十庄 贺邵溪。	明万历间,汤博劳自徽来衢,卜居于城东贺邵溪。清有武举汤殿鳌。
林姓	西垄林氏	东乡六十六庄	明,林势一、势二建祠。
	犁头山林氏	东乡五十八庄	林通漳,江西广丰人。清同治三年,来此垦田,因家焉。宣统元年,林寿根始作谱牒。
袁姓	马蹊袁氏	东乡五十七庄	宋有袁采、袁景清,并登进士第,不知即此族否?今已式微,无可考证。
缪姓	缪家缪氏	东乡六十一庄	先世湖州德清人。宋天圣间,缪迪仕衢为判司,爱其山水之秀、民风之朴,择里于九都渚口。其子福二迁栝苍,福三迁婺西。福二之子胜三泛木植至此,复卜居盈川之南,因名其村曰缪家。
	举贤里缪氏	南乡廿四庄	宋庆元间,中书舍人缪桂侨寓于此。其后子孙繁衍,遂聚族居焉。

	派 别	祠 址	源 流
	排门缪氏	东乡四十八庄缪家。	宋，缪联始来衢，居葛村。其后再徙于此。按：葛村，无考。
	大路口缪氏	西乡百廿九庄	清雍正元年，缪元水由缪村分支。
魏姓	余塘魏氏	南乡十四庄余塘头。	魏徵之裔。宋，魏矼知常山县，致仕居常，子孙散居西、常、开、玉各邑。在西安者，曰鳌川派、大邱派、东门派。东门又分三支：一居七里街、清湖；一居张碓港；一居余塘。元、明之交，有魏英者，自寿州从太祖征战，开衢建功，赐爵世袭。其子智勇，世居城南童家巷，因回禄散投庄；次勇孙昇，迁余塘边，为始祖。昔与常山合《谱》。清康熙十四年，自纂谱牒。
	魏家魏氏	东乡四十三庄	同前。即东门派之居七里街、清湖者也。
	鳌川魏氏	西乡百廿二庄毛村。	亦魏矼后。由常山迁此。清康熙三十五年，始别为《谱》。
卢姓	卢家卢氏	东乡四十四庄	《谱》称：宋雍熙三年，卢梁灏仕衢（无考），因足疾退隐柯山。其后卢莱再徙于此。

	派 别	祠 址	源 流
	卢村卢氏	南乡十一庄分上、下村。	元大德间，卢隆由金华白沙徙此。明永乐举人卢原鼎，即其裔也。
	航埠口卢氏	南乡廿二庄	清代，创建祠宇。
	上珠坂卢氏	南乡廿三庄	亦清代建祠。
柳姓	柳家源柳氏	南乡廿三庄	元，柳贯族。明初，由浦江横溪来居于此，名其地曰柳家源。清季，有柳晋钊寿榜举人，年逾百岁。
洪姓	杨梅岗洪氏	南乡三十九庄	洪皓幼子逊之后盛源，明洪武间，自徽歙贸易来衡，因家于此。
赖姓	大日里赖氏	南乡廿三庄赖家。	康熙丁未，赖连士、忠士两兄弟，由闽之古田来衡，山居耕种，发族。光绪三十年，建祠。
邱姓	柴家邱氏	同前	清代建祠。
曹姓	溪东曹氏	南乡廿四庄	清代建祠。
廖姓	东门廖氏	东门街	清道光间，自闽汀来衡，历有数世。民国六年，廖玉琪、玉璋始建祠于鼓楼底。

	派 别	祠 址	源 流
	岗头廖氏	南乡廿三庄	闽汀籍。道光间，迁衡。民国十三年，建祠。
	白岩廖氏	同前	与前同祖。亦民国十三年建祠。郑永禧序其《谱》。
完姓	下余坞完氏	北乡九十九庄	明嘉靖间，由山东曲阜迁衡。本金完颜氏。清季，建祠。
裴姓	裴家裴氏	北乡百三庄	明嘉靖间，由建德迁此。有裴智者，曾官知府。但俗传城隍夫人亦裴姓，村人以为出其族，附会不经。
薛姓	河东薛氏	北乡八十一庄新路。	始祖薛朝、薛德昆弟，元末避乱迁此。朝居上新路，今姜家；德居下新路，相距里许，两村初合《谱》，道光间分辑。现已二十一传。
支姓	石梯支氏	北乡八十一庄石梯底。	始祖支宗斐，南昌进贤庠生，馆于衡之芝川，娶妻周氏，卜居大堰头寨前，后迁此。今其子孙无几。
谢姓	后峰谢氏	北乡七十九庄后山。	始祖谢本源，元代自江西弋阳卜居于此，叠山先生族裔也。明有副榜谢宗儒，称理学家（旧志未见）。
	石梯谢氏	北乡八十一庄石梯底。	始祖谢俭光，乾隆间由赣迁此。今七传，有十余家。

	派 别	祠 址	源 流
章姓	川前章氏	南乡十五庄	始祖章赐，浦城人，明洪武时，任衡教。次子德明遂居川前。按：旧志，明代并无章赐任衡教。
陆姓	菱塘陆氏	散处城中十数家。	陆宣公之裔陆宁，为宋宣教郎，监衡州银场税，因家于此，以承宣公之志。至今，无祠无谱，岁时于祥符寺致祭。
钱姓	严家钱氏	东乡六十一庄	清初，钱遂三始来居此。传五世，未建祠，有《谱》一卷。
齐姓	压潮齐氏	西乡百廿八庄	宋，齐恩椿由本邑沙埠熊门分支。按：沙埠齐姓，今无闻。
戚姓	戚家戚氏	东乡四十三庄	明，戚豹由金华杜家桥徙此。
黎姓	樟潭黎氏	东乡四十五庄	清乾隆时，黎天直由福建上杭金竹坞徙此。
冯姓	冯家冯氏	西乡百二庄	明永乐间，冯尊来居于此。

《衢县志》卷十二

# 爵秩志

二目

封荫表

仕进表

《衡县志》卷十二

县人郑永禧纂

## 爵秩志

### 封荫表

古者分茅胙土，仕有世官，所以蕃王室、待有功也。自世族变为门第，门第别为阶级，上品、下品，遂成严格，而古意浸失矣。唐、宋而后，群趋于科举一途，寒畯之士，乃有朝释褐而夕厕仕版者。于是，登庸之道不复滥矣。然天潢一派，分衍宗亲，元老三朝，犹传任子，在先代为恒荣，在后世为殊遇。垂诸令典，亦属旷恩，是不可以不识也。兹分表于左。

## 境内之封<sup>①</sup>

	宗室 封爵
唐	<p>李祎 信安郡王          《旧唐书·吴王恪传》:太宗第三子吴王恪,恪子琨,琨子祎,景云十二年封信安郡王。《新唐书·宗室世系表》:吴王房三子琨,琨子信安王祎。按:柯山韦公刻王诗碑:王,太宗皇帝子吴王之次子。世次少一代。阮跋谓文述于当时,且出懿亲,似不当误。王两为衢州刺史。初封嗣江王,继封信安郡王。又高适《信安王幕府诗序》:开元二十年,国家有事林胡,诏礼部尚书、信安郡王总戎大举。《新唐·玄宗纪》:开元二十年正月乙卯,信安郡王祎为河东河北道行军副元帅,以伐奚、契丹。三月己巳,信安郡王祎及奚、契丹战于蓟州,败之。是王固有文武才。以柯山碑文考之,遭奸臣贝锦出就归藩之义,其再刺衢州,当在二十年以后。</p> <p>李憺 衢王姚《志》王误州。          《旧唐书·穆宗本纪》:长庆元年三月戊午,封弟憺为衢王。《新唐书·宗室世系表》:宪宗二十子之第十三子衢王憺,婺王怿弟。</p> <p>李翊 信安郡公姚《志》脱公字。          《新唐书·宗室世系表》:高祖子道王房第四子信安郡公翊。</p>

<sup>①</sup> 底本下表分宗室封爵、勋臣封爵两栏。今为阅读方便,本标点本分为宗室封爵、勋臣封爵两表,分别以朝代为序排列。

	宗室封爵
宋	<p>赵允宁 信安郡王          《宋史·商王元份传》：王子允宁，字德之，性至孝。历官至武定军节度使。景祐元年，卒，赠信安郡王，谥僖简。《通志》：宋信安郡，今衡州府。</p> <p>赵植 信安郡王          《东都事略》：宣和四年二月丙午，皇子植封信安郡王。又《世家》：徽宗第十二子莘王植封信安郡王，拜宁江军节度使。          按：《宋史·徽宗本纪》作信都郡王。宋无信都郡，定为安字之误。</p> <p>赵希馆 信安郡公，晋赠信安郡王          《宋史》本传：字君锡，旧名希喆。庆元二年进士，改赐今名。理宗即位，以公族近邸，恩特加厚。明年，慈明宫上寿，升节度，封信安郡公。卒，追赠信安郡王。《南宋书》：理宗即位，以公族加厚，累升节度使，封信安郡王。据此，则非卒后追赠。与《宋史》小异。          按：《两浙名贤录》作希琯，余杭人。《余杭志》琯作馆，疑字有误。《通志·选举表》作嘉定元年进士，常山人。</p>
明	<p>朱瞻墉 越王，开府衡州          《明史·诸王传》：越靖王瞻墉，仁宗第三子，封衡州。又《地理志》西安下：永乐二十二年，建越王府。宣德二年除。</p>

勋 臣 封 爵	
吴	郑平 食邑信安 《名胜志》：平戍峥嵘岭，以功迁左光禄大夫、新昌郡公，食邑信安。按：陈氏《正误》言：信安，晋县。吴有新安，无信安。此当是晋代之追封。前志作咸熙元年，乃魏末主曹奂年号，非也。附加辨正于此。
晋	陈弘 信安侯 杨《志》：太康元年，特授峥嵘镇总管，封信安侯，食邑三百户。 《陈谱》：年九十，薨于信安，加赠宁邦侯。明洪武四年，追赠宁邦感应侯。按：杨《志·世科表》皂木巷陈族下又云：陈叔达，唐武德中，封宁邦侯。《陈谱》以为弘十世孙，并无封爵。宁邦之封，实以祖误孙。
梁	宗懔 信安县侯 《梁书》附王规传：世祖即位，以为尚书郎，封信安县侯，食邑一千户。
隋	陈稜 信安侯 《隋书·陈稜传》：字长威，庐江襄安人。杨元感之乱，率众万余人平黎阳，斩元感，以功进光禄大夫，赐爵信安侯。《浙江通志》：按：信安，今衢州府。
唐	杨向 信安侯 《六都杨氏谱》：唐僖宗中和间，以破黄巢功，封信安侯，食采于此。但新、旧《唐书》均不载。

	勋    臣    封    爵
宋	<p>孟忠厚《通志》作忠学，姚《志》从之。 信安郡王</p> <p>《宋史·宰相辅表》：绍兴十二年壬戌九月乙未，孟忠厚自少保、护国军节度使、判绍兴府，信安郡王，除枢密使。 按：《外戚传》：字仁仲，隆祐太后兄子。《朝野杂记》、《邵氏闻见录》、《清波杂记》均有孟王事。</p> <p>叶义问 信安郡侯</p> <p>《宋史·叶义问传》字审言，寿昌人。桧死，召擢殿中侍御史，迁吏部侍郎、同知枢密院事。《严陵志》：孝宗即位，封信安郡侯，卒谥忠简。陈《志》作新安侯，未知孰是。</p> <p>马天骥 信安郡侯</p> <p>《宋史·马天骥传》：字德夫，衢州人。绍定二年进士。宝祐四年，拜端明殿学士，同签书枢密院事，封信安郡侯。景定元年，知衢州。</p> <p>谢方叔 信安郡开国公</p> <p>《通志》引《宰辅表》：淳祐十一年十月丁酉，自参知政事，特授通议大夫，进封信安郡开国公。 按：《宋史》作永康郡。</p> <p>留梦炎 信安郡开国公</p> <p>《宋史·宰辅表》：咸淳三年八月，留梦炎自参知政事，特赠通议大夫，进封信安郡开国公。</p> <p>郑昭 信安子</p> <p>《崇德郑氏家传》：嘉祐进士，焕章阁学士，特进银青光禄大夫，封信安子。</p> <p>王椿 信安男</p> <p>赵大忠《王椿传》：封信安男，食邑三百户。</p> <p>以上三人皆本籍。</p>

按：姚《志》封荫，首列六朝刘粹，封西安县五等侯，本出《通

志》。查：是时，衢地实无西安之名，自是误引，兹删除不录。

## 境外之封<sup>①</sup>

乡 贤 封 爵	
晋	<p>毛璩 归乡公          《晋书》：义熙中，论讨桓玄功，追封归乡公。 按：璩为西安人，见《明统志》及《尚友录》。尚有墓在。</p> <p>毛祐之 夷道县侯          《晋书》：义熙中，以斩玄功，封夷道县侯。 按：夷道县，今为湖北之宜昌。</p>
宋	<p>慎伯鼎 太师越国公          慎允宁 太师鲁国公          二公皆慎知礼后，见《慎氏谱》。</p> <p>赵亚才叔父 荣国公          苏轼《赵公神道碑》：考亚才，广州南海主簿。公既贵，赠开府仪同三司，封荣国公。</p> <p>赵抃 南阳郡公          咸淳《临安志》：西湖法安院赵公题名，自叙南阳郡公。又普园题名，自叙南阳公。</p> <p>刘正夫 康国公          《东都事略》：除安化军节度使、开府仪同三司致仕，封康国公，卒谥文宪。陈作文献。</p> <p>留从效姚作效，梦炎父 晋江王          因梦炎贵，追封，见陈《志》。</p>

<sup>①</sup> 底本下表分乡贤封爵、寓公封爵两栏。今为阅读方便，本标点本分为乡贤封爵、寓公封爵两表，分别以朝代为序排列。

	乡 贤 封 爵
元	<p>郑用和 荥阳郡侯</p> <p>陈《志》载：荥阳郡侯。姚《志》封荫下不载，而坟墓下有荥阳侯郑用和。考：城南崇寿寺碑，用和所书，今尚存。其题衔自称中大夫、同知南雄路总管府事，并不云侯封。不过，其文内有“郑侯彦礼”语。彦礼，用和字也。荥阳侯之封，据其家传及墓碑是诚有之，在元代殊不易得已。</p>

	寓 公 封 爵
宋	<p>柴叔夏 崇义公</p> <p>杨《志》：宋嘉祐间，诏封周恭帝后崇义公。绍兴五年，叔夏袭封，收掌二帝位版，权就衡州景福院奉安。</p> <p>赵令衿旧作矜，误。 袭封安定郡王</p> <p>《南宋书》：太祖之后燕懿王玄孙，寓居三衢。《明统志》：袭封安定郡王。</p> <p>赵子昼 常山县开国伯</p> <p>城西四十里寺桥源有赵王墓碑，题宋故徽猷阁直学士、左中奉大夫致仕、常山县开国伯、食邑九百户。今尚存。</p> <p>曾楙 鲁郡开国伯</p> <p>赵王墓碑，曾楙篆额，题衔显谟阁学士、左大中大夫、鲁郡开国伯。</p> <p>孔传 仙源县开国男</p> <p>建炎中封，见《四库书目提要》。</p> <p>楼璩 充国公</p> <p>陈《志》：封充国公。姚《志》：赠太师，谥宣献。 按：宣献为楼钥谥，见陈《志》，不应父子相同。</p>

寓 公 封 阖	
	<p><b>楼钥 周国公,又奉化郡开国侯</b></p> <p>陈《志》:封周国公。姚引至元《嘉禾志》:楼钥,奉化郡开国侯,食邑一千户,谥宣献。按:杨《志·世科表》载,南门楼族自楼异始,而不列璩。陈、姚两《志》亦并载楼异楚国公之封。今考《寓贤传》,楼璩,本四明人。绍兴初,以监征来衢,遂家于城南。子钥,继之。异为璩父,未经至衢,似不应列入。兹故仅列璩、钥二人。</p> <p><b>何执中 荣国公</b></p> <p>孙甫,尝为衢郡守。本处州龙泉人,侨衢,见旧志。</p>

## 圣裔袭封<sup>①</sup>

衍 圣 公	
宋	<p><b>孔端友 建炎初袭封一云徽宗崇宁三年袭封。</b></p> <p>《两浙名贤录》:先圣四十八代孙,扈跸南渡,因家于衢。</p> <p><b>孔玠端友嗣子。 绍兴二年袭封。</b></p> <p>《宋史·高宗纪》:绍兴八年,赐衍圣公孔玠衢州田五顷,奉先圣祠祀。按:是时金熙宗亦命孔璠袭封衍圣公。南北两公并立。璠,玠之从弟也,《金史》有《传》。</p> <p><b>孔搢玠子。 绍兴二十四年袭封。</b></p> <p>《圣裔录》:孝宗淳熙间,召入侍祠,貌似先圣玉音,嘉奖,擢知建昌军。</p>

<sup>①</sup> 底本下表分衍圣公、五经博士两栏。今为阅读方便,本标点本分为衍圣公、五经博士两表,分别以朝代为序排列。

	衍        圣        公
	孔文远播子，两旧志远字误作达。      绍熙四年袭封 《圣裔录》：历吉州、隆兴通判。
	孔万春文远子。      宝庆三年袭封。 《圣裔录》：通判衢州、泉州。
	孔洙万春子。      淳祐元年袭封。 《明统志》：孔端友，宋袭封衍圣公。靖康之变，与子玠随高宗南渡，因赐地居衡。终宋之世，皆袭爵封。元初，封宣圣。后疑所立，或言孔氏子孙寓衡者，乃其宗子。召孔洙赴阙，洙逊于居曲阜者。世祖曰：“宁违荣而不违道，真圣人之后也。”拜国子祭酒。本朝，凡孔氏子孙居衡者，悉复其家。      《明史》附彦绳传：衍圣公端友五传至洙，元至元间，命归曲阜袭封，洙让爵曲阜之弟治，由是以在曲阜者为孔氏北宗，在西安为孔氏南宗。
	附：孔传 《圣裔录》：建炎二年，金人入犯，衍圣公端友与从父开国男传同驾南渡，赐家于衡。是传未尝袭爵也。陈振孙《书录解题》后六帖下谓：传袭封衍圣公。陈生南宋，见闻较近，或当不误。 《圣裔录》：洙子思许，思许子克忠，入明。克忠子希路，希路子议，议子公诚，凡五传，而至彦绳。按：赵《志》：洙子楷，授崇安尹。黄潜《孔涛墓志》谓楷卒于杭。其子公溥沦落民间，访求得之。与此支绪不同。涛，孔传之七世孙也。

五 经 博 士	
明	<p>孔彦绳字朝武。 正德元年承袭。          《明史》本传：弘治十八年，衢州知府沈杰奏言：衢州圣庙，自孔洙让爵之后，衣冠礼仪猥同氓庶。今访得洙之六世孙彦绳，请授以官，俾主祀事。帝可之。正德元年，授彦绳翰林院五经博士。子孙世袭。 赵《志·孔氏世系表》：公诚子，先圣五十九代孙。</p> <p>孔承美字永实，彦绳子。 正德十四年承袭。</p> <p>孔弘章字以达，承美子。 嘉靖二十六年承袭。</p> <p>孔闻音字知政，弘章子。 万历五年承袭。</p> <p>孔贞运字用行，闻音子。 万历四十三年承袭。</p> <p>孔尚朝字象玄，贞运子。 早卒，未袭职。</p> <p>按：彦绳以下四人之承袭，俱见《明史》。同时，曲阜亦授有世袭翰林院五经博士一人，以奉述圣祀，世以衍圣公弟为之，不特衢为然也。</p>
清	<p>孔衍桢字泗柯，尚朝子。庠生。 顺治九年承袭。</p> <p>孔兴廉字兆衡，衍桢子。增生。 康熙四十年承袭。</p> <p>孔毓垣字东安，兴廉子。府学生。 康熙五十一年承袭。</p> <p>孔传锦字官锡，毓垣子。奉政大夫。 雍正十三年承袭。</p> <p>孔继涛字晋三，传锦子。庠生。 未承袭，先卒。</p> <p>孔广杓字衡观，继涛子。 嘉庆元年承袭。</p> <p>孔昭烜广杓子。 嘉庆二十四年承袭。</p> <p>孔宪坤昭烜子。 道光二十五年承袭。</p> <p>孔庆仪宪坤嗣子。庠生。 同治三年承袭。</p> <p>前博士宪坤故后，无嗣。时，庆字行无人。由族公举代理，庆仪生数月，左文襄公驻衢，因予题奏承袭。 入民国后，改为南宗奉祀官。</p>

秩外荣典<sup>①</sup>

	封	赠
宋	赵昙抃曾祖，原任参军，赠太子太保。曾祖母陈氏，安国太夫人。 赵湘抃祖，原任庐江尉，赠司徒。祖母袁氏，崇国太夫人。 赵亚才抃父，原任主簿，封开封府仪同三司。母徐氏，魏国太夫人；徐氏，越国太夫人。 赵振抃兄，赠大理评事。	
元	郑俊用和父，累赠荥阳郡侯。	
明	郑信之辰祖，赠兵部左侍郎。 郑任得辰父，赠工部左侍郎。 余亮字添信，敬父，赠监察御史。母翁氏，封太安人。 余宗良余贞父，赠礼科给事中。母祝氏，封太安人。 叶文奎叶贞父，赠监察御史。 陈德辉善父，赠贵州道监察御史。以上永乐间。 杜秉彝昆父，赠工部主事。以上宣德间。 王渭字孟文。天顺七年，女入东宫。明年，宪宗即位，立为皇后。赐渭儿杖，遥授都御史，赐一品服。妻毛氏、酆氏，俱封一品夫人。 方永昌方贵父，赠主事。 余克礼余英父，初封兵部主事，晋员外郎。母郑氏，宜人。 孔证公钊父，赠锦衣卫经历。 张茂英龄父，赠经历。以上成化间。 周斌洪父，赠易州知州。母郑氏，宜人。	

<sup>①</sup> 底本下表分封赠、荫袭两栏。今为阅读方便，本标点本分为封赠、荫袭两表，分别以朝代为序排列。

封	赠
应良安	应能父，赠武陵县知县。
陈起洪	恩父，赠征仕郎。以上正德间。
王文晖	玑父，封兵科给事中，继封山东按察司佥事。
郑兰	朝辅父，赠知府。
程镳	秀民父，封主事。母杨氏，封安人。
应旭	鸣凤父，赠主事。以上嘉靖间。
郑权	大经父，封吏科给事中。母王氏，孺人。
余茝	国宾父，赠刑部主事，再赠郎中。母陈氏，安人，再赠宜人。
徐湘	一横父，赠丹徒知县，再赠考功主事。母叶氏，封孺人，再封安人。
徐源	一杰父，赠亳州知州。母胡氏，宜人。
郑沧	有年父，初封工部主事，再封郎中，三封太仆寺少卿。母傅氏，安人，晋宜人、恭人。
徐良锁	任道父，封固始知县。母郑氏，孺人。
徐良德	可求父，赠南昌知县，再赠兵部主事，后赠右金都御史。母叶氏，孺人，晋安人、恭人。
叶九德	其蕃生父，赠工部主事，再赠郎中。母余氏，安人。
叶九功	其蕃继父，赠同生父。养母徐氏，安人。
杨大宾	希圣父，封翰林院编修。母张氏，孺人。
叶懋	秉敬父，赠工部清吏司主事。母黄氏，安人。
徐一樾	日久父，封江夏知县。母郑氏，孺人。
方文炳	应祥父，赠南京兵部清吏司主事。母郑氏，安人。
徐可求	应秋父，赠右副都御史。母何氏，淑人。
金文举	四科父，赠高邑知县。嫡母柴氏，孺人。生母钱氏，孺人。
王槿	家业父，赠均州知州。母余氏，宜人。

	封	赠
	<p>吴子聪元辅父，封南京留守后卫经历。嫡母姜氏，孺人。生母陈氏，孺人。以上万历间。</p> <p>周伟一敬父，赠海丰知县，再赠福建道御史。嫡母蔡氏、继母郑氏、生母刘氏，并孺人。以上崇祯间。</p>	
清	<p>叶有容南生父，赠荊州府推官，再赠南昌府同知。母翁氏、周氏，并孺人，晋宜人。</p> <p>徐应捷钟溥父，封玉田知县。母吕氏、陈氏，并孺人。</p> <p>周良俊召父，赠凤县知县。母吕氏，孺人。</p> <p>邵思皋有声父，赠肤施知县（旧志无，今补）。</p> <p>郑学陆耀然父，赠岐山知县。母吴氏，孺人。</p> <p>龙凤翫之奇父，封翰林院侍诏；又以子鼎，赠武康教谕。母叶氏，孺人。</p> <p>徐鼎元翻父，赠新淦知县。母张氏、叶氏，并孺人。以上康熙间。</p> <p>徐应玉敦蕃祖。</p> <p>徐钟侠敦蕃父。并以宁国府同知，赠奉政大夫。</p> <p>周鸿雯父。以处州训导，赠修职郎。以上雍正间。</p> <p>徐敦时崇熙祖。</p> <p>徐常骥崇熙父。并以正定知县，赠文林郎。</p> <p>郑文忠万年祖。</p> <p>郑明万年父。并以修仁知县，赠文林郎；又于黔西知州，晋赠奉直大夫。</p> <p>詹士贵文焕祖。</p> <p>詹希贤文焕父。并以工部主事，赠奉直大夫。</p> <p>方世钰恭愈祖。</p> <p>方士法恭愈父。并以山西山阴知县，赠文林郎。</p> <p>程一亨世泰祖。</p>	

	封	赠
	程万邦世泰父。并以州判，赠征仕郎。	
	徐敦润常棟父，以河南睢州州判，赠征仕郎；又受孙崇烟，赠文林郎。	
	徐常梲崇烟父，以阜宁知县，赠文林郎。	
	徐敦喃崇奎祖。	
	徐常惪崇奎父。并以始兴知县，赠文林郎。	
	王志皋荣綱父。以诸暨训导，赠修职郎。	
	徐养士正仁父，以乐清训导，赠修职郎。	
	余懋发本忱父，以安吉训导，赠修职郎。	
	龚靖渭祖。	
	龚大鑑渭父。并以萍乡知县，赠封文林郎。	
	张景连祖。	
	张镐连父。并以保安知县，赠文林郎。	
	余之连时中祖。	
	余本深时中父。并以举人拣选知县，赠封文林郎。以上乾隆间。	
	龚塘大锐父，以嘉兴训导，赠修职郎；并受孙藻凤台知县，赠文林郎。	
	郑万铨娘父，以昌化训导，赠修职郎。	
	余思濂本敦祖。	
	余之栻本敦父。并以内阁侍读学士，累赠至中宪大夫。	
	王志雍登费祖。	
	王荣统登费父。并以江西布政司理问，赠儒林郎。	
	龚玲元礼祖。	
	龚大鳌元礼父。并以兵部职方司郎中，累赠封至朝议大夫。	
	范钟霞崇楷祖。	
	范德仁崇楷父。并以宁德知县，赠文林郎。以上并见嘉庆《志》。	

	封	赠
	<p>郑万育清彦父，以子官宁国知县，加二级晋封奉直大夫。</p> <p>龚大铋藻父，以子官凤台知县，赠文林郎。</p> <p>龚浔士范生父。</p> <p>龚涟士范继父。并以子官万载知县，赠文林郎。</p> <p>张世钧德容父，以子官荆州知府，赠中宪大夫。</p> <p>王登燮藩父，以子官德清训导，赠修职郎。</p> <p>王藩德玉父，以子官永康训导，赠修职郎。</p> <p>汪张晓毅父，以子官河津知县，加级请赠中宪大夫。</p>	

	荫	袭
宋	<p>赵屼《宋史》：抃子，由荫登第。有《传》。</p> <p>赵峋抃兄振之子。《神道碑》：抃少育于长兄振，振既赠评事，又以荫子官峋。</p> <p>留辟疆陈《志》：留怙任子。《辟疆传》谓怙之从子。</p> <p>留清时陈《志》：辟疆以怙任推官，摄西安尉，死睦寇之难，官其子清时、甥邓瑞。</p> <p>刘阜民正夫子。《名贤录》：正夫卒，帝眷命不衰，以阜民为兵部侍郎。</p> <p>刘阜民正夫次子，帝以为徽猷阁待制。</p> <p>郑仲炯朴子，以荫补秘阁校理。</p> <p>郑縉仲熊子，以荫补枢密院判官。二人并见《崇德郑氏谱·家传》。</p> <p>徐琮敷言从子。陈《志》：敷言笃爱诸弟，当任子，先补从子琮。</p> <p>按：姚《志》载有徐揆之子，阙其名。考：《宋史·徐揆传》虽云衡州人，实居江山，兹并删之。</p>	

	荫 袭
	<p>方唐卿 虞卿《宋史》：方允武遇金兵，战死于梅岭，诏赠两官，官其子二人，唐卿、虞卿俱至副使。 按：允武三子，尚有夏卿。</p> <p>祝深禹圭孙，以祖荫任太平司法参军。</p> <p>邵志谦知柔子，以荫补山东泰安知州。</p> <p>邵志和知柔子，以荫补湖广安化知县。</p>
元	<p>王添祺王璿《墓志》：招讨使王安，至元间，开府于衢。子添祺袭封明威将军，授征南万户侯。</p> <p>王仁泽添祺子，袭爵同前。</p> <p>郑元吉用和子，以荫授常州路录事司判官。</p> <p>沈忠显之子弘治《府志》：忠显以百户从征云南，阵亡。子袭职，失其名。</p>
明	<p>郑辰之子陈《志》：郑辰任子，名阙。</p> <p>郑隆陈《志》：郑得，成化间锦衣卫。子隆袭职。</p> <p>王会王敞子，荫锦衣百户。见《两浙名贤录》。</p> <p>徐应秋可求子。可求在四川，死蔺贼之难。朝廷予谥忠烈，荫一子，世袭指挥佥事。 按：应秋已由科第得官。</p> <p>徐应泰之子崇祯初，应泰应东抚之募，署都事，萍岛兵变，死海中，赠怀远将军，荫一子。前志阙其名。</p>
清	<p>毛家琯大经子，袭卫千总。</p> <p>毛学苌家琯子，改袭恩骑尉。</p> <p>吉元志吉兆子，袭云骑尉世职。 以上并见陈、姚两《志》。</p> <p>费履升文恪公淳嗣子，由荫生中式举人，官刑部主事，简放江西广南饶九兵备道。费氏自后入衢籍。</p> <p>罗道源福建提督罗大春之子，西安庠生，由恩荫考授刑部主事，分发江苏候补知府。</p>

	荫 袭
	徐裕臣徐芳父丙祥，咸丰八年战死于玉山大南口。奏闻，奉旨承袭三代云骑尉，世袭恩骑尉。芳已得有官职，请移荫于兄子裕臣。
	徐裕琅咸丰六年、八年，徐勇兄弟前后阵亡，合家殉难，赐恤子孙世袭。惟裕琅尚存，兼袭之。
	蒋彦瑗兴灿子。兴灿于咸丰八年三月初一日在杜泽御贼阵亡。同治五年，浙抚马奏恤，得世袭云骑尉职。彦瑗故后，孙庠生汝谦承袭。
	童兆庚贞祥子。案：与前同。兆庚以庠生兼袭。兆庚故，嫡孙佩麟承袭。
	留忠贯榜名靖，庠生，兼袭父尚德、叔尚棻双荫，云骑尉。
	按：上数人并见《浙江忠义录》。其他如此例者甚多，但承世袭，以未入仕，清末原案无从查核，遂付阙如。
	余汝贤余源子，凤喈孙。光绪二十六年，源以江苏即用府照磨解饷入京殉难。吉将军奏准世袭銮仪卫经历。

## 仕进表<sup>①</sup>

山林廊庙，出处殊途。衢初僻在荒陲，关河修阻，人多重去其乡，往往伏处衡茅，娱情泉石，不乐仕进，故文物亦未尽显。逮及两宋，远轶晋、唐，政治勋猷卓绝今古者，何止赵清献、刘文宪其人？兹分表列之，概取曾膺实职名、登仕版者为准。若仅仅章服之荣，古所谓“都督满街，告身一醉”，虚衔虽贵，例不能登。非敢有所抑置也，亦为表扬往哲，愈显其高耳。

① 底本下表分京秩、外秩、武秩三栏。今为阅读方便，本标点本分为京秩、外秩、武秩三表，分别以朝代为序排列。

	京 秩
晋	毛璩尚书郎。
梁	郑季徽灼父，通直散骑侍郎。《陈书·灼传》。
陈	郑灼中书舍人，国子博士。
唐	陈叔达礼部尚书。见《陈氏谱》。
吴越	陈备侍郎。 慎温其元帅府判官。 慎从吉元帅府长史。 江景防侍御史。 慎知礼校书郎。
宋	赵抃宫銜，太子少保。 赵抃以下宰相：参知政事。 郑仲熊参知政事、签书枢密院事。 刘正夫少宰，即右丞相。 留梦炎右丞相兼枢密使。 吴珏以下殿阁学士：大学士。见杨《志》表。 赵抃资政殿学士。 毛友端明殿学士。乾道《临安志》作延康殿学士。 冯熙载资政殿学士。 郑仲熊端明殿学士。 刘颖宝謨閣学士。 郑昭煥章閣学士。 孔应得资政殿学士、签书枢密院事。 刘正夫以下三省：尚书右丞，迁中书侍郎。 冯熙载尚书左丞，迁中书侍郎。

	京 秩
	<p>祝禹圭尚书右郎。</p> <p>梁弁右司。</p> <p>徐霖左司。</p> <p>徐泌以下中书省官：起居舍人，知制诏。</p> <p>刘载正夫父，中书检正。</p> <p>刘正夫由起居舍人召试中书舍人。</p> <p>徐徽言阁门宣赞舍人。</p> <p>徐敷言中书舍人。</p> <p>冯熙载起居郎，中书舍人。</p> <p>舒清国中书舍人。</p> <p>毛宪同上。</p> <p>吴燠左史。</p> <p>毛祖平以下翰林：学士。</p> <p>刘正夫同上。</p> <p>冯熙载学士，迁承旨。</p> <p>毛友学士。</p> <p>郑仲炜应奉。</p> <p>徐庸以下直院阁：直集贤院。</p> <p>赵抃直龙图阁。</p> <p>郑朴直集贤院。</p> <p>王兴同上。</p> <p>梁弁直龙图阁。</p> <p>舒清国同上。</p> <p>刘颖直秘阁、宝谟阁。</p>

京 秩
<p>郑尚德直秘阁、宝章阁。</p> <p>刘正夫以下侍讲、侍读：</p> <p>    迩英殿侍讲。</p> <p>赵需侍讲。</p> <p>叶章同上。</p> <p>徐敷言以下待制说书：</p> <p>    龙图阁待制。</p> <p>刘颖同上。</p> <p>赵抃天章阁待制。</p> <p>赵嶶抃侄。徽猷阁待制。</p> <p>赵霆抃孙。同上。</p> <p>刘阜民并同。见《名贤录》。</p> <p>郑朴敷文阁待制、崇政殿说书。</p> <p>徐霖崇政殿说书。</p> <p>李若拙以下修撰、编修、检讨：</p> <p>    史馆修撰。</p> <p>郑昭集英殿修撰。</p> <p>江溥秘阁修撰。</p> <p>赵嶶右文殿修撰。</p> <p>徐敷言《九域志》编修。</p> <p>刘正夫国史馆编修。</p> <p>何新之枢密院编修。</p> <p>徐霖实录院检讨，充国史编修。</p> <p>慎知礼以下秘省诸郎：</p> <p>    校书郎。</p>

	京 秩
	慎镛秘阁校理。
	赵抃著作佐郎。
	赵扬同上。
	李若拙著作郎。
	徐晋卿校书郎。
	徐敷言同上。
	冯熙载正字著作佐郎。
	郑仲炯秘阁校理。
	徐霖正字校书郎，改宣教著作郎。
	刘正夫以下尚书：
	工部。《名贤录》作礼部。
	毛友礼部。
	卢襄吏部。
	徐嘉貳户部兼权吏部。
	王椿户部。
	慎知礼以下侍郎：
	工部。
	留怙刑部。
	刘正夫礼部。
	刘阜民正夫子。兵部。见《名贤录》。
	郑朴兵部。
	卢襄吏部。
	徐嘉吏、工二部。《两浙名贤录》作户部。
	何甫工部。

京	秩
刘颖刑部。	
梁摠户、刑二部。	
王椿参谋侍郎。	
徐泌以下郎中：	
屯田郎中。见《清献集》。	
徐迈直使馆。	
留怙刑部。	
汪允师同上。	
刘颖户、兵、工三部。	
梁弁刑部。	
梁纶户部。	
留佑贤同上。	
慎镛以下员外郎：	
金部度支。	
刘牧工部屯田司。	
赵抃吏部。	
赵屼吏部考功司。	
徐徽言工部屯田司。	
徐敷言吏部。	
毛注礼部主客司。	
祝深都官员外郎。	
吴概部使。	
慎从吉主事，吏部考功司。	
慎从吉以下谏院诸职：	
右谏议大夫。	

京	秩
	<p>赵抃右司谏知谏院右谏议大夫。</p> <p>刘正夫左司谏。</p> <p>毛注左谏议大夫。</p> <p>赵需右司谏谏议大夫。</p> <p>郑仲熊右正言。</p> <p>刘颖以下监院：</p> <p>    监进奏院。</p> <p>郑朴监登闻院。</p> <p>袁采监登闻检院。</p> <p>慎从吉以下给事中：</p> <p>    赵抃给事中。</p> <p>徐禧黄门给事中。</p> <p>刘正夫给事中。</p> <p>赵需同上。</p> <p>赵抃以下御史：</p> <p>    殿中侍御史。</p> <p>赵屼抃子。侍御史。</p> <p>徐徽言都御史。</p> <p>徐敷言侍御史。</p> <p>徐嘉同上。</p> <p>徐襄监察御史。</p> <p>毛注殿中侍御史。</p> <p>梁蕴河东御史。</p> <p>梁弁御史。</p>

京	秩
江溥殿中侍御史。	
郑时中侍御史。	
慎知礼以下诸寺卿、丞：	
鸿胪卿。	
慎从吉光录卿。	
慎欵知礼孙。殿中丞。	
慎钧	
慎锐均从吉子，并大理寺丞。	
刘牧同上。	
郑晃卫尉丞。	
梁摠大理寺丞，升少卿，晋正卿。	
郑昭太常少卿。	
赵屹初为太仆丞，历鸿胪太仆少卿。	
舒清国太常少卿。	
刘颖太常主簿、光禄署丞、太常寺丞、司农少卿，迁宗正少卿。	
徐庸太常少卿。	
留观德大府丞。	
留佑贤大宗正丞。	
留梦发宗正丞。	
王庭芝太常寺丞。《章戴桥记》庭作廷。	
李定少卿。	
郑缉仲熊孙。司农寺主簿。	
梁摠以下评事、博士：	
大理寺评事。	

	京 秩
	<p>翁孟麟</p> <p>留式并同上。</p> <p>冯熙载国子祭酒。</p> <p>慎楷太常博士。</p> <p>刘牧</p> <p>赵抃并同上。</p> <p>赵扬抃弟。太常博士。</p> <p>郑廷富太常奉礼，见《郑谱》。</p> <p>刘正夫国子博士。</p> <p>何充宗子博士。</p> <p>徐嘉以下诸王府官：</p> <p>王邸教授。</p> <p>沈尧夫王宫教授。</p> <p>叶荣善王府讲官。</p>
元	<p>邹灿大学士；奎章阁大学士。</p> <p>郑用和以下翰林院：</p> <p>翰林待制。</p> <p>郑元辅翰林承旨。</p> <p>郑用文舍人：</p> <p>侍仪舍人。</p> <p>郑元辅诸寺属：</p> <p>太常礼仪院太祝。</p> <p>王伯温御史：</p> <p>陕西行台御史。</p> <p>孔洙国子监祭酒。</p>

	京 秩
明	<p>王敞官衔： 太子太保。</p> <p>陈恩中书省： 中书舍人。</p> <p>邹紱翰林院： 学士承旨。</p> <p>杨希圣编修。</p> <p>叶贞庶吉士，预修《大典》。</p> <p>徐演东宫官属： 右春坊右赞善。</p> <p>王敞尚书： 《名贤录》作兵部，姚《志》作吏部。</p> <p>郑辰以下侍郎： 南京兵、工二部。</p> <p>王敞兵部左侍郎。</p> <p>韩福户部左侍郎。</p> <p>何均平以下郎中： 刑部。</p> <p>韩福户部。</p> <p>周洪刑部。</p> <p>郑朝辅</p> <p>杨梁并同上。</p> <p>裴智赵《志》：由主事转郎中。未详何部。</p> <p>程秀民南京兵部车驾司。</p> <p>应鸣凤工部都水司。</p>

	京 秩
	<p>徐一樞吏部文选考功二司。</p> <p>余国宾刑部四川司。</p> <p>郑有年工部营缮司。</p> <p>程朝京礼部。</p> <p>徐可求吏部文选司。</p> <p>徐日久兵部车驾司。</p> <p>方应祥南京兵部职方司，转礼部祠祭。</p> <p>周一敬兵部武选司。见《谱》。</p> <p>徐应秋礼部仪制司广东主考。</p> <p>余英以下员外郎：</p> <p>    兵部。</p> <p>徐璫刑部江南司。</p> <p>杜昆工部。</p> <p>周洪南京工部。见《谱》。</p> <p>祝深都官员外郎。</p> <p>余国宾刑部四川司。见《谱》。</p> <p>徐道长以下主事：</p> <p>    工部。</p> <p>张隆南京工部。</p> <p>何均平刑部主事，升郎中。见科贡题名碑。</p> <p>方弘刑部。</p> <p>徐蕤宾礼部祠祭司。</p> <p>杜昆南京工部。</p> <p>余英兵部职方司。</p>

	京 秩
	杨鹏南京工部。
	方贤刑部。
	周洪南京工部。
	程秀民初为刑部主事，改南京兵部武库司。
	徐一樞吏部稽勋司。
	余国宾刑部四川司，升郎中。
	徐可求兵部职方司。
	叶其蕃工部营缮司。
	徐日久工部屯田司。
	程朝京南京刑部。
	叶秉敬工部都水司。
	方应祥南京兵部职方司。
	徐应豸观政主事。
	王大成工部。
	徐应秋礼部仪制司。
	叶向生兵部职方司。
	叶仕魁礼部仪制司。
	裴智 汪进二人未详何部。
	李昶礼部司务。
	张隆以下通政司：
	右通政。
	王敞左通政，升通政使。
	韩福右通政。
	徐一樞同上，主考。

京	秩
叶贞以下都察院：	
右副都御史。	
韩福金都御史。	
王玑右金都御史。	
按：姚《志》列徐可求右都御史，实死后追赠，兹不列。	
孔思模以下给事中：	
未详何科。	
冯添户科。据科贡题名碑补。	
余贞都给事中。	
韩永兵科。	
王玑同上。	
王敞刑科，升工科左右给事中，又晋都给事中。	
方太丰工科。	
郑瑞工科，转兵科。	
郑大经吏科都给事中。见《县城隍庙记》。	
王惟德以下监察御史：	
湖广道。	
叶贞	
李庠	
郑道均监察御史。据科贡题名碑补。	
郑辰同上。	
陈善贵州道。	
余敬福建道，改贵州巡按监察。	
余懋中京察院湖广道、应天同考官。	

	京 秩
徐任道	广西道。
周一敬	福建道，转甘陕道。
陈伯颜	
陆演	
陆悦	
徐永	
徐毅	
韩福均	监察御史。
沈忠	兵马司。
董定	以下诸寺卿丞：
	光禄寺副。
孔克淮	太常寺丞。
徐一樞	太常少卿。
徐可求	同上。
郑大经	太仆卿。姚作少卿。
郑有年	太仆少卿。
叶应昌	同上。
魏政	以下诸寺属官：
	大理评事。
陈暄	评事。
杜球	典簿。
杜椿	
杜培德	并同上。
徐河	光禄署丞。

	京 秩
	祝化同上。
	叶明元光禄署丞、太常典簿。
	吴善太常典簿。
	叶应鸿胪寺序班。
高相	
郑应聘	
徐可兴	
徐文奎并同上。	
叶厚元以下上林监：	
	陈作署正，姚作署丞。
叶其蕃姚《志·介节传》：仕水衡。即上林监。	
徐瑛陈作珙，姚作瑛。以下钦天监：博士升监正。	
祝宗元灵台郎。	
孔思模以下国子监：	
	学录。
方用嘉助教。	
徐恭礼学正。	
郑铭	
徐泽	
叶原	
张太和并同上。	
徐涞太医院吏目。	
孔克进宗人府经历。	
甄谊顺天京府府尹。	

	京 秩
	<p>杜瑁以下诸王相府官僚：</p> <p>典膳。</p> <p>彭成楚府教授。见商辂《县学科贡题名碑刻》。姚《志》误列府学教授。</p> <p>崔庠审理。</p> <p>余能蜀府左长史。</p> <p>徐继芳长史。</p> <p>金琳长史。《余氏谱》有此人，疑姓误。</p> <p>郑伦蜀府审理副。</p> <p>郑秀夫长史。</p> <p>陈恩赵王府陵寝使。</p> <p>徐希道藩府纪善。</p> <p>张霖吉府典仪。</p> <p>范鼐淮府典膳。</p> <p>徐鉉益府典膳。《谱》作鉉。</p> <p>程澜同上。见《程谱》。</p> <p>叶良玉赵府纪善。</p> <p>王继程益府纪善。</p> <p>叶蓁益府引礼舍人。</p> <p>李良辅王府长史。</p> <p>留大伦赵府长史。</p> <p>王家丞淮府教授。</p> <p>徐日久楚府检校。</p> <p>李效良以下锦衣卫：</p> <p>指挥使。</p> <p>郑得锦衣卫百户。</p>

	京 秩
清	<p>余本敦以下内阁：</p> <p>侍读学士。</p> <p>徐敦蕃中书。</p> <p>詹文启原名文焕，中书升典籍。</p> <p>申甫以下军机处：</p> <p>直军机掌内制十余年。</p> <p>张德容军机章京。</p> <p>余凤喈以下翰林院：</p> <p>钦点庶吉士。</p> <p>张德容同上。</p> <p>吴炯钦锡检讨。</p> <p>徐炳南同上。</p> <p>徐汎典簿。</p> <p>龚之奇待诏。</p> <p>余本敦以下部曹：</p> <p>吏部文选司郎中。</p> <p>龚元礼兵部职方司郎中。</p> <p>费履升刑部郎中。</p> <p>张德容兵部郎中、散馆分部。</p> <p>方騤工部营缮司郎中。</p> <p>余本敦吏部验封司员外郎。嘉庆戊寅，湖北正主考。</p> <p>余凤喈户部员外郎、散馆分部。</p> <p>徐国章兵部车驾司主事。</p> <p>徐国珩户部主事。《谱》作兵部职方司。</p>

	京 秩
	<p>詹文启工部屯田司主事，海运仓监督。</p> <p>余本敦吏部稽勋考功二司主事，会典馆总纂。</p> <p>余凤喈户部主事。</p> <p>方騤工部主事。</p> <p>叶如圭刑部贵州司主事。</p> <p>方宝慎兵部主事。</p> <p>罗道源刑部主事。</p> <p>汪张黻户部小京官，升主事，后改度支部。</p> <p>申甫以下都察院：</p> <p>    右副都御史。</p> <p>余本敦福建、京畿二道监察御史，升吏科给事中。</p> <p>方騤记名御史。</p> <p>龚之奇以下寺属：</p> <p>    大理寺司务。</p> <p>郑应聘鸿胪寺序班。</p> <p>徐学彰同上。</p> <p>方輿以下銮仪卫侍卫：</p> <p>    治仪正。</p> <p>胡坛侍卫。</p> <p>毛大经同上。</p> <p>舒正身钦点花翎侍卫。</p> <p>舒涌泉钦点蓝翎侍卫。</p> <p>王登贲以下校录、眷录：</p> <p>    四库馆校录。</p>

	京 秩
	<p>朱缙同上。</p> <p>郑清彦国史馆纂录。</p> <p>龚士范</p> <p>余凤苞并同上。</p> <p>陈大猷以下教习：</p> <p>    国子监。</p> <p>徐敦蕃咸安宫。</p> <p>龚藻景山官学。</p> <p>王荣綯八旗官学</p> <p>徐崇熙</p> <p>郑邦型</p> <p>方恭愈并同上。</p> <p>崔世霖觉罗官学。</p> <p>吴庆泰同上。</p> <p>吴城八旗官学。</p> <p>范登保同上。</p>
民国	<p>余绍宋司法部参事，升次长。</p> <p>余诒本敦之后，原名廷献。内务部签事。</p> <p>张邦华教育部签事。</p> <p>方炳司法部签事。</p> <p>徐瑞徵简任职，大理院书记官。</p> <p>汪展简任职，分财政部。</p> <p>戈定远外交部主事。</p>

	外 秩
晋	毛璩临江、淮南太守，益州刺史。 毛瑗蜀郡太守。
梁	郑惠灼祖，衡阳太守。 郑季徽建安令。并见《陈书·灼传》。
吴越	慎知礼营田副使。
宋	赵抃以下诸使： 梓州路、益州路转运使，河北都转运使。 赵扬湖北转运使。见《清献集》。 郑夔两浙都转运使。 李若拙两浙江南转运使。 叶温叟浙江转运使。 刘正夫安化军节度使。 徐量昭州团练使。 徐徽言岚石路安抚使。 赵巘清献侄，京畿转运使。 赵霆清献孙，都水使者，见《通考》；又江淮、荆州等路发运使。 徐时彦观察使。 毛奎閩漕。 刘敏士浙漕。 邹縉转运使。杨《志·选举》作漕。 王椿荆湖四川宣抚使，《家谱》云参谋官。 刘颖淮东运副。 方唐卿副使。 方虞卿副使。

	外 秩
	方夏卿副使。此三人均允武子。
	刘牧以下判官、签判、运判： 广南西路运判，移荆湖南路运判。见《墓志》。
	徐敷言江东运判。 徐昌言判官。姚《志》载此，其地无考。
	方千里舒州签判。 刘颖江西运判、潭州签判。
	郑尚德运判。 刘敏士淮南运判。
	徐泌以下提点刑狱： 陕西，见《清献集》。
	汪师忠淮东。杨《志》忠作心。
	赵屼京东。 郑尚德两浙路。
	赵亿抃孙。未详其地。
	卢天骥即卢襄，提点两浙刑狱，见《通志》。
	刘颖亦两浙。见《通志》。
	徐度未详其地。见《王梅溪集》。
	赵屼以下提举常平茶盐： 两浙常平。
	赵屼两浙茶盐。 刘颖两浙常平茶盐。
	祝深淮西茶盐。 赵抃以下监粮料院及监当：
	监潭州粮料院。

	外 秩
	<p>赵屼姚作屹。监西京粮料院。</p> <p>刘颖淮东淮西总领务场。</p> <p>毛自知监当。</p> <p>慎知礼以下郡守知军州事：</p> <p>陈州府、兴元府。</p> <p>慎从吉开封府。</p> <p>赵抃濠州、睦州、虔州、青州、成都、越州、杭州。</p> <p>汪随黎州守。</p> <p>刘牧大名府。依《墓志》，当是馆陶县，冠府名。</p> <p>赵嶶杭州、潭州。</p> <p>毛维瞻知筠州。</p> <p>徐晋卿洪州刺史。</p> <p>徐禧晋卿子，知延州。</p> <p>刘正夫河南守。</p> <p>何充广德守，迁毗陵守。</p> <p>徐量威州、昭州、石州、岚州。</p> <p>何新之知忠安军。</p> <p>徐敷言越州守，迁婺州守。</p> <p>徐昌言江州。</p> <p>徐徽言知石州，迁晋宁军。</p> <p>刘颖知宁国、绍兴、平江、泉州、婺州。</p> <p>刘强学南安守。</p> <p>冯熙载亳州、福州。</p> <p>卢襄知湖州。</p>

	外 秩
	毛友本郡，又镇江守。
	留观德抚州、复州。
	赵霆知杭州，调青州。
	赵霈苏州、秀州。
	赵芹永州守。
	赵亿并叔孙。赵《志》云：历郡守。未详其地。
	慎镛湖州守，迁居吴兴。
	樊澥番阳守。
	汪待举随曾孙。建昌、兴化、处州、复州。
	汪允师亦随之后。《谱》云：建郡守。
	徐嘉泉州、平江守。
	徐文中全州守。
	徐湮文中孙。南剑守。
	舒清国道州守。
	舒师皋清国子。亦守道州。
	刘敏士楚州。
	留止臣姚作正臣。衡州守。
	孔端友郴州。
	孔传知抚州军。
	梁摠曲江守。
	梁纶成都守。《传》称成都宪。
	梁纮一作纮。融州守。
	郑延年朴孙。宜州守。
	叶文知惠州，未赴。

	外 秩
	徐棟一作棟，嘉禾。涪州守。
	吳概旧志：历守数郡。未详其地。
	祝禹圭奉化州。
	毛宪知溫州。又《章戴桥记》：守长沙。
	王潤興國守。
	劉阜民知秀州军。
	徐翊橫州守。
	徐鄖知府。旧志，缺其地。
	孔摺建昌军。
	叶端衡九江守。
	方公輔邕州守。
	王庭芝姚误应芝。处州，转抚州府。
	鄭尚德松江守。
	徐霖抚州、衢州、剑南、汀州、袁州守。
	邵志谦知柔子，泰安州。
	李元老旧志，未详其地。
	趙抃以下通判、判官：
	宜州、泗州。
	劉牧建州、青州、庐州。
	趙屼江州、温州。
	徐昌言旧志，地缺。
	劉敏士仪真。
	徐廷獻地缺。
	梁蘊濮州通判。见《梁氏谱》。

	外 秩
	郑尚德邵武军。
	徐霖常州、信州。
	孔文远吉州、隆兴。
	孔万春衡州、泉州。
	孔洙衡州、吉州、平江、信州。此在宋代。
	盛如梓崇明州，见《续通考》。时尚在宋。
	按：姚《志》，《仕籍》通判尚有马亮，注：常州；又《循吏传》引《广舆记》：马亮，绍兴五年进士，通判常州。考：《宋史·马亮传》：庐州人。太宗初，领福建提刑。《明统志》常州名宦亦载，在至道中。乾道《临安志》：真宗时，马亮知杭州，即其人也。则非绍兴五年进士可知。《广舆记》原文亦无此语。姚因衡有同姓名之进士马亮，不察其时之先后，而误引之。兹删去，并著其说于此。
	赵扬以下州倅：
	潭州。
	毛开宛陵、东阳。
	徐廷献严州。
	沈尧夫隆兴。
	陈烜隆兴。
	赵抃以下推官：
	武安军节度推官。
	刘牧饶州军事推官、兗州观察推官。
	留辟疆本州推官。
	徐煊惠州军事推官。见《峡山徐谱》。
	梁秉文陈州推官。见《谱》。

	外 秩
	<p>赵抗以下诸曹官：</p> <p>司户。见《清献集》。</p> <p>舒清国秀州司士曹。</p> <p>赵峋顺德司法曹。</p> <p>刘敏士临州司法曹。</p> <p>梁摠淮西检法。</p> <p>徐敏司户参军。</p> <p>郑廷宪衢州司法参军。</p> <p>祝深太平司法参军。姚《志》误列明代。</p> <p>徐环忠壮六世孙。扬州司户参军，见其子沂之《墓志》。</p> <p>慎知柔以下县令：</p> <p>知礼兄。常熟、象山。</p> <p>慎曷从吉兄。西安。</p> <p>慎晏曷弟。象山。</p> <p>慎篯从吉子。新昌。据《慎氏谱》补。</p> <p>赵抃崇安、海陵、江原。姚作如皋，即海陵也。</p> <p>赵屹於潜。屹当作屹。</p> <p>赵嵎德清。</p> <p>赵麟贵溪。清献侄，承事郎。见公《集》。</p> <p>刘牧馆陶。</p> <p>刘敏士仁和。</p> <p>刘颖铅山、常熟。</p> <p>毛注南陵、高苑、富阳。</p> <p>徐嘉言海盐。</p>

	外 秩
	徐嘉德安。
	袁采乐清、政和、婺源。
	留观德东阳。
	祝禹圭休宁。
	郑仲炜彭城。
	陈汶黄岩。
	孔应发武宁。
	赵大忠昌国，即今定海。
	徐民瞻华亭。
	梁扩见《峡山徐谱》，不详其地。
	郑尚德临淮。
	叶正纲常熟、宁远。
	徐煊增城。
	徐煌黄梅。并见《峡山徐谱》。
	冯钦南昌。见《石门徐谱》。
	留观颐江阴。《谱》作江阴守，非。
	邵志和安化。
	郑尚德以下尹尉：
	舒城尹。
	赵湘庐江尉。
	徐量浦城尉。
	郑晃武平尉。
	郑朴武康尉。
	郑仲炜宁国尉。

	外 秩
	<p>留辟疆摄西安尉，死睦寇难。</p> <p>冯熙载弋阳尉。</p> <p>孔应发遂昌尉。</p> <p>杨以德上元尉。</p> <p>徐煊霍邱尉。见《谱》。</p> <p>赵亚才以下主簿、巡检：</p> <p>    南海主簿。</p> <p>蔡望中岳主簿。</p> <p>刘颖溧阳主簿。</p> <p>郑执恭桂岭主簿。</p> <p>毛宽清流主簿。</p> <p>孔元龙余干主簿。</p> <p>孔应得余杭、太和主簿。</p> <p>赵景文兰溪主簿，迁居兰溪。</p> <p>邵永昌知柔孙。山东清平主簿。</p> <p>徐量台州海内松门、温州海内蒲门巡检。见《北山小集》。</p> <p>徐棟邕州江左四寨镇兵马贼盗事兼沿边溪洞都巡检使，见《谱》。</p> <p>方允武宜兴巡检，死难。见《宋史》。</p> <p>翁庆祥仙霞关巡检，见翁源墓碑。</p> <p>刘颖以下学官：</p> <p>    全州教授。</p> <p>王季雅本州学录、台州教授。</p> <p>刘正夫真州教授。</p> <p>郑尚德庐州教授。</p>

	外 秩
	<p>吴柏越州教授。</p> <p>徐霖沅州教授。</p> <p>郑廷宪徐州学录。</p> <p>留濬教谕。</p> <p>孔纯西安教谕。见《黄文献集》。</p> <p>吴好恭柯山山长。</p> <p>孔元龙柯山山长。</p> <p>留梦发明正山长。</p> <p>按：宋代学官无教谕名，留濬、孔纯之任，疑在元初。</p>
元	<p>孔应得以下诸使：</p> <p>衡州安抚使。</p> <p>吴玉允廉访使。</p> <p>郑元辅福建宣慰使。</p> <p>郑用和漕运万户府：</p> <p>海道副万户，加正万户。</p> <p>徐沂之以下盐运司属：</p> <p>两浙盐运使仁和场盐司管勾。</p> <p>徐辰孙沂之子。两浙盐运使曹娥场盐司令。</p> <p>孔洙以下提举学校：</p> <p>提举浙东学校。</p> <p>孔瀛江浙儒学副提举。</p> <p>郑用和总管府：</p> <p>摄韶州路，又德安等处军民屯田总管。</p> <p>郑用和同知：</p> <p>南雄路。</p>

	外 秩
	郑元辅以下推官： 湖广观察推官。
	郑宗周洪州法曹。见《郑谱》。
	郑元吉用和子。录事司： 常州路录事司判官，转杭州东北录事司录事。
	徐沂之照磨： 温州路照磨。
	孔涛知事： 湖州总管府知事。姚误湖州，据《黄文献集》正。
	李芬以下知州、判官： 知州，地缺。
	孔涛吴江、桂阳判官。
	留铉以下尹尉： 如皋尹兼劝农事。
	郑元吉江阴县尹。
	徐沂之建德县尹。见黄溍《墓志》。
	徐由沂之子。安乡县尹。
	孔淮江山县尹。
	孔灝淮弟。亦江山尹。见《明统志》。
	孔灝海阳、浣江二县尹，湖广检校官。
	孔楷遂昌、崇安二县尹。
	叶思旧作恩。罗源尉。
	郑元辅黄冈尉。
	徐孺沂之子。钱塘尉。

	外 秩
	徐祥卿东阳尉。
	郑用文以下经历、主簿、巡检、典史：
	常州经历。
	郑元哲鄱阳主簿。
	徐沂之延平路将乐县主簿。
	赵善誉宁波主簿。
	刘文瑞处州巡检。
	毛文瑞新昌典史。见《新昌志》。
	祝化孙建平典史。见《潜溪集》。
	徐璋以下学官：
	衢州路教授。
	孔涛溧阳州教授。见《墓志》。
	孔演嘉兴路教授。姚误作衢州。
	孔瀛昌国州学正、岳州教授。
	孔楷常州路教授。
	刘光大衢州路医学教授。
	郑元良宝庆路蒙古学正。
	郑元哲平阳教谕。并见《谱》。
	祝应昇一名彦明，浦江教谕。
	徐景熙归安训导、上虞教谕。
	李叟教谕。见《谱》，不详其地。
	徐希武南康教谕。
	郑汝厚衢州路训导。元末殉节。

	外 秩
明	<p>张隆以下督抚：</p> <p>总督边储。</p> <p>余敬巡按交趾。姚误巡抚。</p> <p>王玑陈《志》：巡抚淮、兗招抚营田。姚作淮、徐、兗等州招抚营田使。又云巡抚直隶、山东、淮、徐，实一事也。</p> <p>韩福巡抚京畿。</p> <p>周一敬巡抚苏、松、常、镇。陈《志》作巡按。</p> <p>徐可求巡抚四川兼总督。</p> <p>余国宾以下布政司：</p> <p>江西右布政。</p> <p>徐可求福建布政。</p> <p>徐应秋福建左布政。</p> <p>余能以下参议、参政：</p> <p>参议。</p> <p>王玑江西参议，升福建参政。</p> <p>余懋中福建参议，升参政。</p> <p>程秀民云南参政。</p> <p>叶秉敬江西参政。</p> <p>方应祥山东参政，《墓志》作参议。</p> <p>徐日久山西参政。</p> <p>徐应秋福建参议。</p> <p>叶其蕃陈《志》：江西参议。</p> <p>陆澄以下都事理问：</p> <p>都事，地缺。</p>

外	秩
<p>叶项姚误作项。山西左布政理问。</p> <p>徐日严湖广理问。</p> <p>徐日照广东理问。</p> <p>叶贞以下按察司：</p> <p>江西按察副使。</p> <p>郑辰山西按察使。</p> <p>王惟德江西按察使。见王璡墓碑。</p> <p>徐永按察副使，何省未详。</p> <p>王玑山东按察副使。</p> <p>余国宾江西按察使。</p> <p>程朝京福建按察副使。</p> <p>叶其蕃福建按察使。</p> <p>叶秉敬姚作河南按察使。墓碑：湖广副使。</p> <p>徐日久山西按察使。陈《志》作山左臬宪，姚《志》误列山东廉访使。</p> <p>徐应秋福建按察副使。</p> <p>余士荣以下金事、巡道：</p> <p>湖广按察司金事。</p> <p>张忠江西金事，据科贡题名碑补。</p> <p>余懋中福建按察兵备金事。</p> <p>杨梁福建金事、汀漳兵备。</p> <p>王玑武定、天津、徐州兵备，山东金事。</p> <p>方应祥山东金事。</p> <p>余国宾易州及济南紫荆关兵备道。</p>	

	外 秩
	<p>程朝京福建漳南道。</p> <p>徐日久福建巡海道。</p> <p>程秀民湖广衡永兵备道。</p> <p>徐应秋福建巡海道。</p> <p>应鸣凤以下盐运司：</p> <p>    两淮都转盐运使。</p> <p>徐恍山东盐运同知。</p> <p>徐良介广东肇庆府盐课使。</p> <p>范世臣盐课使。</p> <p>方童福建盐运司判官。</p> <p>滕友以下提举：</p> <p>    盐课司提举，见科贡题名碑，地缺。</p> <p>叶廷珪广东市舶提举。</p> <p>龚镛广东市舶提举。</p> <p>祝深淮西路茶盐提举。</p> <p>陆郁广东盐运司提举。姚《志》误列盐运使。</p> <p>陈思敬山东提举。</p> <p>朱家僖广东盐运司提举。</p> <p>郑瑛建宁提举。</p> <p>孔承祀提举。</p> <p>叶贞以下提学：</p> <p>    南畿督学。</p> <p>叶秉敬河南提学副使。</p> <p>方应祥山东提学。</p>

	外 秩
	周一敬临洮、巩昌等处提学。
	祝和以下知府：
	衡阳府。
	徐煥自韶移守广州。见《宋濂集》。
	陆演见科贡题名牌，未详其地。
	余英太平府。
	周洪安庆府。
	韩福大名府。
	程秀民泉州、建宁二府。
	裴智庆阳府。
	郑大经镇江府。
	余国宾济南府。
	余庆吉安府。见《余氏谱》。
	徐一樞宁国府。
	叶秉敬开封府。
	程朝京泉州、永平二府。
	应鸣凤
	余贞
	郑朝辅
	傅祥姚《志》：知府。并缺其地。
	虞容以下同知：
	河南。
	甄谊长沙。
	裴智交趾三带州。

外 秩
<p>徐浩汀州。姚误列州同知。</p> <p>金四科吉安。</p> <p>余文中福建汀州。见《家谱》。</p> <p>张龄荆洲。</p> <p>徐希古山海关。</p> <p>黄寿一作王寿。未详其地。</p> <p>叶南生江西南昌。见《谱》。</p> <p>何尊以下通判：</p> <p>泉州。</p> <p>徐玑惠州。</p> <p>徐朝翰苏州。</p> <p>郑洪柳州。</p> <p>应能苏州。</p> <p>张尚贤延安。见《五坦谱》。</p> <p>余庆广信。</p> <p>舒让大理府。见墓碑。</p> <p>徐子杰郑州。</p> <p>徐日严汉阳。见《谱》。</p> <p>郑德隅泰昌。</p> <p>周宗道赣州。</p> <p>何宁</p> <p>刘敬</p> <p>董福</p> <p>程玺</p>

	外 秩
徐绍芳	
王廷	
余泰	
郑子俊	
翁镗	
徐浩	
徐汀	
郑俊登	
邵侃	
卢宜之以上十四人，姚《志》均未详其地。	
何泽以下推官：	
廉州。	
杨昊武昌。见科贡题名碑。	
余钦建宁。《谱》作宗钦。	
徐绍芳 姚误总芳。鹤庆司刑。	
郑大经常州。	
杨梁饶州。	
陈桓廉州。	
程秀民淮安。	
余懋中淮安、汝宁。姚《志》重列淮安知府，误。	
徐日曦庐州、松江。	
叶南生 姚作高州，陈《志》作荆南、湖广同考官。	
邵同重庆。	
吕克忠 旧作羌忠。	

	外 秩
林庸	
项俊	
项昇	
方俊以上五人，姚《志》均未详其地。	
徐添据科贡题名碑补。	
范希士以下知州：	
陈、杨作希任，万州。	
杨仪邓州。	
程端云南弥勒州。见《程氏谱》。	
周洪易州。	
孔承祀祁州。	
徐沆裕州，改巴州。	
王之稷达州。姚作知府，非。	
徐一懋武定州。	
徐一杰睢州、亳州。	
余国英高邮州。	
金四科全州。	
王家业均州。	
江遂	
沈元亨	
徐栋	
姜宗望未详其地。	
杨丝以下州同知：	
宿州。	

外 秩
<p>徐日严同州、宿州。见《谱》。</p> <p>郑维乔云南阿迷州。</p> <p>余国英</p> <p>杨镳未详其地。</p> <p>郑景明以下州判：</p> <p style="padding-left: 2em;">寿州。</p> <p>徐介甫滨州。</p> <p>陈文信福宁州。</p> <p>杨丝奉议州。</p> <p>周宗道</p> <p>孔希昇</p> <p>邹玘</p> <p>应仪凤</p> <p>杜楠未详其地。</p> <p>秦泰以下知县：</p> <p style="padding-left: 2em;">江西南昌。</p> <p>徐宗彦江南歙县，未任。见《谱》。</p> <p>徐刚江南萧县。</p> <p>杨添河南祥符，改四川巴县。</p> <p>李庠姚《志》作祥。福建清流，广东巡按。</p> <p>徐咸江西泰和。</p> <p>徐蕤宾江西新建。</p> <p>徐同江西上犹。</p> <p>陈雄孙江西南昌。</p>

外 秩
祝和湖广衡阳。
宋子昭江西湖口。见《宋氏谱》。
方景辉常山。见《方氏谱》。
祝协山东文登。
徐寿江南吴江。
祝勍江南江都。
杜柱直隶永春。
余士荣河南鄢县。
郑瑄福建宁化、将乐二县。
应能湖广武陵。
徐璁江南昆山、江西余干、直隶南乐等县。
陆郁江西湖口。
吴夔姚《志》：山东潍县。赵《志》作教谕，陕西同考官。
王铎江西崇仁、湖广竹溪。
叶诚忠福建福安。
王锡广东恩平。
程秀民江西金溪。
余廷蒞姚无廷字，广西武缘。
郑邦佐浙江昌化。
陈奎四川建始。按：建始，明隶夔州府，清归湖北。
郑朝辅直隶衡水、江南长洲。
王之稷安徽含山。
徐一樞江南丹徒。
吴元辅宛平。见《谱》。

	外 秩
	<p>杨梦玄姚作元。福建泰宁。</p> <p>郑君选原名汉，河南确山。</p> <p>徐日久江南上海、湖广江夏。</p> <p>徐日严湖广大冶、武昌、汉阳。</p> <p>金四科直隶高邑。</p> <p>程朝京江西鄱阳。</p> <p>徐任道河南固始。</p> <p>杨在庭一作廷，江南兴化。</p> <p>徐可求江西南昌，江南上海、江浦等县。</p> <p>余敷中江东流，未任。</p> <p>杨仲点安徽来安。</p> <p>舒其蕴江西建昌。</p> <p>余廷璧河南商邱。</p> <p>余纯中直隶永春。</p> <p>郑学陆湖广大冶。</p> <p>祝鸣鹤江西临川。</p> <p>周一敬山东海丰。</p> <p>王之屏江西奉新。</p> <p>何邦福江西兴安。</p> <p>杨一元江南仪真。</p> <p>郑之衡山西翼城。</p> <p>郑大经直隶顺德。</p> <p>廖思浙江象山。</p> <p>徐日乾江西德化。</p>

	外 秩
	陈其礼福建闽清。
	张铎云南禄丰。《张氏谱》。
	李汝森江南婺源。
	李震春福建建安。
	余应蛟新宁。《谱》作新城。
	叶仕魁江西进贤。
	翁顺
	杨保
	陈京
	王定
	白圭
	项智
	桂让
	郑文安
	王原
	留绅
	范衢
	蔡春
	郑秀夫
	柴悌
	叶纪
	韩福
	徐沐
	陈良法

	外 秩
	吴士弘未任。
	方应科
	郑一珩
	余文中
	叶可行
	徐应秋
	胡泽
	余国辂
	杜应用以上姚《志》知县，均未详其地。
	胡彦成
	滕友
	方辉并知县。见商辂《县学科贡题名碑》，未详何县。
	王雯以下经历：
	广西都指挥经历。
	郑道延布政司经历。见科贡题名碑。
	方贵龙骧卫经历。
	范希士河南布政司经历。见赵《志》。
	徐日明南雄经历。
	裴智山西振武卫经历。
	余宗恢大同平肤卫经历。
	郑奎芳青州卫经历。
	徐日崇鳌山卫经历。
	郑良业通州卫经历。
	吴士奇庆陵卫经历。《吴氏谱》。
	邵真一作贞。杨《志》邵作郑。

外 秩
江善
陈存忠
毛希贤
周煥
祝寿
孔公钊
徐性
郑子鳌
郑一珊
徐州臣
杨仲鲁
叶元麒
徐宽
吴国英见《谱》。以上经历。
萧鸣
郑德隆
胡一恒
吴元辅以上卫经历。
王天祐以下知事、断事、录事：
扬州知事。
胡期亨漳州知事。
陈文荣饶州知事。
傅箎知事，见科贡题名牌，未详其地。
叶浩大宁断事。

	外 秩
	秦軫本州录事。
	金宁
	董禎
	郑纪并知事。
	裴纯
	陈淮
	徐杰并断事。
	徐宗彥以下杂职：
	衡州税课大使。
	张文税课大使。见科贡题名碑。
	吴敬税课副使。
	余观检校应天府属。
	叶溥检校。见科贡题名碑。
	郑大用广东南雄照磨。见《谱》。
	张嘉
	王原道并照磨。见科贡题名碑。
	姜天叙照磨。
	吴国珍省祭。
	徐子俊郑州吏目。
	王任重广西宾州吏目。
	李一骅泾州吏目，改拔宁夏御塘。
	徐一栊紫金关吏目。
	昌奎吏目。
	叶文欢以下县丞：
	吉安、永乐。

	外 秩
徐谦	沈水丞。见宋濂《徐贞妇传》，今补。
叶桂	宗一作琮。慈利。
高	缙武进。
杜	溥炎弋阳。
徐	廷亮兴宁。
徐	海昆山。
徐	希道嘉定。
徐	希古吴江。
程	历京山。
程	瑛汶上。
余	愈诚旧无愈字。上蔡。
叶	夏沐阳。
李	理
李	震并见《谱》。地不详。
蒋	士吉
汪	道
宋	隆
杜	昱
宋	善
孔	謐
王	应稷
留	紳
祝	嵩二人，并见科贡题名碑。
叶	宗

外 秩
姜仪
崔巍
徐璧
徐泾
郑德隆
沈相
张大功以上并县丞，不详其地。
徐崇显以下主簿：
义乌判簿。
徐漣鄖城。
李塘临武。见《墓表》。
郑奎芳大宁。
徐一极福建。
徐日崇新淦。
方应时江津。
徐良宾翁源。
杨德润吴县。见《谱》。
吴良玉松江。见《谱》。
黄隆青城。见《谱》。
吴士奇嘉定。
吴国英当涂。并见《谱》。
郑观见科贡题名碑。未详其地。
邵诚峰县。
陈文信宁德。

	外 秩
胡文政	
胡彦礼	
秦英	
黄观	
魏奎	
郑綬	
姜观	
徐亮	
胡廷和	
李汝霖	
胡联芳	
陈学颜	
王璡	见陈《志·王安传》。以上地并缺。
刘起潜	以下巡检： 青山。
叶应	广西马平、湖广归州。见《谱》。
郑瑛	道州宁远，调南剑州兵马钤辖。
郑永	巡检，地缺。
叶永忠	以下典史： 铅山。
叶肇	生广东石城。并见《谱》。
李文坎	由郡掾任典史。见《谱》，不详其地。
吴良玉	江西新建，南直隶清河。见《谱》。
吴善	

	外 秩
杨从礼	
刘邦望	
袁釜并典史，地缺。	
徐宗显以下教授：	
严州。	
应琼思南。见赵《志》，姚误作河南。	
徐沐武昌。	
叶良玉归德。	
留观金山卫。见《谱》。	
徐大观长沙。	
郑上新南昌。由本府训导升。见《郑谱》。	
吴伯兴温州。见《谱》。	
王家正金华。	
周祖濂福建邵武，由无为州学正升。	
邵际可金华。	
叶纯	
留让二人，据科贡题名碑补。	
吴绍宗	
张廷用	
徐藩	
范济	
应玠	
胡嘉言	
胡璠	

外 秩
李继皋
杨仲烈
应在之
周日新
徐子忠并教授，地缺。
按：姚《志》有徐霖，元州教授。即徐径畈先生，见《宋史》本传。明之徐霖止任训导，兹改正。
周祖濂以下学正：
无为州。
孔克忠福清州。
徐日性儋州，由永嘉教谕升任。
吴伯兴均州。见《谱》。
徐汉荆门州，由新昌教谕升。《新昌志》云：万历四年任。
张太和见陈《志·选举》。
叶茂元陈《志·叶良玉传》：学正。
徐克礼学正。见科贡题名碑。以上并未详其地。
孔思模以下教谕：
本县学。
王体崇虹县。
吴永全华。
龚贤松溪。
陆郁扬州。
徐朝翰常熟。
吴夔永春，调潍县。见赵《志》，姚作知县。
叶仕容山西陵川，训升谕。见《家谱》。

	外 秩
	<p>朱良铭永安，转公安。</p> <p>王继程崇安谕，丰城训。</p> <p>郑旻聊城谕，无为州训。</p> <p>陶洪建昌训，升临安谕。见赵《志》。</p> <p>徐大观宣城谕，沙县训。</p> <p>叶良玉安福。</p> <p>虞廷献桃源。</p> <p>叶继岳州、慈利、沣州谕，袁州、徽州、婺源训。</p> <p>王武永福谕，扬州训。</p> <p>余良模崇安。</p> <p>王家丞桐庐谕，德清训。</p> <p>叶孔福松阳谕，瑞安训。</p> <p>余敷中淳安。</p> <p>王家正金华谕，乌程训。</p> <p>王之屏歙县谕，宣城训。</p> <p>徐法大田谕，余杭训。</p> <p>叶日葵宣和。</p> <p>郑孔庠桐庐。</p> <p>窦若俚镇海。</p> <p>叶九秩遂昌。</p> <p>徐日性永嘉。</p> <p>徐一樵江山。并见姚《志》。</p> <p>叶绾分水。</p> <p>徐让远靖安谕，永安训。</p>

	外 秩
	余天麟寿昌。
	杜骥德东乡。
	郑冽乐平谕，浦城训。
	程远宿松。
	程班虹县谕，怀安卫训。
	吴伯兴仁和。以上八人，姚《志》并阙。
	李祯天顺间，教谕。见《谱》，地不详。
	刘道见科贡题名碑。
	童添
	董载
	徐希武
	周鑑旧作政。
	董诚
	戴贵训导升。
	吴璋一作玮。
	留观
	郑镛
	徐行
	张谅见科贡题名碑。
	徐继芳
	蔡春并同上。
	汪昊
	周麟
	郑之衡两司教铎，升翼城令，见姚《志·介节传》。

	外 秩
余釜	
余锐	
余遂良	
邹智	
邹春	
郑子麟	
王瀚	
王有光	
祝大生	
周嗣献	
胡一邠	
何乔遇并教谕。	
留文溟以下训导：	
本县学。	
蒋直一作植，本府学。	
徐恍东平。	
张瑛杨《志》作英。仪征。	
留英一作瑛，南平。见《谱》。	
叶韶闻清。	
应琼长乐。	
孔公望金坛。	
留曦运城。见《谱》。	
徐钟瑞一作端，南康。	
傅填苏州。	

	外 秩
	郑珍黟县。
	孔彦绶江浦。
	徐钟美仪征。
	叶宽禹城。
	徐洹庐陵。
	徐銮南雄。
	杨濬扬州。
	郑邦义海门。
	郑儒高淳。
	徐良翰休宁。
	王承鼎鄞县。
	周一貫寿昌。
	徐日乾天台。
	杨仲点象山。
	徐元达泰昌。
	王允淑临海。
	胡一斌浦江。
	毛廷臣开化。并见姚《志》。
	叶淳灵璧。
	程元锡南安。见《谱》。
	程先民广昌。
	郑上新南昌。
	徐英《新昌志》:万历九年训。以上五人,姚《志》并阙。
	毛诚

	外 秩
吕克谦	
邵同《谱》作南平教谕。	
金厚见科贡题名碑。	
周广山	
陈齐	
毛信见科贡题名碑。	
王诚	
宋建	
王希禹	
叶容	
金庸	
陆胜	
徐霖	
毛进	
孔公易	
陈璁	
张临	
徐琳	
朱明	
留璇	
徐联芳	
吴瑞	
胡琛	
陆奎	

	外 秩
余华	
王鑑	
董瀚	
徐钟春	
徐钟正	
徐毅	
祝昊	赵《志》作昊。
郑容	
马洪	
毛璿	
项思龙	
徐钦	
汪尧臣	
王启	
孔公慎	
邹莹	
徐性	
邹景龄	
叶荣	
刘希贤	
杜珠	姚误株。
杜豫	
王应麟	邑人。
徐钟秀	

	外 秩
	孔彦总 毛凤仪 周政 胡应奎 徐勋 毛淑 郑廷宾 冯亮 徐子鹏 姜应昌 郑一扬 徐元凯 胡一能 徐一樞并训导。
清	王登贽以下布政司属： 江西理问。 龚玲 祝万年 倪傅泮以上授职。 龚元礼以下道： 湖北汉黄德道。 余本敦巡视济宁漕务兼理河道。 费履升江西广饶九南道。 胡常亨分发江苏候补道。

外 秩
<p>徐敦蕃以下知府：</p> <p>安徽宁国、太平，云南澄江。</p> <p>张德容湖北安陆、荆州、湖南、岳州。</p> <p>叶如圭江西候补府，河口厘局总办。</p> <p>罗道源江苏候补府，牙厘局提调。</p> <p>胡应辰广东候补府。</p> <p>徐之凯以下知州：</p> <p>四川茂州、直隶州。</p> <p>孔兴周湖北沔阳州。</p> <p>徐泌广西全州。</p> <p>郑万年广西左州、贵州黔西州。</p> <p>张涟直隶保安州。《谱》载：陕西耀州。</p> <p>徐崇爌江苏泰州。</p> <p>王登贊云南新兴州。</p> <p>叶映堵云南南安州。</p> <p>余秉鑑云南云龙州。</p> <p>徐国章以下同知：</p> <p>甘肃平凉府。</p> <p>詹文焕山东东昌府。</p> <p>徐敦蕃安徽宁国府、江南同考官。</p> <p>张涟陕西西安府、五郎同知。</p> <p>范锡畴云南永北、直隶厅。</p> <p>胡应辰湖北候补同知、黄花涝厘差。</p> <p>刘鼎铭福建候补同知、漳州北溪厘差。</p> <p>蒋鸿翼以下通判：</p> <p>广东惠州。</p>

	外 秩
	徐敦蕃云南澄江。
	叶复华湖南通判，借署新宁知县。
	徐之凯以下推官：
	云南临安、湖广辰州。
	胡文蔚广东高州。
	叶枝扶以下州同知：
	直隶定州调遵化州。
	程致甘肃洮州卫。
	龚士策广西西隆州八达粮捕。
	王应玙
	郑琛
	徐墉
	王一贞
	龚之奇
	叶嘉会
	王有周
	叶藻
	龚之彦
	汪联琬
	汪致高以上考选。
	叶芝
	龚埏
	曾义祖
	崔元音

	外 秩
	吴世宸
	郑淳
	方奇鲸
	王荣钊
	崔显祖
	龚大鳌
	龚靖
	傅邦道
	傅炳凤
	王荣钧
	程光洁
	龚见龙
	崔珍祖
	林锦
	郑美棻
	郑济崇
	郑济荣
	郑济峩
	王登淇
	冯官澍
以上议叙并见姚《志》。	
徐常棟以下州判：	
河南睢州。	
叶映塘云南腾越州。	

	外 秩
	周濬陕西华州，历署知县。
	孔继潮河南许州。
	叶钦桂裁取。
	王大器考选。
	范崇凯原名崇泮，分发陕西。
	范登保
	詹嗣曾
	詹熙
	詹培并就职。
	华嘉祺
	陈一垣
	陈烜
	徐墉
	郑炎
	龚灿
	郑泰瞻
	程世泰
	以上议叙，并见姚《志》。
	徐之凯以下知县：
	湖南桂阳，甘肃安化、真宁。
	郑耀然陕西岐山。
	邵有声陕西肤施。
	徐翹江西新淦。
	徐钟溥直隶玉田。

外 秩
余正笏四川阆中。
周召陕西凤县、南郑、褒城。
胡曾直隶盐山。
徐国章福建龙溪。
叶淑衍江西德兴、湖北枝江。
周孙著河南新野。
徐钟煌直隶吴桥。
程玫甘肃泰安，又署安定。见《家谱》。
郑之衡山西翼城。
王宜宽四川彭水。
方恭愈山西山阴。
杨永昇河南叶县。
郑万年广西修仁、博白、临桂、永安、恭城、绥阳、桐梓。
徐崇熙直隶正定、丰润。
王荣统直隶肃宁、江西星子。
张涟陕西武功、保安、安康。
龚渭江西萍乡。
徐崇奎广东始兴、揭阳。
徐崇爌江苏阜宁、山阳、甘泉、东台。
范崇楷福建长乐、漳平、宁阳、安溪、宁德。
郑清彦原名灏，贵州永从，安徽宁国。
龚藻山西宁武、凤台。
龚士范江西永丰、万载。
朱缙安徽凤阳。

	外 秩
	王登贊江西广丰、新淦、临川、余干、泰和、安仁。
	范锡畴云南浪穹。
	范锡祺四川江油、永宁。
	周楠陕西沔县、城固、扶风、蒲城、泾阳、定边。
	汪学敭福建长汀、山西河津、沁源。
	杨文荣福建仙游、福鼎、屏南。
	龚时富福建上杭。
	刘一诚
	金九佐
	胡士序
	蔡延龄
	王荣绶
	龚元一并裁取。
	余时霖
	余时中并拣选。以上见姚《志》。
	郑桂金拔贡，朝考知县。
	余寿祺同上。
	郑桂东拣选知县，分发江苏。
	叶章焜湖北保升知县。
	蒋咏棠福建保升知县。
	张新保荐知县，分发江西，未到省。
	戈宝森优贡，朝考知县，分发江苏。
	王登淇以下盐大使：
	福建石马、福兴二场。

	外 秩
	余凤苞两淮丁溪场。
	杨文栋福建。
	王仁丰两淮。
	范锡畴提举司：
	云南琅井。
	曾鑑衡盐经历：
	广东。
	熊佐周按经历：
	江苏。
	徐灝以下府经历：
	扬州。
	龚士策广西南宁。
	吴契澄广信。
	龚士成
	范忻
	徐濬
	邹双润本姓叶。
	吴元相
	毕兆福
	王瑗并经历。见姚《志》。
	沈承志江宁殉难。
	吴之让分发江苏，历办巨差。
	叶仪吉以下府照磨：
	江西临江府樟树镇。
	叶训漠江西莲花厅。

外	秩
吴士元府知事：	
分苏，未补。	
周耀南以下府司狱：	
云南开化府。	
徐瑞徵云南腾越厅。	
朱缙以下县丞：	
江苏华亭。	
王允颖湖北石首。	
王登贊江西安仁。	
余秉钧河南祥符，补沈项。	
叶鸿政湖北利川。	
余奎章河南唐县。	
徐胪光江苏吴江。	
吴士俊江西庐陵。	
许福元江苏金坛。	
吴祥泰江苏上海。	
叶训谟江西余干。	
吴契澄江西贵溪。	
胡士序考选。	
徐敦卓考选。	
余兆甲	
胡尚祺并县丞。见姚《志》。	
郑惠贤分苏。	
章瑾分苏。	
吴应甲分江西。	

	外 秩
	<p>吴之瀚分苏。</p> <p>叶向荣由岁贡就职，分发安徽。</p> <p>徐学彰以下主簿：</p> <p>    江南河工。</p> <p>朱缙安徽凤阳。</p> <p>张源骥江苏宝山。</p> <p>叶一经见姚《志》。</p> <p>徐从盛以下巡检：</p> <p>    本县严剥。</p> <p>徐从锡福建建宁。</p> <p>叶元勋湖南宁乡。</p> <p>叶元杰本省海门。</p> <p>叶元杰安徽太平。</p> <p>龚元泮河南朱仙镇。</p> <p>叶如瑾湖北广济县龙坪司。</p> <p>袁瑞荃上海黄浦司。见《上海志》。</p> <p>余秉钺江南高淳。</p> <p>叶震蕃福建惠安县长兴司。</p> <p>吴祥泰苏州光福司、荆溪张渚司。</p> <p>王维垣</p> <p>王允劭并姚《志》，地不详。</p> <p>张景衡考取，分苏。</p> <p>华嘉祺以下典史：</p> <p>    云南昭安。</p> <p>徐敦耿安徽当涂、山西河津。</p>

	外 秩
	龚元泮河南汜水、虞城、宝丰。
	龚元杰广东大埔。
	余秉钺江西大庾、江苏昆山。
	余奎曜陕西武功、邵阳。
	吴锡三福建彰化。
	吴士俊江西大庾。
	范锡祺湖北江陵、巴东。
	叶训謨江西雩都。
	陈烈骏广西柳州。
	周亮工江苏崇明。
	童汝棠分苏。
	周之冕分苏。
	刘其桐考取候选。
	龚士贵
	袁士振并典史。见陈《志》。
	王大魁以下教授：
	处州府，湖训升。
	王允颖嘉兴府，上虞训升。
	王大观长沙府。
	张杰宁波府。
	周万基金华府。康熙己卯，福建同考官。
	徐应选广信府，兰溪训升。
	郑邦立宁波府，知县改。
	崔世霖处州府。

外 秩
<p>徐日敞以下学正：</p> <p>海宁州。</p> <p>王大魁安吉州。</p> <p>王世赏以下教谕：</p> <p>新城，顺治四年。见《新登志》。</p> <p>王允颖上虞谕，乐清训。</p> <p>周嗣恺萧山、新昌。</p> <p>龚之奇宣平。</p> <p>周孙著兰溪。</p> <p>陈大猷龙泉、宣平。</p> <p>郑士章余杭训，新城谕。</p> <p>郑一蛟象山谕，湖州训。</p> <p>龚鼎武康谕，湖府训。</p> <p>徐焕新嘉兴。</p> <p>郑光瑛景宁。</p> <p>陈濬生定海谕，杭州训。</p> <p>郑国栋嵊县。</p> <p>王荣统鄞县谕，嵊训升。</p> <p>程遥天台谕，分水训。</p> <p>徐崇爍丽水。《谱》作训。</p> <p>孔毓增宣平。</p> <p>叶日葵云和。</p> <p>郑娘萧山、东阳谕，昌化训。</p> <p>郑邦型新昌。</p>

	外 秩
	吴庆泰桐庐、仁和。
	黄德恺建德。
	詹世镛青田、庆元谕，新昌、云和训。
	陈锦椿临海。
	孔广升武义谕，象山、兰溪训。
	范兆珍仁和谕，永嘉训。
	程德贤归安，同治五年。见《归安志》。
	崔世霖松阳、泰顺。
	舒凤翙黄岩。
	傅商霖平湖、山阴。
	叶鸿政慈溪、仁和谕，金华训。
	叶如金象山谕，富阳训。
	叶希迪仁和。
	吴鹤龄丽水。见《谱》。
	徐守廉历署诸暨、义乌、黄岩、山阴等学。
	徐守章新城谕。
	汪张敦摄嵊、龙泉谕，安吉、新城训，补金华府训，升嘉兴谕。
	叶履芬武康。
	叶其薰
	王世耀
	蔡延龄
	郑之衡
	邹之瑛
	徐钟郎

外 秩
<p>徐大观</p> <p>叶闻性并见姚《志》，未详其地。</p> <p>郑桂堂恩贡，就职。</p> <p>徐应嶽以下训导：</p> <p style="padding-left: 2em;">青田。</p> <p>叶初芳象山。</p> <p>徐日隽天台。《谱》作谕。</p> <p>龚自淑嵊县。</p> <p>周万基缙云。</p> <p>徐从圣仙居。</p> <p>叶盛芳太平。</p> <p>周嗣谦昌化。</p> <p>周嗣鼎武康。</p> <p>吴宪龙泉。</p> <p>郑燕翼湖府。</p> <p>杜邦奎奉化。</p> <p>周万叶武康。</p> <p>徐日敞奉化。</p> <p>徐应台松阳。</p> <p>徐昌尹太平。</p> <p>缪祉象山。</p> <p>刘兆元浦江。</p> <p>周雯处州府。</p> <p>龚熹龙泉。</p>

	外 秩
	叶世荣新昌。《谱》作树荣。
	杜楷乐清。
	叶蕡嵊县。
	徐敦桢新昌。
	徐常纯武康。
	刘彭年建德。
	徐正仁乐清。
	王荣縗诸暨。
	郑起鹏宁波。
	余本忱安吉。
	余之栻姚作玉环。《两浙輶轩录补遗》作温州府。
	龚大锐嘉兴。
	孔继洙德清。
	龚岷建德、桐庐、慈溪、景宁。
	沈清桂景宁。
	余养杰寿昌、青田。
	祝燮泰顺。
	周佐乐清。
	周书天台、兰溪。
	范廷藻永嘉、杭府。
	徐德铭新昌。
	周世滋永康。
	周惠兰景宁。
	吴初保遂昌。见《谱》。

	外 秩
	徐作霖黄岩。
	王炳玉环。
	程德钟汤溪。
	王藩德清。
	王国珍镇海、泰顺。
	程大廉杭府、绍兴。
	龚应荣处州。
	郑安允庆元。
	王德玉永康。
	周德焜於潜。
	徐应召
	魏煥
	王世耀
	陈俊英
	郑贻孙
	王学礼
	叶帛徵
	徐桂瑜
	黄玉缙
	叶其份
	徐敦廉
	杨绍泰
	徐钟嵘
	杨四隽

	外 秩
	<p>徐应玉</p> <p>徐应丰</p> <p>陈圣政</p> <p>周鸿</p> <p>郑孝敏</p> <p>徐钟周</p> <p>杨之球</p> <p>王瑶考选。</p> <p>陈肇嘉</p> <p>王召</p> <p>王登贤并裁取。</p> <p>范崇纯</p> <p>詹日耀并试用。</p> <p>方骥</p> <p>何绍晏注册,即补。</p>
民国	<p>余治陕西烟酒局长,察哈尔财政厅长,兴和道尹。</p> <p>余屏以下县知事:</p> <p>  陕西城固。治兄。</p> <p>孔庆仪浙江太平。</p> <p>孔宪洛考取,分闽,历任古田、东山、云霄。</p> <p>张景衡考取,分苏,任沐阳。</p> <p>刘仁裕考取,分苏,任扬中。</p> <p>郑永禧考取,分鄂,任恩施。</p> <p>张源骥保免,奉天怀德。</p>

	外 秩
	<p>张丙蔚保免，任四川巴县、直隶滦城、河南登封。</p> <p>王国贤保免，代理直隶香河。</p> <p>杨文荣保免，江西石城。</p> <p>汪张黻简任职，分苏</p> <p>余时登以下普通文官：</p> <p>    考取县佐，分浙。</p> <p>范兆春考取，分浙。</p> <p>孔宪葵以下警佐：</p> <p>    本县东阳、余杭、开化。</p> <p>祝仁德本城。</p> <p>徐楷本城、嵊县、遂安。</p> <p>郑吉士杜泽、龛山、长河、水亭。</p> <p>余廷栋龙游。</p> <p>龚溥龙游。</p> <p>吴荣锴诸暨、嘉兴。</p> <p>叶绍良武义。</p> <p>朱国正昌化、遂昌、金华。</p> <p>徐润祥省会二区署员</p> <p>王忠鼎青田、海口。</p> <p>吴荣炳以下司法官：</p> <p>    直隶高等审判厅推事、检察厅检察长。</p> <p>王绍穀直隶地方厅推事。</p> <p>王国贤杭州地方厅推事，直隶高等厅书记官长。</p> <p>余时登嘉禾县法院推事。</p>

	外 秩
	<p>魏世杰以下管狱员：</p> <p>长兴、金华，调北京看守所长。</p> <p>程庭芳龙泉、新昌。</p> <p>王忠鼎天台、德清。</p> <p>王观照武义、龙泉。</p> <p>徐永年平阳、青田。</p> <p>詹虬来江山、松阳、常山、平阳。</p> <p>余时贵平阳。</p> <p>熊佑周浦江。</p> <p>熊作周常山。</p> <p>熊思彭江苏东海。</p> <p>胡友梅江苏沐阳。</p> <p>方光溥直隶南皮。</p> <p>汪启贤湖北黄安。</p> <p>王黄华湖南扶沟。</p> <p>徐祖慈龙游。</p> <p>吴守澄开化。</p>

	武 秩
晋	毛璩都督益、梁、秦、凉、宁五州军事。
元	沈忠显大德间，百户。从征云南，阵亡。
明	<p>李成勋总兵：</p> <p>世袭处州卫指挥同知，历升操捕都司、南北游击参将，改山东备倭，晋秩副总兵。寻推镇守山东总兵官，移镇贵州江左军都督金事总兵官。</p>

	武 秩
	<p>金世昌副总兵：</p> <p>崇祯间，镇守广信、饶州，调镇弋阳、贵溪。</p> <p>胡应求衢协镇守。见《志·选举》。</p> <p>徐日舜旧志：副将。</p> <p>李大生惠潮参将。</p> <p>王永善杭州水师游击。</p> <p>徐应泰山东都司。</p> <p>金应元旧志：守备。</p> <p>叶大道永乐、宣德间，守备。见《城南叶氏谱》。</p> <p>郑启元崇祯间，上航卫守备。见《中河郑氏谱》。</p>
清	<p>叶炳南以下总镇：</p> <p>道光二十二年，以功授处州总兵，歿于任。</p> <p>叶圣言同治初，署处州镇。</p> <p>徐飞熊护处州镇，战歿。</p> <p>徐芳衢镇中营游击、护衢总镇。</p> <p>陈玉麒记名提督：</p> <p>福建汀州镇。</p> <p>胡应秋以下协镇：</p> <p>衢州协。</p> <p>邵维真地未详。</p> <p>叶凤高平阳协。</p> <p>叶圣言乐清协。</p> <p>夏必成云南协。</p> <p>叶炳魁金华协。</p>

	武 秩
	胡应秋以下参将：
	贵州。
	陈运泰玉环。
	叶炳南乍浦。
	徐从钦功加参将。
	郭成贵
	徐芳并同前。
	舒德真署洞山。
	胡坛以下游击：
	四川重庆。    姚《志》坛误作堰。
	陈有仓宁波后营。
	郑大勋广东提标。
	毛大经云南殉难。
	叶炳南浙提标右营。
	叶凤高衡枫岭营、福建漳州云霄营。
	徐飞熊平阳协中军。
	徐芳衡镇中营。
	张世忠处州右营。
	傅鸿禧衡枫岭营。
	胡绍鼎以下都司：
	江西掌印。
	龚大鑣湖北黄州。
	胡起龙福建泉州城守营。
	郑世伟福建罗源。

	武 秩
	郑嵩宁波。
	李之栋直隶宣化镇。
	蒋廷勋江西瑞州。
	刘元浩温州大荆营。
	李大恺贵州安顺城守营。
	吴学斓姚《志》，斓误作澜。
	徐应泰姚《志》，并未详其地。
	叶凤高平阳协。
	叶炳南温州磐石营。
	程梦熊同上。
	郑兆荣温州。
	徐飞熊平阳协右营。
	徐芳绍兴，调嘉兴海盐。
	叶炳魁余姚大嵒。
	张良佐以下守备：
	湖北施州。见《恩施县志》。
	徐学礼衢协。
	吴学斌陕西榆林营。
	李胜龙宁波中营。
	叶蔚温州大荆营。
	周学成宁波中营。
	徐之杰由进士授职。
	徐崇铨功加守备。
	夏必成衢州右营。

	武 秩
	郑嵩江西吉安营。姚《志》误安吉。
	何文惺淮安左营。
	徐敦摸广东惠州协左营。
	刘方佐福建浦城。
	龚大鑣河南汝宁营。姚误湖北，依《谱》正。
	胡起龙福建云霄营。
	刘元浩温州大荆营。
	李之栋台州右营。
	蒋廷勋长沙右营。
	李大恺台州左营。
	叶爌镇海。·
	吴魁宁波后营。
	陈运泰乍浦水师左营。
	陈爌贵州镇远。
	吉元志宁海。
	李天禄浙江提标。
	李文陞安徽宁国。
	叶尧昌由衡镇千总署兰溪、常山。今补。
	陈得福台州。
	徐升姚《志》，未详其地。
	李安国候推。
	朱宪泰一名恪年。地未详。以上见姚《志》。
	叶信乾隆间，由衡镇右营千总署。
	叶景高同前。

	武 秩
	王卓山严协右营。
	王酬温州城守营。
	余尚勇严协守备。
	余尚志直隶景州营。
	叶凤高浙抚标右营。
	叶炳南浙提标中军。
	叶允扶严州守备。咸丰阵亡。见《昼锦叶氏谱》。
	徐勇蓝翎宁波守备。阵亡。
	徐琅蓝翎金华协守备。
	徐殿甲由严州右营千总署衢守备。阵亡。
	徐飞熊处州中营。
	徐飞虎由衢镇千总署。
	叶炳魁由金华左营千总署。
	谭作友温州中军，字丽泉。见播绅。
	叶凤魁宁海。
	舒德真湄州营。
	叶序伦衢镇右营。
	叶序清由衢镇千总升。
	吴经潮衢镇右营。
	龚元骧衢城守营千总署右营守备。
	王德贤衢镇中营千总署三营守备。
	周宝源衢城守营千总署严协守备。
	附：卫所：
	龚燦以下守备：
	江南新安卫。

	武 秩
	<p>龚大鋗</p> <p>王登江并授职。</p> <p>周元恺济宁卫。今补。</p> <p>吴士绎以下千总：</p> <p style="padding-left: 2em;">江南常淮卫。姚《志》误王姓。</p> <p>叶正彪同前。</p> <p>陈烈教授。</p>
	<p>郑安邦</p> <p>郑安国</p> <p>倪大雄</p> <p>郑奠邦</p> <p>方瀛以上授职。见姚《志》。</p> <p>吴亨达严州卫。</p> <p>徐登荣江南徐州卫。</p> <p>徐均</p> <p>楼彪并教授。</p>
民国	<p>李耀堂团附。</p> <p>张云中尉副官。</p>

《衢县志》卷十三

# 选举志

七目

文科表

武科表

明经表

荐辟表

国学表附：捐贡 吏材

乡选表

游学毕业表

《衡县志》卷十三

县人郑永禧纂

## 选举志

自三代后，乡举里选之法，一变而为科目抡才，士之群趋于文艺者，藉此为进身之阶。陈《志》称衡先达赵、楼二公皆起家名进士，其子孙之蕃昌，簪缨世胄，数百年不绝。杨《志》所以有世科之表也。然其他族多有蝉联而鹊起者，则受二公之陶淑至溥矣。有唐之世，无其盛也。明、清两朝，八股取士。方孟旋、叶敬君两先生，实西安文派之巨子，占巍科者，无不取则焉。今科举罢，学校兴，士子不以科名贵，而源流所自，不能无所承也。至于文章经济，炫耀史册，其烂然有光者，虽不尽出一途，孰不从读书中得来者乎？

### 唐文科

《文献通考》：唐制，取士之科，多因隋旧。然其大要有三：由学馆者，曰生徒；由州县者，曰乡贡，皆升于有司而进退之；其天子自诏者，曰制举，所以待非常之才焉。举选不繇学馆之乡贡，皆怀牒自列于州县试，已由户部集阅，而关于考功员外郎试之。开元二十四年，以员外郎望轻，遂移贡举于礼部，以侍郎主之。礼部选士自

此始。前志无唐代科目，兹于世科表得二人，遂首录之。

高祖朝	陈叔达《世科表》：唐武德进士，封宁邦侯，墓在府城。 按：信安侯，《陈氏谱》云宁邦侯，乃晋代加赠陈弘。叔达，弘之十世孙也，官至礼部尚书。杨《志》有误。余详《祠墓》下。
太宗朝	陈元仁贞观进士。叔达子。
宪宗元和中	邵氏七子按：宋郑若《登邵家冈读书台遗址》诗序云：唐元和中，邵庆源七子皆高第。语本出郡志。今其子名无所表见，盖唐代之科名佚之久矣。

## 宋文科

《宋史·选举志》：宋之科目，进士得人为盛。凡进士试诗、赋、论各一首，策五道，帖《论语》十帖，对《春秋》或《礼记》墨义十条。太平兴国八年，进士免帖经。明年，复帖经，始分三甲。神宗笃意经学，改法，罢诗、赋、帖经、墨义，各专治一经，兼《论语》、《孟子》，增进士额。元祐初，尚书省请复诗、赋，与经义兼行，以四场通定高下，而取解额中分之。依赵《志》列表，增补者说明。

	甲 科	乡 荐
雍熙二年梁灏榜	徐泌忠壮曾祖，起居舍人。	
端拱元年状元	程宿赵《志》：按《宋志》状元载，西安城内旧有三状元坊。杨《志》两见，西省元、开化状元，殊非。兹仍其旧。	
淳化三年孙何榜	赵湘清献祖，庐江尉。	

	甲 科	乡 荐
大中祥符元年姚晔榜	慎锜知礼孙。举孝廉，登科。据《慎氏谱》补。	
五年徐彞榜	汪隨陈《志》作瀆，误。黎州守。有《传》。	
八年蔡齐榜	冯天锡杨《志》冯误马。	
天禧三年王整榜	蒋炳	
天圣二年宋郊榜	陈审言赵《志》未载，姚据《通志》补。 慎镛知湖州。据《慎氏谱》补。	
景祐二年张唐卿榜	赵抃参知政事，谥清献。 刘牧屯田员外郎。 江溥《谱》作绍兴十五年。 马日宣 卢成范	
四年吕濬榜	蔡仲偃赵于是科作景祐四年，陈《志》同。按：是年十一月始改元宝元。姚依杨《志》遽改作宝元元年，非。	
庆历二年杨寘榜	郑琰姚作炎，因讳改。 毛维瞻《通志》作江山人。《尚友录》作西安。	
六年贾黯榜	徐迈忠壮祖，部郎。 蔡元康 梁蕴	

	甲 科	乡 荐
皇祐元年冯京榜	盛约 蒋光庭《通志》作廷。 毛祖平翰林院直学士。 徐晋卿赵《志》,《科举》列西安,《忠义》列开化;《通志》又作金华人。兹据朱彝尊《修学宫记》收入。	徐量忠壮父。
五年郑獬榜	陈晃 曹子文	
嘉祐二年章衡榜	戴洙 徐庠 郑晋 郑旭后改名照,疑即郑昭。 赵扬清献弟。有《传》。杨《志》作杨,误。	
四年刘沆榜	刘载正夫父,检正。	
八年许将榜	赵屹赵《志》作玘,云括之侄。兹依《通志》正作屹。	
治平二年彭汝砺榜	马隆	
熙宁三年叶祖洽榜	陈沐 冯宰	
六年余中榜	赵屼赵《志》作屹,《通志》同。清献子。《宋史》作屹。侍御史,太仆少卿。	

	甲 科	乡 荐
	何恭 徐逢 樊忱  马防《通志》无马防，有吕防，龙游人。	
九年徐铎榜	马瑢赵《志》在上科，龙游人。万历壬子《龙游志》作马容。姚据《通志》列入西安，疑误。	
元丰二年时彦榜	留怙原名恺。刑部郎。  汪允师姚据《世科表》补，附师忠传，但称郡守，不云部郎。	
五年黄裳榜	徐涛  蔡汉模《通志》作谋。  毛注《通志》无，赵《志》作江山，依《宋史》改。  吴恕赵《志》无，姚据《世科表》补，著从父。	
八年焦蹈榜	刘光  戴安仁  周耸  刘正夫少宰。	
元祐三年李常宁榜	刘中夫  吴著恕侄。  马驭	

	甲 科	乡 荐
六年马涓榜	梁秉文 郑廷宾赵《志》廷作庭，姚依《通志》改。《谱》亦作廷，与廷宪兄弟行。	
绍圣元年毕渐榜	方铎 方铛 袁之邵	
四年何昌言榜	何充恭弟。 郑执义 沈禋 徐浩 毛奎毛友弟。闽漕。《世科表》误绍兴四年，但友榜尚在后十年，不知何也。 郑弸中 张仲卿	
元符三年李釜榜	徐徽言都御史。按：即忠壮公，复赐武举绝伦及第。 方锐 马天民 樊灝鄱阳守。有《传》。 汪师心后改师忠。 徐敷言侍御史。	

	甲 科	乡 荐
崇宁二年霍端友榜	何景仁 留阮 何亮 虞用	
五年蔡嶷榜	徐择言赵、陈诸《志》均无其人,《通志》亦不载。姚补列,今据《徐谱》从之。	
大观元年李邦彦榜	虞天骥《通志》云改名骥,上舍释褐,侍郎。按:姚《志·文苑传》,以虞为卢,谓即卢襄。但《选举》别列卢襄,疑误。 冯熙载资政殿学士。 毛友翰林学士。	
三年贾安宅榜	叶定国 徐炳《通志》作炳。 王弸中《通志》无其人,疑郑弸中误。 郑执邦杨《志》脱邦字,《通志》承其误,《世科表》云执义弟。	
四年张纲榜	李唐俊杨《志》作唐卿,云《登科记》不载。是年进士亦无状元张纲。	
政和五年何東榜	梁弁御史。有《传》。 汪待举括苍守。有《传》。 赵需汴孙,右司谏。 冯熙绩《通志》无熙字。 郑扬远改名朴,侍郎。 陈潜	

	甲 科	乡 荐
重和元年王昂榜	舒清国学士。有《传》。 徐时彦观察使。 汪钊	
旧误大观八年王嘉榜	沈德友 吴槩《孝友传》。 徐必达诸《志》无，姚补。 郑廷宪《崇德郑氏谱》作宣和六年王昂榜进士，年误。官司法参军。子执恭，孙仲炜，俱进士，旧失载。	
宣和三年何渢榜	刘毅本赵《志》作刘，亦见《留氏谱》。 杨《志》云：是年，有进士刘邦毅。或即是人。 徐嘉言忠壮弟，海盐令。 陈远 吴斐《通志》作吴槩，前吴槩作概。 徐咸	
六年沈晦榜	徐囏侍御史。有《传》。 舒允升 徐文中全州守。有《传》。 沈直方 卢景文	徐焱 徐森俱忠壮子侄。见《徐氏谱》。
建炎二年李易榜	沈裴刘翻杨《志》裴误槩。 顾起莘 徐俊卿 何先觉	

	甲 科	乡 荐
绍兴二年张大成榜	蔡圻汉模子。 郑仲熊端明殿学士、参知政事。 徐昌国 徐时举 留畧赵《志》无，姚依《世科表》补。	
五年汪应辰榜	马亮姚注：通判。实误。考《宋史》有《马亮传》，庐州人。太宗时，通判常州。后知杭州。别是一人。	
八年黄公度榜	徐廷献 蔡埙赵、陈、杨诸《志》均作埙，姚依《通志》改作埙。	
十二年陈诚之榜	刘天民 徐宅 何昌孺 赵义荣 何甫《通志》云：工部侍郎。按：乾道中，有郡守何甫。赵《志》云执中孙，执中尝寓衡，故占籍于此。	
十五年刘章榜	盛崇 蔡椿赵《志》，《表》作春，《孝行传》作椿。 周秉心	
十八年王佐榜	王润知府。 留畧赵、陈《志》俱不载，姚《志》补此二人。	

	甲 科	乡 荐
二十一年赵逵榜	郑大一 沈尧夫赵《志》有《传》。 徐梓	
二十四年张孝祥榜	郑时中《郑氏谱》作时申。 郑镇赵云时中从弟，陈与杨两《志》俱作缜，疑因讳改。 祝櫟赵作怀。今考《宝山祝氏谱》，正作櫟。 吴燠赵云父槩，右史。《通志》作左史。	
二十七年王十朋榜	刘颖宝谟阁直学士。 徐巘姚《志》：一名璿。 周秉文 留清卿怙孙，荐审计院。 王兴姚云学士。 何偁《通志》脱。	
三十年梁克家榜	徐传陈《志》作博，姚依《通志》作傅。 茲仍赵《志》作传。 陈睂 陆律 徐廷圭 祝櫟櫟弟。	
隆兴元年木待问榜	袁采监登闻院、知县。有《传》。 张杰	

	甲 科	乡 荐
乾道二年萧国梁榜	<p>徐大忠赵云父姁。</p> <p>祝禹圭《谱》名桂，亦娘弟。有《传》。</p> <p>沈尧俞</p> <p>郑绅</p> <p>李秩</p> <p>江至德赵、陈两《志》均脱，姚依《通志》补。</p> <p>徐知柔杨《志》作知勇，疑误。</p> <p>杨憲赵、陈及《通志》均作赵憲。姚作杨，云梦发父。</p> <p>翁孟麟《通志》作邻，为是。</p>	
五年郑侨榜	郑仲炜诸《志》皆无，姚《志》补。按：仲炜祖廷宪，父执恭，皆进士，旧失载。	
八年黄定榜	留寅怙侄。	
淳熙二年詹驥榜	<p>留浩寅侄。</p> <p>张汝明</p> <p>祝枋《通志》作材。</p> <p>袁时举</p> <p>徐烈</p> <p>毛宪中书舍人、知温州，状元毛自知父。</p>	

	甲 科	乡 荐
五年姚颖榜	徐翊廷献子。知府。 陈烜陈《志》作暄。通判。有《传》。 祝林赵作秩，杨作休。 江芹亦见开化下，《通志》作西安。 徐盈	
八年黄由榜	何迈	
十一年卫泾榜	徐士禹 郑昉 留本	
十四年王容榜	沈訢《通志》作忱。 吴蕴中 李楠	
绍熙元年余复榜	郑若上舍。 陈汝 祝洙檀侄。 王庭芝姚《志》：知府。 方公辅姚《志》云上舍武举。姚依《通志》改入四年陈亮榜。知州。	
四年陈亮榜	徐士表士禹弟。 徐赫宅从子。 周珏	
庆元元年邹应龙榜	叶章侍讲。 徐叙川杨《志》作淑，大忠子。 徐岳	

	甲 科	乡 荐
二年周虎榜	留谦姚据《世科表》补入。	
五年曾从龙榜	桂昭然 赵大中赵《志》云汴之裔孙。各志并作中。姚据《宁波志》改作忠。 毛懸宪弟。	
嘉泰二年傅行简榜	徐总杨《志》引《龙游志》，同名之徐总，系在宣和二年，相距九十年。	
开禧元年毛自知榜	毛自知宪子。状元。 吴好古据《上街吴谱》补。 袁景清采子。 吴莹中蕴中弟。 吴师鲁燠从侄。 袁伟采从弟。	
嘉定元年郑自诚榜	汪松老赵《志》云：武举登第。 吴世兴《世科表》：师鲁子。 李楙 徐夙赵《志》龙游下注：本西安人。	
四年赵建大榜	吴垕槩孙。 郑名卿照裔。 徐亨 杨梦发	

	甲 科	乡 荐
七年袁甫榜	徐介时彦曾孙。 祝有闻棣侄。	
十年吴潜榜	沈梦谦 张渭叟 <small>陈《志》</small> 叟误叟。上舍。 徐开	
十三年刘渭榜	留张迈 何处怙赵作怙。《通志》同科二人， 怙，西安；怙，龙泉。或云怙实即怙， 执中之后，龙泉原籍也。 徐叔刚诸《志》未见，姚补。	
宝庆二年王会龙榜	徐以道姚据杨《志》补。	叶营善姚作荣 善。《世科表》 云：绍定二年， 浙省解元。王 宫讲官。
淳祐元年徐俨夫榜	徐囊赵《志》与徐霖并列此科，《通志》 有霖无囊，杨《志》单列囊于此。依 《登科记》，霖入下科。	郑时瀛赵作 瀛，嘉熙四年乡 荐。姚《志》瀛 作瀛。  留梦炎 徐霖陈《志》，二 人，淳祐癸卯同 科乡荐。按：癸 卯，系在三年。

	甲 科	乡 荐
四年留梦炎榜	留梦炎  徐霖按：《登科记》：是年，省元徐霖，状元留梦炎。陈以霖为元年会元，梦炎三年状元。非是。  郑尚德姚据《崇德郑氏谱》补。	
十年方逢辰榜	王椿尚书，姚补。	
宝祐三年徐用儒榜	留梦发《登科记》无是科，《通志》有，赵《志》列此，《世科表》同。	郑得龙赵《志》： 景定五年，乡荐。 姚《志》得作德。
咸淳四年陈文龙榜	留元宝姚据《世科表》补。	
科分无考进士	慎知礼太平兴国年间。  蔡望咸平间。见陈《志·人物传》。  慎从吉大中祥符年间。  吴自强《世科表》作庆历九年学士。 按：庆历无九年，科分难定。  留观德乾道年。  留佑贤观德子。户部郎。  留应祖佑贤子。闻宪，并见《世科表》，不著科分。  梁摠亦作總，弁子。侍郎。淳熙年进士，无科。	

	甲 科	乡 荐
	<p>梁纶德子。成都宪。</p> <p>梁竑纶弟。融守。</p> <p>何新之编修。约在淳熙间。以下并年代无考。</p> <p>徐庸泌子。学士。</p> <p>徐棟徽言后。涪守。</p> <p>陈矩之畧父。姚作知之。</p> <p>陈璧畧侄。并《世科表》。</p> <p>徐諲文中孙。南剑守。</p> <p>叶端衡义问子。九江守。</p> <p>刘洙</p> <p>刘沂</p> <p>刘汝均刘牧子。进士。见王安石《刘牧墓志铭》。</p> <p>徐环忠壮六世孙。进士。官扬州司户参军。见黄溍撰其子《徐沂之墓志铭》。</p> <p>赵景文清献裔。主簿。见《兰溪县志》。</p> <p>按:《世科表》载:南门楼族,科目甚盛。但查《通志》均著鄞籍,且不完全。依姚《志》,从删。</p>	

## 元文科

《元史·选举志》:至元十一年,议行科举,分蒙古进士科及汉

人进士科。皇庆三年八月，诏天下郡县兴其贤者、能者充赋有司。次年二月，会试京师。汉人、南人，第一场，经疑二问经义一道；第二场，古赋表章内科一道；第三场，策一道。蒙古、色目人作一榜，汉人、南人作一榜。康熙《府志》：延祐二年，始开科取士，每三岁一举，乡试以寅、申、巳、亥年八月，会试以子、午、卯、酉年二月。文并同。御试则在会试之年三月，策一道。分左、右榜进士。汉人、南人为左，蒙古、色目人为右。

	进士		举人副榜附
		大德十年 丙午	戴俞赵《志》载此无科分。《通志》列大德年。杨《志》作十年。 李叟《石屏李谱》：大德年任教谕。
		延祐元年 甲寅	孔涛《通志》列此科， 赵《志》不载。
延祐二年 张起岩榜	郑用文用和弟，舍人。 吴玉允廉访使。此二人姚补。	三年丙辰	郑用和《通志》列此科。赵作戊午，是在六年，与进士科分不合。
五年霍希贤榜	郑用和封荣阳侯。 按：杨《志·世科表》仅有用和举人，而无用文。		

	进士		举人副榜附
泰定元年 张益榜	孔涛知事、判官。赵、陈两《志》仅载此一科，尚有邹灿同榜，似误。余皆姚补。		
至顺元年 王文晔榜	邹灿大学士。姚依《通志》列在此科。 郑元哲鄱阳主簿，殉节。		
		至元三年 丁丑	郑汝厚《通志》列此科。赵作乙卯，是在五年。
至正二年 陈祖仁榜	郑元辅宣慰使。二郑并姚补，科分不明，姑仍之。	至正十三年癸巳	徐福依《通志》补列，赵、陈《志》未见。

按：元代科名多不可考，前志所载讹脱滋甚，今年湮世远，补正良难，亦聊存其旧而已，识者谅之。

## 明文科

《明会典》：洪武十七年，颁行科举成式，凡三年大比。第一场，试四书义三道，经义四道；第二场，试论一道，判语五条，诏诰表内科一道；第三场，试时务策五道。康熙《府志》：凡三年大比。乡试，以子、午、卯、酉年八月；会试，以辰、戌、丑、未年二月，文同乡试。殿试以会试之年三月，有升降无去取，其第一甲曰进士及第，第二甲曰进士出身，第三甲曰同进士出身。

	进士		举人副榜附
		洪武十七年甲子	胡彦成见科贡题名碑，乙丑进士。
洪武乙丑 丁显榜	胡彦成见明本《进士题名碑录》。亦见商辂《县学科贡题名碑》，作洪武二十七年举人。疑误衍二字。 任知县。赵《志》、陈《志》皆无，今补。		
		二十三年 庚午	林保七十四名，甲戌进士。 陈伯颜辛未进士，《常山志》作常山人。
洪武辛未 许观榜	陈伯颜见明本《进士题名碑录》。《常山志》引此，附注：西安人。赵《志》作常山人，官御史。		
		二十六年 癸酉	徐寅赵《志》作寅。 陈、姚均作演。杨《志》，《选举》作寅，《世科表》作演；《通志》列有徐演，在丙子科，江山籍。 胡玄甲戌进士。

	进士		举人副榜附
洪武甲戌 张信榜	胡玄 赵《志》作玄,《通志》作元。  林保 赵《志》无,陈《志》有。  甄谊 见姚《志》,科分无考。《明进士题名碑录》未载,赵《志》均无。知府。有《传》。		
		二十九年 丙子	彭成 赵《志》:教授。 《通志》作城。  杨善乐  方思得  管余庆 陈《志》作庆余。
		建文元年 己卯	冯添十九名。科贡题名碑列洪武二十九年。户科给事中。
建文	韩永 见姚《志》,科分无考。赵《志》、陈《志》均未载。给事中。有《传》。查:《明进士题名碑录》,建文仅二年一科,无韩永名,疑以《明史》同附《王度传》陈继之为建文二年进士,涉误。		

	进士		举人副榜附
		<p>永乐元年癸未，上年登极，未暇举行乡试，故于是年开科。</p>	<p>滕友三十一名。甲申进士。</p> <p>叶贞七十三名。甲申进士。</p> <p>何均平八十名。甲申进士。</p> <p>余贞八十三名。甲申进士。</p> <p>陈善八十五名。甲申进士。</p> <p>余能一百九名。</p> <p>毛诚一百十六名。训导。</p> <p>陈《志》是科尚有叶祥，《通志》作开化，误列。</p> <p>按：赵《志》分列洪武壬午、永乐甲申两科。壬午三人：一、胡姓，缺名；一、王诚，训导，即毛诚；一、余能。余入甲申科。兹依姚《志》。</p>

	进士		举人副榜附
永乐甲申 曾棨榜	<p>滕友盐运司提举。科贡题名碑作盐课司。</p> <p>余贞给事中。《谱》作真。</p> <p>何均平刑部郎中。</p> <p>叶贞科贡题名碑作真。都宪坊、墓志碑均作贞，赵、陈诸《志》皆同。江西按察使、都御史。有《传》。</p> <p>陈善御史。</p>		
		<p>永乐三年 乙酉</p>	<p>祝和二十三名。丙戌进士。</p> <p>蒋士吉七十九名。县丞。</p> <p>郑辰一百二十八名。丙戌进士。</p> <p>祝勍百四十九名。知县。</p>
永乐丙戌 林环榜	<p>郑辰兵部侍郎。有《传》。</p> <p>祝和衡阳知县。</p>		

进士		举人副榜附
	六年戊子	<p>邵同三名。训导。</p> <p>童添四十九名。教谕。</p> <p>李祥八十一名。壬辰进士。赵《志》误列甲午科。《通志》作庠，与墓碑同。</p> <p>郑道延九十二名。经历。</p>
	九年辛卯	<p>余士荣十名。《通志》同。赵《志》姓作金。据《破石余氏谱》，实余姓。</p> <p>卢厚鼎十七名。科贡题名牌厚作原。</p> <p>金厚四十六名。科贡题名牌：任训导。</p> <p>徐永五十六名。赵载甲午科，乙未进士。</p> <p>汪道八十七名。县丞。</p> <p>姚多一百三名。</p> <p>余敬一百八名。赵载甲午科，乙未进士。</p> <p>徐训十四名。《通志》作鄞人。照赵《志》列。</p>

	进士		举人副榜附
永乐壬辰 马铎榜	李祥《通志》,《乡榜》 作庠。清流知县。		
		十二年甲 午	毛瑾四十八名。 周广山七十五名。 训导。
永乐乙未 陈循榜	余敬御史。有《传》。 徐永御史。 徐训副使。《通志》: 鄞人。赵《志》列《乡 榜》下。		
		十五年丁 酉	王茂成九名。 徐升十一名。科贡题 名碑作昇。与两方、 汪、叶、祝并列，十八 年。 方贤二十六名。主 事。 汪宾三十九名。科贡 题名碑：任监丞。 方添七十六名。 郑辛八十六名。 金宁百三名。知事。 赵《志》姓作余。 叶纯百十三名。科贡 题名碑：任教授。

	进士		举人副榜附
			<p>董载百三十二名。教谕。</p> <p>祝协百四十一名。知县。</p> <p>徐寿百七十五名。知县。赵《志》无。</p>
	十八年庚子		<p>留志得二十五名。</p> <p>余文百十三名。</p> <p>华怡百十五名。《通志》姓作叶。</p> <p>汪恕百二十八名。科貢題名碑列二十二年。</p> <p>徐同善百六十六名。 陈作善同，姚作善因。 此依赵《志》。</p> <p>陈齐百六十七名。訓導。</p> <p>柴起敬见陈《志》。 《通志》云：外省中式。 西安人。按：赵《志》是科有江山柴起政，未见《通志》，疑即此人。</p>

	进士		举人副榜附
		二十一年 癸卯	叶普百七十七名。赵《志》在下科。科贡题名牌列正统□年。
		宣德元年 丙午	余荣二十名。赵《志》：庚子科开化有余荣，不知是一人否。 叶晋 毛汝质此二人，《通志》皆列外省中式。 但考赵《志》，叶普、毛汝质并在此科，疑普、晋一人。
		七年壬午	邓准十八名。
		正统六年 辛酉	杨仪应天中式。邓州知州。
		九年甲子	留让十五名。科贡题名牌列景泰元年。任教授。 陈襄见陈《志》。《通志》作常山人，山东中式。给事中。

	进士		举人副榜附
		景泰元年 庚午	张谅百十八名。杨《志》作淳。科贡题名碑：任教谕。 叶元百十五名。科贡题名碑，与张谅并列，正统□年。 徐毅百六十七名。甲戌进士。 徐缙芳见陈《志》。杨《志》、《通志》无。
		四年癸酉	郑瑞百十九名。甲戌进士。赵《志》作正统辛酉乡榜。
景泰甲戌 孙贤榜	徐毅御史。 郑瑞给事中。 徐缙芳见陈《志》。 杨《志》、《通志》无。 按：姚《志》是科尚有孔公恂少卿，各志均未见，亦不知乡举何科。		

	进士		举人副榜附
		七年丙子	胡昱八名。 郑瑄四十六名。知县。 余庆九十三名。通判。 按：赵《志》，张谅、叶元、余庆、徐毅、胡昱、郑瑄六人，同在丙子一科。
		天顺三年 己卯	吴珍五十六名。 杨昊六十五名。推官。杨《志》作灵。 徐继芳八十四名。长史。 魏政山西中式。壬辰进士。
		六年壬午	余英五十五名。依陈《志》列此，与《通志》同。丙戌进士。杨《志》作成化辛卯科，与会榜不合。
成化丙戌 维伦榜	余英太平知府。翻刻 《通志》姓误徐。		

	进士		举人副榜附
		成化四年 戊子	项昇六十六名。推官。赵列吴珍同科。
		七年辛卯	周洪二十一名。庚戌进士。 周玘三十一名。 范衢四十四名。知县。
成化壬辰 吴宽榜	魏政赵《志》列此。陈《志》丙戌罗伦榜，《通志》两科并载之。		
		十三年丁酉	徐绍芳六十名。推官。 王敞九十八名。《名贤录》：以诗经举，联捷进士。陈《志》作敞，姚《志》同。
成化戊戌 曾彦榜	杜整见杨《志》杜泽侨寓传。乡榜无考。		
成化辛丑 王华榜	王敞《名贤录》：会试第三人。兵部尚书。 有《传》。 韩福成化科分。姚《志》据《万姓统谱》载，巡抚。有《传》。赵《志》、陈《志》均未见。		

	进士		举人副榜附
		弘治二年己酉	徐璁三十名。丙辰进士。 叶蓁四十五名。
弘治庚戌 钱福榜	周洪安庆知府。有《传》。		
		五年壬子	蔡春二十四名。知县。 吴夔一百名。教谕、知县。
		八年乙卯	陈恩二十名。戊辰进士。
弘治丙辰 朱希周榜	徐璁崑山知县、员外郎。		
正德戊辰 吕柟榜	陈恩中书。		
		正德五年庚午	王铎四十四名。竹溪知县。
		八年癸酉	陈嘉言《通志》：陕西中式。西安人。甲戌进士。
正德甲戌 唐皋榜	陈嘉言赵《志》无，陈《志》有。		
		嘉靖元年壬午	陈朝辅四十九名。 丙戌进士。

	进士		举人副榜附
嘉靖丙戌 龚用卿榜	郑朝辅刑部郎中。 有《传》。		
		七年戊子	王玑四十三名。己丑 进士。
嘉靖己丑 罗洪先榜	王玑都御史。有 《传》。		
		十年辛卯	杨梁十三名。戊戌进 士。 应鸣凤四十六名。 联捷。 程秀民五十六名。 联捷。
嘉靖壬辰 林大钦榜	程秀民会魁。参政。 应鸣凤赵《志》：副 使。《通志》：知府。		
		十三年甲 午	陈珪《通志》：应天中 式。姚《志》误作顺 天。
嘉靖戊戌 茅瓛榜	杨梁漳南道佥事。		
		十九年庚 子	王校三十七名。 徐沆八十八名。知 州。

	进士		举人副榜附
		二十二年癸卯	王之稷二十名。《通志》：达州知府。有《传》。按：达州，明尚为州，隶夔州府。
		二十五年丙午	吕瀚《通志》：顺天中式。西安人。陈《志》作翰。锦衣卫籍。 郑舜臣《通志》：上虞籍。姚载会榜，今补。
		三十一年壬子	郑大经二十名。丙辰进士。
		三十四年乙卯	孔承祀二十三名。《通志》：杭州籍。祁州知州。 郑秀夫三十一名。长史。
嘉靖丙辰 诸大绶榜	郑大经给事中、太仆卿。 郑舜臣《通志》作上虞人。知府。姚《志》补列于此。		
		四十年辛酉	余国宾四十四名。甲戌进士。

	进士		举人副榜附
		四十三年 甲子  赵《志》此 科止。	郑有年三十一名。 丁丑进士。  郑一麟《通志》：上虞 籍。二十七名。姚补 会榜，不载乡榜。  杜克逊见《杜泽侨寓 传》，整孙。嘉靖甲子 举人。  余国器副榜。姚补。
		隆庆元年 丁卯	杨梦玄《通志》作元。 四十六名。知县。陈 《志》：原籍江山，今居 西安。  徐一樞九十名。辛 未进士。
		四年庚午	徐一杰五十六名。 亳州知州。
隆庆辛未 张元忭榜	徐一樞陈云戊辰会 试，辛未殿试。《通 志》列辛未科。右通 政。		

	进士		举人副榜附
		万历元年 癸酉	程朝京《通志》:顺天 中式。西安人。姚 《志》:二十九名。癸 未进士。 郑君选《通志》:应天 中式。陈《志》:郑汉 改名。
万历甲戌 孙继皋榜	余国宾江西右布政。		
		四年丙子	余懋中顺天中式,庚 辰会魁。
万历丁丑 沈懋学榜	郑有年太仆少卿。 有《传》。 郑一麟《通志》:上虞 人。知府。姚与郑舜 臣并补。		
		七年己卯	金四科五十五名。 高邑知县。 郑维岳九十一名。
万历庚辰 张懋修榜	余懋中《通志》姓误 金。福宁参政。国宾 从子。有《传》。		

	进士		举人副榜附
		十年壬午	叶秉敬四名。辛丑进士。 方应科二十四名。 知县。 徐任道五十六名。 丙戌进士。
万历癸未 朱国祚榜	徐榜姚据《通志》补。 乡榜无考。 程朝京副使。		
		十三年乙 酉	郑时雍十四名。 吴仕弘六十六名。 知县。《通志》作宏， 讳改。
万历丙戌 唐文献榜	徐任道御史。亦见 《龙游志》。		
		十六年戊 子	郑一珩五名。知县。 王家业七十九名。 均州知州。 余致中顺天中式。
万历己丑 焦竑榜	徐景濂《通志》未见。 陈《志》在上科，与徐 任道同榜。乡榜亦无 考。		

	进士		举人副榜附
		十九年辛卯	叶秉性八名。 余文中十九名。 杜恒德五十一名。 杨希圣六十九名。 戊戌进士。 徐可求应天中式，壬辰会魁。
万历壬辰 翁正春榜	徐可求副都御史、总督。四川殉难。有《传》。		
		二十二年 甲午	杨仲点二十七名。 知县。
		二十五年 丁酉	叶其蕃十八名。戊戌进士。 徐应龙四十四名。 陈《志》改应皋。 叶可行陈云贵州中式。《通志》：西安人。
万历戊戌 赵秉忠榜	叶其蕃福建按察使。 杨希圣翰林编修。		
		二十八年 庚子	余纯中三十一名。 永春知县。
万历辛丑 张以诚榜	叶秉敬提学副使、参政。		

	进士		举人副榜附
		三十一年 癸卯	徐日曙三十一名。 徐子谦副榜。
		三十四年 丙午	徐应震三十五名。 徐日久四十四名。 庚戌进士。 徐日晃五十九名。 壬戌进士。 方应祥应天中式。 丙辰会魁。
		三十七年 己酉	郑德祚五十名，陈作 德祚。
万历庚戌 韩敬榜	徐日久山西按察使。		
		四十年壬 子	徐应秋二十六名。 丙辰进士。 郑学陆六十一名。 大冶知县。 方文烈七十六名。
		四十三年 乙卯	舒其蕴四十六名。 知县。 徐应豸八十名。已 未进士。
万历丙辰 钱士升榜	方应祥山东提学。 徐应秋福建左布政。		

	进士		举人副榜附
		四十六年 戊午	王一麒六十名。陈同，姚作一麟。 叶淑熙七十四名。 余正传九十四名。 陈同，姚作正傅。 周一敬九十五名。 戊辰进士。 余敷中顺天中式。 知县。 徐日明副榜。 谢宗儒副榜。见《谱》。 陈节两中副车，科分无考，姑附载于万历末。
万历己未 庄际昌榜	徐应豸主事。		
		天启元年 辛酉	徐一馥六十一名。 陈、姚并同，《通志》作馥。
天启壬戌 文震孟榜	徐日冕改名日曦。 推官。		
		四年甲子	余应蛟六十二名。 《通志》姓误俞。

	进士		举人副榜附
		七年丁卯	郑元霖十九名。有《传》。 余正笏顺天中式。
崇祯戊辰 刘若宰榜	周一敬 御吏，有《传》。		
		崇祯六年 癸酉	何邦福八名。有《传》。 余成家二十九名。 胡文尉五十名。仁和籍。 杜应用五十四名。 知县。 蔡嘉复九十四名。 陈、姚作加复。 徐日敬副榜。教谕。
		八年乙亥	陈其礼 拔贡副榜。 知县。《通志》无此科。
		九年丙子	叶仕魁六十二名。 庚辰进士。 徐应珏八十五名。 有《传》。 叶向生副榜。主事。 见《叶氏谱》。

	进士		举人副榜附
		十二年己卯	王允诰五十二名， 杨在庭五十八名。 知县。《通志》作廷。 叶南生七十四名。 推官。有《传》。 郑之衡应天中式。 知县。有《传》。
崇祯庚辰 魏藻德榜	叶仕魁进贤知县。 亦见《龙游志》，科同， 下注：刘同升榜。按： 《通志》刘□系在丁丑。		

## 清文科

《大清会典》：自顺治二年秋，初行乡试。三年春，初行会试。嗣后，定子、午、卯、酉年秋八月举乡试，丑、未、辰、戌年春二月举会试。《贡举年表》：清承明制，以八股取士。第一场，四书三题，五经各四题，士占一经。二场，论诏诰表各一，判五。三场，策五道。康熙二年，礼部议覆停止八股，专用策论，试改二场。八年，仍照旧例，用八股，叠试三场，试录刊行。乾隆二十一年，第一场，用四书文三篇。第二场，经文四篇。第三场，策五道。会试，第二场加表一道。次年，去表，增五言八韵诗一首。四十八年，二场加论一篇。五十九年，二场改试五经文各一篇，去论，遂为定例。光绪辛丑，变法。壬寅、癸卯两科，首场试史论五篇，次场试时务策五道，三场

试四书经义三篇，试卷糊名不易书。然仅此二科。终止后，遂专重学校，停罢科举。

进士			举人副榜附
		顺治五年 戊子	蒋鸿翼副榜。
		八年辛卯	邵有声十六名。四川知县。 徐钟祚副榜。
		十一年甲 午	张昌仁三十七名。 徐翻七十四名。江西知县。 留一骥顺天中式。 经魁。 徐应世副榜。
		十四年丁 酉	徐之凯九十八名。 联捷。
顺治戊戌 孙承恩榜	徐之凯四川茂州知 州。		
		十七年庚 子	周万基三十八名。 金华教授。 郑耀然五十四名。 联捷。 王大器副榜。

	进士		举人副榜附
顺治辛丑 马世俊榜	郑耀然四名。陕西知县。		
		康熙二年癸卯	叶淑衍二十名。庚戌进士。 吕协奎副榜。
康熙庚戌 蔡启僔榜	叶淑衍江西德兴，调湖北枝江知县。		
		十七年戊午	王观文副榜。
		二十年辛酉	邵有培四十二名。 徐璟顺天中式。
		二十三年甲子	徐观二十四名。 王广生姚依杨《志》列癸亥。副榜。查：上年无科。 留弘辂杨《志》载二十五年。丙寅无科，姚列是科。副榜。
		三十二年癸酉	黄斐姚亦列癸亥。副榜。考杨《志》系三十二年副榜贡，盖癸酉科也。

	进士		举人副榜附
		四十一年 壬午	周孙著三十四名。 乙未进士。
		五十年辛 卯	徐敦蕃百三名。癸 巳进士。
癸巳恩科 王敬铭榜	徐敦蕃内阁中书，太 平知府。		
		五十三年 甲午	杨光祖副榜第一名。 徐钟煌拔贡中副榜。 直隶知县。
康熙乙未 徐陶璋榜	周孙著河南知县。		
		五十六年 丁酉	杨光祖七名。 黄益照八名。 程玫十五名。知县改 教。 叶枝扶三十名。遵 化州同知。 蔡延龄九十名。知 县。
雍正甲辰 陈真华榜	杨永昇即用知县，河 南叶县。	雍正二年 甲辰补行 癸卯乡试 二月开科	吴士纪三十六名。 岁贡。 杨永昇五十八名。 联捷。

	进士		举人副榜附
			徐焕新六十六名。 教谕。 按：以上姚《志》 名次多错误，据《两 浙科名录》改正。
		四年丙午	郑光瑛副榜。
		十年壬子	詹文焕四十五名。 改名文启。内阁中 书。 郑万年五十五名。 己未进士。
		十三年乙 卯	徐澄七十一名。 徐沐八十七名。 徐崇熙北榜五十五 名。丙辰进士。 郑光瑛复中副榜。
乾隆丙辰 金德瑛榜	徐崇熙百七十二名。 直隶知县。	乾隆元年 丙辰恩科	徐常纯二十四名。 知县，借补训导。 王荣统二十五名。 知县改教。
		三年戊午	王荣绶四十名。 程遥四十八名。甲戌 明通。教谕。

	进士		举人副榜附
乾隆己未 庄有恭榜	郑万年二十七名， 《谱》作十七名。广西 知县，升知州。		
		六年辛酉	徐汎百四名。典簿。
		九年甲子	郑光瑗副榜。
		三十年乙 酉	王绍羲五十四名。 拔贡。
		三十三年 戊子	张涟九名。庚子进 士。 徐崇奎七十五名。 广东知县。 龚大钦拔贡中副榜。
		三十六年 辛卯	徐崇爌二十七名。 江苏知县。 龚渭六十九名，联捷。 徐明昶副榜。
乾隆壬辰 黄轩榜	龚渭百三十一名。江 西知县。		
		四十四年 己亥恩科	余时霖九名。
庚子恩科 汪如洋榜	张涟即用知县，陕西 武功等县。		

	进士		举人副榜附
		四十八年 癸卯	范崇楷六十四名。 福建知县。
		五十一年 丙午	余时中五名。 余本焯四十二名。 改名本敦。嘉庆己未 会魁。
		五十三年 戊甲	龚元一九十三名。 周濬副榜。州判。
		嘉庆三年 戊午	龚藻五十八名。己卯 进士。 陈锦椿九十名。 郑烺百三名。训导。
嘉庆己未 姚文田榜	余本敦二名。吏部 主事阁学湖北主考。		
		六年辛酉	郑灝三名。改名清 彦。安徽知县。 龚士范六十三名。 江西知县。
		九年甲子	余时壘北榜百九十 四名。改名凤喈。甲 戌翰林。
		十五年庚 午	龚元礼拔贡。北榜 百二十四名。兵部郎 中，汉黄德道。

	进士		举人副榜附
		十八年癸酉	吴卯金十五名。改名庆泰。教谕。 刘熊七十二名。 叶宗淳七十四名。
嘉庆甲戌 龙汝言榜	余凤喈本敦子。翰林。		
		二十四年 戊寅恩科	何绮九十三名。
己卯恩科 陈沆榜	龚藻即用知县，山西凤台。	二十五年 己卯	郑邦型五十二名。 训导。 王世亮六十三名。 联捷。
嘉庆庚辰 陈继昌榜	王世亮二百二十四名。知县。		
		道光五年 乙酉	程德贤十七名。
		八年戊子	叶滋兰拔贡，中副榜。
		十一年辛卯	郑邦立二十六名。 拔贡。辛丑进士。 王会解副榜。
		十二年壬辰恩科	江文炳四十一名。

	进士		举人副榜附
		十四年乙未恩科	周世泰九十五名。
		十九年己亥	徐文炽拔贡，中副榜。
		二十年庚子恩科	崔世霖拔贡，北榜九十四名。教谕。 程凤冈副榜。
道光辛丑 龙启瑞榜	郑邦立七十二名。 知县改教。		
		二十三年癸卯	方騤解元。咸丰癸丑进士。 孔广升六十三名。 教谕。 郑桂东七十一名，分苏，知县。
		二十四年甲辰恩科	王会解六十四名。 陈肇镐副榜，七名。
		咸丰二年壬子	张德容拔贡，中北闱，联捷。进士。翰林。
咸丰癸丑 孙如仅榜	张德容翰林，知府。 方騤工部郎中，记名御史。		

	进士		举人副榜附
		九年己未恩科	傅商霖三十四名。教谕。
		同治四年补辛酉、壬戌	舒凤朔副榜。
		六年丁卯补甲子	叶如圭十四名。甲戌进士。 叶希迪拔贡，中北闱。教谕。
同治甲戌 陆润庠榜	叶如圭三十三名。 刑部主事，江西知府。		
		光绪元年乙亥恩科	程大廉九十名。教谕。
		八年壬午	詹熙副榜。
		十九年癸巳恩科	郑永禧副榜。
		二十三年丁酉	郑永禧解元。

### 钦赐寿榜

乾隆三十五年以后，各省乡试，年老诸生三场完卷未经入彀者，特赐举人。五十四年以后，乡试分别八十以上者，赏给举人；七十以上者，赏给副榜。

	会试		乡试
		乾隆己酉	翁体贵举人。 周嘉祺副榜。
		甲寅	杜作霖副榜。
		乙卯	王辙副榜。
		嘉庆庚申	余烈副榜。
		辛酉	徐炳南副榜。 翁佳钦副榜。
		甲子	吴炯副榜。
		丁卯	吴炯举人。
嘉庆戊辰 会试	吴炯翰林院检讨。	戊辰恩科	徐炳南举人。 黄渤举人。 陈经举人。
嘉庆己巳 恩科	徐炳南翰林院检讨。 黄渤国子监学正。		
		庚午	詹瑞凤举人。
		道光戊子	廖德馨副榜。
		辛卯	姚炳申副榜。
		癸卯	郑世爌举人。

	会试		乡试
道光甲辰会试	陈世炯赏翰林院检讨衔。	甲辰恩科	周诗举人。
		光绪乙亥恩科	张玉树副榜。
		己卯	吴贻祉副榜。
		乙酉	柳晋钊副榜。
		丁酉	柳晋钊举人，年已九十六。年逾百岁，赐建坊。

## 宋武科

康熙《府志》：武科之制，自唐武后长安二年始，贞元十四年罢，元和二年复置，后仍废。宋天圣七年复置武举，皇祐元年罢。治平元年，令在内御史、在外钤辖以上荐举。乾道五年，廷试，始依文举，给黄牒榜，首赐武举及第，余并赐武举出身。元时，无武举之制。唐代无考。杨《志》载宋武科五人，今补三人。

仁宗	徐量杨《志》表载仁宗年武科及第，姚作皇祐年。按：《北山集》，量于神宗元丰中始仕巡检，不应在三十余年前皇祐间登第，必治平以后无疑。
徽宗	徐徽言量子。大观二年，赐武举绝伦及第。按：忠壮早登元符三年进士，此以应诏复举武科。

孝宗	<p>叶文武举出身，两淮制置使、参议官。据《昼锦叶氏谱》补。 约在乾道间。</p> <p>余智远武举。见《大俱余氏谱》。在南渡后，科分无考。</p> <p>余智严同前。</p>
宁宗	<p>汪忱庆元年间武科。翻刻本作沈。</p> <p>方公辅开禧元年武科。亦见绍熙四年进士。</p> <p>汪松老嘉定五年武科。亦见嘉定元年进士。</p>

## 明武科

《明会典》：天顺八年，始令谙晓武艺之人，兵部会同京营总兵考试，加武职，以听调遣。成化十四年，诏定武科乡会殿试，乡试以九月，会试以次年三月，殿试以四月初一日，赐武举及第出身有差。弘治六年，定为六载一举。十七年，更为三载一举。

	武进士姚《志》载五人， 杨《志》亦同。		武举人陈《志》仅四人， 无徐滋。
		万历乙酉	胡良凤联捷。
万历丙戌	胡良凤陈作乙酉乡榜，姚作丙申会榜，是丙戌之误。兹依《通志》，不书其年。下仿此。		徐滋科分无考。
己丑	徐滋	乙卯	胡应求联捷。
丙辰	胡应求衢协镇守。 姚《志》误作丙寅。	崇祯己卯	金应元联捷。

	武进士姚《志》载五人， 杨《志》亦同。		武举人陈《志》仅四人， 无徐滋。
崇祯庚辰	金应元陈作金姓，姚 改作余。	壬午	周应举联捷。
癸未	周应举以上并见《通 志》。		

## 清武科

《大清会典》：武乡会试与文科同。顺治十四年，停试技勇。康熙十三年，复行。四十八年，令直省绿旗各营兵丁及拔补千把总，并年满千总等，有能读书通晓文义者，准应武乡会试。四十九年，令三场改试《语》、《孟》论一道、武经论一道，又策一道。五十二年，令文生员举人通武艺者，准与武乡会试。寻令弓马、技勇挑选上等者，另编好字号取中。

	武进士		武举人
		顺治甲午	王兆熊
		丁酉	胡坛父应秋，衢州协 镇，寄居杭城。联捷。
顺治戊戌	胡坛钦点侍卫。钱塘 籍。重庆游击。		
		康熙癸卯	杜承玠十九名。 张见龙五十九名。 《通志》作起龙。 王煦六十一名。

	武进士		武举人
		丙午	张良佐二十名，联捷。
康熙丁未	张良佐施南卫守备，有政绩。见《恩施县志》。		
		乙卯	徐初十六名。陈作宗起，杨作宗超，依《通志》。 胡绍鼎胡坛子。三十八名。己未进士。 吴学斌四十名。榆林营守备。 张良辅四十五名。 沈士芳五十名。姚据《通志》补。
		戊午	徐之杰三名。乙丑进士。 方舆五名。壬戌进士。
己未	胡绍鼎江西都司。 见杨《志》武功。		
		辛酉	吴修年四十七名。 见《通志》。
壬戌	方舆见《通志》。		

	武进士		武举人
		甲子	吴学斓三十八名。 《通志》作斓。
乙丑	徐之杰见《通志》。		
		己卯	戴如锦第二名。
		壬午	王志庆二十八名。 叶蔚三十一名。守备。
		乙酉	刘起凤十七名。姚作起龙，改名有和。
		戊子	龚炜七名。癸巳进士。
癸巳	龚炜十六名。满洲教习。	癸巳恩科	龚必增二十九名。 戊戌进士。
		丁酉	龚燧二十一名。 吴士绎三十五名。 卫千总。
戊戌	龚必增十一名，满洲教习。此二人，同以策论取中。		
		庚子	刘韬五十名。
		雍正癸卯	龚择解元。运守备。
		己酉	程云彪三十名。补。

	武进士		武举人
		壬子	徐云龙二十八名。 补。 陈士樞三十八名。 徐泳四十四名。 陈士楷四十五名。
		乙卯	尹武二十八名。补。 陈烈四十九名。
		乾隆丙辰 恩科	方彪
		戊午	叶正彪卫千总。
		甲子	郑世伟都司。
		丁卯	柴镗
		戊辰恩科	吴亨达第二名。卫 千总。补。
		壬申恩科	陈纲守备。 王万龄
		癸酉	刘方佐解元，浦城守 备。 龚大鑣二十六名。 差官都司。
		丙子	毛大经辛巳进士。
		庚辰恩科	陈国龙

	武进士		武举人
乾隆辛巳	毛大经侍卫，授游击。		
		壬午	冯大年提标千总。 龚大鋗四十二名。 卫守备。
		乙酉	胡圮 胡起龙都司。
		辛卯	陈大凯三十名。
		甲午	叶爌兵部差官，守备。 胡炳威
		丁酉	黄国栋 徐登荣
		己亥恩科	黄金榜 叶大镛
		癸卯	陈运泰二十四名，参将。
		丙午	杜德威 林振榮
		壬子	黄河清
		甲寅恩科	叶尧昌十名。本祝姓。 蒋世焕
		乙卯	蒋廷熊

	武进士		武举人
		嘉庆戊午	余承刚
		甲子	杨大林 陈常庆二十四名。 督运分府。 王国泰 吴梦麟
		戊辰恩科	吴凤翔魁。《传》作 翔凤。 吴文翰补。 王酬守备。 黄荣庆
		庚午	胡梦极魁。以上见 前志。
		癸酉	余步鳌
		丙子	郑卿云魁。兵部 差官。
		己卯	叶发春 郑万庆 吴廷茂 吴常椿 郑殿华
		道光辛巳 恩科	徐文炳 余尚勇守备。

	武进士		武举人
		乙酉	叶凤高游击。 王显刚 赵大峰 叶仪松
		戊子	詹榜
		辛卯	叶序潮
		壬辰补正科	汤殿鳌 余尚斌
		甲午	余尚志守备。 吴廷鳌二十八名。
		乙未恩科	张学杰
		丁酉	蒋廷鎔 王文熊
		己亥恩科	余浩然
		庚子	蒋廷选
		癸卯	徐勇守备。
		丙午	童骏三十名。
		己酉	徐殿甲四名。营千总。 徐裕晃九名。 徐殿鸾四十四名。 叔侄兄弟同科，后均死难。

	武进士		武举人
		咸丰壬子	童驥
		戊午	王崇庆庚申进士。
咸丰庚申 恩科	王崇庆守备。		
		同治丁卯	郑钊 贵武彪
		庚午	楼荣
		癸酉	舒德真二十二名，联捷。 郑式彪不知科分，附此。
同治甲戌	舒德真		
		光绪丙子	周际唐
		己卯	郑定国
		戊子	楼彪荣子。十一名， 联捷。
光绪己丑	楼彪卫守备。	己丑恩科	徐步云四名。 徐凤标四十七名，联捷。 舒正身四十九名。 壬辰进士。 舒涌泉五十五名。 乙未进士。

	武进士		武举人
庚寅恩科	徐凤标千总。		
		辛卯	舒荣标四十七名。
壬辰	舒正身四名。花翎侍卫。		
		癸巳恩科	姚李标十二名。
		甲午	舒德盛十五名。 邵世恩三十名。 姚智高五十一名。 刘身皓六十名。 吾庆勋七十七名。
乙未	舒涌泉四十三名。 蓝翎侍卫。		
		丁酉	舒正翊五十三名。 杜应荣

## 明经贡生

康熙《府志》：唐初，乡贡之科，其目有六：一曰秀才，二曰明经，三曰进士，四曰明法，五曰明字，六曰明算。此皆岁举之常。永徽二年，秀才罢举。惟明经、进士为尤盛。及后，进士重，而明经亦轻矣。

开元间	郑崇义
-----	-----

宋初，沿唐制。祥符三年，置经明行修科，如发解例考试。寻罢。元祐二年，复置，程试一如进士，无其人则缺之。又有恩科，凡进士诸科屡举乡试不第南宫者，推恩赐本科出身，谓之恩科，亦谓之特奏。

大观间	卢襄后举进士。官至尚书。
乾道间	徐煊知县。见《峡山徐谱》。
年次无考	留濬明经教谕。 留训特奏。 留壬祖特奏。 留子玺 以上并见《留氏谱》。

元大德后，历举童子天资颖悟、能默诵经文、解说经史者，并入国学教育之。

泰定间	徐祥卿县尉。
延祐间	李芬知州。

明洪武十六年，令天下府、州、县学岁贡生员一人。其后岁额不一。其额外增贡者，有恩贡，遇大恩典则行；有选拔于廪膳增广内，选取文行兼优、年富力强者起送，额数随时多寡，入监如岁贡例。

洪武年	徐恍钦贡。训导升同知。陈《志》无。 金善 徐刚知县。陈《志》无。
-----	--

方华

徐蕤宾主事知县。陈《志》无。

陈旭见商辂《县学科贡题名碑》，今补。

陈勔

毛质

张忠商辂《题名牌》：任江西金事。

徐同选拔知县。

郑观商辂《题名牌》：任主簿。

刘道商辂《题名牌》：任教谕。

郑道商辂《题名牌》：任监察御史。

徐添推官。见同上，今补。

陆演御史。

张隆通政使。

徐澈

徐泽

管贞

徐平

徐增

邵贞经历。杨《志》作郑姓。

徐胜

徐考

余廉

汪进主事。

王体崇教谕。陈《志》无。

沈刚

	<p>叶寿保 徐梓乡贡。 陆悦御史。 董定寺副。 徐咸知县。 裴智知府。 徐希武教谕。陈有，姚无。 徐宗显教授。陈《志》列此，姚《志》列正统年选贡。 王天祐知事。陈无，姚有。 叶桂宗一作琮。县丞。同上。</p>
永乐年	<p>余观陈云简较，当是检校。 徐旺见商辂《题名碑》，今补。 杨保陈作知县，杨作知府。 孔克进商辂《题名碑》：任宗人府经历。 王处善 翁源 江渊 傅祥知府。 吕克谦训导。 杜柱知县。商辂《题名碑》作住。 张嘉照磨。 王原道商辂《题名碑》：任照磨。 方辉商辂《题名碑》：任知县。 郑拱 吴永</p>

徐全杨《志》作令。

徐澄

郑道延经历。陈《志》无，姚补。

龚贤教谕。

胡如黻

林庸推官。

徐沔

桂让知县。

孔克准寺丞。

宋隆

江善经历。

何宁通判。

吴善典史。

沈忠兵马司。

翁顺知县。

陈京知县。

江遂知州。崇祯《府志》作汪姓。

徐成

郑敬

王定

朱至

孔信拔贡。陈《志》无，姚补。

陈淮

裴纯断事。

袁琰姚作炎，避讳改。

	<p>柴真 周山 孔公镛拔贡。陈《志》无，姚补。 王贵 徐伦 余鑛 白圭知县。 项智知县。 郑智 吴英 宋国英选贡。山东兗州知府。今据《玳塘宋氏谱》补。</p>
洪熙年	<p>王原知县。 余永和此二人，陈附永乐末，姚据杨《志》改洪熙。</p>
宣德年	<p>毛伦 毛信商辂《题名碑》：任训导。 吕克忠推官。 董载教谕。赵、陈《志》无，姚补。 孔希昇州判。 董诚教谕。 章宗和 郑延生 徐辰 徐岳 项俊推官。杨《志》作后。</p>

	<p>王诚 黄寿同知。 叶诚忠知县。 魏忠 陈原 徐楚 宋子昭国英子。恩贡。江西湖口知县。今补。</p>
正统年	<p>舒让通判。 杨仪知州。见商略《题名碑》，今补。 刘敬通判。 徐恭礼学正。商辂《题名碑》恭作克。 陈存忠商辂《题名碑》：任经历。 妙海衡无妙姓，疑本作缪。 郑文安知县。 宋希政 余旻 宋建训导。 黄孟旸陈、杨并同，姚作梦旸。 沈清 董福通判。 王希禹训导。 陈文信主簿。 毛希贤经历。 宋善县丞。</p>

景泰年	魏容
	孔溢县丞。杨、姚作溢。
	方福
	刘寿
	傅箎商辂《题名碑》：任知事。
	留绅知县。赵作县丞。
	董祯知事。
	崔庠审理。
	程玺通判。
	朱亮
	江成
	孔公锡拔贡。赵、陈并无。
	徐梦祥
	程瑛县丞。赵作英。
	沈宾
	陈熙
	贵贤
	陆旭
天顺年	张瑛扬州府训导。《扬州志》作英。
	叶溥商辂《题名碑》：任检校。
	郑让
	吕槃
	叶容训导。
	留英训导。

	<p><b>金庸</b></p> <p>余诚县丞。姚改作愈诚。</p> <p>叶韶训导。</p> <p>徐宽经历。</p> <p>陆胜训导。</p> <p>周煥经历。</p> <p>秦英主簿。以下三人，赵《志》无。</p> <p>徐霖训导。</p> <p>周鑑教谕。陈作周政，姚云误。</p> <p>胡泽知县。见商辂《题名碑》，今补。</p> <p>张文大使。见商辂《县学科题名碑》，今补。</p> <p>祝嵩县丞。见同上，今补。</p> <p>徐琮见同上，今补。</p> <p>栾绅见同上，今补。</p>
成化年	<p><b>毛瑄</b></p> <p>吾鹏赵、陈并同，杨作吴姓。</p> <p>叶源</p> <p>戴贵教谕。</p> <p>姜仪县丞。</p> <p>黄观主簿。</p> <p>龚镛提举。杨《志》作同知。</p> <p>毛进训导。</p> <p>祝寿经历。</p> <p>杨辅</p>

郑景明州判。  
陈璁训导。  
徐让远教谕。赵、陈并无。  
方俊推官。  
魏奎主簿。  
张临训导。  
郑纲  
徐让疑即让远，姚误重列。  
王玺  
胡杰  
孔议姚作仪。  
邹玘州判。  
郑綬主簿。  
程端知州。  
王廷通判。赵作州判。  
孔公易训导。  
宋珏  
徐友麟县尉。陈《志》无。  
应能通判。  
徐政选拔。  
叶澄  
吴璋教谕。杨《志》作玮。  
应琼训导，升教谕。  
徐琳训导。赵《志》无，陈《志》有。

弘治年	余钦推官。
	朱明训导。
	郑伦审理副。
	徐杰断事。
	邹敞
	项敬
	王雯指挥经历。
	留瓈
	范俊
	徐联芳训导。
	余琳长史。
	张尚质
	吴瑞训导。
	胡琛训导。
	余宗恢经历。赵、陈并无。
	陆郁知县，转盐提举。
	留观教谕。赵、陈入正德年，姚改列此。
	王贡
	余泰通判。
	徐玑通判。
	张谅赵、陈《志》无，杨《志》作諒。
	陆奎训导。
	杨镳州同。
	项昱
	陈桓推官。上六人，杨《志》翻刻本列成化，又列正德，重见。

正德年	吴夔教谕，姚《志》补。
	徐朝翰教谕，升通判。姚《志》补。
	余华训导。
	王鑑训导。
	徐行教谕。
	王卿
	程琏
	沈铭
	徐介甫滨州州判。赵、陈《志》无。
	杨淳
	陆兰
	郑镛教谕。赵《志》无。
	郑铭学正。赵有郑旻学正，无郑铭。杨有旻，又有铭。
	朱良铭教谕。赵《志》无。
	汪昊教谕。此下十五人，杨《志》误入弘治，姚改正。
	孔公望训导。
	余銮
	董瀚训导。
	程元锡训导。
	杜珂
	叶夏县丞。
	郑旻训导，升教谕。赵《志》作学正。
	余宗经历。赵有，姚无，疑即余宗恢，脱一字。见前。
	叶浩断事。
	徐钟春训导。

	<p>徐璧县丞。赵作壁。</p> <p>徐钟正训导。</p> <p>郑洪通判。</p> <p>徐毅训导。</p> <p>王锡知县。上四人，杨《志》翻刻本重见成化。</p> <p>祝旻训导。赵作旻，陈作昊。</p> <p>郑容训导。</p> <p>马洪训导。</p> <p>周麟教谕。</p> <p>毛璿训导。</p> <p>项思龙</p> <p>杜玭</p>
嘉靖年	<p>留曦训导。</p> <p>余钺</p> <p>杨元</p> <p>沈元亨知州。赵《志》：经明行修，两任知县。</p> <p>郑兰赠知府。</p> <p>余釜教谕。本作斧。</p> <p>邹莹训导。</p> <p>王璡赵、陈《志》无。近得墓碑，楼山人。</p> <p>余蒞知县。</p> <p>陈良法</p> <p>姚《志》有徐应秋下注：举人。赵、陈、杨《志》均无。 按：应秋，乡举在万历四十年壬子科，不应为嘉靖间贡，今删。</p>

徐钦训导。赵、陈并无，姚依杨《志》补。

汪尧臣训导。

程先民训导。

徐朝卿

张廷用教授。姚作教谕。

孔彦绶训导。

徐钟端训导。

杜珣

吴绍宗教授。

徐大观

徐钟美训导。

徐钺典膳。姚《志·仕籍》作钱，赵、陈并无，疑即余钺。

王启训导。

孔公慎训导。

余锐教谕。

郑玲训导。

叶淳训导。

叶泉

徐性经历。

徐泾原名河。此二人，赵、陈《志》并无。

徐洹训导。

陶洪赵《志》云：初任建昌训导，造士有方，升临邑教谕。

孔彦总训导。

邹景龄训导。

余遂良教谕。

	叶宽训导。
	叶荣训导。
	徐廷亮县尹。赵、陈《志》无。
	范济教授。
	徐钟辰赵《志》无。
	徐亮主簿。疑即廷亮。
	邹智教谕。
	程远教谕。
	翁镗通判。
	郑邦佐知县。
	徐浩恩贡。通判，升汀州同知。
	叶良玉选贡。教授，升王府纪善。
	徐海选拔。赵、陈主簿，杨作教授，姚作县尹。
	刘希贤训导。
	邹春教谕。
	徐銮训导。
	杜珠训导。赵、陈、杨同，姚《志》改作株。
	徐钟秀训导。赵作钟彦。
	杜豫训导。
	杨灝扬州府训导。《扬州志》作灝。
	应玠教授。
	楼时
	余清赵作训导，姚《志》阙。
	余廷璧
	虞廷献教谕。

徐汀通判。

郑烈《谱》作冽。赵《志》：训导。姚《志》阙。

郑邦义训导。

徐沐知县。赵作训导。姚作沐，重见。

徐藩教授。

傅填训导。

吴骜

徐芸

毛凤仪训导。

叶继岳州教谕。赵作训导。

徐江杨《志》：贡元。

王鉉训导，升教谕。赵《志》载此止。

徐泽学正。

黄韶

胡嘉言教授。

王继程纪善。

胡期亨姚《志》：知事。

周政陈《志》：训导。

程曼重见万历中，今删。

隆庆年

舒庭珊

徐汉姚《志》：教谕，升州学正。

余懋中恩贡。进士。

何克瓈恩贡。

叶绾教谕。

叶茂元学正。

	<p>陈瓊以上陈《志》。府学。</p> <p>毛标恩贡。</p> <p>周祖濂教授。姚作州学正。</p> <p>陆铉</p> <p>沙惟忠恩贡。</p> <p>郑汉改名君选。选贡中式。</p> <p>周钦以上陈《志》。县学。</p> <p>祝鸣凤</p> <p>祝鸣谦此二人，陈《志》不载，姚据杨《志》补。</p>
万历年	<p>郑上新姚《志》：教授。</p> <p>叶孔福训导，升教谕。</p> <p>祝鸣鹤姚《志》：知县。</p> <p>郑子俊通判。</p> <p>徐檀</p> <p>郑朝端</p> <p>杨一元知县。</p> <p>郑儒姚《志》：训导。</p> <p>孙正谊</p> <p>江汉</p> <p>杨邦彦</p> <p>孔弘济</p> <p>杨仲烈教授。</p> <p>叶朝纲</p> <p>余敏中选贡。</p> <p>王承易</p>

应大宾

王家丞教授。

郑子麟教谕。

徐良瀚训导。

李应元

张太和学正。

徐勋训导。

徐日达

郑子鳌经历。

周日新教授。

王有光教谕。

徐日乾知县。

徐集以上陈《志》。府学。

余良谟恩贡。

杨棐杨《志》作斐，翻刻作斐。

王之屏知县，姚作选拔。

王承鼎姚《志》：训导。

王之蕃

王澹

高应奎

李继皋教授。

郑孔庠教授。姚《志》：教谕。

徐州贤

徐法教授。姚《志》：训导，升教谕。

徐知新

徐希旦  
徐子达选贡。  
王家正教谕。  
毛淑训导。  
吾道行  
周健恩贡。  
孙正伦  
徐日进  
王瀚教谕。  
周一貫训导。  
应在之教授。  
龚遂良  
冯亮训导。  
叶日葵教谕。  
方应祥选贡。会魁。  
杜骥德教谕。  
徐楷以上陈《志》。县学。  
杜明卿  
杜佑卿杨作祜。  
胡璠教授。  
胡应奎训导。此四人，杨补。  
徐希道选拔。县尹，升纪善。  
徐遂良选贡。  
孔弘洲拔贡。  
徐良谋姚云：旧作陈良谋。今无考。

	<p>徐可受选拔。</p> <p>徐希古选拔。同知。</p> <p>徐日严恩贡。通判。此七人，姚补。</p> <p>徐子忠贡。教授。见万历《龙游志》载，作西安籍。今补。</p>
泰昌年	<p>徐元达训导。陈《志》：府学。</p> <p>郑德隅通判。陈《志》：县学。</p> <p>王自为附贡。姚补。</p>
天启年	<p>徐行健</p> <p>郑廷宾训导。</p> <p>杜应雷</p> <p>姜应昌</p> <p>叶九秩教谕。姚云：转教授。</p> <p>邵希泰</p> <p>郑时行以上陈《志》。府学。</p> <p>吴伯兴教授。</p> <p>胡佐圣恩贡。</p> <p>李涞</p> <p>吴士奇陈作仕奇。</p> <p>徐日升</p> <p>余正笏中式。以上陈《志》：县学。</p>
崇祯年	<p>周嗣献教谕。</p> <p>祝大生教谕。</p> <p>余效中</p> <p>胡一邠</p>

徐九佐

郑一扬训导。

徐日性训导。姚云：恩贡。教谕，升州学正。

徐国珩拔贡。主事。

叶应昌太仆少卿。

何乔遇教谕。

徐道明

余尧中以上陈《志》。府学。

张其仁选贡。

余应麟姚云：《府志》作姓金。

余国辂知县。

余继祖

王允淑训导。

徐元凯训导。

陈其礼拔贡。知县。

徐一樞训导。姚云：升教谕。

叶时茂

徐应班拔贡。

杜应祥以上陈《志》。县学。

胡一斌训导。姚据《浦江志》补。

徐良寅

胡一能训导。此二人，姚依杨《志》补。

余绍中姚补。

《大清会典》：恩拔副岁贡生一体擢用，其起送额如明制。康熙二年，停止。八年，复行。二十六年，免廷试。恩贡，则自康熙元年

始,以岁贡第一人为之。十五年,令与岁贡一体廷试。二十六年,俱免。其恩拔,自顺治四年举行。六年,以提学岁试第一人为之。八年,复行选拔。十一年,府县学各拔二名。康熙十一年,府学拔二名、县学一名,六年选拔一次。辛酉科后,十二年选拔一次,逢酉年举行。雍正五年以后,仍六年一选。乾隆七年,诏定为十二年一次。优贡于正科乡试年考取,由各学选文行兼优之生员于岁科试,督学按临时送考,择其尤者提集于乡试后考取之。清季,停罢科举后,犹留优贡两科、拔贡一科。优贡加四倍额,拔贡加一倍额,岁贡亦照常客加倍,并举行杂职考试,以广士子出路。

顺治年	翁毓秀杨《志》作四年。恩贡,即拔贡。 郑一衢杨《志》无,姚《志》补入恩贡。 徐应瑜四年拔。 徐钟溥同上。知县。 周召五年拔。知县。 胡曾同上。知县。 徐阶升八年拔。姚作升阶,列岁贡。 叶其理同上。 徐国廉并同上。 余锡十一年拔。住江山。 留一骥拔,同上。甲午,中北榜经魁。 陈一垣并同上。考选州判。 徐应选姚补拔贡。教授广信。 以上恩拔、选拔。
-----	---

- 王大魁杨《志》四年，岁贡。教授。
- 王允颖杨《志》同上，姚作恩贡。
- 叶初芳五年。训导。
- 徐应台同上。
- 周嗣恺同上。教授。
- 余钰六年。锡弟。姚作珏。
- 余兆斗姚作拔贡。年同上。
- 金九佐 同上。知县。
- 刘一诚七年。考选知县。
- 邵国珍同上。
- 翁在泮八年。姚误在淳。
- 王世赏九年。陈作教授，姚作训导。
- 徐应桢杨《志》作桢。同上。
- 胡士序十年。考选知县。
- 马元良姚据陈《志》列此。
- 叶其薰十一年。教谕。
- 徐日儒同上。训导。
- 龚自淑十二年。嵊县训导。《谱》载明隆庆五年。
- 徐庆嶽十三年。训导。
- 徐日敞姚作之敞。教谕。
- 王世耀并同上。训导，升教谕。
- 周万基年无考。教授。姚补。
- 李斐十四年。石屏人。杨《志》季姓，误。
- 王大器十四年。庚子，中副榜。考选州判。
- 徐皞十五年。

	<p>徐从圣同上。训导。</p> <p>徐岳十六年。</p> <p>叶元新十七年。</p> <p>郑文奎同上。</p> <p>魏燝十八年。训导。</p> <p>徐应召同上。</p> <p>以上岁贡。</p>
康熙年	<p>周嗣谦十五年。训导。</p> <p>徐从昕四十七年。</p> <p>以上恩贡。</p> <p>徐钟煌十一年。知县。</p> <p>王应玙同上。考选州同。</p> <p>徐敦祉钟煌子，父子分府、县学，同年拔。</p> <p>徐敦桢本作禛，姚作真。廿五年拔，疑误。</p> <p>郑慰同年。县学拔。</p> <p>周鸿召子。姚依《周氏谱》是年拔，杨《志》作岁。</p> <p>徐敦祐三十七年。</p> <p>陈大猷杨《志》同年拔。姚《志》作岁，误。</p> <p>杜邦奎四十七年。杨《志》作岁，姚作拔。</p> <p>以上拔贡。</p> <p>龚凤翀元年。</p> <p>杨元霖九年。因三年至八年停。</p> <p>郑燕翼同上。训导。</p> <p>郑士章十年。教谕。</p> <p>徐应箕</p>

	叶有苞。杨《志》作包。
	叶盛芳十一年。训导。
	蔡嘉升
	叶永芳十二年。杨《志》作芬。
	周嗣泰
	徐应垚并同上。
	陈俊英十五年。训导。
	徐应丰同上。训导。
	徐应晋十六年。
	龚之奇同上。翰林院待诏。
	崔辙姚补。
	郑贻孙十七年。训导。
	龚鼎教谕。
	王学礼训导。
	龚应试
	徐昌尹以上并同。训导。
	周嗣鼎十八年。训导。
	徐国琛十九年。
	缪祉谱名从祉。训导。
	刘兆元廿一年。训导。
	叶帛徵廿二年。训导。
	陈圣政同上。训导。
	蒋维祉廿四年。
	叶其芬廿五年。训导。
	杨绍泰训导。陈《志》有。

留世栻姚补。  
杨四隽廿六年。训导。  
徐佳瑜廿七年。训导。  
徐敦廉同上。训导。  
徐钟嵘廿九年。训导。  
徐从玉同上。翻刻本作五。  
黄玉缙三十年。训导。  
徐应玉三十一年。训导。  
王瑶同上。截取训导。  
吴一栋三十二年。  
郑孝敏三十三年。训导。  
徐一爚同上。  
邵新三十五年。  
徐钟周训导。  
陈炳  
陈大谏  
吴士统以上并同。陈《志》止此。  
杨之俅三十七年。训导。  
叶淑裴三十九年。  
余元镇四十年。  
龚之嘉四十一年。  
徐学英同上。  
潘肇发四十二年。  
徐士攻同上。  
叶淑範四十五年。杨《志》作范。

舒云章同上。  
叶应樟四十六年。姚作章。  
徐钟俌四十七年。  
吴宪四十八年。训导。  
周万叶并同上，杨《志》止此。  
留世楷以下姚补，无年次。  
徐从祖  
留世榮  
龚熺  
左弘錫  
郑感  
龚之喜  
徐洛  
叶世荣  
郑一蛟  
龚煌  
洪琼  
詹文煃  
刘晟  
吴士纪  
崔淑英  
王绎据《楼峰王氏谱》增入。  
以上岁贡。

雍正年	王谟
	杜楷训导。
	以上恩贡。
	郑国栋教谕。
	徐钟郎
	徐常棟州判。
	徐崇熙教习。乙卯，中北榜。
	方恭愈知县。
	孔兴正
	以上拔贡。按：是时，尚六年一选拔。
	余英
	邹之模
	杨缵祖
	张配乾
	周雯训导。按：《雯传》言未冠食饩，贡当在前。
	徐效良
	叶蕡训导。
	陈濬生教谕。
	王召裁取训导。
	留弘泰
	徐学礪
	周葵雯子。训导。
	徐鳌
	以上岁贡。

乾隆年	郑随亨
	孔毓增教谕。
	吾德绅
	王应秩
	龚塘
	刘方起
	龚大錄
	郑龙文
	胡芳隆
	徐柱
	徐崇浩
	冯世科
	王世万今据《王氏谱》补。
	王弘庠此下五人，十六年，捐赈议叙。
	朱应禄
	王昊
	郑应旦
	郑应昭
	陈道宽十八年，捐赈议叙。
以上恩贡、钦赐贡，仍旧例附。	
叶闻性六年辛酉拔。	
徐常铨同。	
叶斌同。	
王绍羲十八年癸酉。乙酉举人。	
叶钦桂同。州判。	

龚大钦同。  
龚大钦同。  
龚大钦三十年乙酉。  
叶日葵同。教谕。  
王登贽四十二年丁酉。理问。  
叶映培同。州判。  
郑烺五十四年己酉。戊午举人。  
以上拔贡。  
王敬  
刘彭年训导。  
潘应鹏  
张方平  
叶兆兴  
王信鹤  
王谔  
徐之范  
杨型  
孔毓楫  
徐瑄  
叶树荣  
缪燧  
王宏  
徐正仁训导。  
孔传璐  
邵启瑗

郑昌煌
王荣綯教习，选训导。
王廷梧
叶炳崧
王有秩
徐敦溶
余日均
郑起鹏训导。
祝朝典
徐潮
吴学张
郑光璐
徐演
余之栻训导。
谢汝止
吴宗洙
蓝科固
龚大锐训导。
叶荣封
姚世科
陈肇嘉裁取训导。
盛显仁
吴勋
谢典
龚大典

	盛永亨 叶师渊 程联泰 叶钟序 张见龙 王登贤 裁取训导。 宣猷 徐陵 郑常椿 徐应岳 徐承烈 江沛 孔衍寿 詹瑞凤 嘉庆戊辰，钦赐举人。 叶绍 郑万育 方洵 祝朝拱 江岐 吴之运 今补。 以上岁贡。
嘉庆年	叶兰皋 何文林 汪世道 己卯恩。今补。

陈耀同上。

以上恩贡。

范崇泮六年辛酉拔。改崇凯州判。

龚元礼同。郎中放道。

叶滋兰同。道光戊子副榜。

郑桂金十八年癸酉。朝考知县。

范学诗同。

以上拔贡。

范崇沛

叶序楷

黄渤戊辰、己巳，连登寿榜，钦赐国子监学正。

王登廉

徐承燦

陈经

龚元协

周洛

项又斯

沈清桂

徐崇悦

叶滋畹

叶铭序

陈常姚《志》止此。

周诗道光甲辰，寿榜举人。

孔毓芝

孔传纲

	<p>余养政 余养敬 洪昌并续补。 以上岁贡。 吴城二十一年丙子优贡。衢之登优榜者，此科始。</p>
道光年	<p>张大勋元年，登极恩。 邹钧同上。 程良模 余养志 傅以培 余庆元 郑桂堂 以上恩贡。 郑邦立五年乙酉拔。辛丑进士。 徐文炽十七年丁酉。 崔世霖同。庚子，北榜举人。 张德容廿九年己酉。咸丰癸丑翰林。 余寿祺同。朝考知县。 以上拔贡。 黄德恺 沈燮 陈晋瑞 陈钧 王登涟 叶桂森</p>

	<p>王炳晖原名世英。</p> <p>吴诰</p> <p>祝聪奇</p> <p>汪廷飚</p> <p>余养浩</p> <p>郑世爌癸卯，寿榜举人。</p> <p>徐烜</p> <p>江文焕</p> <p>吴式金</p> <p>陈晋纯</p> <p>毛孝先</p> <p>童庆澜</p> <p>徐兆甲</p> <p>郑文琅</p> <p>郑受书</p> <p>徐黻</p> <p>刘树勋</p> <p>以上岁贡。</p> <p>孔传曾己酉，优贡。</p> <p>以上优贡。</p>
咸丰年	<p>范安澜</p> <p>周嘉谟孔氏家塾碑谋作谋。</p> <p>周嘉瑞</p> <p>王炳煃并恩贡。</p> <p>孔广德癸丑，临雍贡。</p>

	<p>孔昭明同上。</p> <p>以上恩贡及临雍贡。</p> <p>叶希迪十一年辛酉。丁卯，北榜举人。</p> <p>范登保同上。</p> <p>以上拔贡。</p> <p>吴秋水</p> <p>余养槚</p> <p>孔继焜</p> <p>吴鹤龄</p> <p>江占梅临贡。被难。</p> <p>范兆珍</p> <p>郑沅原名重。</p> <p>以上岁贡。</p>
同治年	<p>胡锦椿</p> <p>胡常亨</p> <p>郑柏</p> <p>王丰豫</p> <p>以上恩贡。</p> <p>詹嗣曾十二年癸酉，选拔。</p> <p>以上拔贡。</p> <p>王藩德清训导。</p> <p>周世滋永康训导。</p> <p>陈克绶</p> <p>祝焕唐</p> <p>范应祥</p>

	周惠兰 范兆珪 陈晋卿 刘宗垣 徐瀛 以上岁贡。 孔昭骏九年庚午，优。 以上优贡。
光绪年	吴烜 赖金诏 陈宗器 郑锦屏 范宝仁 邵辅墀 崔守本 以上恩贡。 詹培十一年乙酉，选拔。 叶复华廿三年丁酉。湖南通判。 周楠同年，府学拔。陕西知县。 汪张黻同年，县学拔。户部小京官。 以上拔贡。 卢祖荫 沈瑞兰 余玉森 方昌泰

陈镜堂  
何绍晏  
王德玉永康训导。  
郑安允庆元训导。  
余佩玉  
吴祖述  
郑锷  
傅绍鳌  
周炳南  
吴瑞  
吴诗忻  
崔守灏  
叶向荣安徽县丞。  
邵辅周  
孔昭声  
孔宪葵  
孔庆耀  
周德敬  
余时登  
崔大谋  
汪庆祥  
朱良楷

以上岁贡。

龚时富三十二年丙午。福建知县。

以上优贡。

	<p>张景衡考取巡检，分苏。</p> <p>陈烈骏考取典史，广西柳州。</p> <p>以上杂职二名附。</p>
宣统年	<p>吴友兰元年恩。</p> <p>陈祚延</p> <p>詹煦</p> <p>以上恩贡。</p> <p>刘仁裕己酉，府学拔。江苏知县。</p> <p>汪庆祚同年，县学拔。</p> <p>叶师蕴同。</p> <p>以上拔贡。</p> <p>周熙</p> <p>章璜</p> <p>以上岁贡。</p> <p>戈宝森己酉，优。江苏知县。</p> <p>以上优贡。</p> <p>刘其桐考取典史。</p> <p>以上杂职附。</p>

## 荐 辟

宋熙宁间	郑晃《郑氏谱》：举孝廉。守臣张倜荐以登第，授武平尉。
年代无考	<p>留观光杨《志》：举博学鸿词。翻刻本作观元。</p> <p>留式《留氏谱》：以贤才荐授大理寺评事。</p>

开庆元年	邹溍《通志》：举博学鸿词。杨《志》：贤良方正。任转运使。
元至顺元年	徐芝杨《志》：举经明行修。不仕。
至正十五年	<p>徐逢吉举才干。任大使。西安人，住常山。</p> <p>徐璋举经明行修。教授。</p> <p>叶思举人才。县尉。杨《志》作恩，姚同，据《三桥叶氏谱》改。</p> <p>徐景熙举经明行修。教谕，旧作教授。</p> <p>徐希武举经明行修。教谕。此三人，年次无考。</p>
明洪武年间	<p>秦轸陈《志》：荐授衢州录事，署西安篆。</p> <p>蒋直赵《志》：明经举授学正。洪武初，署府学训导。杨《志》作植。</p> <p>孔思模明经举任教谕，升给事中。以疾改学正。姚作学录。</p> <p>徐宗显字文昭。明经举授府学训导，后改任严州。</p> <p>留文溟明经举授本县学训导。</p> <p>方弘楷书举任刑部主事。</p> <p>虞容楷书举任河南府同知。</p> <p>范希士耆德举任万州知州，左迁河南布政司经历，擢绍兴，致仕。陈、杨《志》作希任。</p> <p>王惟德才干举任湖广监察御史，迁江西按察使。以上并见赵《志》。</p> <p>叶谅陈《志》：字守信，以才干举任宪府。杨《志》同。</p> <p>秦泰洪武初，以才干举任江西南昌令。并见陈《志》。</p> <p>叶文欢举人才。县丞。</p> <p>徐道长举人才。杨云工部主事，陈云任广西。</p>

	<p>周宗道举人才。赣州通判。</p> <p>胡彦礼人才，主簿。</p> <p>胡文政人才，主簿。</p> <p>叶应洪武二十四年，举人才，授巡检，升鸿胪寺序班。据《叶氏谱》补。</p> <p>杨添洪武末，以才干举河南祥符知县。</p> <p>邹紱举经明行修，翰林承旨。杨《志》紱作缉。</p> <p>徐刚举经明行修，萧县知县。</p> <p>何尊举经明行修。杨云泉州训导，姚作通判。</p> <p>徐文英举武才。</p> <p>杜公器授武翼大夫。</p> <p>杜国器武经大夫。</p> <p>杜喻祖武翼大夫。</p> <p>杜贤武经大夫。</p> <p>杜和仓副使。以上并见杨《志》。</p> <p>李花求贤举。见《石屏李氏谱》。李庠父。</p>
建文年间	<p>杜昆才干举南京工部主事。见赵《志》。</p> <p>杜晃与昆并举才能。见《铜峰杜氏谱》。</p>
永乐年间	<p>方童人才举福建盐运判。姚《志》误列元代，今据《方氏谱》改。</p> <p>陈雄孙举人才，江西南昌知县。</p> <p>徐敏功举贤良方正。</p> <p>傅祥赵《志》：举才干，任知县。</p> <p>郑爱赵《志》无注，杨云才干。</p> <p>郑辅赵《志》无注，杨云才干。</p>

	<p>李效良举才能。杨《志》：锦衣卫指挥。</p> <p>杜格杨《志》：指挥使。</p> <p>吴得川举才行，掌邑刑曹。前志未载，今补。</p> <p>方景辉方童子。举耆德，授常山县令。见《方氏谱》，《常山志》不载，今补。</p> <p>李理举茂材，任县丞。</p> <p>李震举茂材，任县丞。</p> <p>李塘举茂材，任主簿。并见《石屏李谱》。</p>
宣德年间	<p>杜柂指挥佥事。</p> <p>杜昱县丞。</p> <p>杜瑁典膳，旧作典善。按：《明史》王府长史司有典膳，无典善，今改。</p>
正统年间	<p>杜溥琰县丞。姚作炎。</p> <p>杜椿典簿。</p> <p>杜球典簿。</p> <p>杜培德典簿。</p> <p>杜国卿儒士。以上并见杨《志》。其因何被举，无考。</p>
成化年间	林徵举贤良方正。据《林氏谱》补。
万历年间	郑应聘举贤良，授鸿胪寺序班。据《郑谱》补。
清康熙间	<p>徐之凯举博学鸿词科。由真宁知县荐。</p> <p>华嘉祺同上。杨作家祺，由诏安典史荐。</p>
乾隆年间	申甫举博学鸿词，由西安荐。
雍正年间	朱遵举孝廉方正。

嘉庆元年	童积超由廪生举孝廉方正，赐正六品。
光绪元年	叶如玉由廪生举孝廉方正，未试。
宣统元年	吴瑞由岁贡保。 周德徵 范登伟 孔宪镜并举孝廉方正，未试。 傅世芳由府学廪生保。同上。

### 国 学 照旧志录。

明正统间	傅璣  叶文显陈《志》仅此二人，姚入景泰中。
景泰间	杜濂  郑演附监。姚并列景泰中。
天顺间 <sup>①</sup>	留绅知县，今补。  张文 祝嵩 徐宗 栾绅 胡泽知县。

① 天顺间，康熙《衡州府志》光绪重刊本误作天启中，康熙刻本顺字模糊不清，标点本第 810 页按光绪重刊本作天启中。《衡县志》标点者三校于此，再将康熙《衡州府志》康熙刻本数码照片放大，仔细辨认，当是顺字。此为天顺中不误。因康熙《衡州府志》标点本已先付印，标点者在此特予注明。

	<p>余敏 吴敬税课副使。</p> <p>叶贵</p> <p>朱巽</p> <p>叶宗县丞。</p> <p>郑永巡检。</p> <p>柴悌知县。</p> <p>何泽推官。</p> <p>陈圭</p> <p>王贞</p> <p>叶纪知县。</p> <p>陆澄都事。以上见陈《志》。</p> <p>杜卫卿</p> <p>杜应讚二人，姚补。</p>
成化间	<p>方贵经历。</p> <p>崔巍县丞。</p> <p>孙连</p> <p>孔公钊经历。</p> <p>杜日昕姚补。</p>
正德间	<p>姜观主簿。</p> <p>叶项理问，姚误项。</p> <p>徐介甫州判。姚脱。</p> <p>方铎</p> <p>张铎知县。</p>

	<p>昌奎吏目。</p> <p>杨濩</p> <p>杜珙</p> <p>郑纪知事。姚作知县。</p> <p>王应稷县丞。以上陈《志》。</p> <p>杜璠姚补。</p>
嘉靖间	<p>胡廷和主簿。</p> <p>杜嵩</p> <p>高极</p> <p>高相鸿胪序班。</p> <p>张廷卿</p> <p>方潭</p> <p>萧鸣卫经历。</p> <p>杜楠州判。</p> <p>杨丝姚云州同。</p> <p>姜天叙照磨。</p> <p>徐河姚云原名泾。附监署丞。</p> <p>徐漘姚云主簿。</p> <p>方祯</p> <p>应仪凤州判。</p> <p>徐一极主簿。姚云附监。</p> <p>徐一懋州同。姚云附监知州。</p> <p>徐希道姚脱。</p> <p>李汝霖主簿。</p> <p>张霖吉府典仪。陈、姚合参。</p>

万历间	<p>余国英州同。</p> <p>徐日明府经历。姚脱。</p> <p>郑维乔州同。</p> <p>程曆县丞。姚作歷。</p> <p>胡联芳主簿。</p> <p>徐良宾主簿。</p> <p>郑一珊经历。</p> <p>陈学颜主簿。</p> <p>郑德隆卫经历。</p> <p>徐州臣府经历。</p> <p>徐可求进士中丞。姚不载。</p> <p>杨仲鲁经历。</p> <p>徐日严准贡，通判。姚载恩贡。</p> <p>叶明元太常典簿。</p> <p>余敷中中式举人。姚不载。</p> <p>徐应雷任道子。</p> <p>徐应豫。</p> <p>王允成姚列增贡。</p> <p>王自范姚列附贡。以上陈《志》。</p> <p>郑应聘序班。</p> <p>祝志恒此二人，姚补。</p>
天启间	<p>徐日徵陈《志》载万历，姚移此。</p> <p>留大伦长史。姚列例贡。</p> <p>郑奎芳主簿。姚云经历。</p> <p>胡一恒姚云卫经历。以上陈《志》。</p>

崇祯间	郑应启 舒兆庚 叶全伦 余中疑中上脱一字。此四人，原列万历，姚移下。 叶厚元上林署丞。 徐日崇主簿。姚作卫经历。 徐日煦理问。以上陈《志》。 王允宁姚补。
清康熙间	郑琛考授州同。 郑圃 徐镛考授州同。 徐钟 王一贞考授州同。 叶应蟾 叶嘉会考授州同。 徐鑑 徐世贞 徐从祖 王有周考授州同。 郑国 徐枢 余元瑛 徐敦卓考授县丞。 叶淑欧 叶淑文

李一鸣

余兆甲考授县丞。

徐敦修

叶耘

龚之彦考授州同。

徐国序

龚灿姚云考授州同。

叶藻姚云附监，考授州同。

范世鑑

徐镔

徐灝

叶桓兴姚作恒兴。

徐养麟

方尧牧

柴望

李一騤

郑嘉豫

王世求

王继祖

邵辅忠

叶嘉徵

郑陟寅

徐望

徐武

程恒泰

	张涛 徐耀 胡绍旦 胡绍昇 陈作卑，依姚改。 叶应柱 刘日宏 以上陈《志》。 汪联琬 考授州同。 周霞 祝圣言 杜溥炎 荐辟。正统间有杜溥炎，此疑误。 汪联瑄 汪致周 徐敦耿 典史。此七人，姚补。
--	--

**捐贡** 附。

按：此姚《志》所载，陈氏埙《县志正误》讥之是已。兹照江、常两《县志》例，截至嘉庆间止。以后非五贡不登。

康熙间	龚圻 廉贡。 王应炆 附贡。 徐士楫 同上。
雍正间	徐树槐 蓝登廊 蓝登庸 并附贡。

	叶芝州同。 徐常崧并例贡。
乾隆间	崔尚志 余本忱训导。 孔继洙训导。 叶封介 王廷爔原名登洛。以上廉贡。 徐澜 徐栋 龚大塘以上增贡。 郑象乾 徐应选 祝立朝 孔兴魁 叶元勋巡检。 程廷铭 徐世寓 王登履 蓝振 徐世楫 程光涟 郑聚鳌 倪尹价 杜源来 傅炳文以上附贡。

	徐毓淮 王荣纯 杜邦瑾 王灝 陈道恭 舒康灿《舒氏谱》作恩贡。 王常昇 郑光远 方绍斌 祝洪望 龚大铣 崔济亨 方奇麟 徐崇铎 王登煥以上例贡。
嘉庆年	周书国子肄业。议叙训导。 范崇纯即用训导。 詹日耀试用训导。 龚崑国子肄业，议叙训导。 余养杰试用训导。以上廉贡。 范崇炯 余思猷以上增贡。 余思赞 詹濂 范崇縣

	龚莘
	许廷标
	刘宏衍
	范崇绍
	颜世灿
	留鼎
	杜邦材以上附贡。
	龚傅
	龚隆
	凌彝国
	詹日起以上例贡。均见姚《志》。

**吏材** 仍旧志附。

明代	吴元辅卫经历。
	郑廷宪司狱。
	沈相县丞。
	刘邦望典史。
	范世臣盐课大使。
	吴国珍省祭。
	张大功县丞。
	叶元麒经历。姚作元麟。
	袁釜典史。以上陈《志》。徐良介盐大使。
	郑良业卫经历。二人，姚补。

清代	龚士成经历。 王维垣巡检。 徐激经历。 龚士贵典史。 徐濬经历。 王允劭巡检。 范忻经历。 邹双顺经历。本姓叶，姚作润。 叶一经主簿。 袁士振典史。 华嘉祺候选州判。亦见《荐辟》。 吴元相经历。 毕兆福经历。以上并见陈《志》。
----	---

## 乡 选

溯自晚清变政，各省创设谘议局，始行乡举。用票选之法，并制定上级有资政院，下级有县自治、城镇乡自治，莫不如之。行之未几，民国肇兴，标揭共和，尤复注重选政。乃比年以来，兵革不休，国无宁日，大选且未能尽如人意，法制徒存具文。地方自治屡言之，未见实现，斯诚吾民所仰望而不可必得者。然民气未衰，公道自在，纵使政局澜翻，而人选问题卒亦不可废也。

	资政院议员	谘议局议员	
清宣统元年	郑永禧由谘议局互选候补。	詹熙 郑永禧常驻。	
民国元年	众议院议员	省议会议员	县议会议员
		詹麐来临时省议员。	汪庆祚正议长。 吴璋副议长。 王敬烈 张德骏 邵辅墀 黎学仁 江文藻 倪允铨 朱运鹏 吴守澄 舒华 余廷士 詹澄 叶克荣 郑锦卿 孔宪宗 余廷俊 叶如璋 王国辅 杜旭升

	众议院议员	省议会议员	县议会议员
			县参议会参议员 章璜 张承贞 陈其宗 周庆邦
民国二年		郑永祚第一届。 余廷士同前。	
民国七年	汪展第二届。 黄灵雨同前。	章璜第二届。 汪昭同前。	
民国十年		郑永祚第三届。 汪昭同前。	
民国十一年			章瑾正议长。 杜荣副议长。 戈宝森 叶如璋 周棠 吴守澄辞职。 吴嘉谟补。 叶惠康被选参事。 吴之让补。 邱峻辞职。

	众议院议员	省议会议员	县议会议员
			<p>卢逢源补。</p> <p>孔庆联</p> <p>毛金生</p> <p>童汝霖</p> <p>王琼仙被选参事。</p> <p>陈邦森补。</p> <p>叶邦冷</p> <p>舒朝纲</p> <p>县参事会参事</p> <p>杜诗选举连三任。</p> <p>叶惠康选举。</p> <p>郑永禧委任连任。</p> <p>章璜委任连三任。</p> <p>王琼仙选举，继叶任。</p> <p>项槐委任，继郑任。</p> <p>王忠鼎选举，继王任。</p>

## 学校毕业

自制科罢，改兴学校，士之讲求实学者，各有专门。原古圣人分科之遗意，安定之教授，经义治事不同斋，后人取以为法，中外无二理也。兹表列专门人才，下至甲种实业为止。其他各项速成班，都因当时需要而设，取以殿焉。

学级别 学科别	大 学	专 门	甲种实业	各项速成班
法 政	吴荣炳日本	余时登		
附社会学	法政大学法 律科。朝考 举人。	徐时勉 傅世荣 傅乃济		
	程雪门北京 法政大学法 科。	何建章 何敏章 韩祖侯		
	萧汉文并 同。	王绍穀 王之屏		
	王去病由英 转法，社会 学。	周棠 杜荣		
	汪张骥北京 大学法科。	王国贤 王观光		
	邵本恒日本 明治大学政 治科。	邵振铎 邵德容 方正南 沈彦臣		

学级别 学科别	大 学	专 门	甲种实业	各项速成班
	叶元龙 美国 威斯康平大 学经济科。 章宗象 北京 法政大学法 科。	周建康 周时康 陈牧 江成樑 舒展 孔宪镐 孔宪洛 孔庆瑞 郑宗惠 汪以楫 方以成 姜望 毛羽丰 赵钦 余盛才 并法 律。 祝文钟 楼明远 戈定远 叶筠彦 王厚烜		
理 科	张宗文 法国 里昂大学理 科地质学。			

学级别 学科别	大 学	专 门	甲种实业	各项速成班
	江成标北京 大学理科。 章宗振北京 大学理科。 程祥荣日本 帝国大学理 化。			
文 科	周以圭北京 中法大学法 文。	徐长豫上海 国民大学国 学专修科。 祝文白浙江 高等文科。		
医 药	周锡庚日本 北里医药研 究所。 杜志挽德国 柏林大学医 科。	周阳庚杭州 医专药科。 吴荣诏 同 前。 徐焕奎 孙叶庭 孔熊瑞 吴瑞芝 并杭 州医专医科。		
教 育	卫士生东南 大学教育科。	孔宪葵日本 早稻田师范。 孔昭仁 同前 博物科。		

学级别 学科别	大学	专门	甲种实业	各项速成班
	张邦华 日本东京高师格致科。 程祥荣 理科。 方光焘 并同前文科。 江纪纲 浙江优级师范选科理化。 詹夔来 同前博物。 徐观澜 同前史地。 杜宝光 亦同。 陈其宗 同前数理。 汪镌铭 亦同。 程祥芝 浙江高等附设师范科。 徐霖 同前。	刘泰钦 同前理化科。		

学级别 学科别	大 学	专 门	甲种实业	各项速成班
	施景銮杭州 高中师范科。 郑承祜 同前。			
农 科	王去病留英 农农科。		汪庆龢杭州 学蚕馆。 陈邦定浙江 甲种农校农 科。 孙汪度同前 农科。 吾浩然同前 兽医。	徐一亨农业 教员养成所。 张承恩 同前。 傅廷良并 同。
工 科	周镇伦北洋 大学土木工 程。	傅箴留日铁 路。 叶绍良 同 前。 周恩沄天津 工专机械科。 黄春庚杭州 工专电器科。 吾善性南通 纺织。		

学级别 学科别	大 学	专 门	甲种实业	各项速成班
商 科	周际烜 北京 商科大学。 吴 契 汉 川 下。 上海 中 国公学。 戴 铭 礼 商 科。 曹 功 济 并 同。 曹士清 北京 大学簿记。			
艺 术		程本一 上海 东方艺术研 究会。 华 盖 原名月 峰。 南京 美 术。 孔庆禧 北京 美术。		江航 陆军测 绘。 蒋希仁 同 前。
巡 警		孔宪葵 留日 警察。 叶绍良 同 前。		詹渭淦 浙江 巡警速成班。 徐楷 祝仁德

学级别 学科别	大 学	专 门	甲种实业	各项速成班
		余成烈留日警监。由云南出洋。 郑吉士浙江高等巡警。		吴荣锴 朱国正 张畴并同。 杜一枝北京巡警速成班。
	王贤良法国巴黎公教私立大学，未详何科，附列于此。			